

小牧市
第2次小牧市教育振興基本計画に関する
アンケート調査結果

令和8年5月

小 牧 市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	児童・生徒調査結果.....	2
III	保護者調査結果.....	55
IV	教員調査結果.....	113

I 調査の概要

1 調査の目的

現計画の期間が令和8年度末で終わることから、令和9年度から令和18年度までの10年間の計画期間とした「第2次小牧市教育振興基本計画」の策定を進めており、策定の際の基礎資料とするため。

2 調査対象

児童・生徒調査：市内の小学校に通う小学5年生・市内の中学校に通う中学2年生

保護者調査：市内の小学校5年生及び中学校2年生の保護者

教員調査：市内小中学校の教員

3 調査期間

児童・生徒調査：令和8年2月16日～令和8年3月20日

保護者調査：令和8年2月16日～令和8年3月20日

教員調査：令和8年2月13日～令和8年3月20日

4 調査方法

児童・生徒調査：郵送による配布・回収及びWEBによる回答

保護者調査：郵送による配布・回収及びWEBによる回答

教員調査：郵送による配布・回収及びWEBによる回答

5 回収数

調査票の種類	回収数
児童・生徒調査	1,983人
保護者調査	509人
教員調査	594人

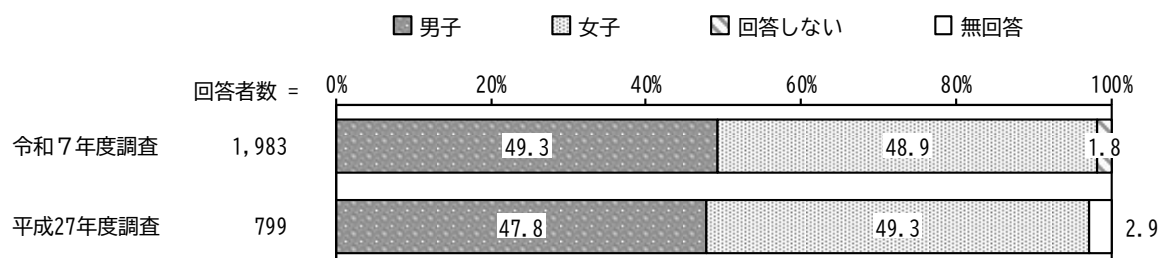
6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ 児童・生徒調査結果

問1 あなたの性別を教えてください。
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

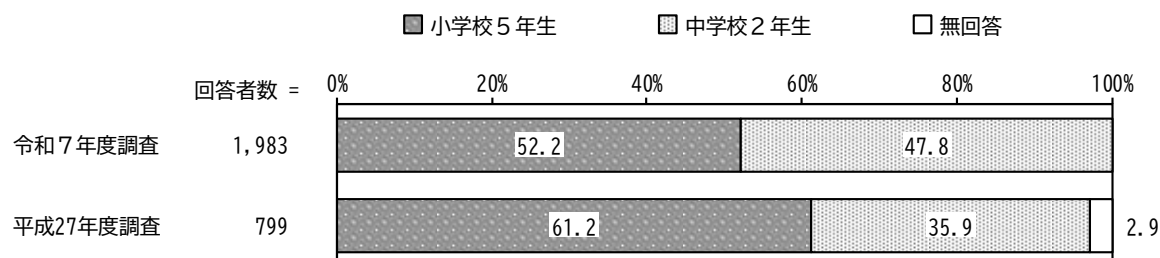
「男子」の割合が49.3%、「女子」の割合が48.9%となっています。
平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※平成27年度調査では、「無回答」が「不明・無回答」となっており、「回答しない」がありませんでした。

問2 あなたの学年を教えてください。
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「小学校5年生」の割合が52.2%、「中学校2年生」の割合が47.8%となっています。
平成27年度調査と比較すると、「中学校2年生」の割合が増加しています。



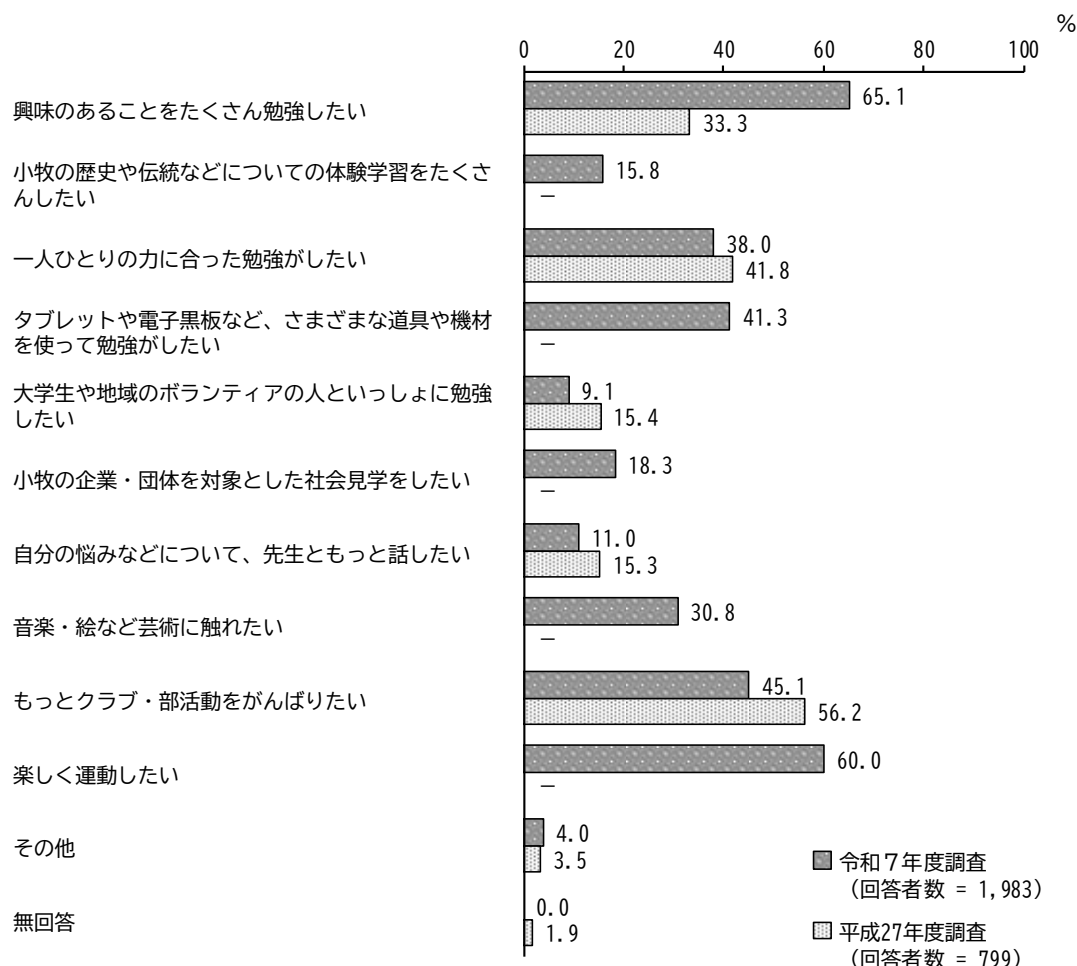
※平成27年度調査では、「無回答」が「不明・無回答」となっていました。

問3 あなたは、学校でどのように学んだり過したりしたいですか。

以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「興味のあることをたくさん勉強したい」の割合が65.1%と最も高く、次いで「楽しく運動したい」の割合が60.0%、「もっとクラブ・部活動がんばりたい」の割合が45.1%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「興味のあることをたくさん勉強したい」の割合が増加しています。一方、「大学生や地域のボランティアの人といっしょに勉強したい」「もっとクラブ・部活動がんばりたい」の割合が減少しています。



※平成27年度調査では、「小牧の歴史や伝統などについての体験学習をたくさんしたい」、「タブレットや電子黒板など、さまざまな道具や機材を使って勉強がしたい」、「小牧の企業・団体を対象とした社会見学をしたい」、「音楽・絵など芸術に触れたい」、「楽しく運動したい」がありませんでした。

【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「小牧の歴史や伝統などについての体験学習をたくさんしたい」「タブレットや電子黒板など、さまざまな道具や機材を使って勉強がしたい」「大学生や地域のボランティアの人といっしょに勉強したい」「小牧の企業・団体を対象とした社会見学をしたい」「自分の悩みなどについて、先生ともっと話したい」「音楽・絵など芸術に触れたい」「楽しく運動したい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	興味のあることをたくさん勉強したい	小牧の歴史や伝統などについての体験学習をたくさんしたい	一人ひとりの力に合った勉強がしたい	タブレットや電子黒板など、さまざまな道具や機材を使って勉強がしたい	大学生や地域のボランティアの人といっしょに勉強したい	小牧の企業・団体を対象とした社会見学をしたい	自分の悩みなどについて、先生ともっと話したい	音楽・絵など芸術に触れたい	もっとクラブ・部活動をがんばりたい	楽しく運動したい	その他	無回答
全 体	1,983	65.1	15.8	38.0	41.3	9.1	18.3	11.0	30.8	45.1	60.0	4.0	0.0
小学校5年生	1,035	65.8	22.1	35.7	48.8	12.8	22.9	13.7	35.8	45.6	66.8	5.7	0.0
中学校2年生	948	64.3	8.9	40.4	33.0	5.1	13.3	8.1	25.3	44.5	52.6	2.2	0.0

【性別】

性別にみると、男性で「楽しく運動したい」の割合が高く、女性で「一人ひとりの力に合った勉強がしたい」「自分の悩みなどについて、先生ともっと話したい」「音楽・絵など芸術に触れたい」の割合が高くなっています。

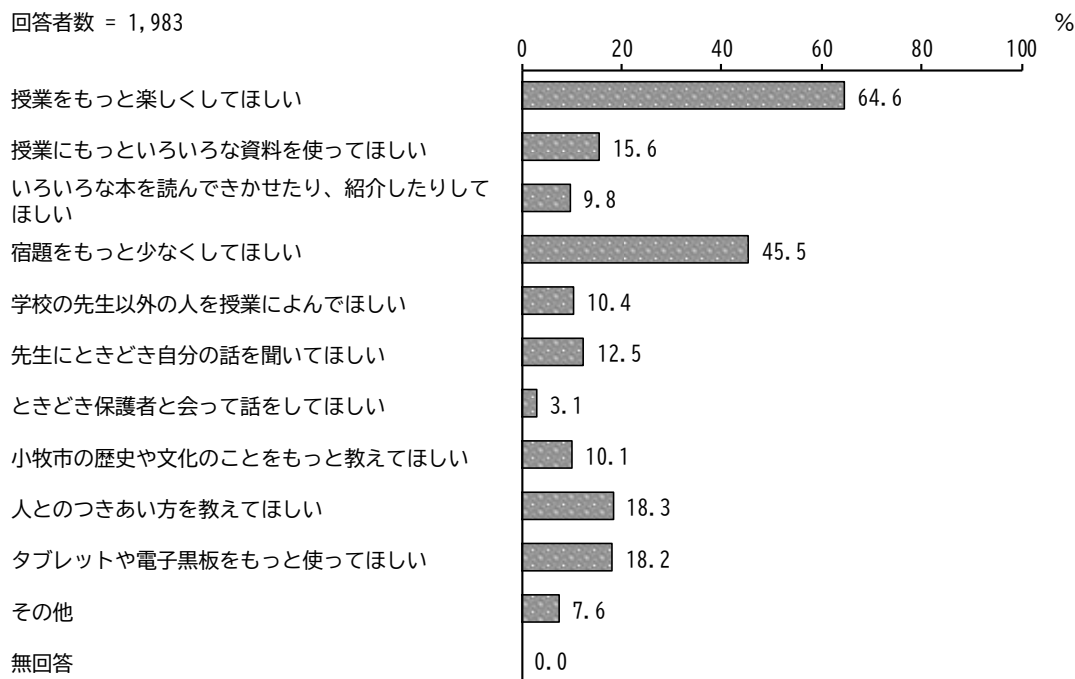
単位：％

区分	回答者数（件）	興味のあることをたくさん勉強したい	小牧の歴史や伝統などについての体験学習をたくさんしたい	一人ひとりの力に合った勉強がしたい	タブレットや電子黒板など、さまざまな道具や機材を使って勉強がしたい	大学生や地域のボランティアの人といっしょに勉強したい	小牧の企業・団体を対象とした社会見学をしたい	自分の悩みなどについて、先生ともっと話したい	音楽・絵など芸術に触れたい	もっとクラブ・部活動をがんばりたい	楽しく運動したい	その他	無回答
全 体	1,983	65.1	15.8	38.0	41.3	9.1	18.3	11.0	30.8	45.1	60.0	4.0	0.0
男性	977	65.6	16.0	31.4	43.3	7.3	17.9	8.1	16.6	45.9	65.7	4.5	0.0
女性	970	64.4	15.5	44.2	39.4	10.8	18.7	13.6	44.7	44.6	54.6	3.3	0.0

問4 あなたは、先生にもっとどのようなことをしてほしいと思いますか。
以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

「授業をもっと楽しくしてほしい」の割合が64.6%と最も高く、次いで「宿題をもっと少なくしてほしい」の割合が45.5%、「人とのつきあい方を教えてほしい」の割合が18.3%となっています。

回答者数 = 1,983



【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「いろいろな本を読んできかせたり、紹介したりしてほしい」「宿題をもっと少なくしてほしい」「小牧市の歴史や文化のことをもっと教えてほしい」の割合が高く、中学校2年生で「授業をもっと楽しくしてほしい」「授業にもっといろいろな資料を使ってほしい」「人とのつきあい方を教えてほしい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	授業をもっと楽しくしてほしい	授業にもっといろいろな資料を使ってほしい	いろいろな本を読んできかせたり、紹介したりしてほしい	宿題をもっと少なくしてほしい	学校の先生以外の人を授業によんでほしい	先生にときどき自分の話を聞いてほしい	ときどき保護者と会って話をしてほしい	小牧市の歴史や文化のことをもっと教えてほしい	人とのつきあい方を教えてほしい	タブレットや電子黒板をもっと使ってほしい	その他	無回答
全 体	1,983	64.6	15.6	9.8	45.5	10.4	12.5	3.1	10.1	18.3	18.2	7.6	0.0
小学校5年生	1,035	58.2	12.3	12.4	57.3	12.2	11.7	4.3	14.1	14.6	19.4	9.4	0.0
中学校2年生	948	71.6	19.2	7.1	32.6	8.5	13.3	1.7	5.7	22.4	16.8	5.7	0.0

【性別】

性別にみると、男性で「授業にもっといろいろな資料を使ってほしい」「宿題をもっと少なくしてほしい」「タブレットや電子黒板をもっと使ってほしい」の割合が高く、女性で「先生にときどき自分の話を聞いてほしい」「人とのつきあい方を教えてほしい」の割合が高くなっています。

単位：％

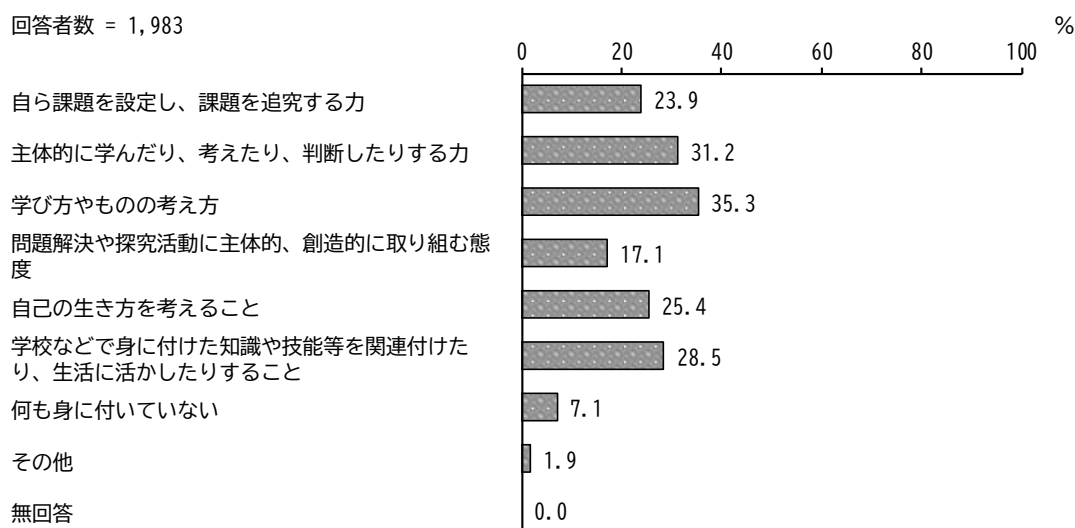
区分	回答者数(件)	授業をもっと楽しくしてほしい	授業にもっといろいろな資料を使ってほしい	いろいろな本を読んだり、紹介したりしてほしい	宿題をもっと少なくしてほしい	学校の先生以外の人を授業にょんでほしい	先生にときどき自分の話を聞いてほしい	ときどき保護者と会って話をしてほしい	小牧市の歴史や文化のことをもっと教えてほしい	人とのつきあい方を教えてほしい	タブレットや電子黒板をもっと使ってほしい	その他	無回答
全 体	1,983	64.6	15.6	9.8	45.5	10.4	12.5	3.1	10.1	18.3	18.2	7.6	0.0
男性	977	64.0	19.5	9.0	48.6	9.4	10.0	3.1	11.2	13.3	21.7	8.2	0.0
女性	970	65.9	11.5	10.6	42.1	11.0	15.1	3.2	9.0	23.5	14.7	6.5	0.0

問5 学校生活の中で、身に付いたと感じるものは何ですか。

以下の設問からあてはまるものを2つまで選んでください。

「学び方やものの考え方」の割合が 35.3%と最も高く、次いで「主体的に学んだり、考えたり、判断したりする力」の割合が 31.2%、「学校などで身に付けた知識や技能等を関連付けたり、生活に活かしたりすること」の割合が 28.5%となっています。

回答者数 = 1,983



【学年別】

学年別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	自ら課題を設定し、課題を追究する力	主体的に学んだり、考えたり、判断したりする力	学び方やものの考え方	問題解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度	自己の生き方を考えること	学校などで身に付けた知識や技能等を関連付けたり、生活に活かしたりすること	何も身に付いていない	その他	無回答
全 体	1,983	23.9	31.2	35.3	17.1	25.4	28.5	7.1	1.9	0.0
小学校5年生	1,035	26.1	29.8	36.2	18.2	23.4	27.5	7.4	2.4	0.0
中学校2年生	948	21.4	32.7	34.3	15.9	27.6	29.6	6.8	1.4	0.0

【性別】

性別にみると、女性で「学校などで身に付けた知識や技能等を関連付けたり、生活に活かしたりすること」の割合が高くなっています。

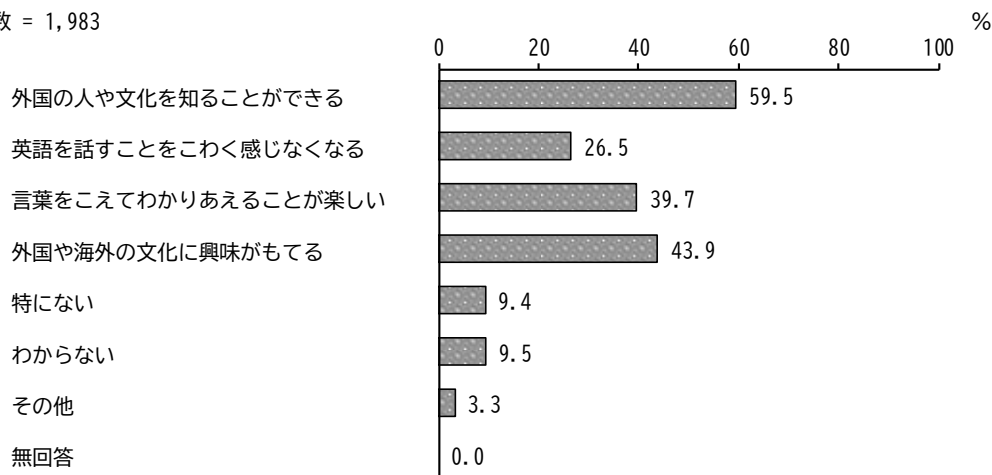
単位：％

区分	回答者数（件）	自ら課題を設定し、課題を追究する力	主体的に学んだり、考えたり、判断したりする力	学び方やものの考え方	問題解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度	自己の生き方を考えること	学校などで身に付けた知識や技能等を関連付けたり、生活に活かしたりすること	何も身に付いていない	その他	無回答
全 体	1,983	23.9	31.2	35.3	17.1	25.4	28.5	7.1	1.9	0.0
男性	977	25.9	30.4	36.8	17.2	25.9	25.4	7.9	1.9	0.0
女性	970	21.4	32.4	34.0	17.1	25.1	32.2	6.0	1.9	0.0

問6 あなたは、ALT（英語を母国語とする先生）や外国人と関わることの良さは何だと思いますか。以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「外国の人や文化を知ることができる」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「外国や海外の文化に興味をもてる」の割合が 43.9%、「言葉をこえてわかりあえることが楽しい」の割合が 39.7%となっています。

回答者数 = 1,983



【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「英語を話すことをこわく感じなくなる」「言葉をこえてわかりあえることが楽しい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	外国の人や文化を知ることができる	英語を話すことをこわく感じなくなる	言葉をこえてわかりあえることが楽しい	外国や海外の文化に興味をもてる	特にない	わからない	その他	無回答
全 体	1,983	59.5	26.5	39.7	43.9	9.4	9.5	3.3	0.0
小学校5年生	1,035	60.9	31.0	43.0	45.7	8.1	10.2	3.9	0.0
中学校2年生	948	57.9	21.5	36.1	41.9	10.9	8.6	2.6	0.0

【性別】

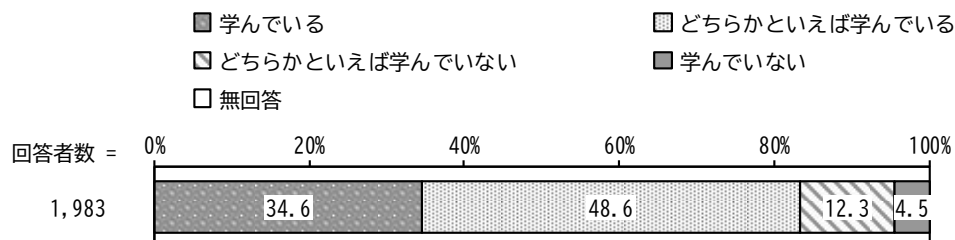
性別にみると、女性で「言葉をこえてわかりあえることが楽しい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	外国の人や文化を知ることができる	英語を話すことをこわく感じなくなる	言葉をこえてわかりあえることが楽しい	外国や海外の文化に興味をもてる	特にない	わからない	その他	無回答
全 体	1,983	59.5	26.5	39.7	43.9	9.4	9.5	3.3	0.0
男性	977	59.6	26.9	35.4	44.5	10.2	10.0	3.2	0.0
女性	970	59.9	25.8	44.0	43.5	7.8	8.9	3.5	0.0

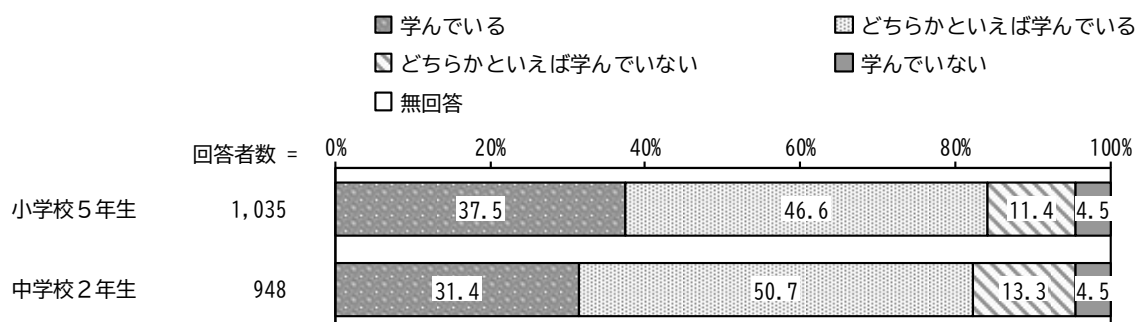
問7 あなたは、むずかしいことや専門的なことでも、自分が興味をもったことであれば、自ら学んでいますか。以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「学んでいる」「どちらかといえば学んでいる」を合わせた“学んでいる”の割合が83.2%、「どちらかといえば学んでいない」「学んでいない」を合わせた“学んでいない”の割合が16.8%となっています。



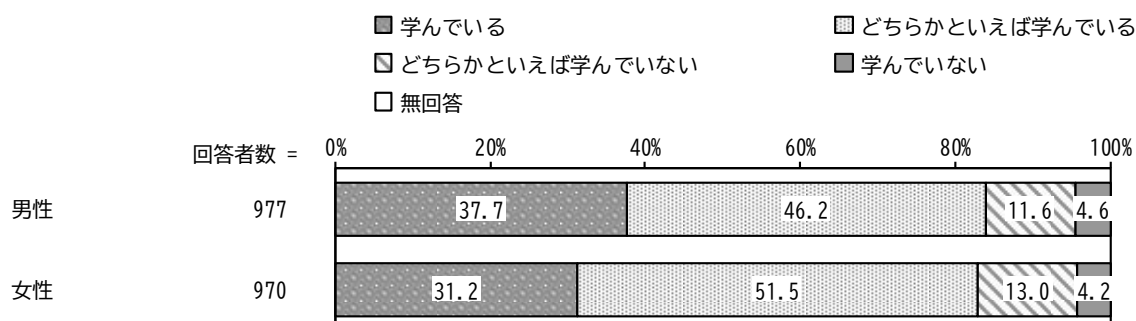
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「学んでいる」の割合が高くなっています。



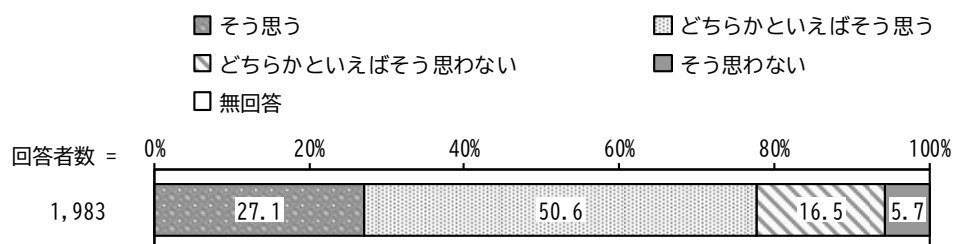
【性別】

性別にみると、男性で「学んでいる」の割合が高く、女性で「どちらかといえば学んでいる」の割合が高くなっています。



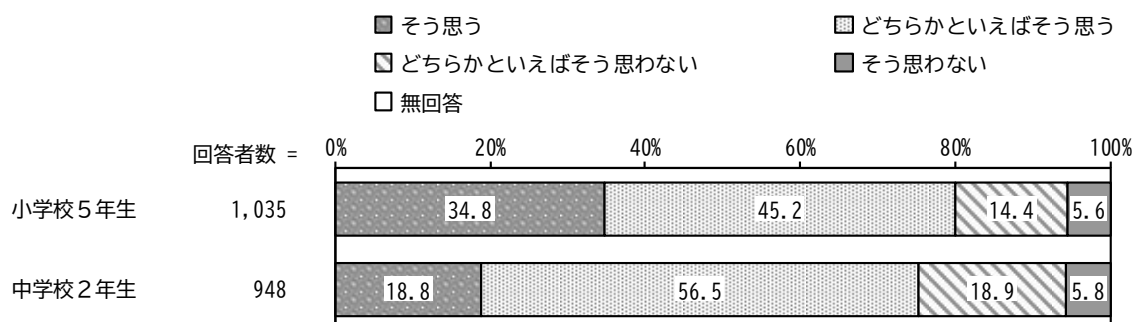
問8 勉強がもっとよくわかる授業や自分の力に合わせた授業がおこなわれていると思いますか。以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が77.7%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合が22.2%となっています。



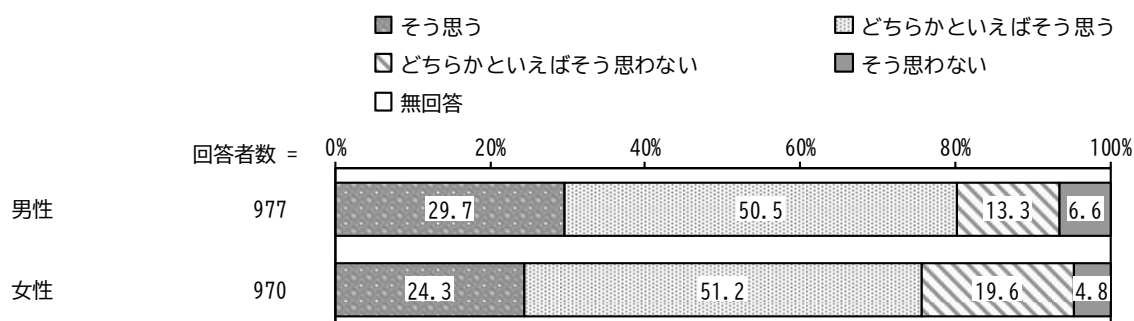
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「そう思う」の割合が高く、中学校2年生で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。



【性別】

性別にみると、男性で「そう思う」の割合が高く、女性で「どちらかといえばそう思わない」の割合が高くなっています。

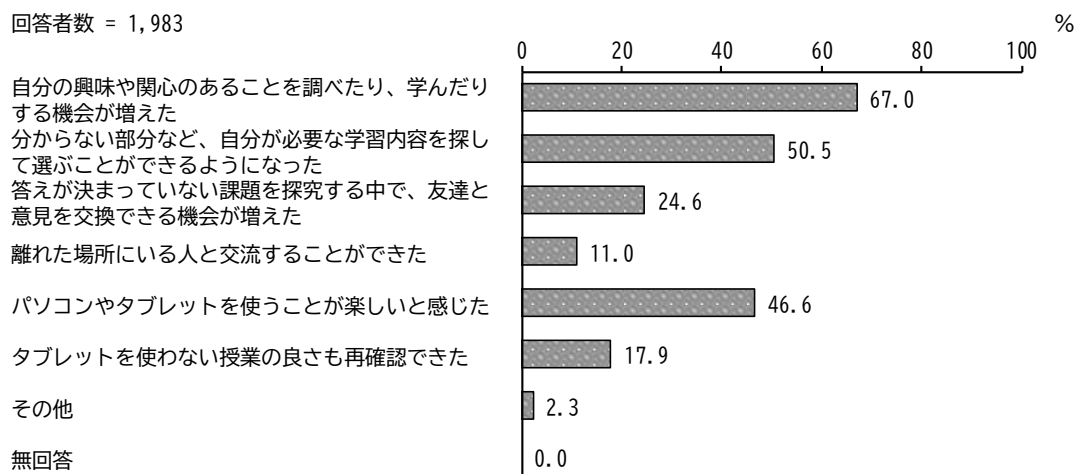


問9 タブレットを使った授業を受けて良かったことは何ですか。

以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「自分の興味や関心のあることを調べたり、学んだりする機会が増えた」の割合が 67.0%と最も高く、次いで「分からない部分など、自分が必要な学習内容を探して選ぶことができるようになった」の割合が 50.5%、「パソコンやタブレットを使うことが楽しいと感じた」の割合が 46.6%となっています。

回答者数 = 1,983



【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「答えが決まっていない課題を探究する中で、友達と意見を交換できる機会が増えた」「パソコンやタブレットを使うことが楽しいと感じた」「タブレットを使わない授業の良さも再確認できた」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自分の興味や関心のあることを調べたり、学んだりする機会が増えた	分からない部分など、自分が必要な学習内容を探して選ぶことができた	答えが決まっていない課題を探究する中で、友達と意見を交換できる機会が増えた	離れた場所にいる人と交流することができた	パソコンやタブレットを使うことが楽しいと感じた	タブレットを使わない授業の良さも再確認できた	その他	無回答
全 体	1,983	67.0	50.5	24.6	11.0	46.6	17.9	2.3	0.0
小学校5年生	1,035	67.2	49.8	28.4	12.0	58.5	21.3	3.0	0.0
中学校2年生	948	66.8	51.4	20.4	9.9	33.8	14.2	1.6	0.0

【性別】

性別にみると、男性で「パソコンやタブレットを使うことが楽しいと感じた」の割合が高く、女性で「分からない部分など、自分が必要な学習内容を探して選ぶことができるようになった」の割合が高くなっています。

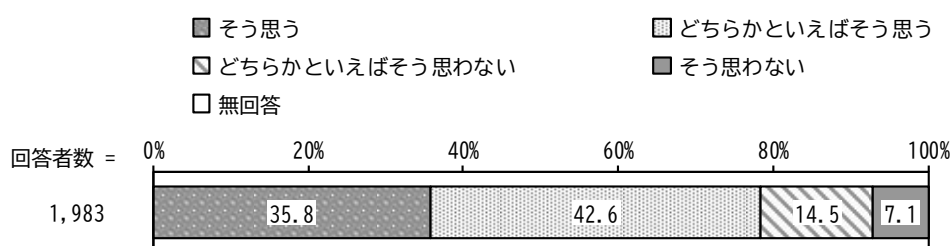
単位：％

区分	回答者数 (件)	た	自分の興味や関心のあることを調べたり、学んだりする機会が増えた	自分が必要な学習内容を探して選ぶことができるようになった	分からない部分など、自分が必要な学習内容を探して選ぶことができるようになった	課題を探究する中で、友達と意見を交換できる機会が増えた	答えが決まっていない課題を探究する中で、友達と意見を交換できる機会が増えた	離れた場所にいる人と交流することができた	感じた	パソコンやタブレットを使うことが楽しいと感じた	授業の良さも再確認できた	その他	無回答
全 体	1,983	67.0	50.5	24.6	11.0	46.6	17.9	2.3	0.0				
男性	977	68.4	46.4	23.2	11.5	50.2	16.7	2.5	0.0				
女性	970	65.9	54.7	25.7	10.1	43.4	18.8	2.1	0.0				

問 10 自分には、よいところがあると思いますか。

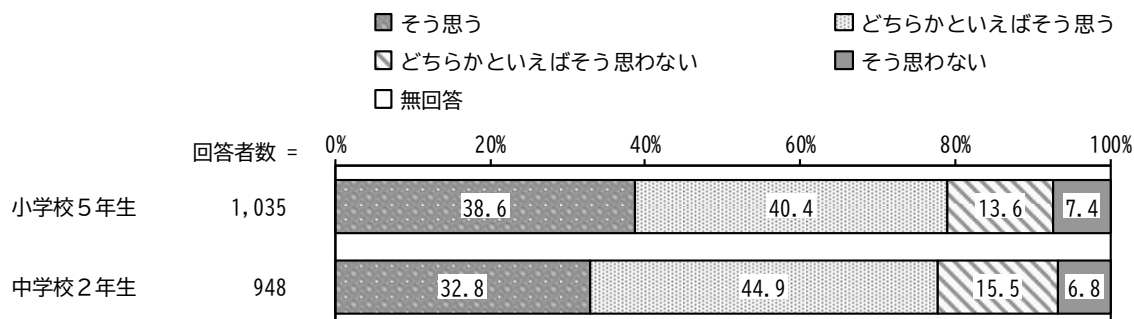
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が78.4%、「どちらかといえ
ばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合が21.6%となっています。



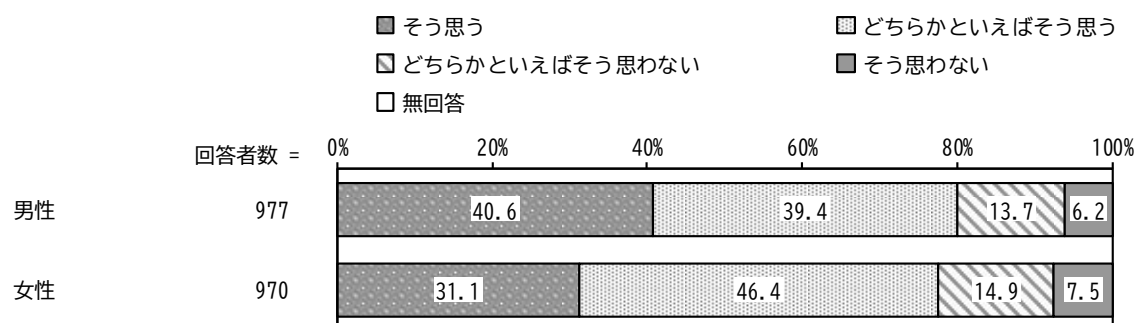
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「そう思う」の割合が高くなっています。



【性別】

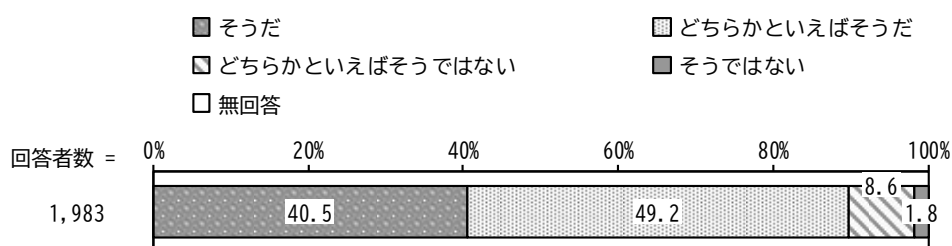
性別にみると、男性で「そう思う」の割合が高く、女性で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。



問 11 人が困っているときは、進んで助けていますか。

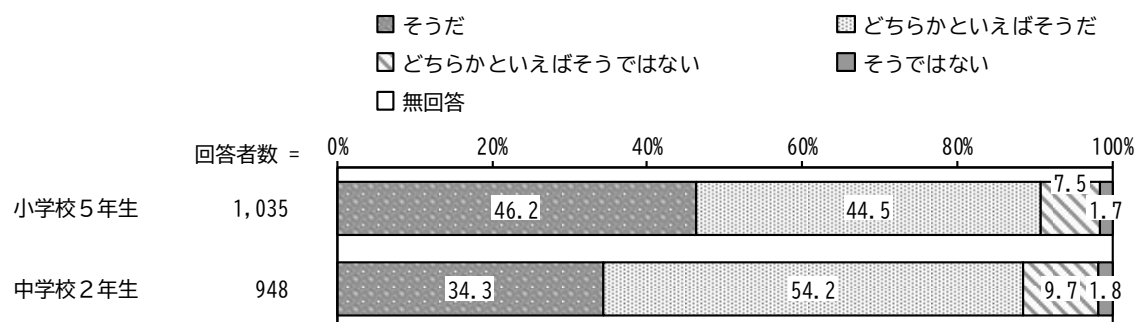
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「そうだ」「どちらかといえばそうだ」を合わせた“そうだ”の割合が 89.7%、「どちらかといえばそうではない」「そうではない」を合わせた“そうではない”の割合が 10.4%となっています。



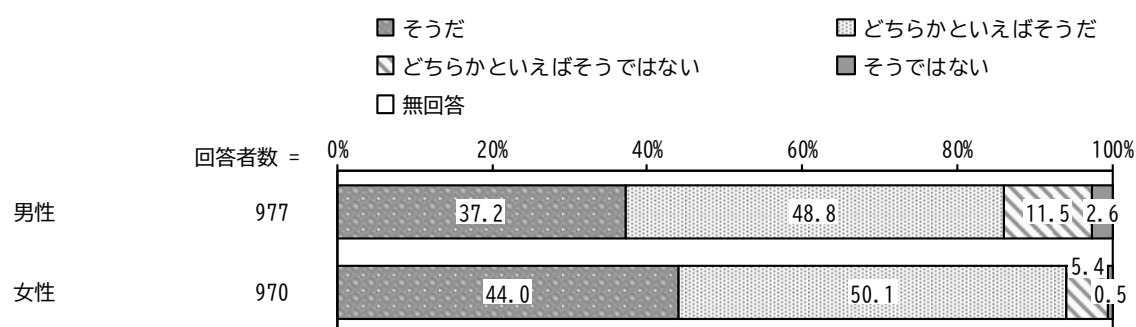
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「そうだ」の割合が高く、中学校2年生で「どちらかといえばそうだ」の割合が高くなっています。



【性別】

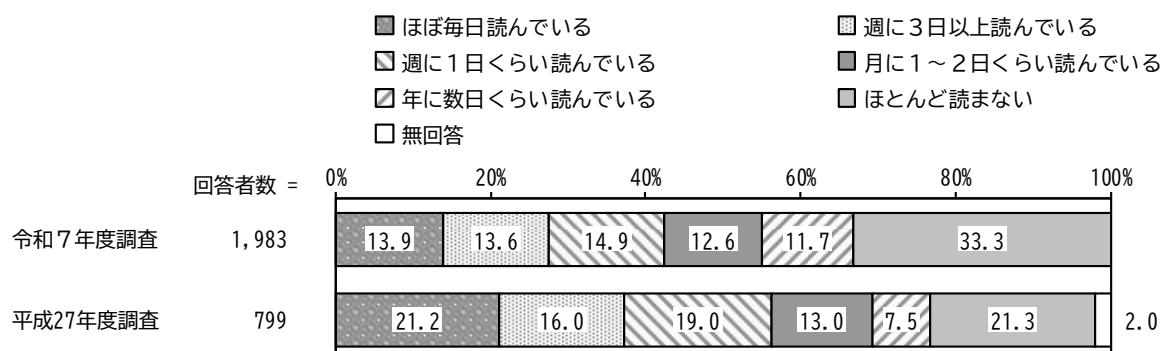
性別にみると、男性で“そうではない”の割合が高くなっています。



問 12 あなたは、学校の授業が終わった後や、学校が休みの日などに本を読みますか。
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

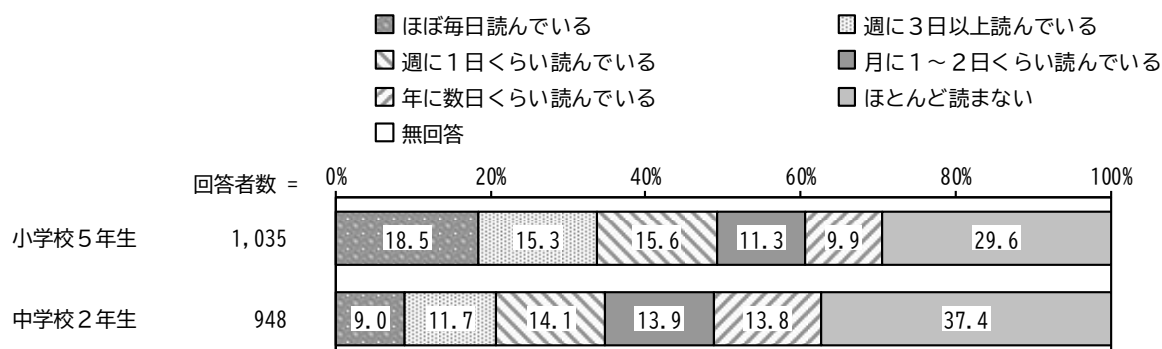
「ほとんど読まない」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「週に1日くらい読んでいる」の割合が 14.9%、「ほぼ毎日読んでいる」の割合が 13.9%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「ほとんど読まない」の割合が増加しています。一方、「ほぼ毎日読んでいる」の割合が減少しています。



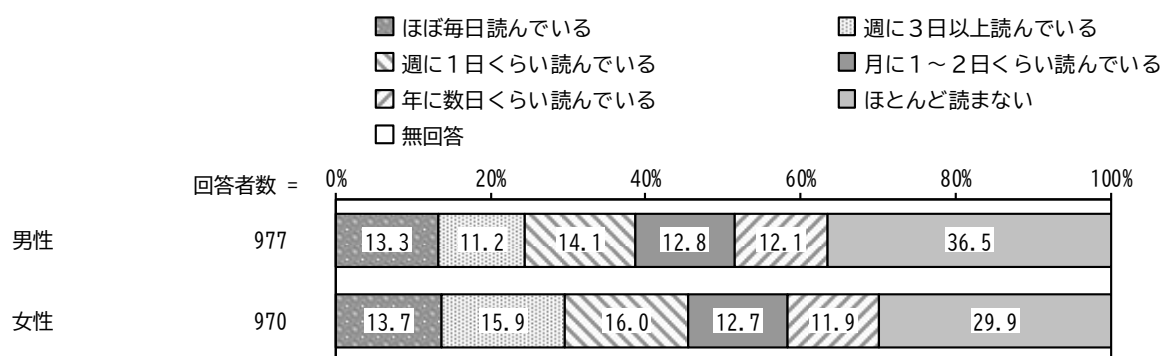
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「ほぼ毎日読んでいる」の割合が高く、中学校2年生で「ほとんど読まない」の割合が高くなっています。



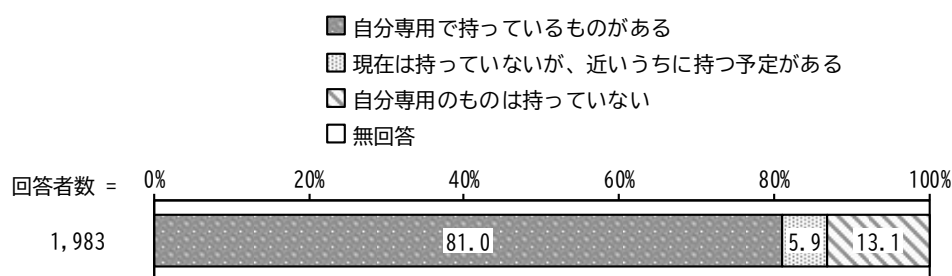
【性別】

性別にみると、男性で「ほとんど読まない」の割合が高くなっています。



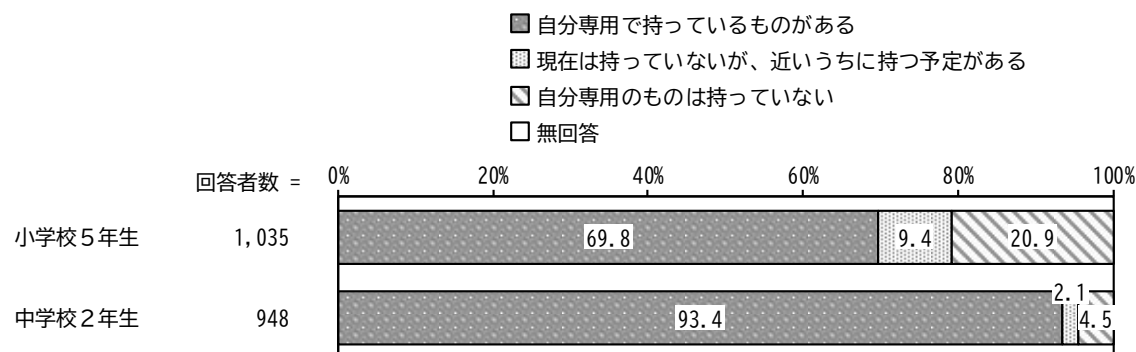
問 13 学校から渡されたタブレット端末以外に自分専用の携帯電話やスマートフォン、パソコンを持っていますか。以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「自分専用で持っているものがある」の割合が81.0%、「現在は持っていないが、近いうちに持つ予定がある」の割合が5.9%、「自分専用のものは持っていない」の割合が13.1%となっています。



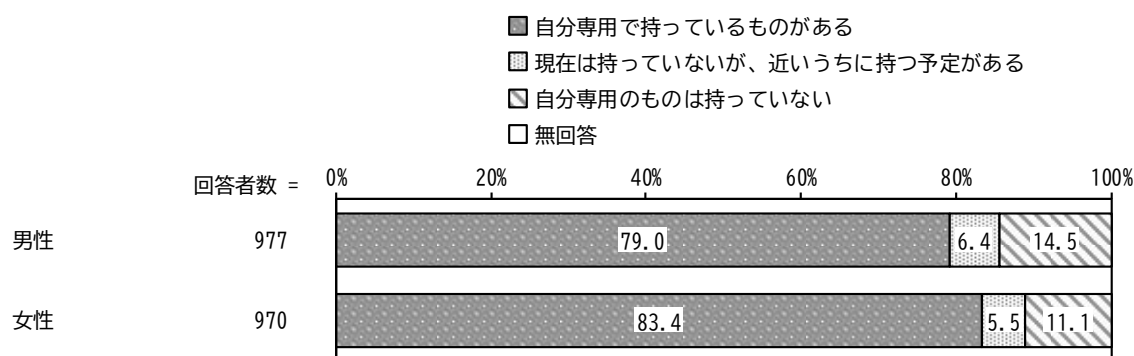
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「現在は持っていないが、近いうちに持つ予定がある」「自分専用のものは持っていない」の割合が高く、中学校2年生で「自分専用で持っているものがある」の割合が高くなっています。



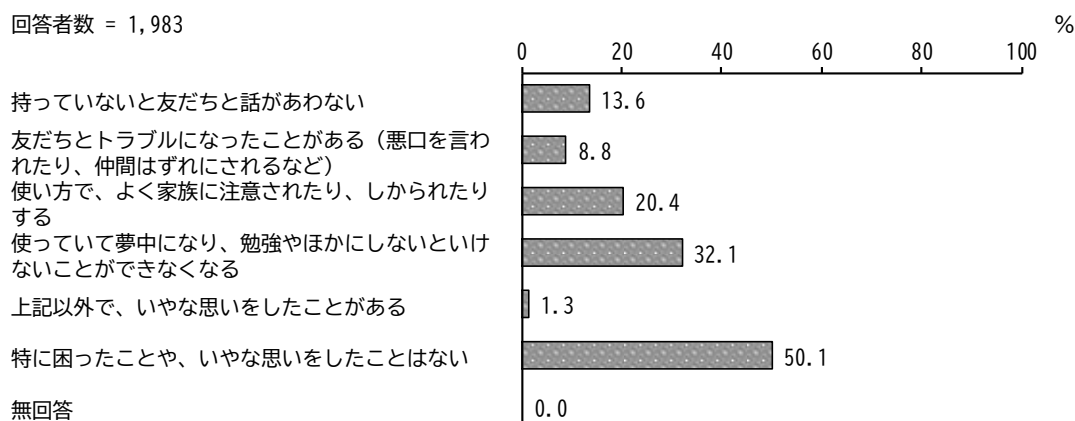
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



問 14 スマートフォン（携帯電話を含む）やパソコンを利用して、次のようなことがありましたか。以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「使っていて夢中になり、勉強やほかにしないといけないことができなくなる」の割合が 32.1%と最も高く、次いで「使い方で、よく家族に注意されたり、しかられたりする」の割合が 20.4%、「持っていないと友だちと話があわない」の割合が 13.6%となっています。



【学年別】

学年別にみると、中学校2年生で「使い方で、よく家族に注意されたり、しかられたりする」「使っていて夢中になり、勉強やほかにしないといけないことができなくなる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	持っていないと友だちと話があわない	友だちとトラブルになったことがある（悪口を言われたり、仲間はずれにされるなど）	使い方で、よく家族に注意されたり、しかられたりする	使っていて夢中になり、勉強やほかにしないといけないことができなくなる	上記以外で、いやな思いをしたことがある	特に困ったことや、いやな思いをしたことはない	無回答
全 体	1,983	13.6	8.8	20.4	32.1	1.3	50.1	0.0
小学校5年生	1,035	12.7	9.0	17.6	19.6	1.4	60.3	0.0
中学校2年生	948	14.7	8.5	23.5	45.8	1.1	38.9	0.0

【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

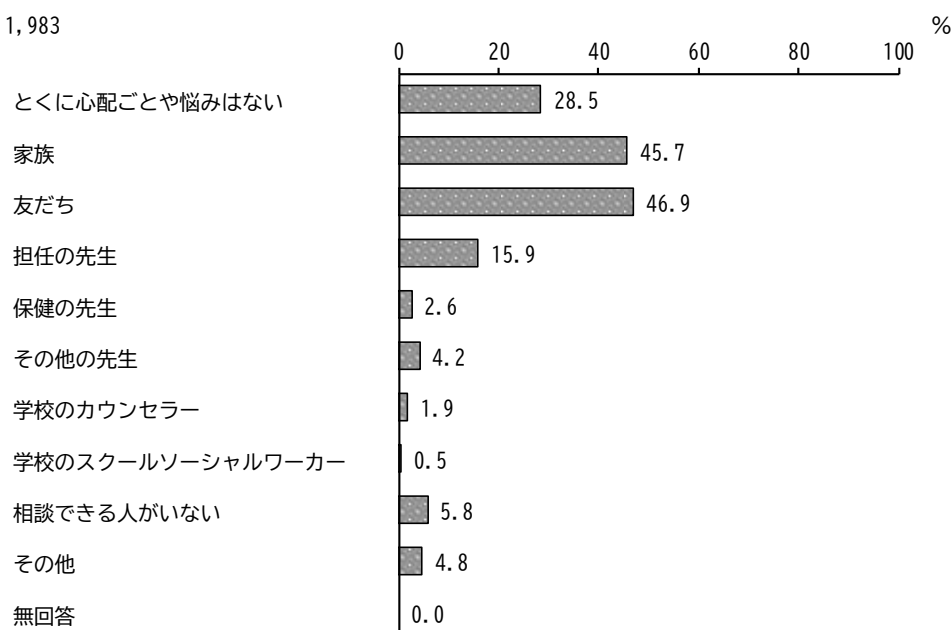
区分	回答者数 (件)	持っていないと友だちと話があわない	はずれにされるなど	友だちとトラブルになったことがある(悪口を言われたり、仲間はずれにされるなど)	使用方で、よく家族に注意されたり、しかられたりする	使っていて夢中になり、勉強やほかにしないといけないことができなくなる	上記以外で、いやな思いをしたことがある	特についたことや、いやな思いをしたことはない	無回答
全 体	1,983	13.6	8.8	20.4	32.1	1.3	50.1	0.0	
男性	977	13.2	7.8	19.3	30.3	1.3	51.9	0.0	
女性	970	13.6	9.7	22.0	34.7	1.1	47.9	0.0	

問 15 心配ごとや悩みは、誰に相談しますか。

以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「友だち」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「家族」の割合が 45.7%、「担任の先生」の割合が 15.9%となっています。

回答者数 = 1,983



【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「家族」「担任の先生」の割合が高く、中学校2年生で「友だち」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	とくに心配ごとや 悩みはない	家族	友だち	担任の先生	保健の先生	その他の先生	学校のカウンセ ー	学校のスクールソ ーシャルワーカー	相談できる人がい ない	その他	無回答
全 体	1,983	28.5	45.7	46.9	15.9	2.6	4.2	1.9	0.5	5.8	4.8	0.0
小学校5年生	1,035	29.3	48.4	43.1	19.0	3.1	4.3	2.5	0.7	6.3	5.6	0.0
中学校2年生	948	27.7	42.8	51.2	12.4	2.0	4.0	1.2	0.2	5.3	4.0	0.0

【性別】

性別にみると、女性で「家族」「友だち」の割合が高くなっています。

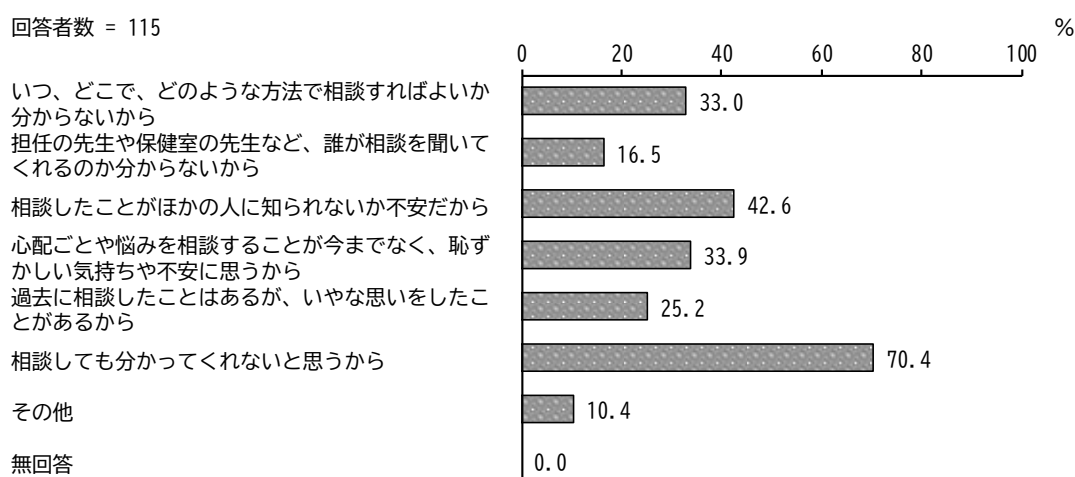
単位：％

区分	回答者数 (件)	とくに心配ごとや 悩みはない	家族	友だち	担任の先生	保健の先生	その他の先生	学校のカウンセ ー	学校のスクールソ ーシャルワーカー	相談できる人がい ない	その他	無回答
全 体	1,983	28.5	45.7	46.9	15.9	2.6	4.2	1.9	0.5	5.8	4.8	0.0
男性	977	37.4	38.3	38.7	15.9	1.6	3.5	1.1	0.3	4.7	4.7	0.0
女性	970	19.9	53.8	55.6	15.7	3.5	4.7	2.4	0.5	6.6	4.4	0.0

問 16 【質問 15 で「相談できる人がいない」と答えた方】その理由について、どのようなものがありますか。以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「相談しても分かってくれないと思うから」の割合が 70.4%と最も高く、次いで「相談したことがほかの人に知られないか不安だから」の割合が 42.6%、「心配ごとや悩みを相談することが今までなく、恥ずかしい気持ちや不安に思うから」の割合が 33.9%となっています。

回答者数 = 115



【学年別】

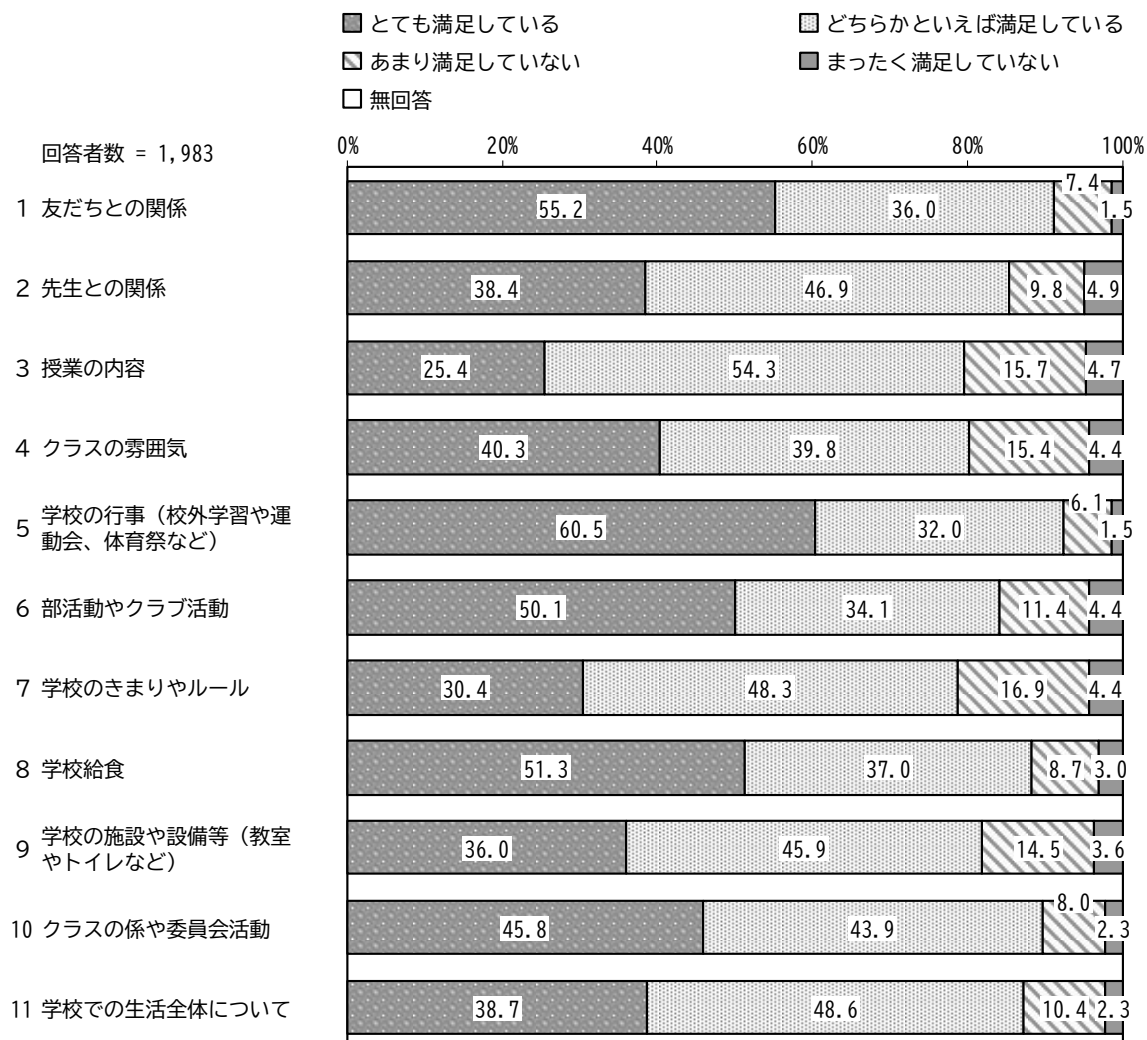
学年別にみると、小学校5年生で「いつ、どこで、どのような方法で相談すればよいか分からないから」「担任の先生や保健室の先生など、誰が相談を聞いてくれるのか分からないから」「心配ごとや悩みを相談することが今までなく、恥ずかしい気持ちや不安に思うから」「相談しても分かってくれないと思うから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	いつ、どこで、どのような方法で相談すればよいか分からないから	担任の先生や保健室の先生など、誰が相談を聞いてくれるのか分からないから	相談したことがほかの人に知られないか不安だから	心配ごとや悩みを相談することが今までなく、恥ずかしい気持ちや不安に思うから	過去に相談したことはあるが、いやな思いをしたことがあるから	相談しても分かってくれないと思うから	その他	無回答
全 体	115	33.0	16.5	42.6	33.9	25.2	70.4	10.4	0.0
小学校5年生	65	38.5	24.6	43.1	36.9	23.1	75.4	9.2	0.0
中学校2年生	50	26.0	6.0	42.0	30.0	28.0	64.0	12.0	0.0

問 17 あなたは、学校生活に関する次のようなことに、どのくらい満足していますか。
以下の項目からあてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。

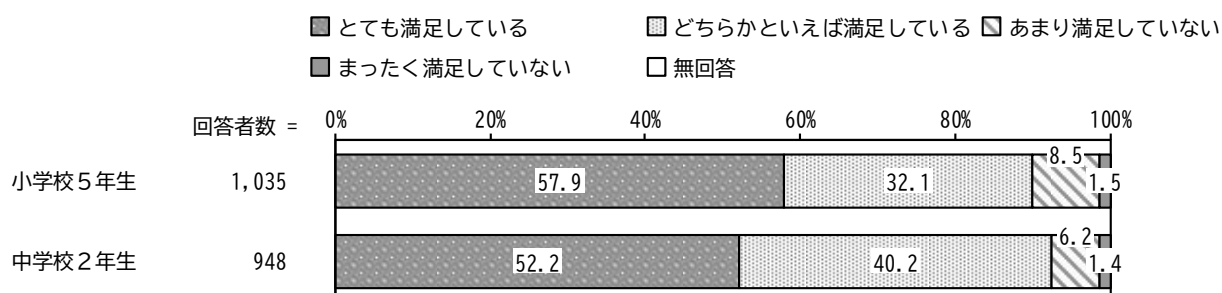
『5 学校の行事（校外学習や運動会、体育祭など）』で「とても満足している」が、『3 授業の内容』で「どちらかといえば満足している」が、『7 学校のきまりやルール』で「あまり満足していない」が、『2 先生との関係』で「まったく満足していない」が高くなっています。



1 友だちとの関係

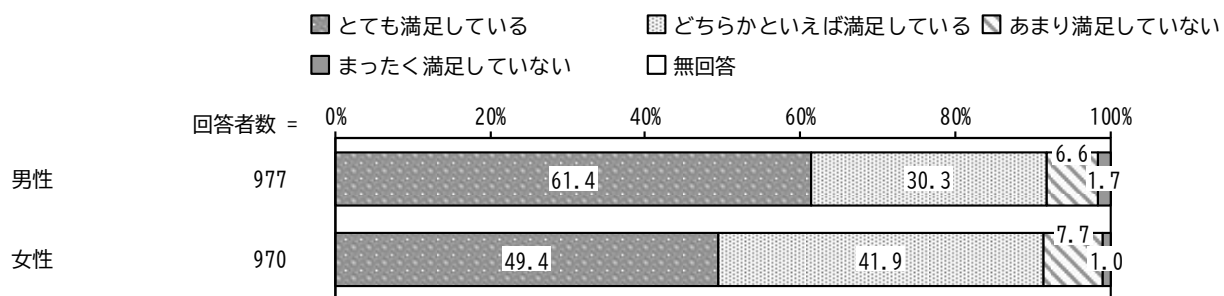
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「とても満足している」の割合が高く、中学校2年生で「どちらかといえば満足している」の割合が高くなっています。



【性別】

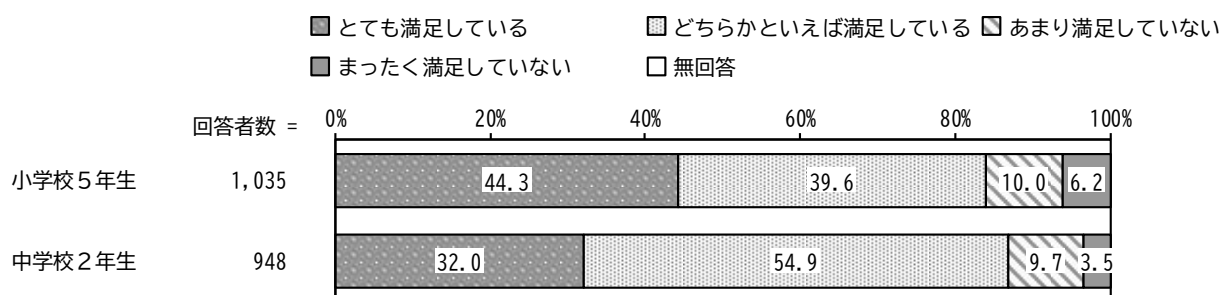
性別にみると、男性で「とても満足している」の割合が高く、女性で「どちらかといえば満足している」の割合が高くなっています。



2 先生との関係

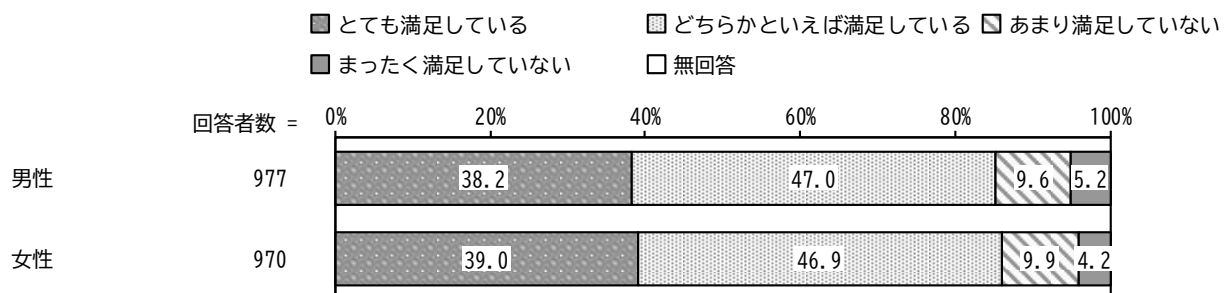
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「とても満足している」の割合が高く、中学校2年生で「どちらかといえば満足している」の割合が高くなっています。



【性別】

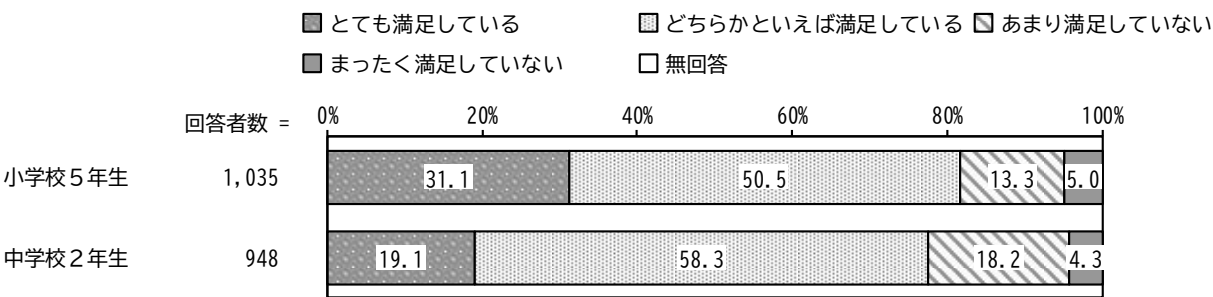
性別にみると、大きな差はみられません。



3 授業の内容

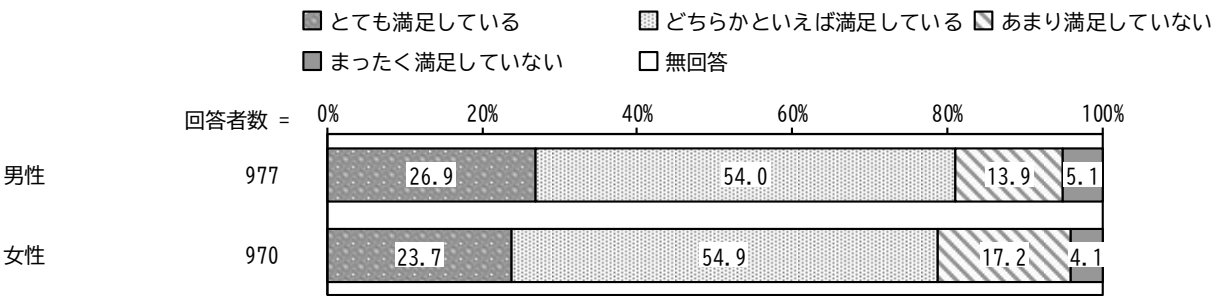
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「とても満足している」の割合が高く、中学校2年生で「どちらかといえば満足している」の割合が高くなっています。



【性別】

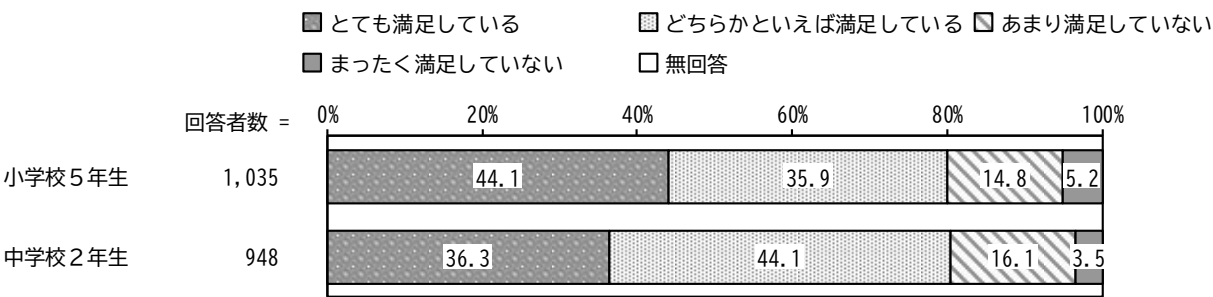
性別にみると、大きな差はみられません。



4 クラスの雰囲気

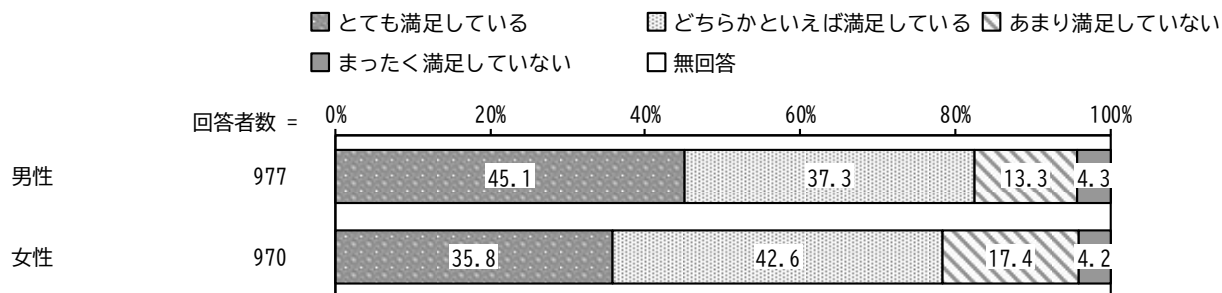
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「とても満足している」の割合が高く、中学校2年生で「どちらかといえば満足している」の割合が高くなっています。



【性別】

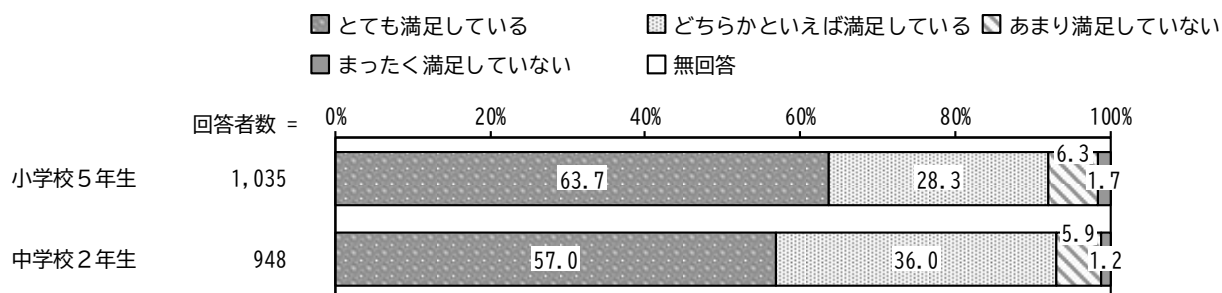
性別にみると、男性で「とても満足している」の割合が高く、女性で「どちらかといえば満足している」の割合が高くなっています。



5 学校の行事（校外学習や運動会、体育祭など）

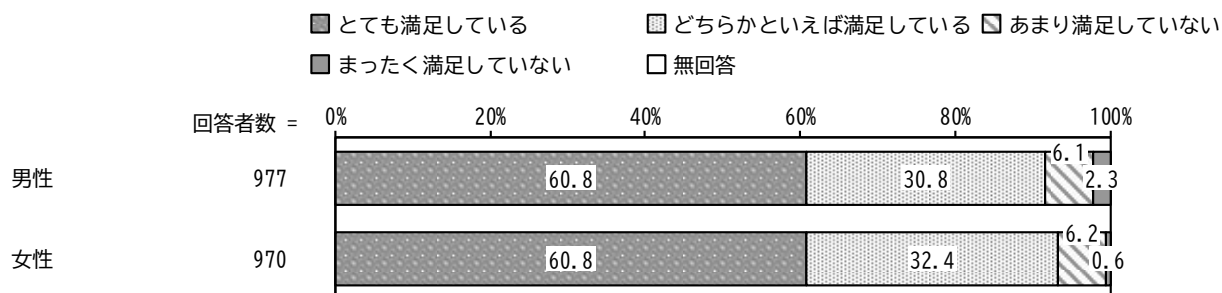
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「とても満足している」の割合が高く、中学校2年生で「どちらかといえば満足している」の割合が高くなっています。



【性別】

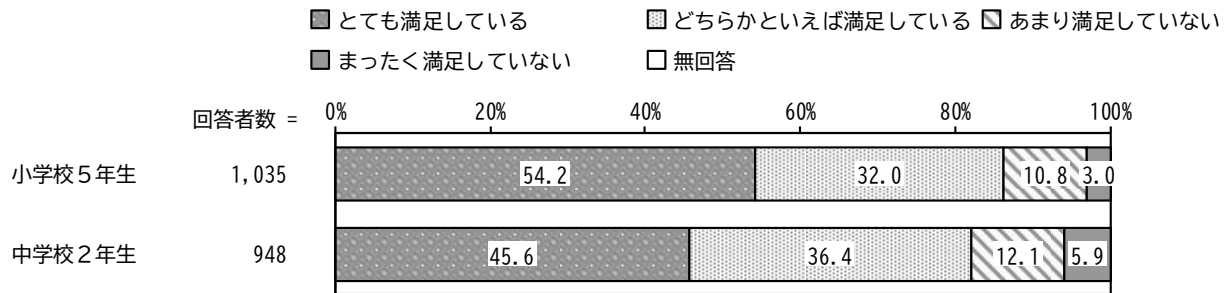
性別にみると、大きな差はみられません。



6 部活動やクラブ活動

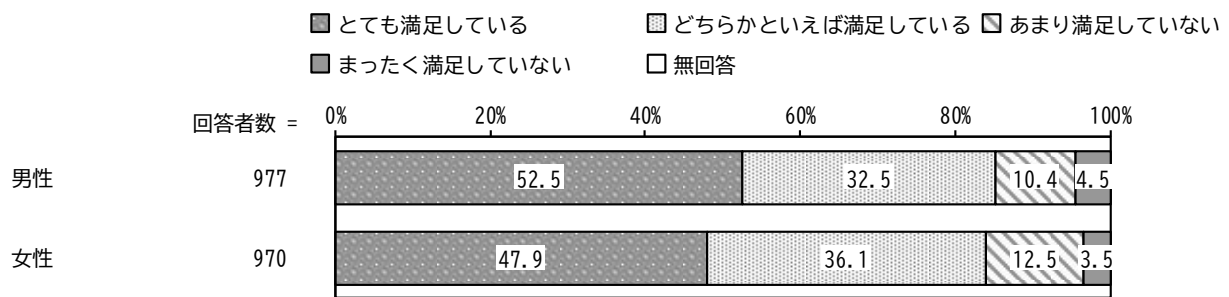
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「とても満足している」の割合が高くなっています。



【性別】

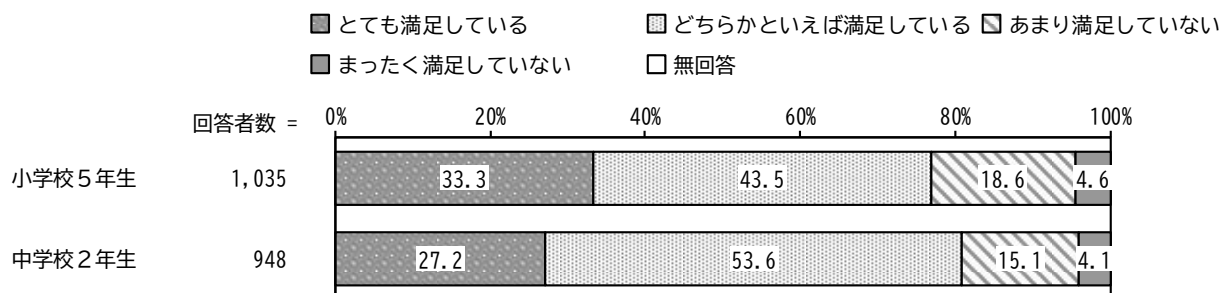
性別にみると、大きな差はみられません。



7 学校のきまりやルール

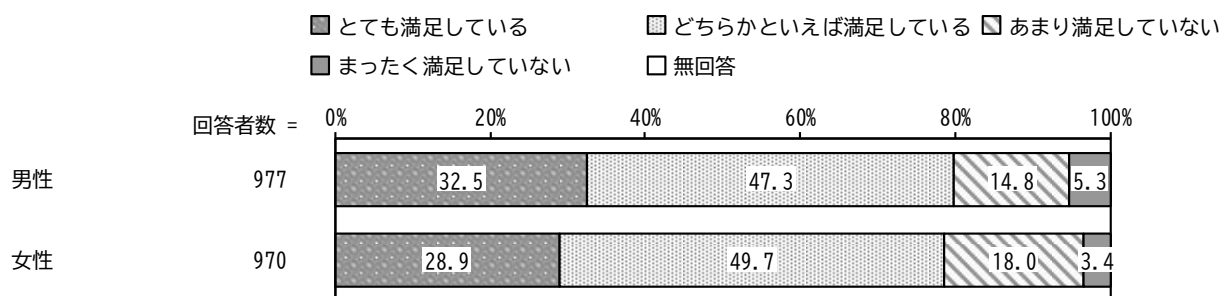
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「とても満足している」の割合が高く、中学校2年生で「どちらかといえば満足している」の割合が高くなっています。



【性別】

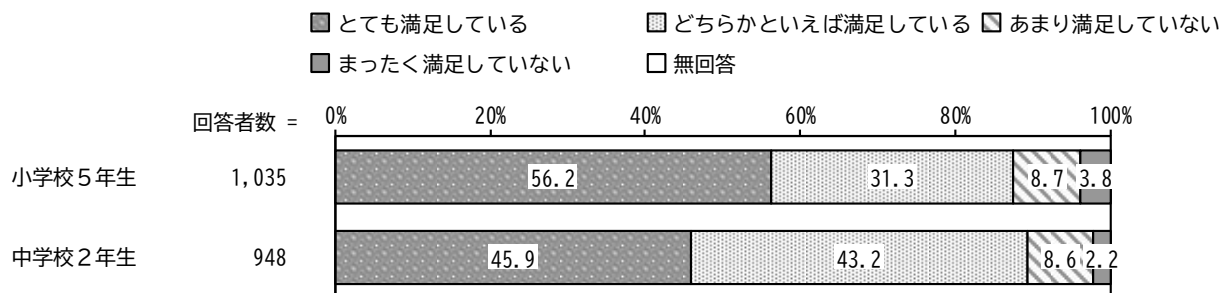
性別にみると、大きな差はみられません。



8 学校給食

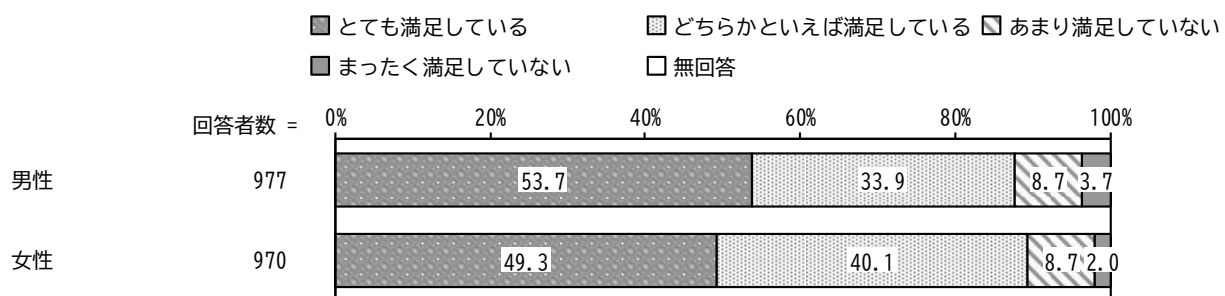
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「とても満足している」の割合が高く、中学校2年生で「どちらかといえば満足している」の割合が高くなっています。



【性別】

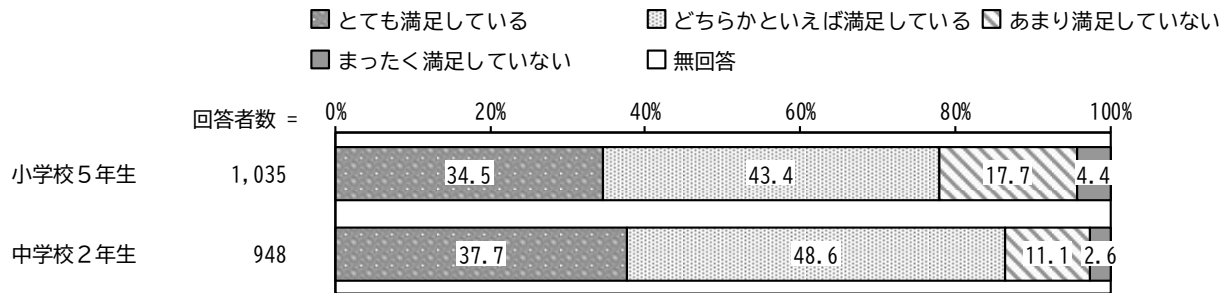
性別にみると、女性で「どちらかといえば満足している」の割合が高くなっています。



9 学校の施設や設備等（教室やトイレなど）

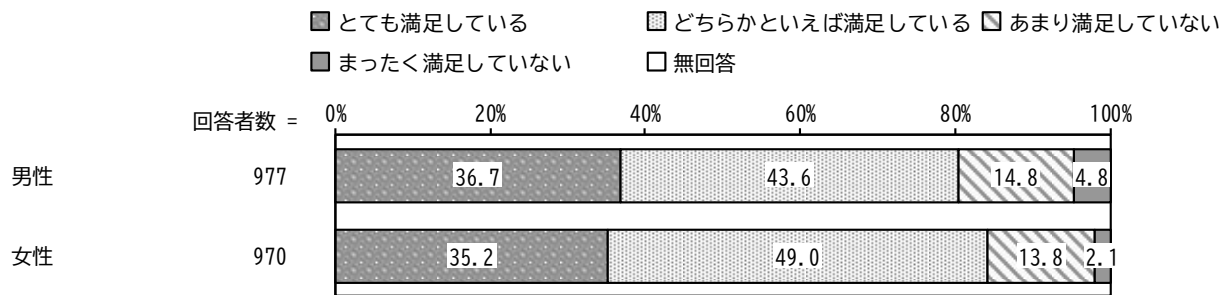
【学年別】

学年別にみると、中学校2年生で“満足している”の割合が高くなっています。



【性別】

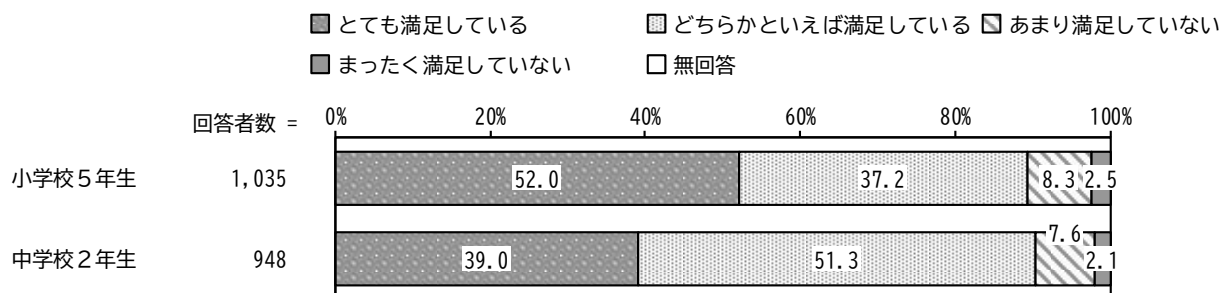
性別にみると、女性で「どちらかといえば満足している」の割合が高くなっています。



10 クラスの係や委員会活動

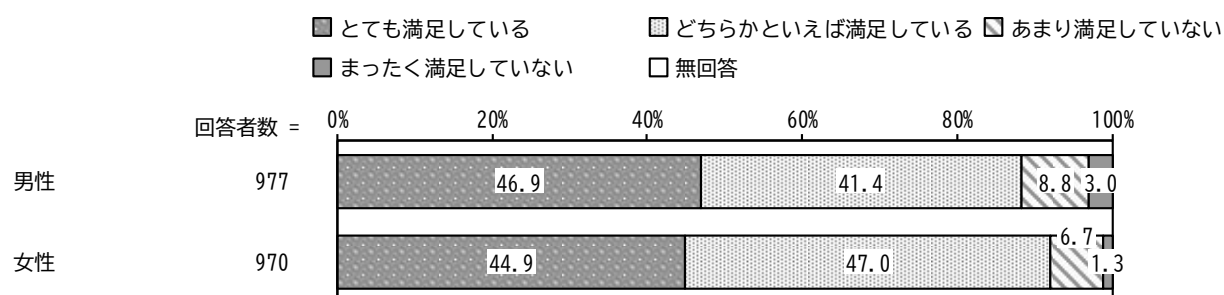
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「とても満足している」の割合が高く、中学校2年生で「どちらかといえば満足している」の割合が高くなっています。



【性別】

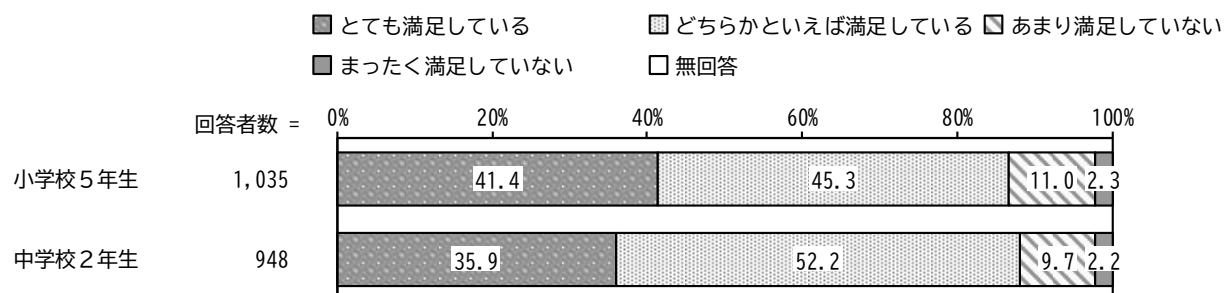
性別にみると、女性で「どちらかといえば満足している」の割合が高くなっています。



11 学校での生活全体について

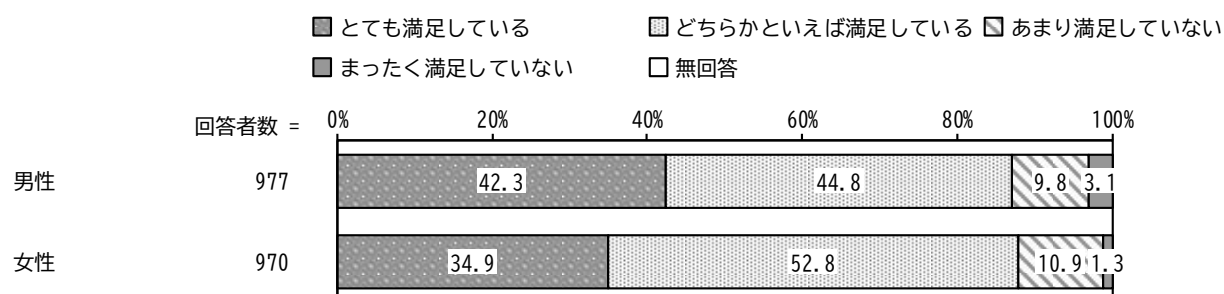
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「とても満足している」の割合が高く、中学校2年生で「どちらかといえば満足している」の割合が高くなっています。



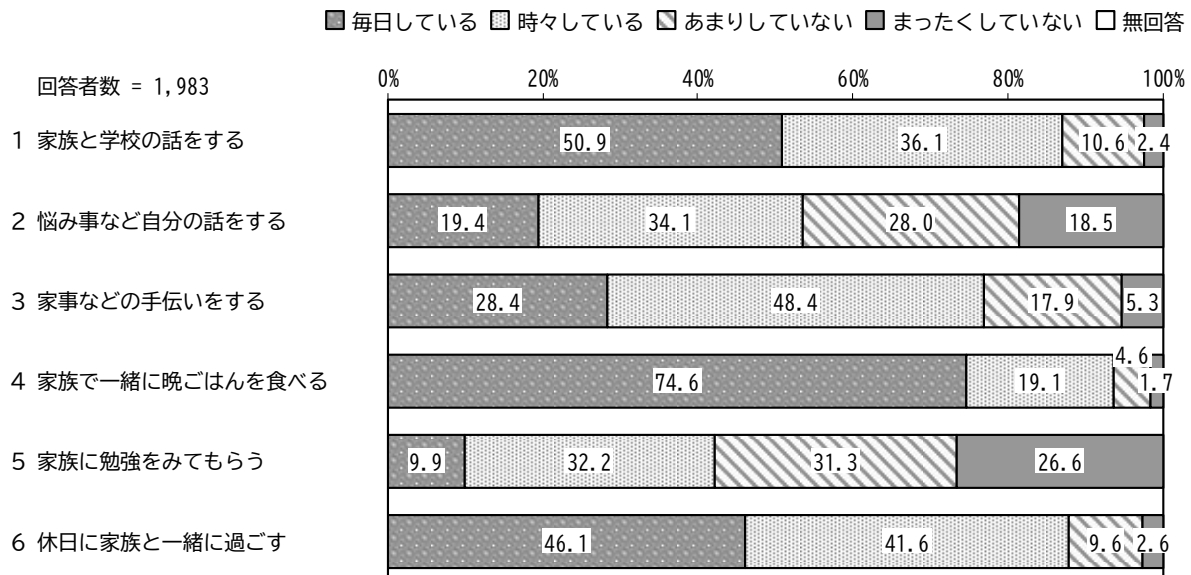
【性別】

性別にみると、男性で「とても満足している」の割合が高く、女性で「どちらかといえば満足している」の割合が高くなっています。



問 18 あなたは、日ごろ、家族とどのように関わっていますか。
以下の項目からあてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。

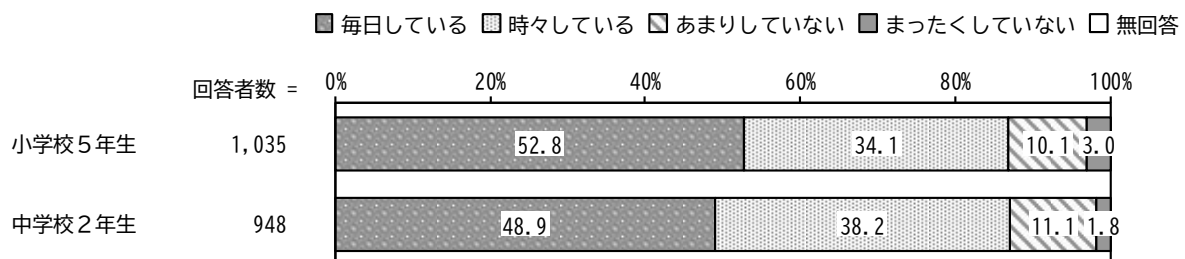
『4 家族と一緒に晩ごはんを食べる』で「毎日している」が、『3 家事などの手伝いをする』で「時々している」が、『5 家族に勉強をみてもらう』で「あまりしていない」「まったくしていない」が高くなっています。



1 家族と学校の話をする

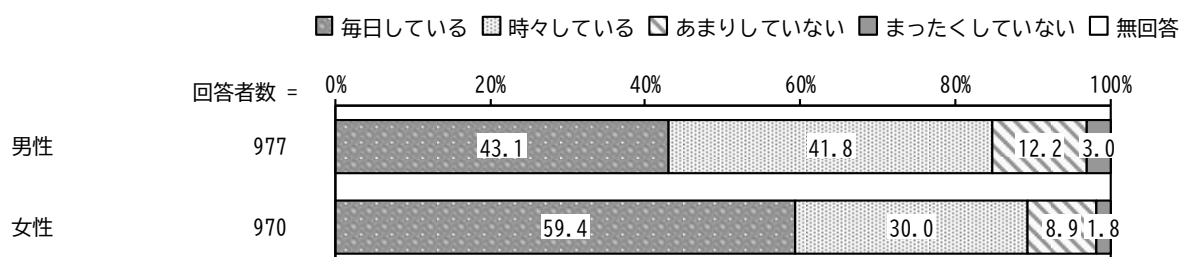
【学年別】

学年別にみると、大きな差はみられません。



【性別】

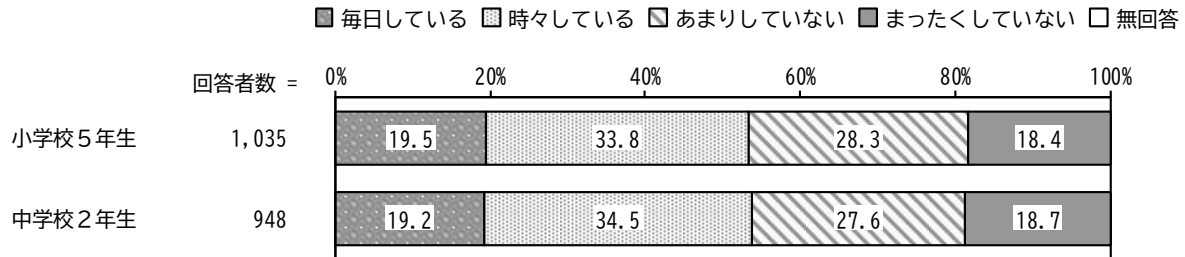
性別にみると、男性で「時々している」の割合が高く、女性で「毎日している」の割合が高くなっています。



2 悩み事など自分の話をする

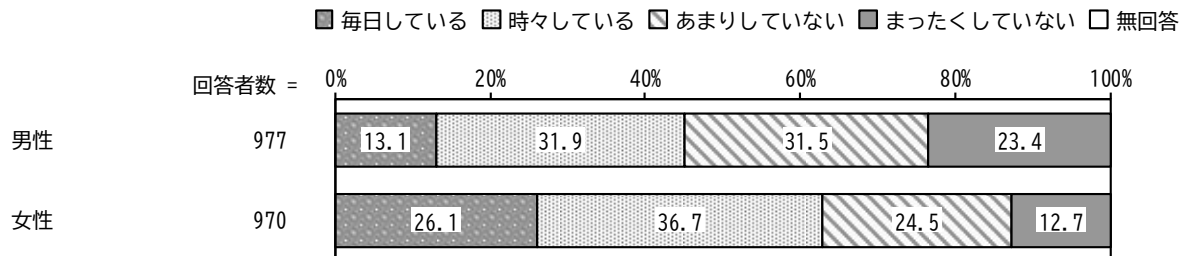
【学年別】

学年別にみると、大きな差はみられません。



【性別】

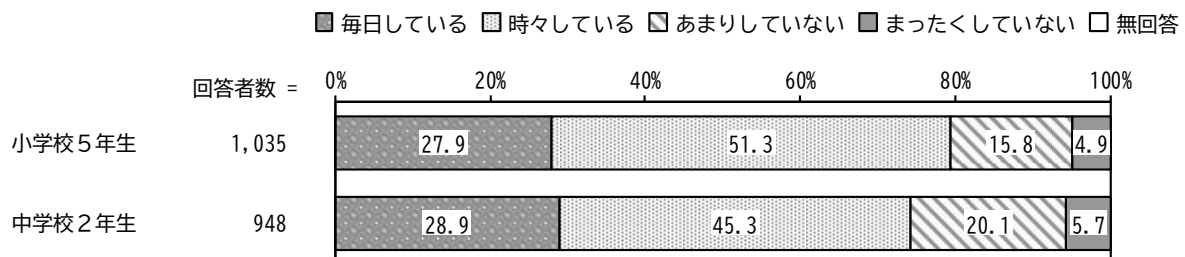
性別にみると、女性で“している”の割合が高くなっています。



3 家事などの手伝いをする

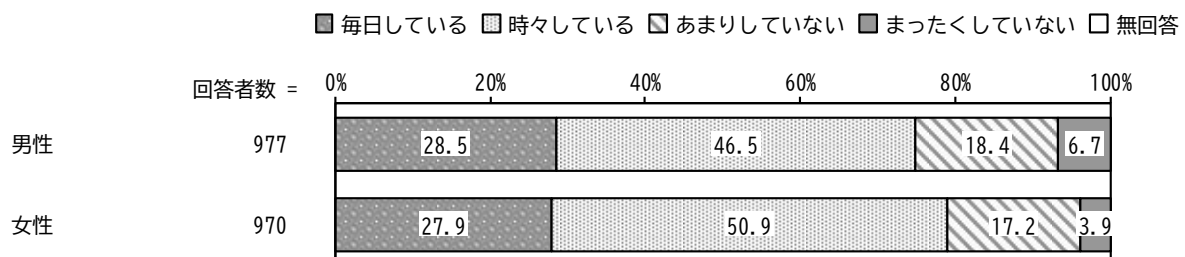
【学年別】

学年別にみると、中学校2年生で“していない”の割合が高くなっています。



【性別】

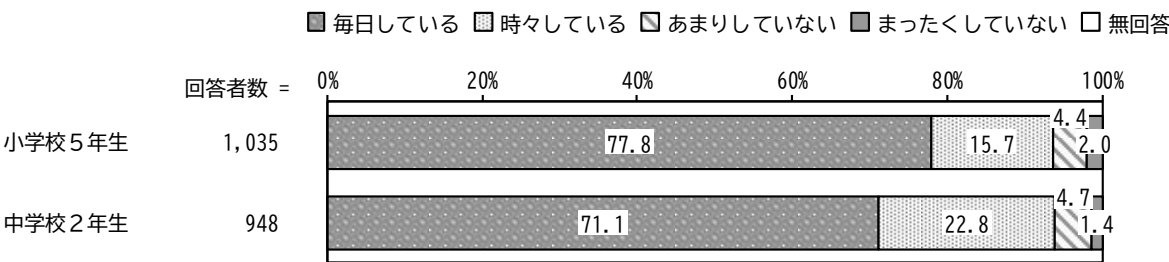
性別にみると、大きな差はみられません。



4 家族と一緒に晩ごはんを食べる

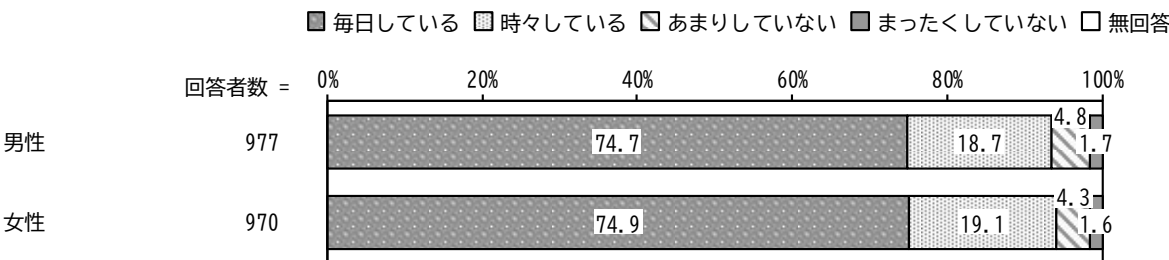
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「毎日している」の割合が高く、中学校2年生で「時々している」の割合が高くなっています。



【性別】

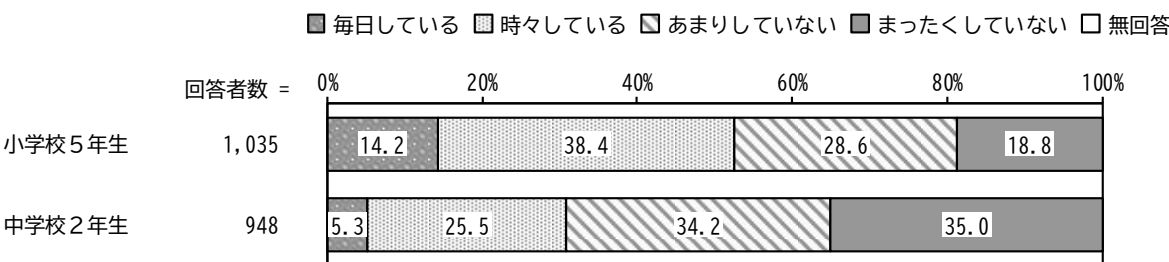
性別にみると、大きな差はみられません。



5 家族に勉強をみてもらう

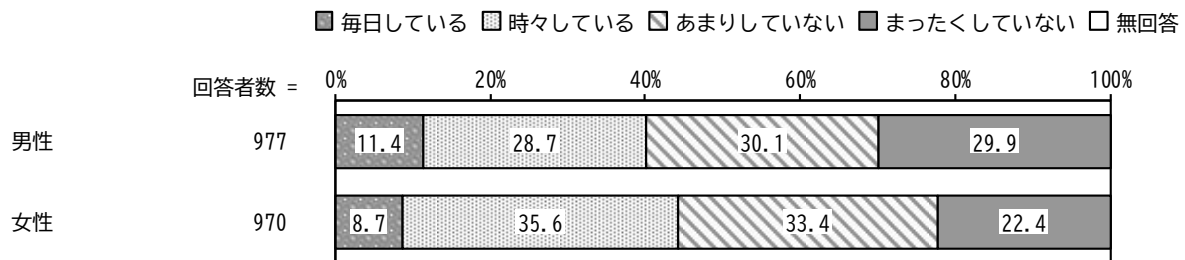
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で“している”の割合が高くなっています。



【性別】

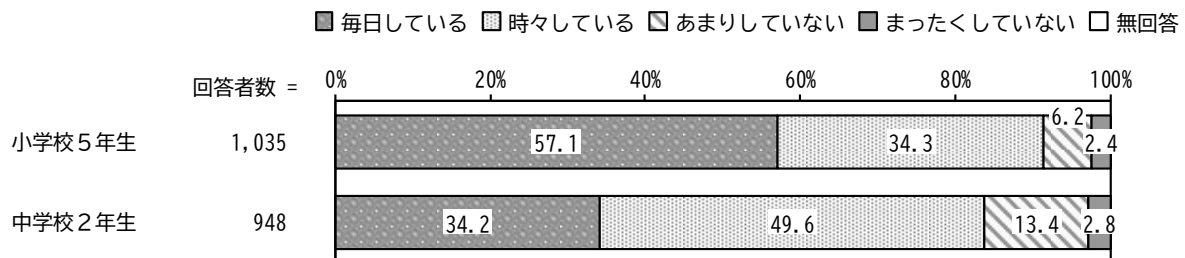
性別にみると、男性で「まったくしていない」の割合が高く、女性で「時々している」の割合が高くなっています。



6 休日に家族と一緒に過ごす

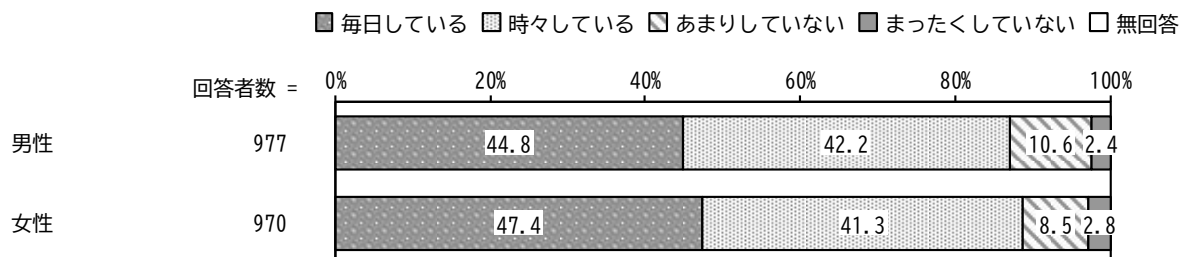
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で“している”の割合が高くなっています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

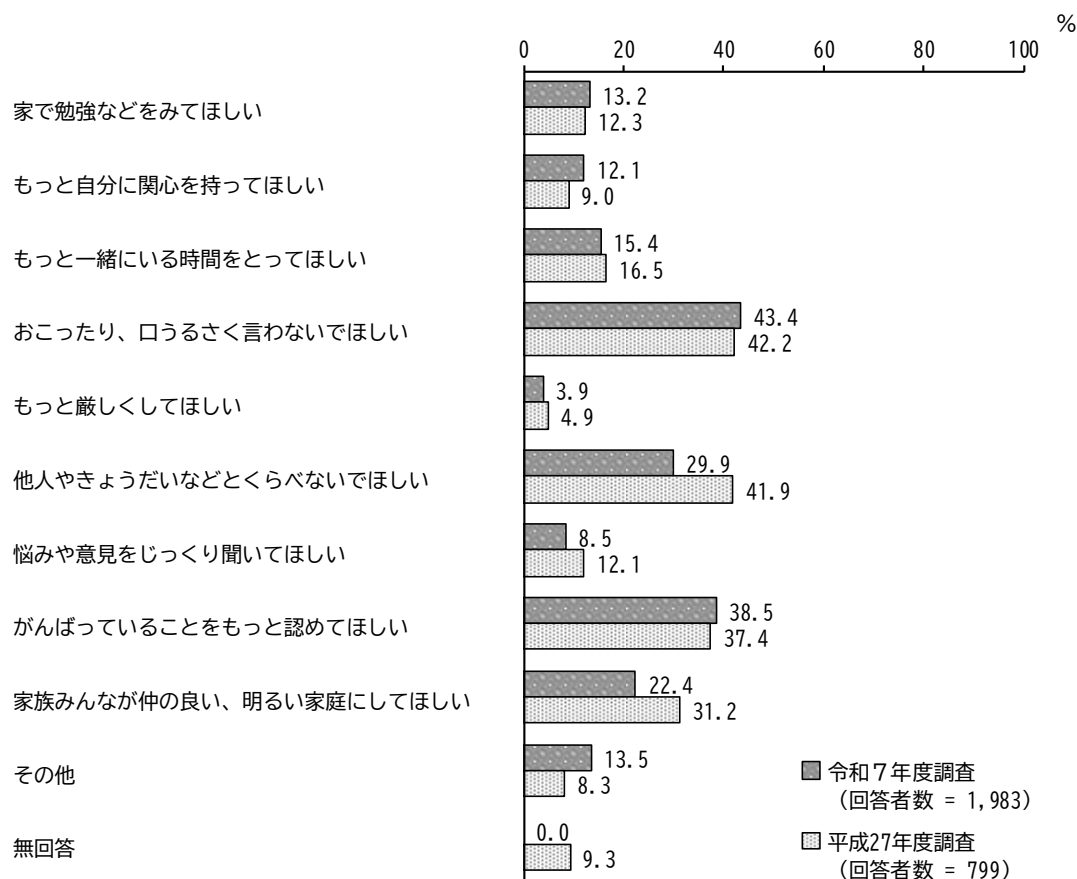


問 19 あなたは、自分の親や家族に対して、どのようなことを望みますか。

以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

「おこったり、口うるさく言わないでほしい」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「がんばっていることをもっと認めてほしい」の割合が 38.5%、「他人やきょうだいなどくらべないでほしい」の割合が 29.9%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「他人やきょうだいなどくらべないでほしい」「家族みんなが仲の良い、明るい家庭にしてほしい」の割合が減少しています。



【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「もっと一緒にいる時間をとってほしい」「家族みんなが仲の良い、明るい家庭にしてほしい」の割合が高く、中学校2年生で「おこったり、口うるさく言わないでほしい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	家で勉強などをみてほしい	もっと自分に関心を持ってほしい	もっと一緒にいる時間をとってほしい	おこったり、口うるさく言わないでほしい	もっと厳しくしてほしい	他人やきょうだいなどくらべないでほしい	悩みや意見をじっくり聞いてほしい	がんばっていることをもっと認めてほしい	家族みんなが仲の良い、明るい家庭にしてほしい	その他	無回答
全 体	1,983	13.2	12.1	15.4	43.4	3.9	29.9	8.5	38.5	22.4	13.5	0.0
小学校5年生	1,035	13.7	13.2	21.9	40.8	3.5	28.9	7.5	36.5	25.7	15.6	0.0
中学校2年生	948	12.7	10.8	8.3	46.2	4.3	31.0	9.5	40.7	18.8	11.2	0.0

【性別】

性別にみると、女性で「もっと一緒にいる時間をとってほしい」「他人やきょうだいなどくらべないでほしい」「がんばっていることをもっと認めてほしい」の割合が高くなっています。

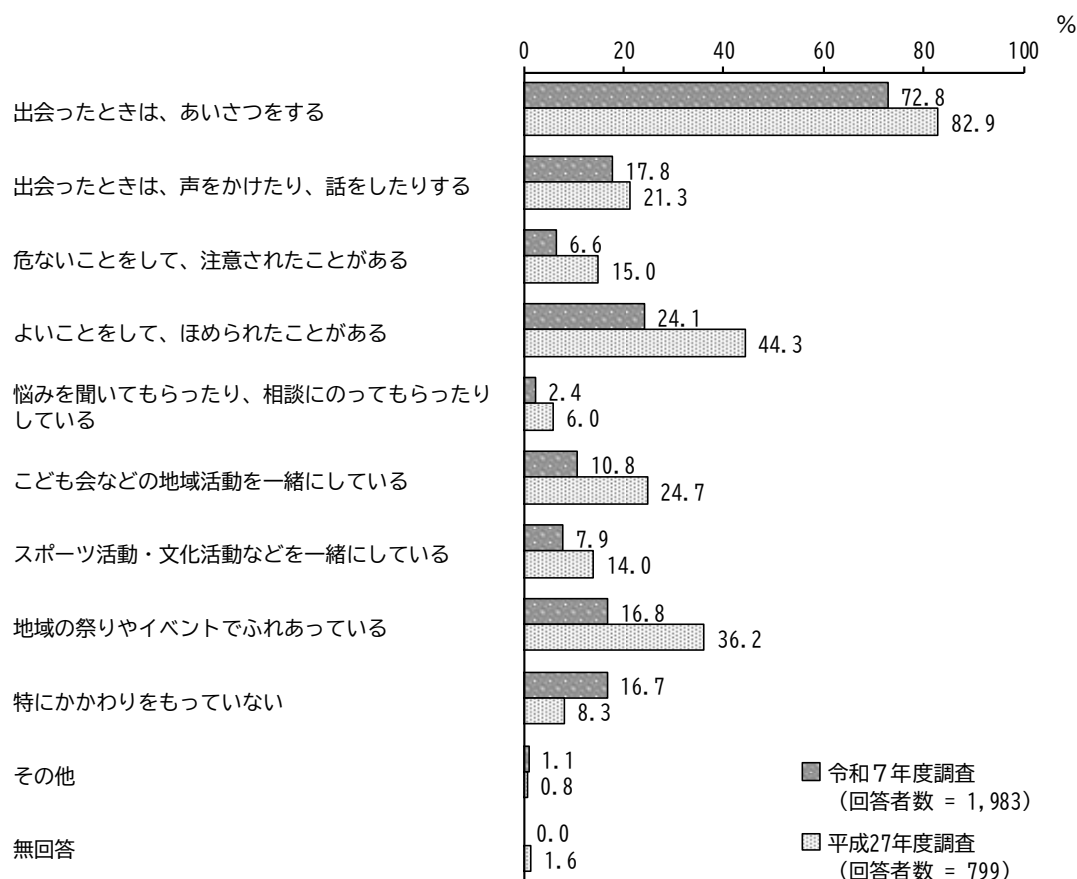
単位：％

区分	回答者数（件）	家で勉強などをみてほしい	もっと自分に関心を持てほしい	もっと一緒にいる時間をとってほしい	おこつたり、口うるさく言わないでほしい	もっと厳しくしてほしい	他人やきょうだいなどくらべないでほしい	悩みや意見をじっくり聞いてほしい	がんばっていることをもっと認めてほしい	家族みんなが仲の良い、明るい家庭にしてほしい	その他	無回答
全 体	1,983	13.2	12.1	15.4	43.4	3.9	29.9	8.5	38.5	22.4	13.5	0.0
男性	977	13.6	12.7	11.9	43.9	5.2	25.7	7.0	35.5	23.0	14.6	0.0
女性	970	12.9	11.1	19.2	42.8	2.5	33.9	10.2	41.8	21.6	12.1	0.0

問 20 あなたは、家族以外の地域の大人と、どのように関わっていますか。
以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「出会ったときは、あいさつをする」の割合が 72.8%と最も高く、次いで「よいことをして、ほめられたことがある」の割合が 24.1%、「出会ったときは、声をかけたり、話をしたりする」の割合が 17.8%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「出会ったときは、あいさつをする」「危ないことをして、注意されたことがある」「よいことをして、ほめられたことがある」「こども会などの地域活動を一緒にしている」「スポーツ活動・文化活動などを一緒にしている」「地域の祭りやイベントでふれあっている」の割合が減少しています。



※平成 27 年度調査では、「無回答」が「不明・無回答」となっていました。

【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「出会ったときは、声をかけたり、話をしたりする」「よいことをして、ほめられたことがある」「こども会などの地域活動を一緒にしている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	出会ったときは、あいさつをする	出会ったときは、声をかけたり、話をしたりする	危ないことをして、注意されたことがある	よいことをして、ほめられたことがある	悩みを聞いてもらったり、相談にのってもらったりしている	こども会などの地域活動を一緒にしている	スポーツ活動・文化活動などを一緒にしている	地域の祭りやイベントでふれあっている	特にかかわりをもっていない	その他	無回答
全 体	1,983	72.8	17.8	6.6	24.1	2.4	10.8	7.9	16.8	16.7	1.1	0.0
小学校5年生	1,035	73.6	21.3	8.3	28.5	3.0	15.1	9.0	19.0	14.1	1.3	0.0
中学校2年生	948	71.9	13.9	4.6	19.2	1.7	6.2	6.6	14.3	19.5	0.9	0.0

【性別】

性別にみると、男性で「危ないことをして、注意されたことがある」「スポーツ活動・文化活動などを一緒にしている」の割合が高くなっています。

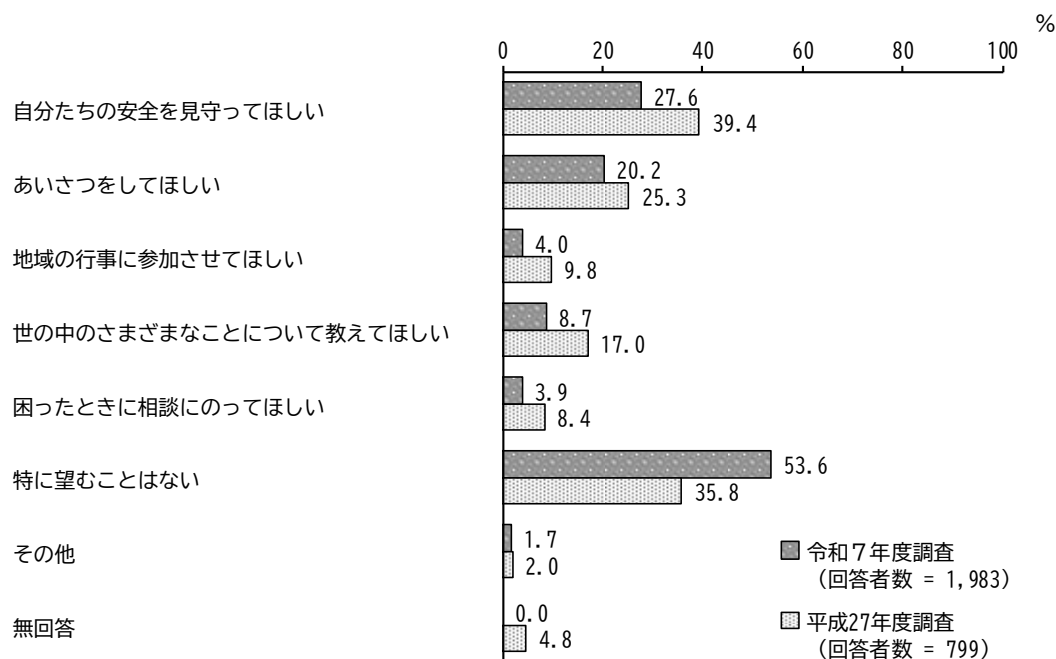
単位：％

区分	回答者数(件)	出会ったときは、あいさつをする	出会ったときは、声をかけたり、話をしたりする	危ないことをして、注意されたことがある	よいことをして、ほめられたことがある	悩みを聞いてもらったり、相談にのってもらったりしている	こども会などの地域活動を一緒にしている	スポーツ活動・文化活動などを一緒にしている	地域の祭りやイベントでふれあっている	特にかかわりをもっていない	その他	無回答
全 体	1,983	72.8	17.8	6.6	24.1	2.4	10.8	7.9	16.8	16.7	1.1	0.0
男性	977	70.8	19.2	9.4	24.0	3.3	10.1	11.2	15.8	17.5	0.8	0.0
女性	970	74.9	15.9	3.7	24.0	1.4	11.2	4.3	17.5	15.7	1.4	0.0

問 21 あなたの住んでいる地域の大人に望むことは何ですか。
以下の設問からあてはまるものを2つまで選んでください。

「自分たちの安全を見守ってほしい」の割合が27.6%と最も高く、次いで「あいさつをしてほしい」の割合が20.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「自分たちの安全を見守ってほしい」「あいさつをしてほしい」「地域の行事に参加させてほしい」「世の中のさまざまなことについて教えてほしい」の割合が減少しています。



※平成27年度調査では、「無回答」が「不明・無回答」となっていました。

【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「自分たちの安全を見守ってほしい」「世の中のさまざまなことについて教えてほしい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	自分たちの安全を見守ってほしい	あいさつをしてほしい	地域の行事に参加させてほしい	世の中のさまざまなことについて教えてほしい	困ったときに相談にのってほしい	特に望むことはない	その他	無回答
全 体	1,983	27.6	20.2	4.0	8.7	3.9	53.6	1.7	0.0
小学校5年生	1,035	31.9	19.0	4.6	11.6	5.4	49.1	2.2	0.0
中学校2年生	948	22.9	21.5	3.4	5.5	2.3	58.5	1.1	0.0

【性別】

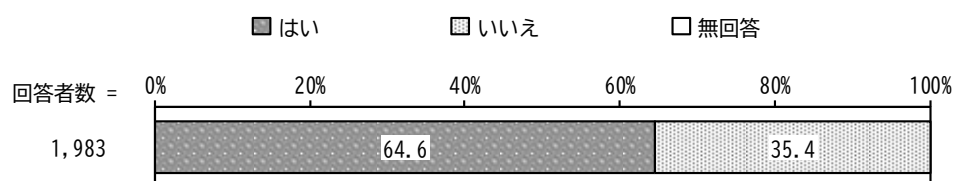
性別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	自分たちの安全を見守ってほしい	あいさつをしてほしい	地域の行事に参加させてほしい	世の中のさまざまなことについて教えてほしい	困ったときに相談にのってほしい	特に望むことはない	その他	無回答
全 体	1,983	27.6	20.2	4.0	8.7	3.9	53.6	1.7	0.0
男性	977	28.9	22.0	4.1	9.3	4.6	50.9	2.3	0.0
女性	970	26.6	18.8	3.9	8.2	3.2	55.7	1.1	0.0

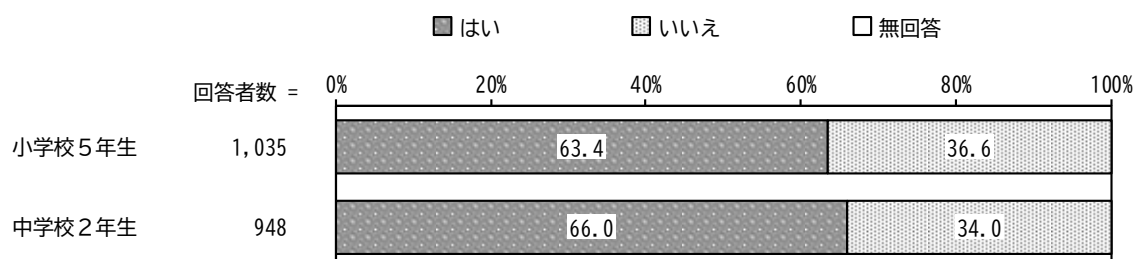
問 22 あなたは小牧市立の図書館（学校の図書室を除く）を利用することがありますか。
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「はい」の割合が64.6%、「いいえ」の割合が35.4%となっています。



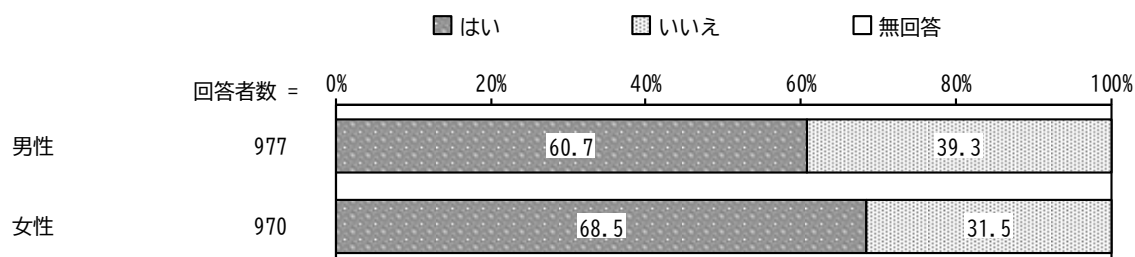
【学年別】

学年別にみると、大きな差はみられません。



【性別】

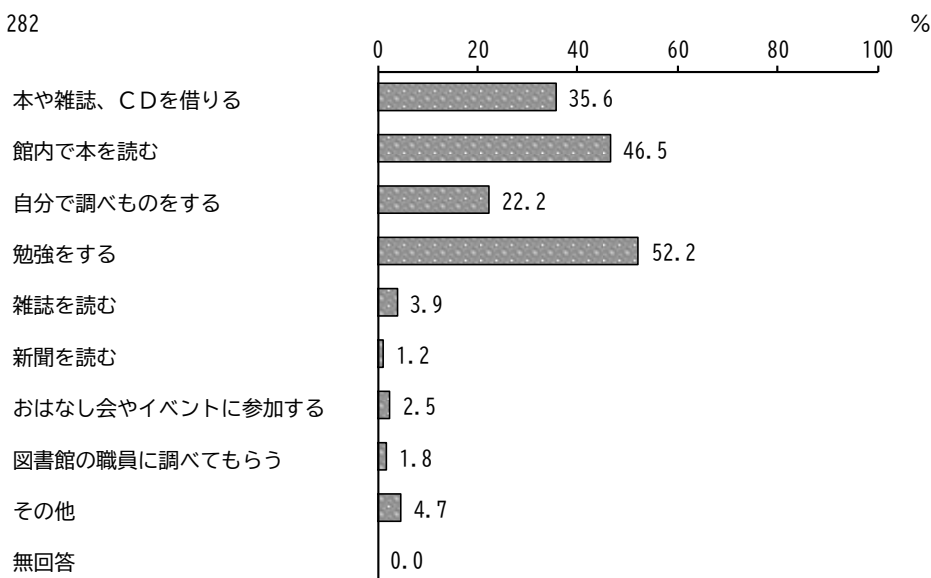
性別にみると、女性で「はい」の割合が高くなっています。



問 23 【質問 22 で「はい」と答えた方】小牧市立の図書館で何をしますか。
以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「勉強をする」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「館内で本を読む」の割合が 46.5%、「本や雑誌、CDを借りる」の割合が 35.6%となっています。

回答者数 = 1,282



【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「本や雑誌、CDを借りる」「館内で本を読む」「自分で調べものをする」の割合が高く、中学校2年生で「勉強をする」の割合が高くなっています。

単位：%

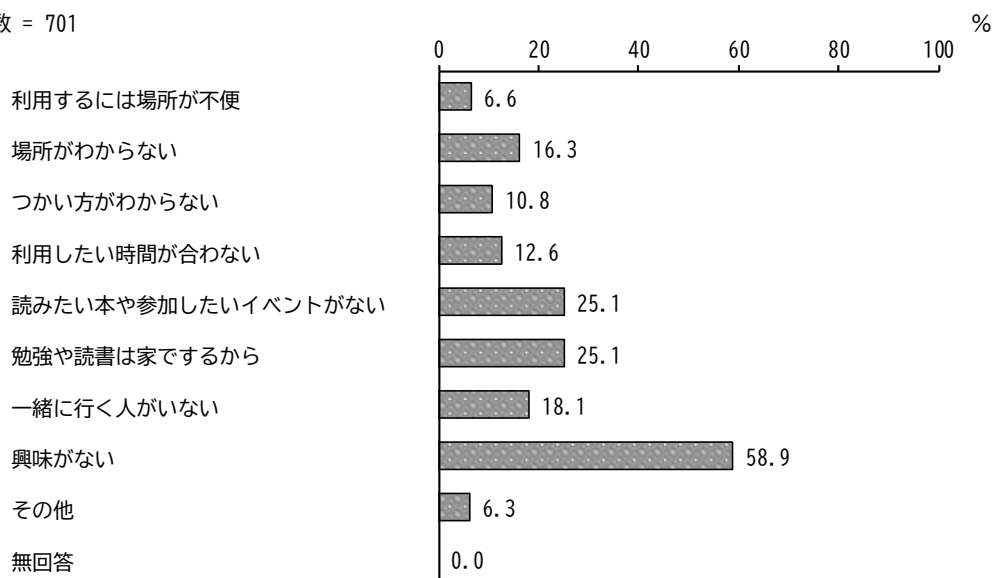
区分	回答者数 (件)	本や雑誌、 CDを借 りる	館内 で本を 読む	自 分 で 調 べ も の を す る	勉 強 を す る	雑 誌 を 読 む	新 聞 を 読 む	お は な し 会 や イ ベ ン ト に 参 加 す る	図 書 館 の 職 員 に 調 べ て も う つ	そ の 他	無 回 答
全 体	1,282	35.6	46.5	22.2	52.2	3.9	1.2	2.5	1.8	4.7	0.0
小学校5年生	656	45.3	61.7	32.0	29.1	4.0	1.5	3.7	2.9	7.3	0.0
中学校2年生	626	25.4	30.5	12.0	76.4	3.8	0.8	1.3	0.6	1.9	0.0

問 24 【質問 22 で「いいえ」と答えた方】なぜ利用しないのですか。

以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「興味がない」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「読みたい本や参加したいイベントがない」、「勉強や読書は家でするから」の割合が 25.1%となっています。

回答者数 = 701



【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「場所がわからない」「読みたい本や参加したいイベントがない」「一緒に行く人がいない」の割合が高く、中学校2年生で「勉強や読書は家でするから」の割合が高くなっています。

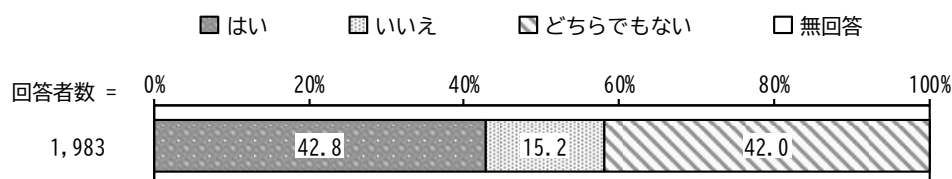
単位：%

区分	回答者数(件)	利用するには場所が不便	場所がわからない	つかい方がわからない	利用したい時間が合わない	読みたい本や参加したいイベントがない	勉強や読書は家でするから	一緒に行く人がいない	興味がない	その他	無回答
全 体	701	6.6	16.3	10.8	12.6	25.1	25.1	18.1	58.9	6.3	0.0
小学校5年生	379	5.5	20.1	11.9	14.5	27.7	21.4	20.6	58.0	6.9	0.0
中学校2年生	322	7.8	11.8	9.6	10.2	22.0	29.5	15.2	59.9	5.6	0.0

問 25 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

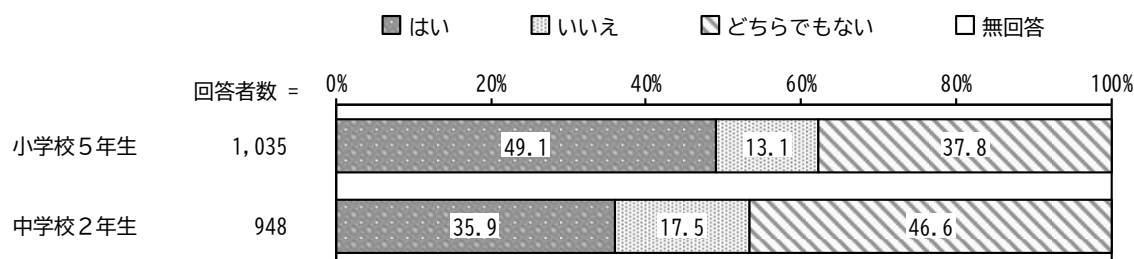
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「はい」の割合が 42.8%、「いいえ」の割合が 15.2%となっています。



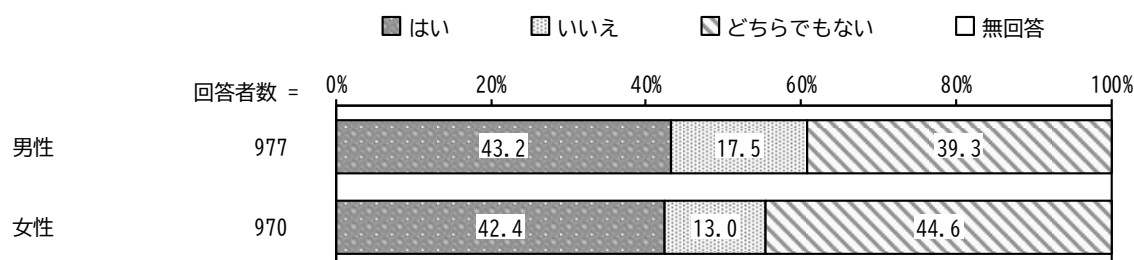
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「はい」の割合が高くなっています。



【性別】

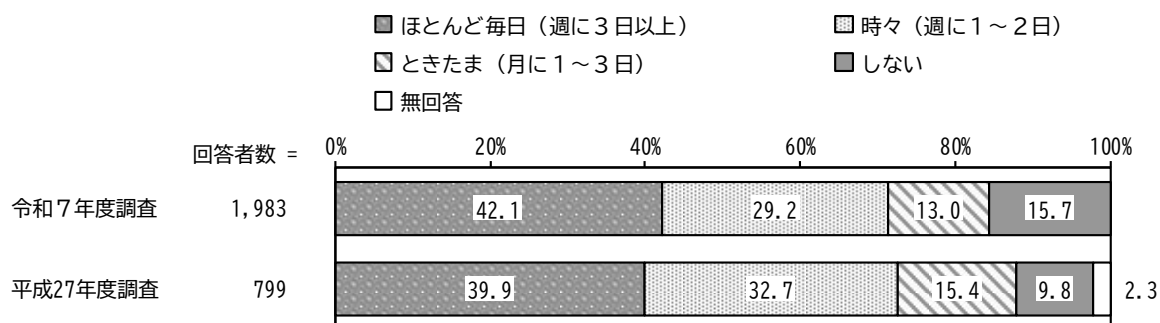
性別にみると、大きな差はみられません。



問 26 あなたは、体を使った遊びや運動、スポーツをどのくらいしていますか。（体育の授業や部活動など、学校での活動をのぞきます。）
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

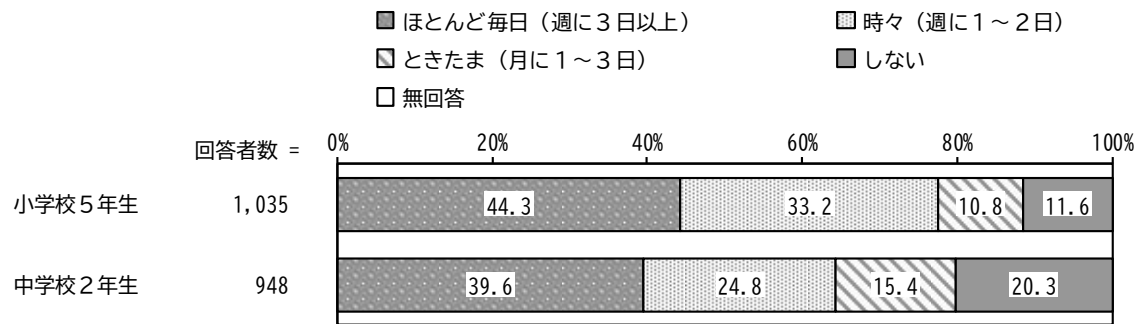
「ほとんど毎日（週に3日以上）」の割合が42.1%、「時々（週に1～2日）」の割合が29.2%、「ときたま（月に1～3日）」の割合が13.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



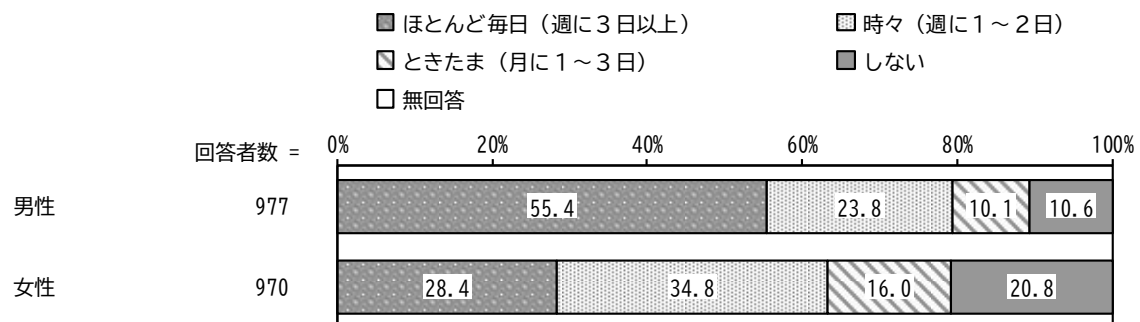
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「時々（週に1～2日）」の割合が高くなっています。



【性別】

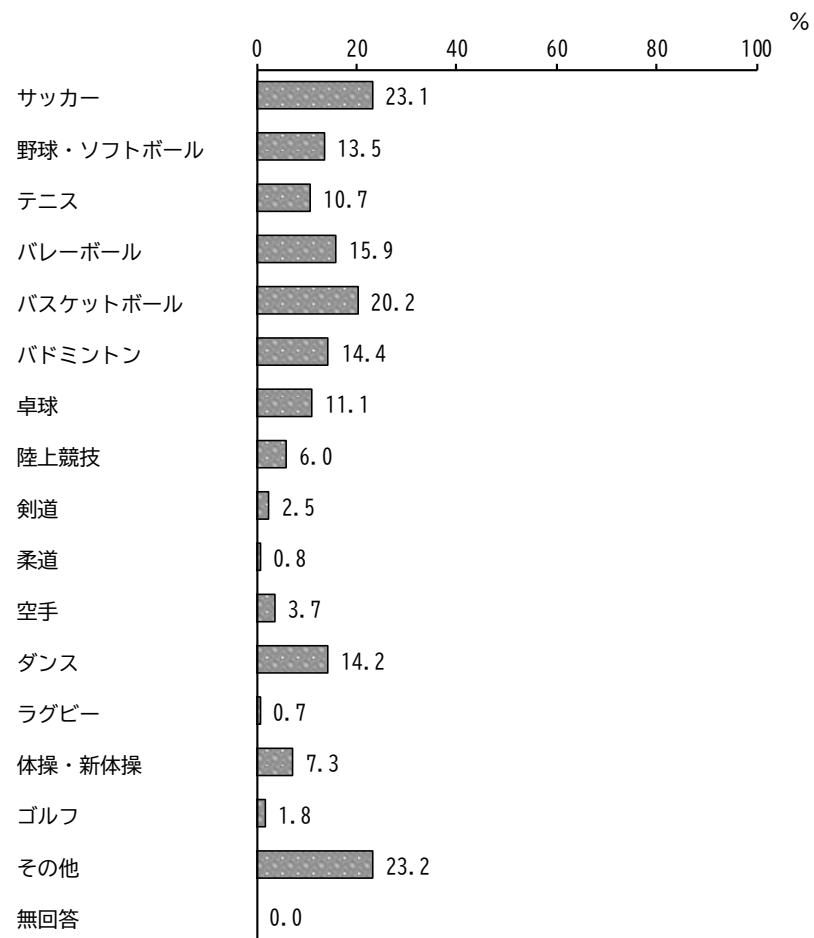
性別にみると、男性で「ほとんど毎日（週に3日以上）」の割合が高く、女性で「時々（週に1～2日）」と「ときたま（月に1～3日）」の割合が高くなっています。



問 27 【質問 26 で「しない」と答えた方以外】 次のうち、どのような運動やスポーツをしていますか。以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「サッカー」の割合が 23.1%と最も高く、次いで「バスケットボール」の割合が 20.2%、「バレーボール」の割合が 15.9%となっています。

回答者数 = 1,671



【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「サッカー」「バスケットボール」「ダンス」「体操・新体操」の割合が高く、中学校2年生で「バレーボール」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	サッカー	野球・ソフトボール	テニス	バレーボール	バスケットボール	バドミントン	卓球	陸上競技
全 体	1,671	23.1	13.5	10.7	15.9	20.2	14.4	11.1	6.0
小学校5年生	915	27.8	12.1	8.5	11.3	22.8	16.3	11.9	6.7
中学校2年生	756	17.5	15.2	13.2	21.6	17.1	12.2	10.2	5.3

区分	剣道	柔道	空手	ダンス	ラグビー	体操・新体操	ゴルフ	その他	無回答
全 体	2.5	0.8	3.7	14.2	0.7	7.3	1.8	23.2	0.0
小学校5年生	2.3	1.0	4.7	17.4	0.8	10.4	2.2	30.4	0.0
中学校2年生	2.8	0.7	2.5	10.3	0.5	3.6	1.3	14.6	0.0

【性別】

性別にみると、男性で「サッカー」「野球・ソフトボール」の割合が高く、女性で「バドミントン」「ダンス」の割合が高くなっています。

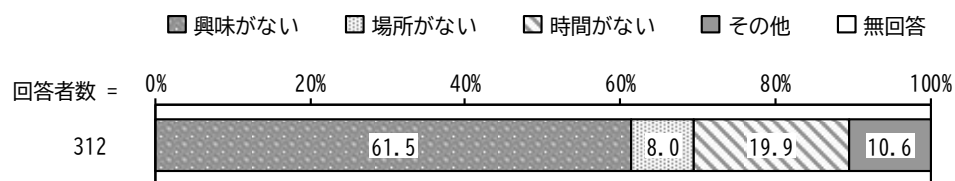
単位：％

区分	回答者数 (件)	サッカー	野球・ソフトボール	テニス	バレーボール	バスケットボール	バドミントン	卓球	陸上競技
全 体	1,671	23.1	13.5	10.7	15.9	20.2	14.4	11.1	6.0
男性	873	36.5	20.2	10.9	14.9	21.4	10.4	11.3	7.4
女性	768	8.1	6.3	10.5	17.2	18.8	19.3	10.9	4.6

区分	剣道	柔道	空手	ダンス	ラグビー	体操・新体操	ゴルフ	その他	無回答
全 体	2.5	0.8	3.7	14.2	0.7	7.3	1.8	23.2	0.0
男性	3.3	0.9	5.0	2.5	1.1	5.5	1.7	20.2	0.0
女性	1.2	0.5	2.0	27.5	0.1	9.1	1.8	26.2	0.0

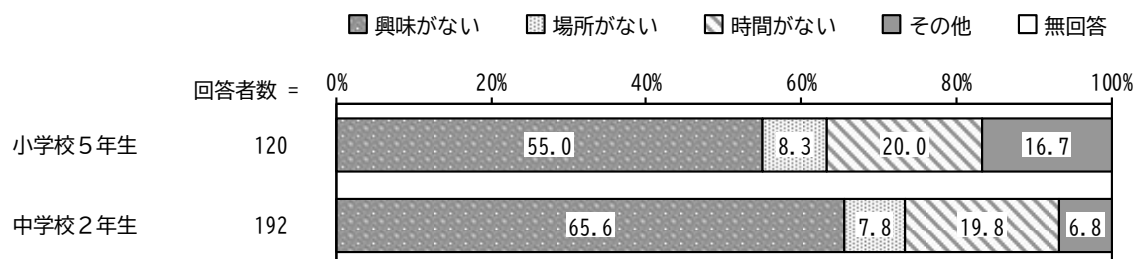
問 28 【質問 26 で「しない」と答えた方】それはなぜですか。
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「興味がない」の割合が 61.5%、「場所がない」の割合が 8.0%、「時間がない」の割合が 19.9%となっています。



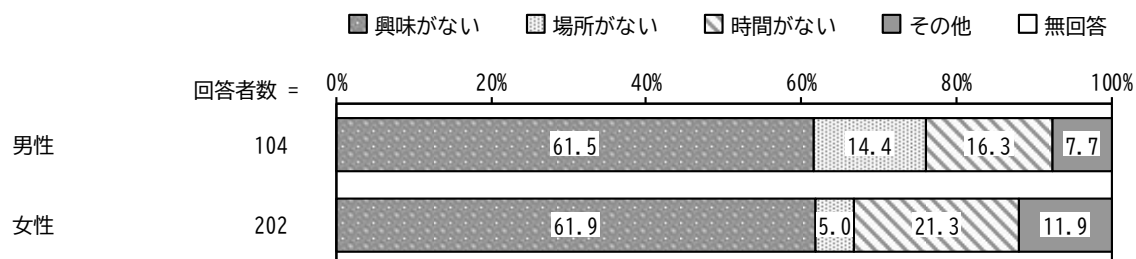
【学年別】

学年別にみると、中学校2年生で「興味がない」の割合が高くなっています。



【性別】

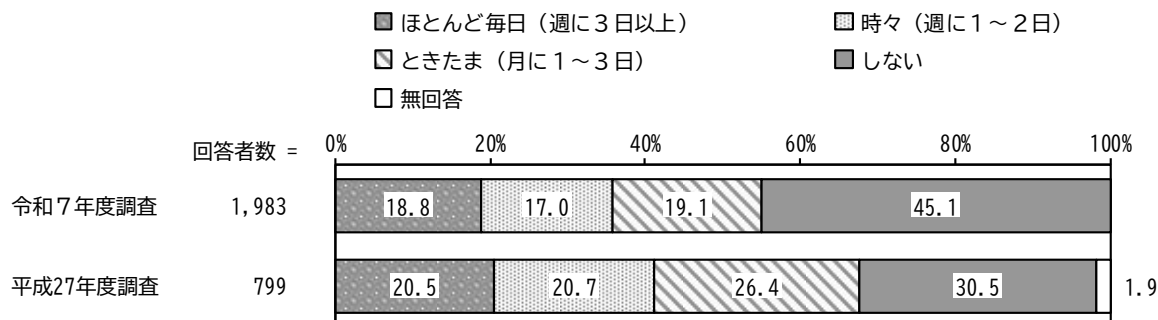
性別にみると、男性で「場所がない」の割合が高く、女性で「時間がない」の割合が高くなっています。



問 29 あなたは、文化活動（音楽・絵画の創作や鑑賞など）をどのくらいしていますか。（音楽の授業や部活動など、学校での活動をのぞきます。）
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

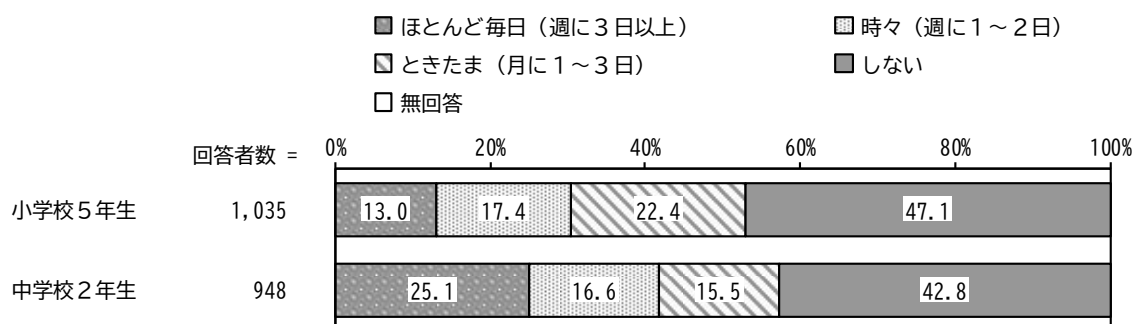
「しない」の割合が45.1%と最も高く、次いで「ときたま（月に1～3日）」の割合が19.1%、「ほとんど毎日（週に3日以上）」の割合が18.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「しない」の割合が増加しています。一方、「ときたま（月に1～3日）」の割合が減少しています。



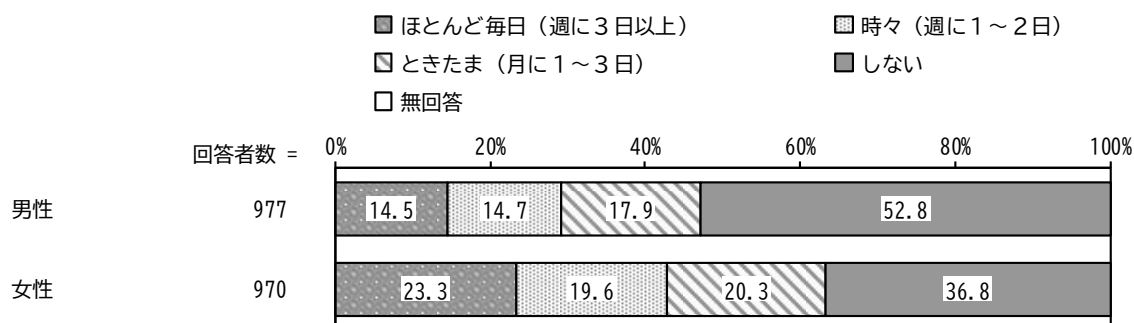
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「ときたま（月に1～3日）」の割合が高く、中学校2年生で「ほとんど毎日（週に3日以上）」の割合が高くなっています。



【性別】

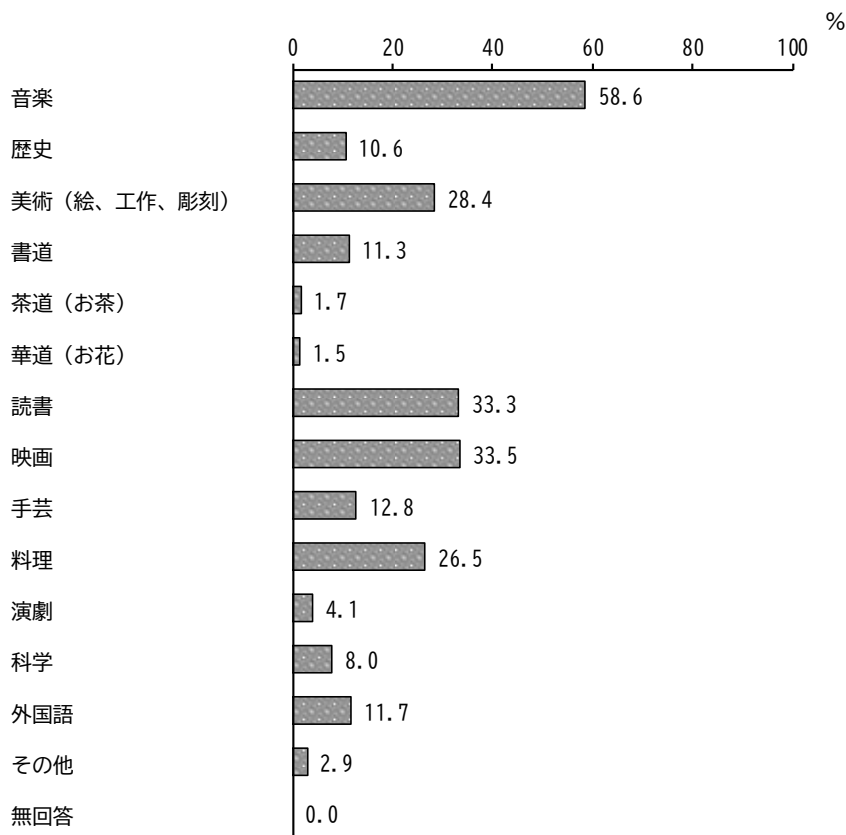
性別にみると、男性で「しない」の割合が高く、女性で「ほとんど毎日（週に3日以上）」の割合が高くなっています。



問 30 【質問 29 で「しない」と答えた方以外】次のうち、どのような文化活動をしていますか。以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「音楽」の割合が 58.6%と最も高く、次いで「映画」の割合が 33.5%、「読書」の割合が 33.3%となっています。

回答者数 = 1,089



【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「歴史」「書道」「読書」「手芸」「料理」「科学」「外国語」の割合が高く、中学校2年生で「音楽」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	音楽	歴史	美術 (絵、 工作、 彫刻)	書道	茶道 (お茶)	華道 (お花)	読書	映画	手芸	料理	演劇	科学	外国語	その他	無回答
全 体	1,089	58.6	10.6	28.4	11.3	1.7	1.5	33.3	33.5	12.8	26.5	4.1	8.0	11.7	2.9	0.0
小学校5年生	547	49.7	14.1	29.4	14.8	2.4	2.6	37.3	31.1	15.9	31.3	5.5	11.0	14.6	3.7	0.0
中学校2年生	542	67.5	7.0	27.3	7.7	1.1	0.4	29.3	36.0	9.6	21.8	2.8	5.0	8.7	2.2	0.0

【性別】

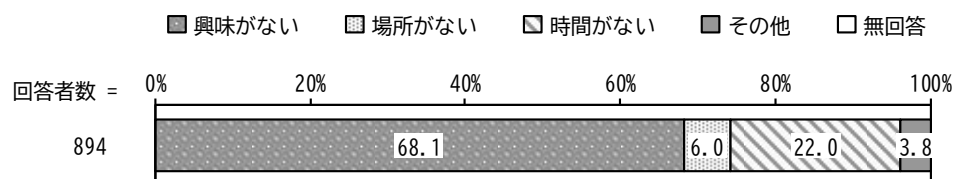
性別にみると、男性で「歴史」「科学」の割合が高く、女性で「音楽」「美術（絵、工作、彫刻）」「読書」「手芸」「料理」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	音楽	歴史	美術 (絵、 工作、 彫刻)	書道	茶道 (お茶)	華道 (お花)	読書	映画	手芸	料理	演劇	科学	外国語	その他	無回答
全 体	1,089	58.6	10.6	28.4	11.3	1.7	1.5	33.3	33.5	12.8	26.5	4.1	8.0	11.7	2.9	0.0
男性	461	52.9	16.1	16.9	10.0	1.7	2.0	27.8	34.9	4.8	20.6	3.5	14.8	11.9	3.9	0.0
女性	613	62.3	6.2	37.2	12.6	1.6	1.0	37.4	32.5	18.6	31.2	4.2	2.9	11.3	2.0	0.0

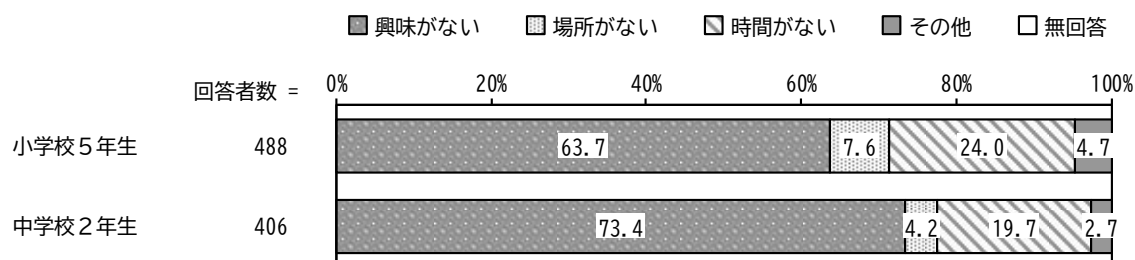
問 31 【質問 29 で「しない」と答えた方】それはなぜですか。
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「興味がない」の割合が 68.1%、「場所がない」の割合が 6.0%、「時間がない」の割合が 22.0%となっています。



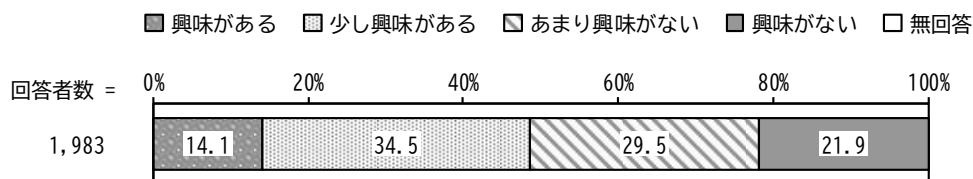
【学年別】

学年別にみると、中学校2年生で「興味がない」の割合が高くなっています。



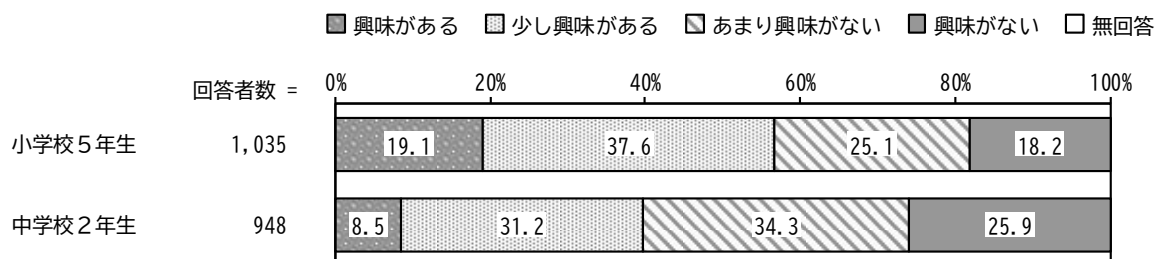
問 32 あなたは、小牧市の歴史や文化に興味がありますか。
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「興味がある」「少し興味がある」を合わせた“興味がある”の割合が48.6%、「あまり興味がない」「興味がない」を合わせた“興味がない”の割合が51.4%となっています。



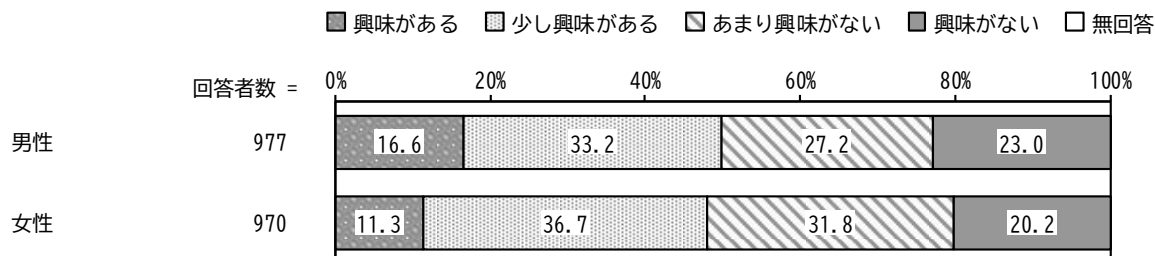
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で“興味がある”の割合が高くなっています。



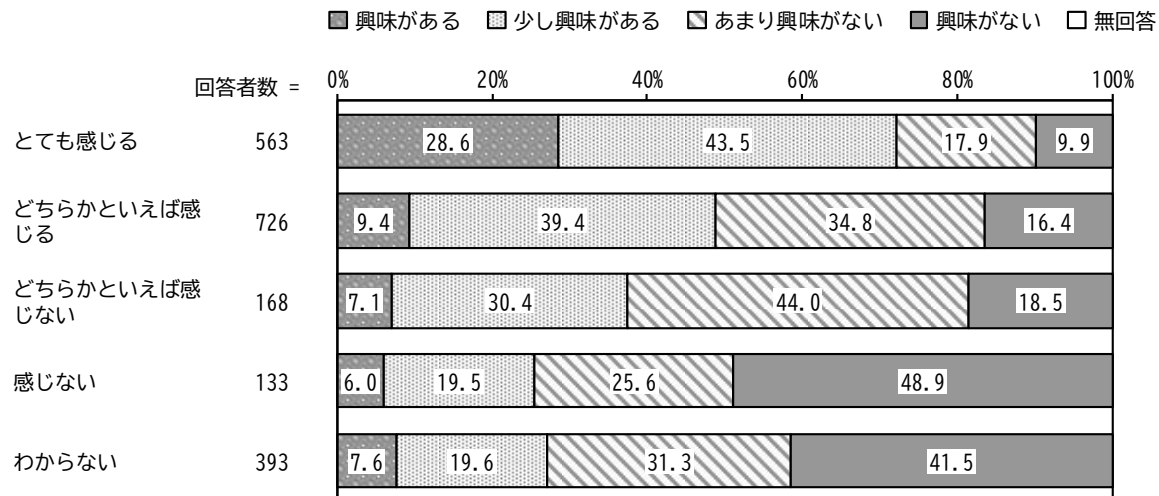
【性別】

性別にみると、男性で「興味がある」の割合が高くなっています。



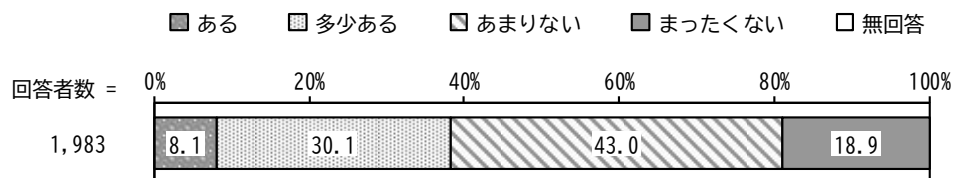
【ふるさと意識別】

ふるさと意識別にみると、とても感じるで“興味がある”、感じないで“興味がない”の割合が高くなっています。



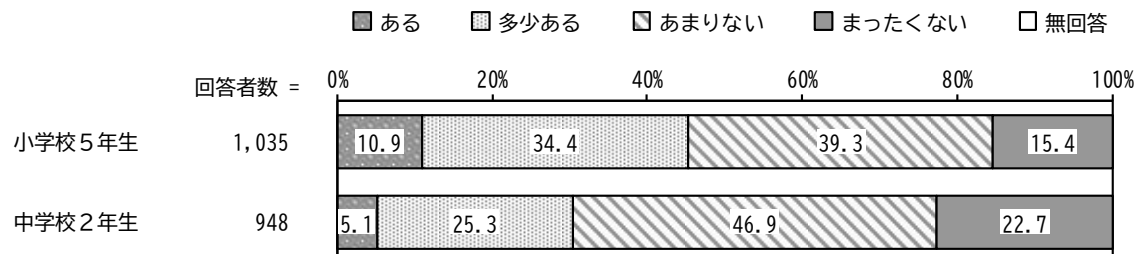
問 33 あなたは、小牧市の歴史や文化に触れる機会がありますか。
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「ある」「多少ある」を合わせた“ある”の割合が38.2%、「あまりない」「まったくない」を合わせた“ない”の割合が61.9%となっています。



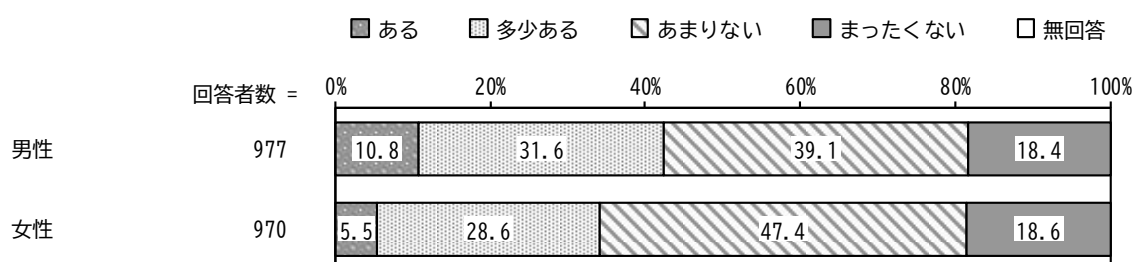
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で“ある”の割合が高くなっています。



【性別】

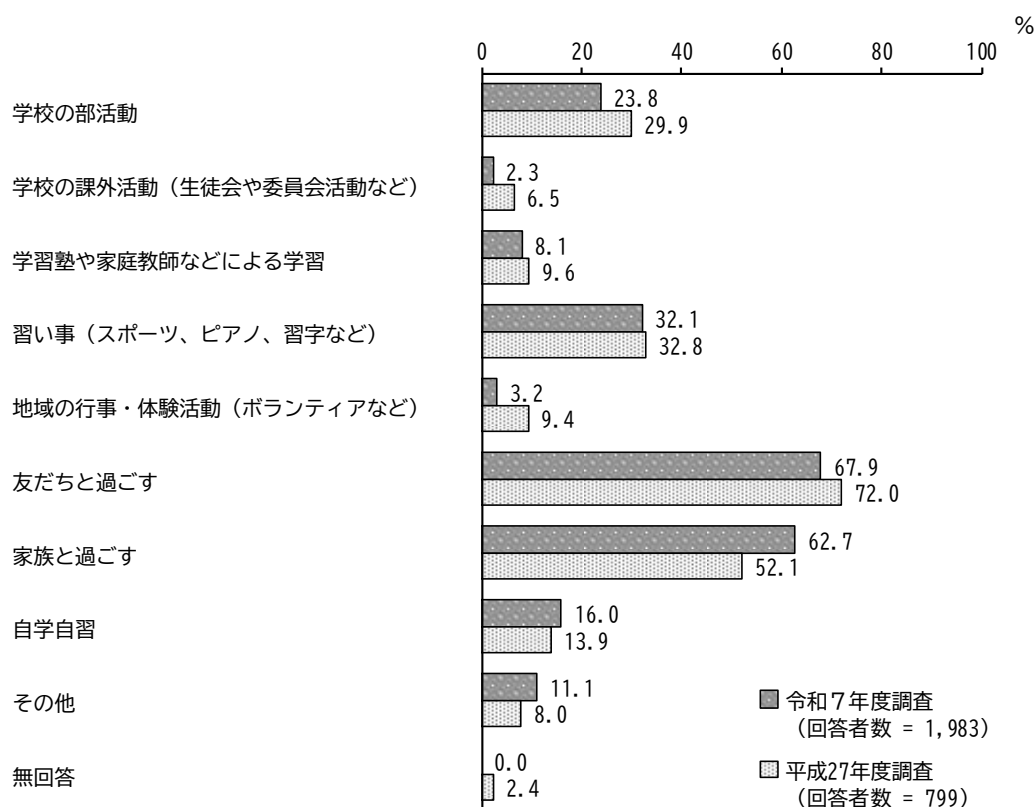
性別にみると、女性で“ない”の割合が高くなっています。



問 34 あなたは、放課後や土曜日など学校が休みの日は、どのように過ごしたいですか。
以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「友だちと過ごす」の割合が 67.9%と最も高く、次いで「家族と過ごす」の割合が 62.7%、「習い事（スポーツ、ピアノ、習字など）」の割合が 32.1%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「家族と過ごす」の割合が増加しています。一方、「学校の部活動」「地域の行事・体験活動（ボランティアなど）」の割合が減少しています。



【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「習い事（スポーツ、ピアノ、習字など）」「家族と過ごす」の割合が高く、中学校2年生で「学校の部活動」「友だちと過ごす」「自学自習」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	学校の部活動	学校の課外活動（生徒会や委員会活動など）	学習塾や家庭教師などによる学習	習い事（スポーツ、ピアノ、習字など）	地域の行事・体験活動（ボランティアなど）	友だちと過ごす	家族と過ごす	自学自習	その他	無回答
全 体	1,983	23.8	2.3	8.1	32.1	3.2	67.9	62.7	16.0	11.1	0.0
小学校5年生	1,035	8.4	2.4	6.9	37.3	3.6	64.9	67.5	13.6	12.9	0.0
中学校2年生	948	40.5	2.2	9.5	26.5	2.7	71.2	57.4	18.6	9.2	0.0

【性別】

性別にみると、女性で「友だちと過ごす」「家族と過ごす」「自学自習」の割合が高くなっています。

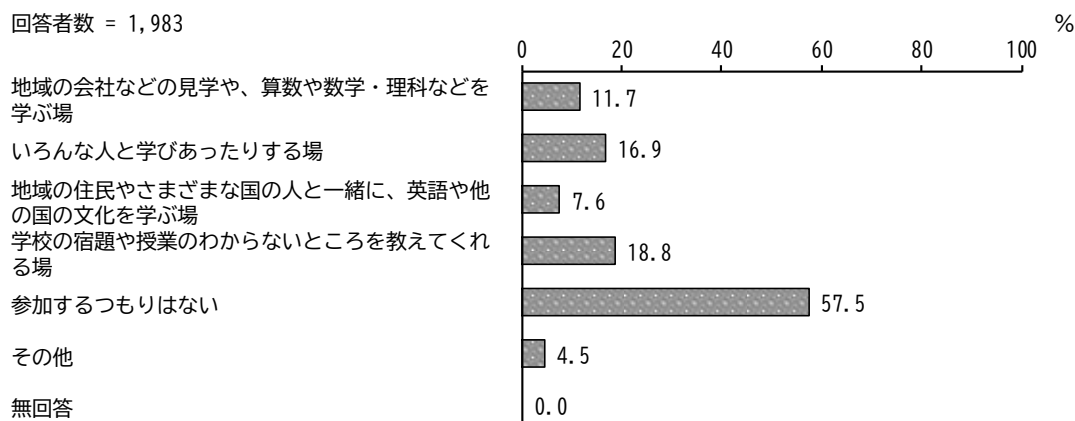
単位：％

区分	回答者数 (件)	学校の部活動	学校の課外活動（生徒会や委員会活動など）	学習塾や家庭教師などによる学習	習い事（スポーツ、ピアノ、習字など）	地域の行事・体験活動（ボランティアなど）	友だちと過ごす	家族と過ごす	自学自習	その他	無回答
全 体	1,983	23.8	2.3	8.1	32.1	3.2	67.9	62.7	16.0	11.1	0.0
男性	977	24.9	2.4	7.1	33.2	3.0	63.4	54.4	12.9	12.6	0.0
女性	970	23.0	2.3	9.0	30.8	3.1	72.6	71.9	19.1	9.0	0.0

問 35 あなたは、放課後や土曜日など学校が休みの日に、次のような場があったら参加したいですか。下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「参加するつもりはない」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「学校の宿題や授業のわからないところを教えてくれる場」の割合が 18.8%、「いろんな人と学びあったりする場」の割合が 16.9%となっています。

回答者数 = 1,983



【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「地域の会社などの見学や、算数や数学・理科などを学ぶ場」「いろんな人と学びあったりする場」の割合が高く、中学校2年生で「参加するつもりはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	地域の会社などの見学 や、算数や数学・理科な どを学ぶ場	いろんな人と学びあっ たりする場	地域の住民やさまざまな 国の人と一緒に、英語や 他の国の文化を学ぶ場	学校の宿題や授業のわか らないところを教えてく れる場	参加するつもりはない	その他	無回答
全 体	1,983	11.7	16.9	7.6	18.8	57.5	4.5	0.0
小学校5年生	1,035	14.5	20.7	8.2	19.0	51.4	7.2	0.0
中学校2年生	948	8.8	12.9	6.9	18.5	64.1	1.5	0.0

【性別】

性別にみると、女性で「学校の宿題や授業のわからないところを教えてくれる場」の割合が高くなっています。

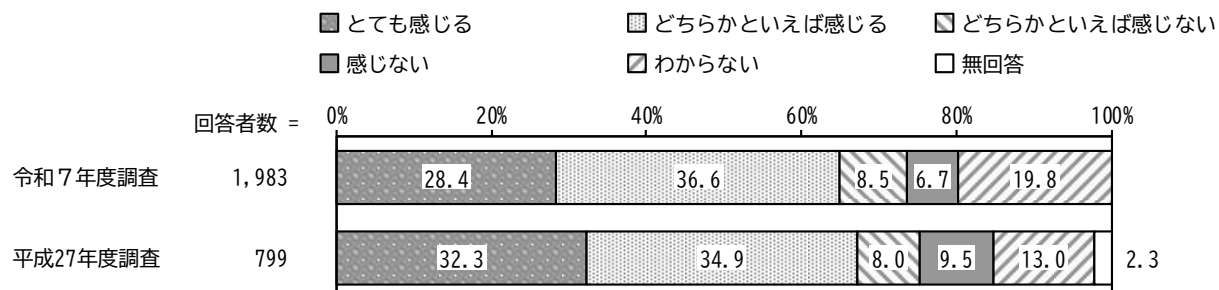
単位：％

区分	回答者数 (件)	地域の会社などの見学 や、算数や数学・理科な どを学ぶ場	いろんな人と学びあっ たりする場	地域の住民やさまざまな 国の人と一緒に、英語や 他の国の文化を学ぶ場	学校の宿題や授業のわか らないところを教えてく れる場	参加するつもりはない	その他	無回答
全 体	1,983	11.7	16.9	7.6	18.8	57.5	4.5	0.0
男性	977	13.1	17.2	7.8	15.0	59.5	4.6	0.0
女性	970	10.3	16.9	6.9	22.8	55.9	4.0	0.0

問 36 あなたは小牧市を「ふるさと」だと感じますか。
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

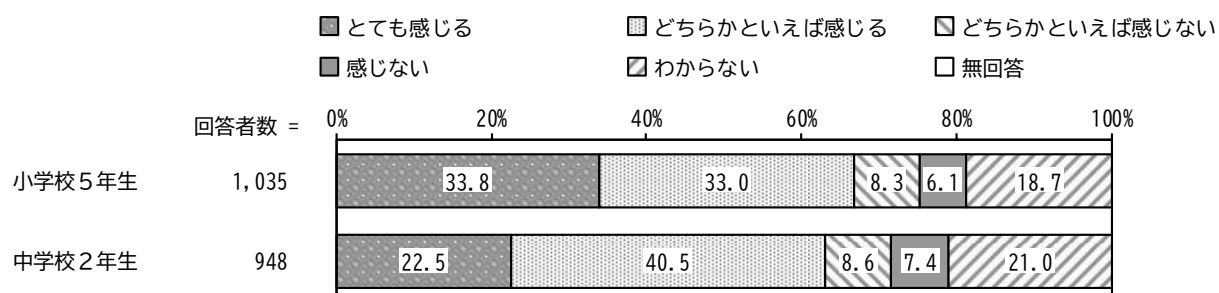
「とても感じる」「どちらかといえば感じる」を合わせた“感じる”の割合が 65.0%、「どちらかといえば感じない」「感じない」を合わせた“感じない”の割合が 15.2%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



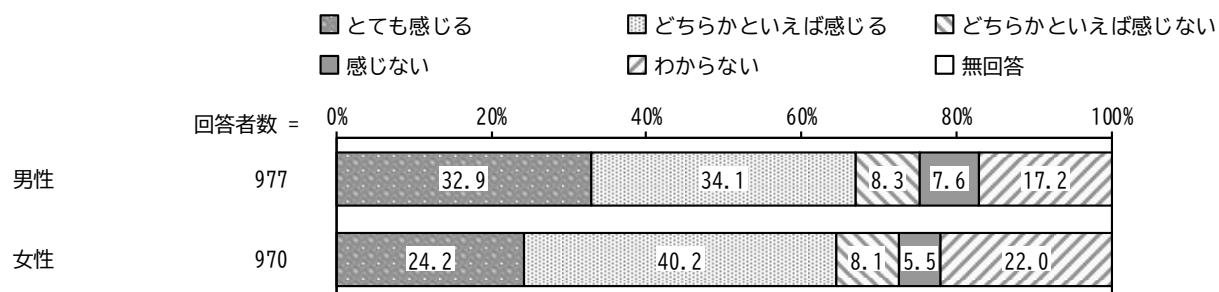
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「とても感じる」の割合が高く、中学校2年生で「どちらかといえば感じる」の割合が高くなっています。



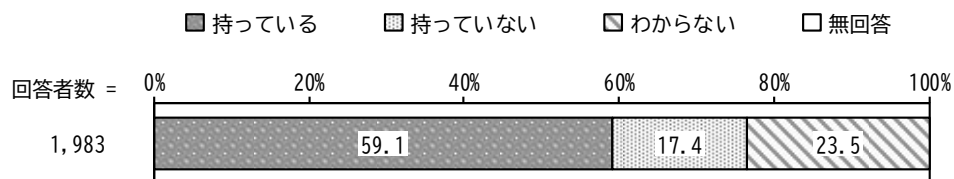
【性別】

性別にみると、男性で「とても感じる」の割合が高く、女性で「どちらかといえば感じる」の割合が高くなっています。



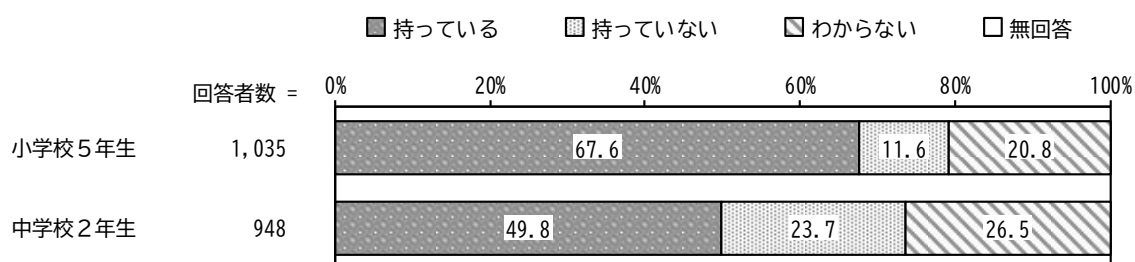
問 37 あなたは将来の夢や目標を持っていますか。
以下の設問から当てはまるものを1つ選んでください。

「持っている」の割合が59.1%、「持っていない」の割合が17.4%となっています。



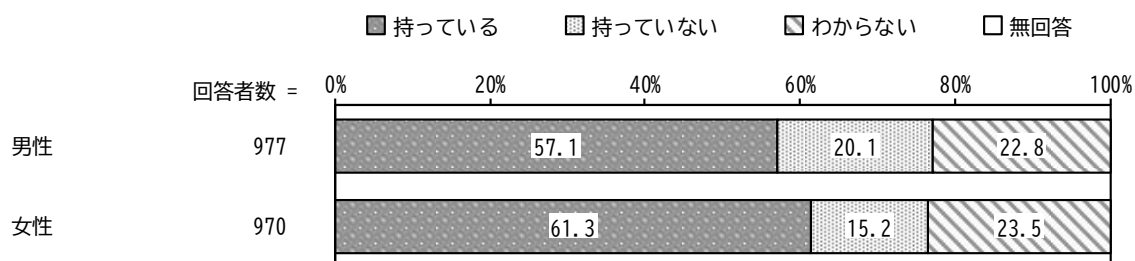
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「持っている」の割合が高くなっています。



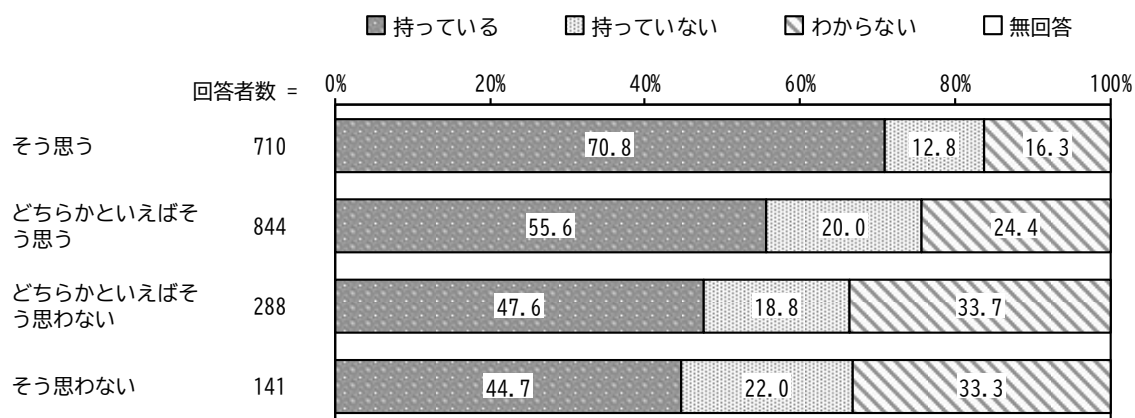
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



【自己肯定感有無別】

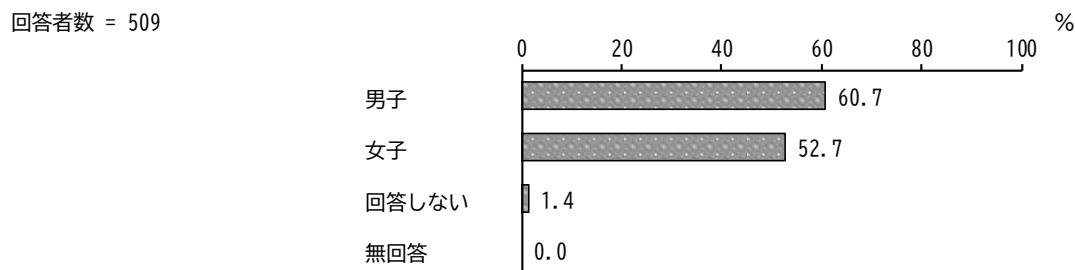
自己肯定感有無別にみると、そう思うで「持っている」の割合が高くなっています。



Ⅲ 保護者調査結果

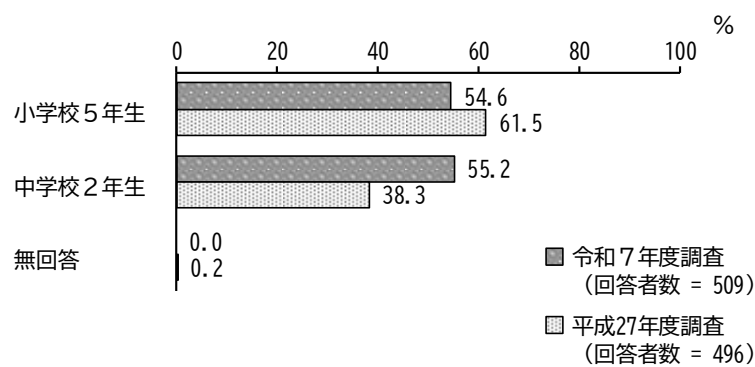
問1 お子さんの性別を教えてください。
以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。
※兄弟がいる場合は、全てのお子様の性別を回答してください。

「男子」の割合が 60.7%、「女子」の割合が 52.7%となっています。



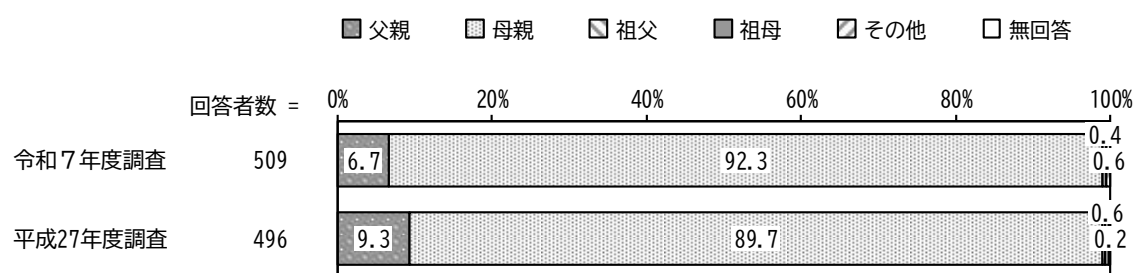
問2 お子さんの学年を教えてください。
以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。
※兄弟がいる場合は、全てのお子様の学年を回答してください。

「小学校5年生」の割合が 54.6%、「中学校2年生」の割合が 55.2%となっています。
平成 27 年度調査と比較すると、「中学校2年生」の割合が増加しています。



問3 お子さんからみた、あなたの続柄を教えてください。
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

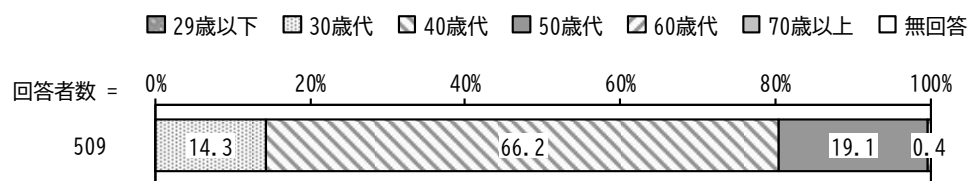
「母親」の割合が 92.3%と最も高くなっています。
平成 27 年度調査と比較すると、大きな差は見られません。



問4 あなたの年齢を教えてください。

以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「40 歳代」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「50 歳代」の割合が 19.1%、「30 歳代」の割合が 14.3%となっています。

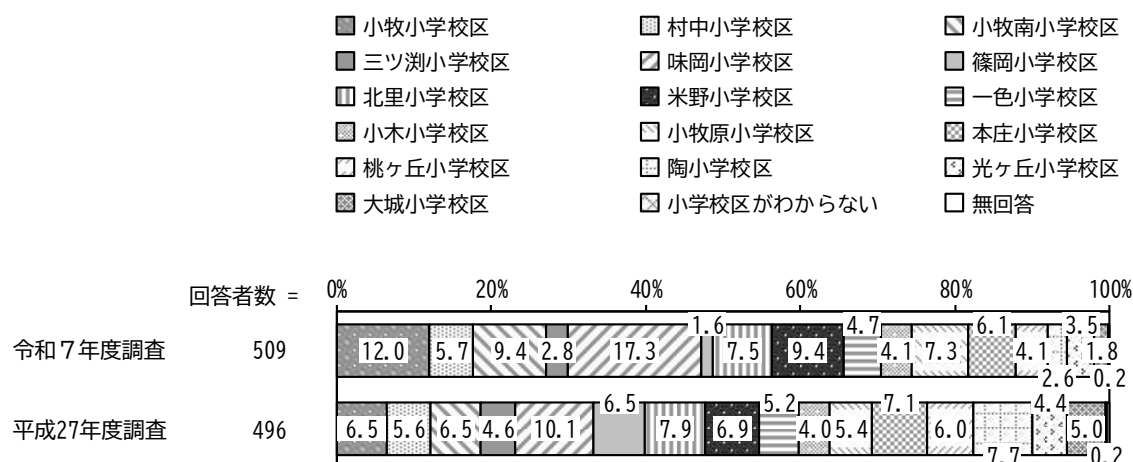


問5 あなたが住んでいる小学校区はどこですか。

以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「味岡小学校区」の割合が 17.3%と最も高く、次いで「小牧小学校区」の割合が 12.0%となっています。

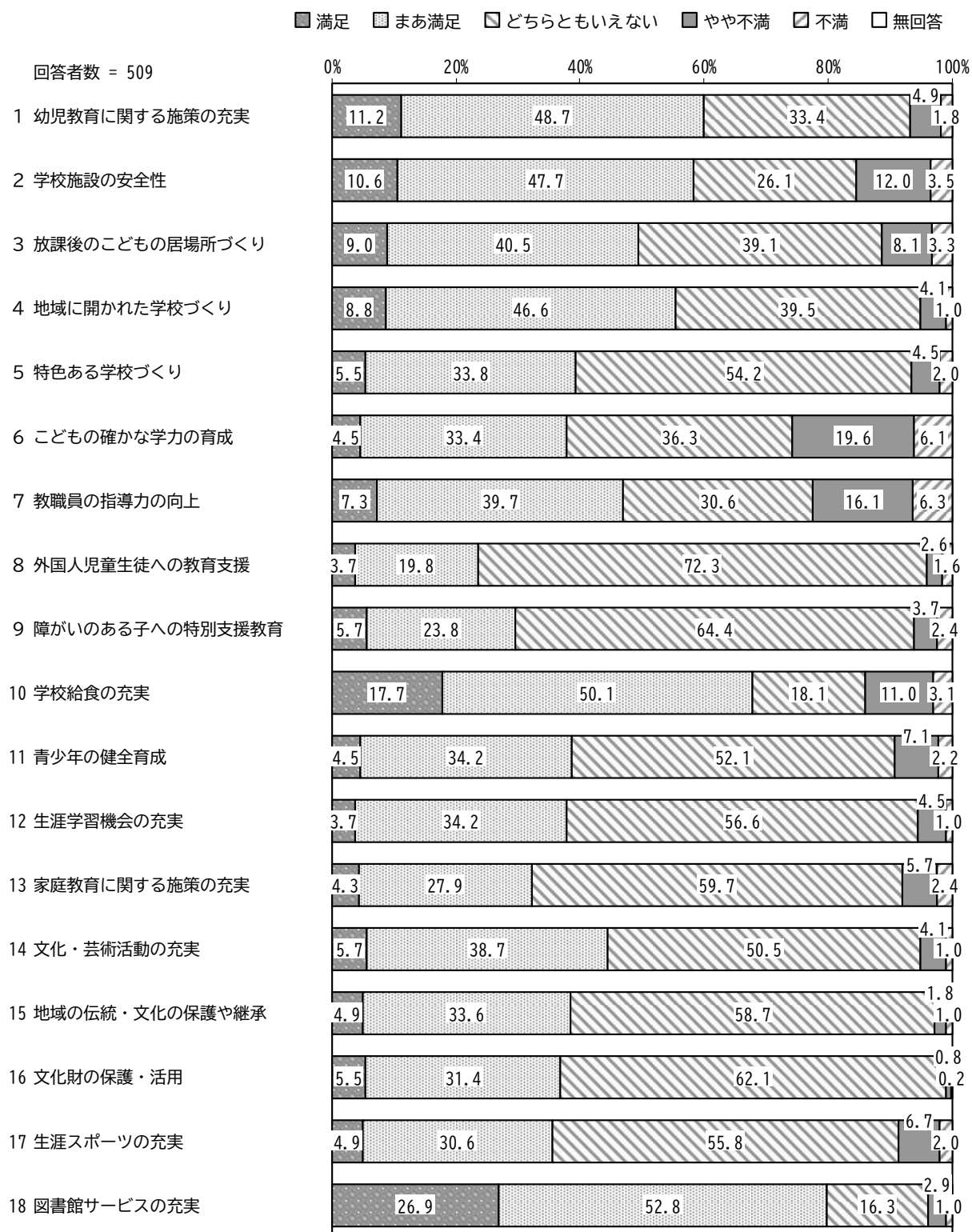
平成 27 年度調査と比較すると、「小牧小学校区」「味岡小学校区」の割合が増加しています。



問6 小牧市の教育や生涯学習などに関する施策の満足度と重要度をどのように感じますか。
以下の項目から満足度・重要度それぞれ1つずつ選んでください。

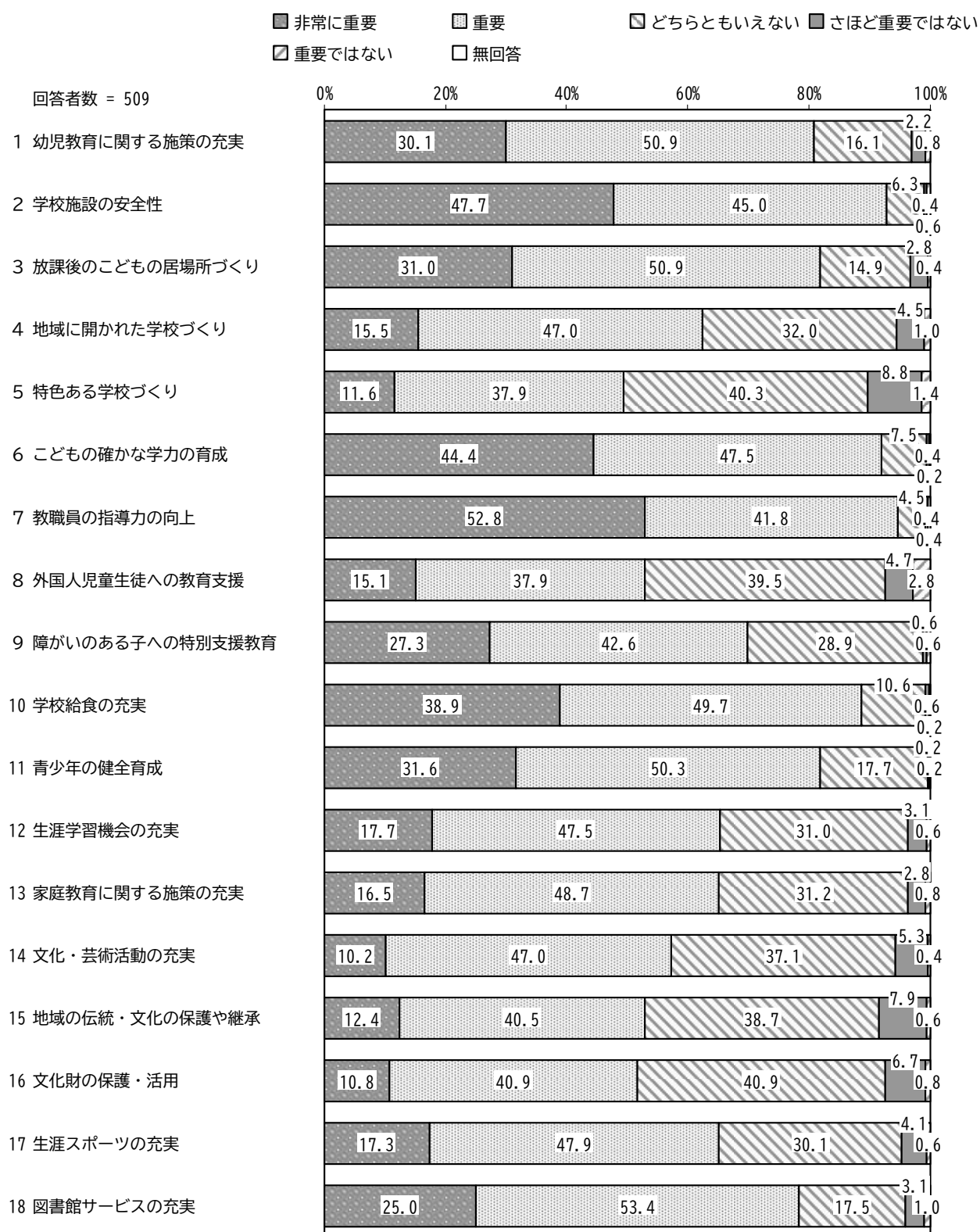
満足度

『18 図書館サービスの充実』で「満足」「まあ満足」が、『8 外国人児童生徒への教育支援』で「どちらともいえない」が、『6 こどもの確かな学力の育成』で「やや不満」が、『7 教職員の指導力の向上』で「不満」が高くなっています。



重要度（今後、小牧市が実施していく上での大切さの度合い）

『7 教職員の指導力の向上』で「非常に重要」が、『18 図書館サービスの充実』で「重要」が、『16 文化財の保護・活用』で「どちらともいえない」が、『5 特色ある学校づくり』で「さほど重要ではない」が、『8 外国人児童生徒への教育支援』で「重要ではない」が高くなっています。



ポートフォリオによる分析

(1) 満足度・重要度の得点化

18 項目の質問項目について、「満足度」と「重要度」を5つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■満足度・重要度の得点化の手順■

満足度		重要度	
満足	2 点	非常に重要	2 点
まあ満足	1 点	重要	1 点
どちらともいえない	0 点	どちらともいえない	0 点
やや不満	-1 点	さほど重要ではない	-1 点
不満	-2 点	重要ではない	-2 点
無回答	計算対象外	無回答	計算対象外

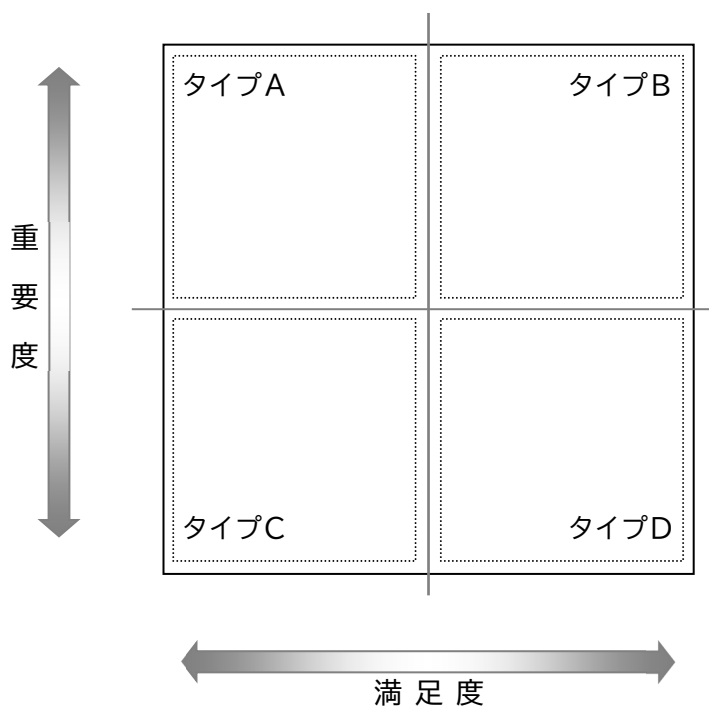
■得点の算出式■

2点×「満足（非常に重要）」の回答数
+1点×「まあ満足（重要）」の回答数
+0点×「どちらともいえない」の回答数
-1点×「やや不満（さほど重要ではない）」の回答数
-2点×「不満（重要ではない）」の回答数／無回答を除く回答数

(2) ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。

施策は、全体的に満足度が低く、重要度が高い傾向があり、その中でも重要度および満足度が高い理由についての検証が必要なタイプBに特に分布しています。



◆タイプA（重点取組エリア） 満足度は低いが、重要度は高い

→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。

◆タイプB（継続取組エリア） 満足度は高く、重要度も高い

→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。

◆タイプC（取組強化エリア） 満足度は低く、重要度も低い

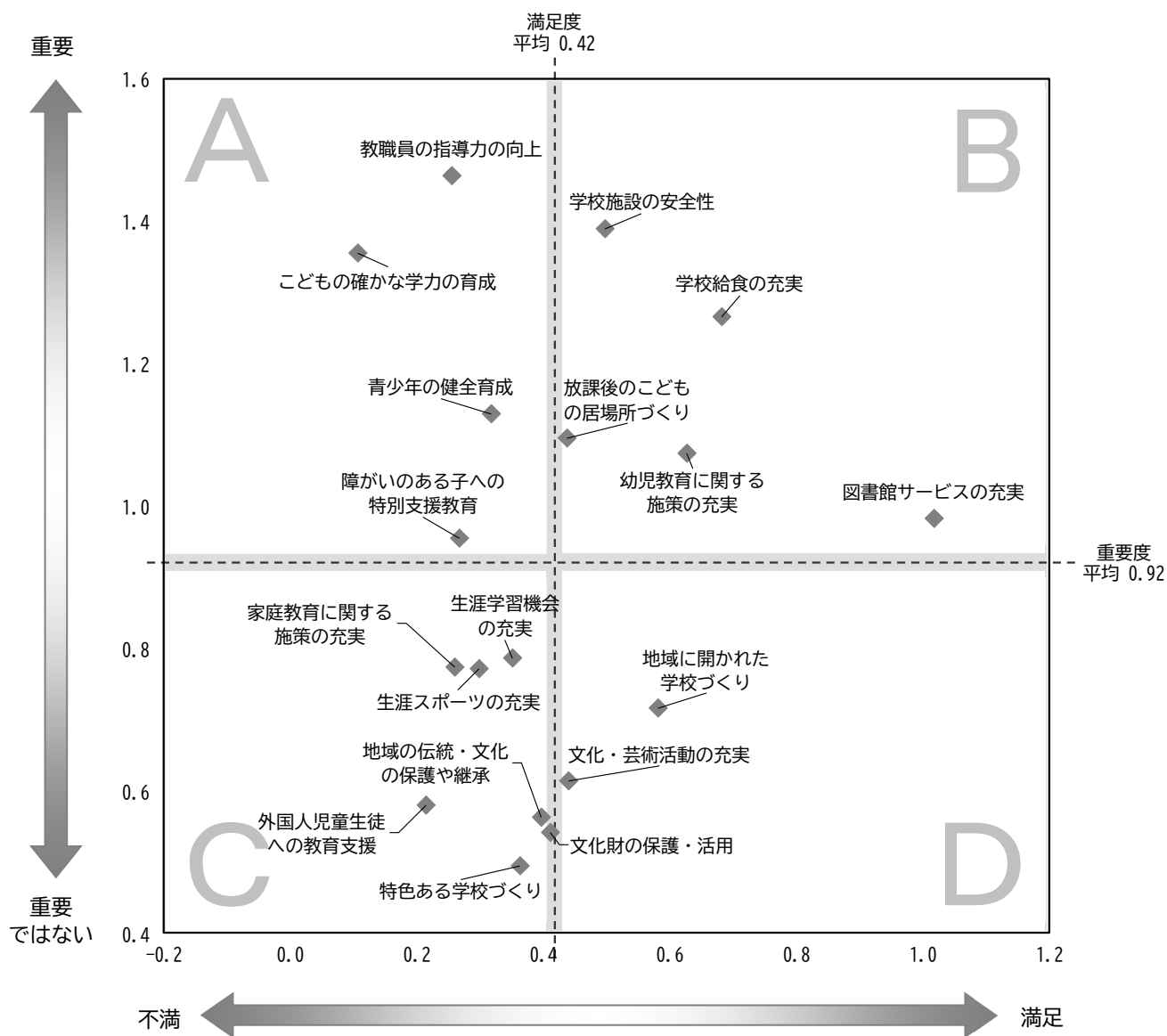
→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が必要。

◆タイプD（取組検討エリア） 満足度は高いが、重要度は低い

→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

●施策のポートフォリオ分析（回答者数 = 509）

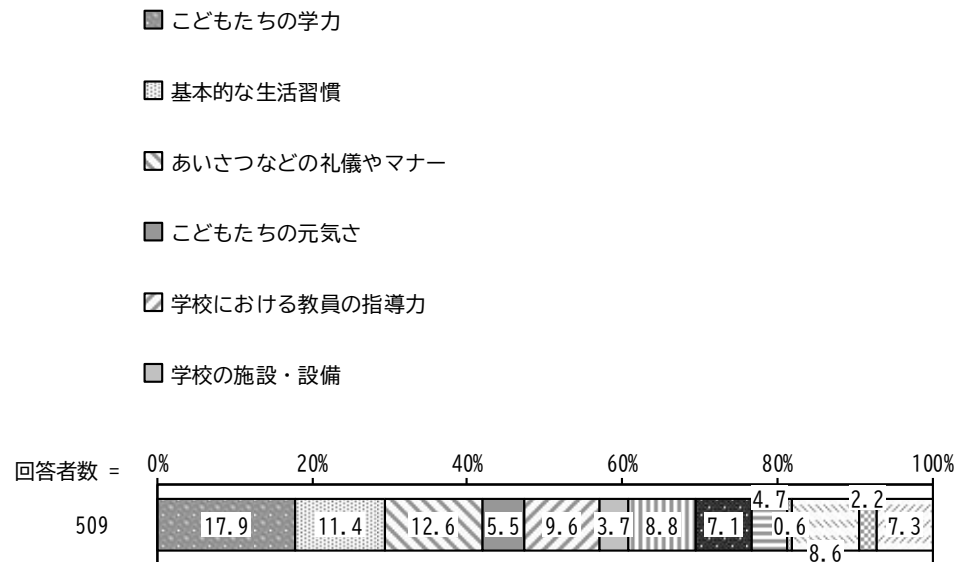
項目を、「重点取組エリア」、「継続取組エリア」、「取組強化エリア」、「取組検討エリア」の4つに分類すると、重要度が高いのにも関わらず満足度が低い「重点取組エリア」に分類されたものは『教職員の指導力の向上』『こどもの確かな学力の育成』『青少年の健全育成』『障がいのある子への特別支援教育』の4項目となっています。



エリア	
タイプA（重点取組エリア）	タイプB（継続取組エリア）
タイプC（取組強化エリア）	タイプD（取組検討エリア）

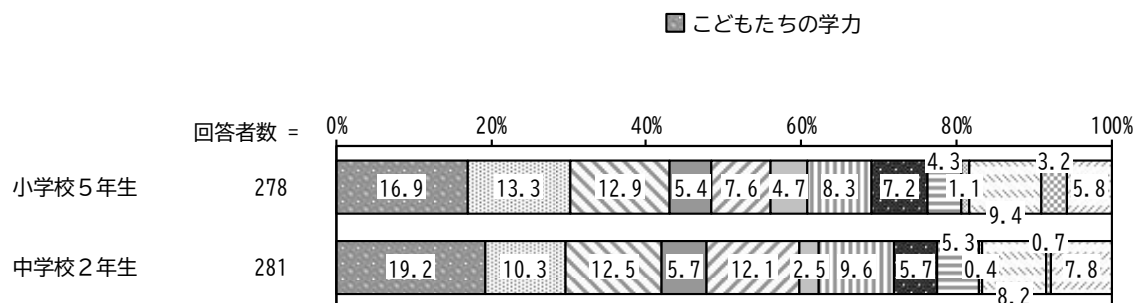
問7 小牧市の子どもたちを見て、ここ5年間くらいの間子どもを取り巻く環境などで、特に低下していると感じるものは次のうちどれですか。
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「子どもたちの学力」の割合が17.9%と最も高く、次いで「あいさつなどの礼儀やマナー」の割合が12.6%、「基本的な生活習慣」の割合が11.4%となっています。



【学年別】

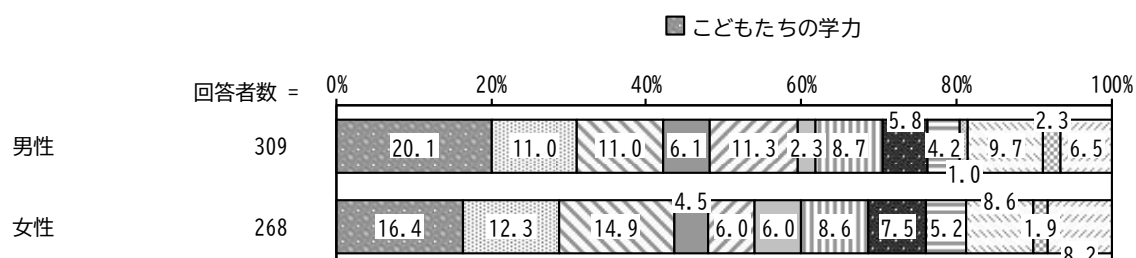
学年別にみると、大きな差はみられません。



【性別】

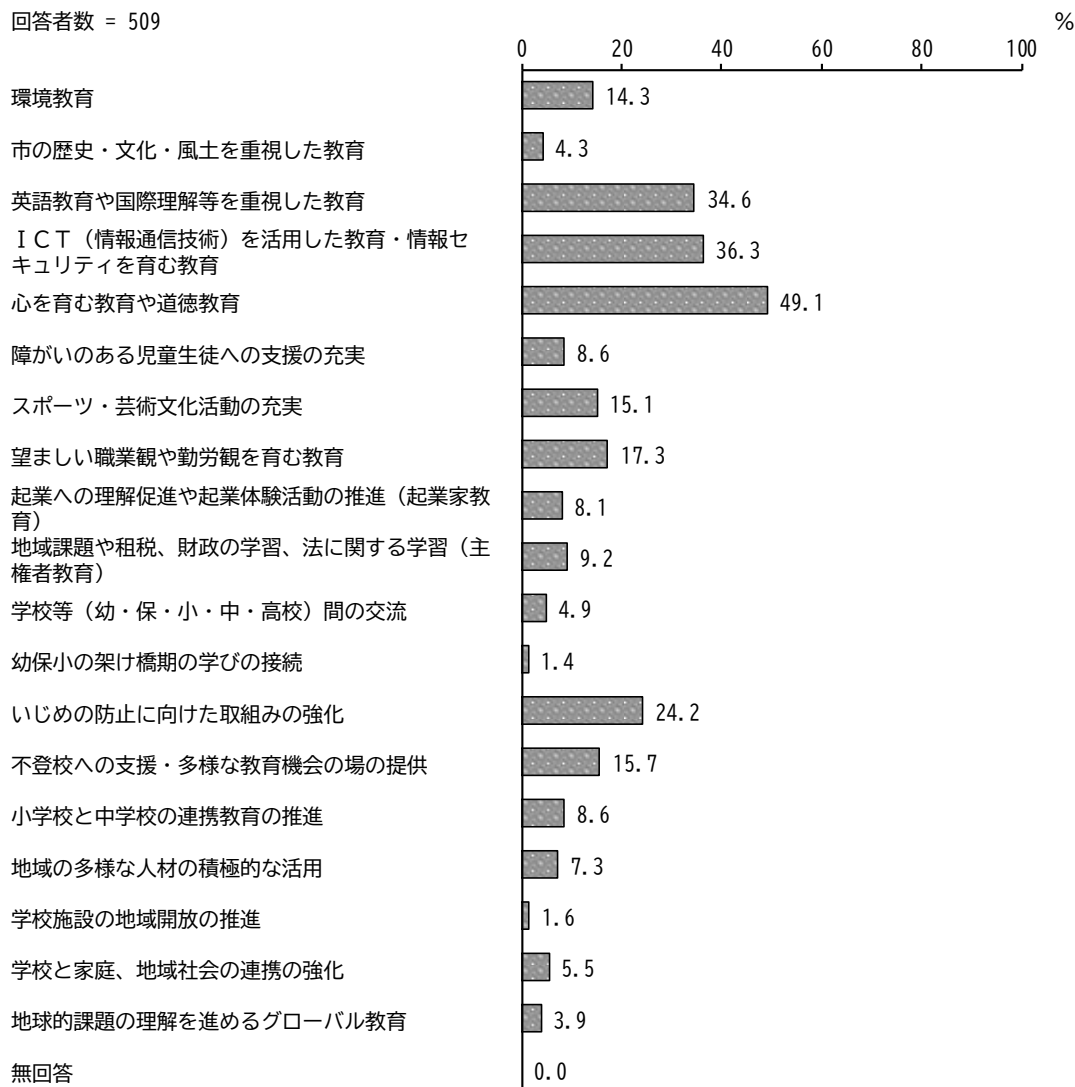
「子どもたちの学力」の割合が17.9%と最も高く、次いで「あいさつなどの礼儀やマナー」の割合が12.6%、「基本的な生活習慣」の割合が11.4%となっています。

男性で「学校における教員の指導力」の割合が高くなっています。



問8 小牧市の学校教育（小・中学校）では、今後どのような点に力を入れていくことが望ましいと思いますか。以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

「心を育む教育や道徳教育」の割合が 49.1%と最も高く、次いで「ＩＣＴ（情報通信技術）を活用した教育・情報セキュリティを育む教育」の割合が 36.3%、「英語教育や国際理解等を重視した教育」の割合が 34.6%となっています。



【学年別】

学年別にみると、中学校2年生で「望ましい職業観や勤労観を育む教育」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	環境教育	市の歴史・文化・風土を 重視した教育	英語教育や国際理解等 を重視した教育	ICT（情報通信技術） を活用した教育・情報セ キュリティを育む教育	心を育む教育や道徳教 育	障がいのある児童生徒 への支援の充実	スポーツ・芸術文化活動 の充実	望ましい職業観や勤労 観を育む教育	起業への理解促進や起 業体験活動の推進（起業 家教育）	地域課題や租税、財政の 学習、法に関する学習 （主権者教育）
全 体	509	14.3	4.3	34.6	36.3	49.1	8.6	15.1	17.3	8.1	9.2
小学校5年生	278	15.1	5.0	36.0	37.4	50.0	8.6	14.4	14.7	9.0	11.2
中学校2年生	281	14.9	3.6	31.7	36.3	48.4	8.5	15.7	19.9	7.5	8.5

区分	学校等（幼・保・小・中・ 高校）間の交流	幼保小の架け橋期の学 びの接続	いじめの防止に向けた 取組みの強化	不登校への支援・多様な 教育機会への場の提供	小学校と中学校の連携 教育の推進	地域の多様な人材の積 極的な活用	学校施設の地域開放の 推進	学校と家庭、地域社会の 連携の強化	地球的課題の理解を進 めるグローバル教育	無回答
全 体	4.9	1.4	24.2	15.7	8.6	7.3	1.6	5.5	3.9	0.0
小学校5年生	4.3	1.4	25.5	15.1	9.4	6.5	1.8	6.5	4.3	0.0
中学校2年生	5.0	1.4	23.8	16.7	7.5	7.1	1.1	4.3	3.9	0.0

【性別】

「心を育む教育や道徳教育」の割合が 49.1%と最も高く、次いで「ＩＣＴ（情報通信技術）を活用した教育・情報セキュリティを育む教育」の割合が 36.3%、「英語教育や国際理解等を重視した教育」の割合が 34.6%となっています。

大きな差はみられません。

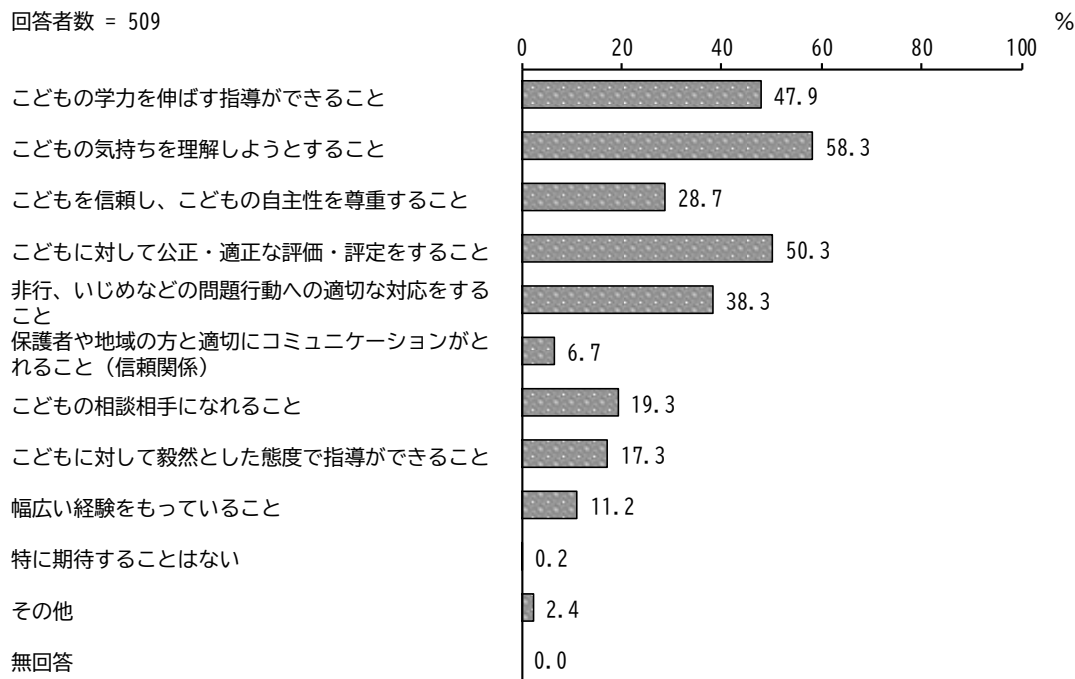
単位：％

区分	回答者数 (件)	環境教育	市の歴史・文化・風土を 重視した教育	英語教育や国際理解等 を重視した教育	ＩＣＴ（情報通信技術） を活用した教育・情報セ キュリティを育む教育	心を育む教育や道徳教 育	障がいのある児童生徒 への支援の充実	スポーツ・芸術文化活動 の充実	望ましい職業観や勤労 観を育む教育	起業への理解促進や起 業体験活動の推進（起業 家教育）	地域課題や租税、財政の 学習、法に関する学習 （主権者教育）
全 体	509	14.3	4.3	34.6	36.3	49.1	8.6	15.1	17.3	8.1	9.2
男性	309	16.5	4.9	33.3	35.6	47.9	9.4	15.5	17.2	8.1	8.4
女性	268	11.6	3.7	35.4	37.7	51.5	6.7	15.3	17.9	8.2	8.2

区分	学校等（幼・保・小・中・ 高校）間の交流	幼保小の架け橋期の学 びの接続	いじめの防止に向けた 取組みの強化	不登校への支援・多様な 教育機会への場の提供	小学校と中学校の連携 教育の推進	地域の多様な人材の積 極的な活用	学校施設の地域開放の 推進	学校と家庭、地域社会の 連携の強化	地球的課題の理解を進 めるグローバル教育	無回答
全 体	4.9	1.4	24.2	15.7	8.6	7.3	1.6	5.5	3.9	0.0
男性	3.6	1.3	23.9	16.2	9.4	6.1	1.9	6.5	4.5	0.0
女性	6.0	1.5	24.6	18.3	6.7	9.0	1.5	3.7	3.7	0.0

問9 小中学校の教師にどのようなことを期待しますか。
以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

「こどもの気持ちを理解しようとする事」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「こどもに対して公正・適正な評価・評定をすること」の割合が 50.3%、「こどもの学力を伸ばす指導ができること」の割合が 47.9%となっています。



【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「非行、いじめなどの問題行動への適切な対応をすること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	こどもの学力を伸ばす指導ができること	こどもの気持ちを理解しようとする事	こどもを信頼し、こどもの自主性を尊重すること	こどもに対して公正・適正な評価・評定をすること	非行、いじめなどの問題行動への適切な対応をすること	保護者や地域の方と適切にコミュニケーションがとれること（信頼関係）	こどもの相談相手になれること	こどもに対して毅然とした態度で指導ができること	幅広い経験をもっていること	特に期待することはない	その他	無回答
全 体	509	47.9	58.3	28.7	50.3	38.3	6.7	19.3	17.3	11.2	0.2	2.4	0.0
小学校5年生	278	45.7	60.8	26.6	48.9	42.8	6.1	19.8	17.6	11.9	0.4	3.2	0.0
中学校2年生	281	49.8	55.9	29.5	53.7	31.3	6.8	20.3	18.1	10.7	0.0	1.1	0.0

【性別】

「こどもの気持ちを理解しようとする事」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「こどもに対して公正・適正な評価・評定をすること」の割合が 50.3%、「こどもの学力を伸ばす指導ができること」の割合が 47.9%となっています。

大きな差はみられません。

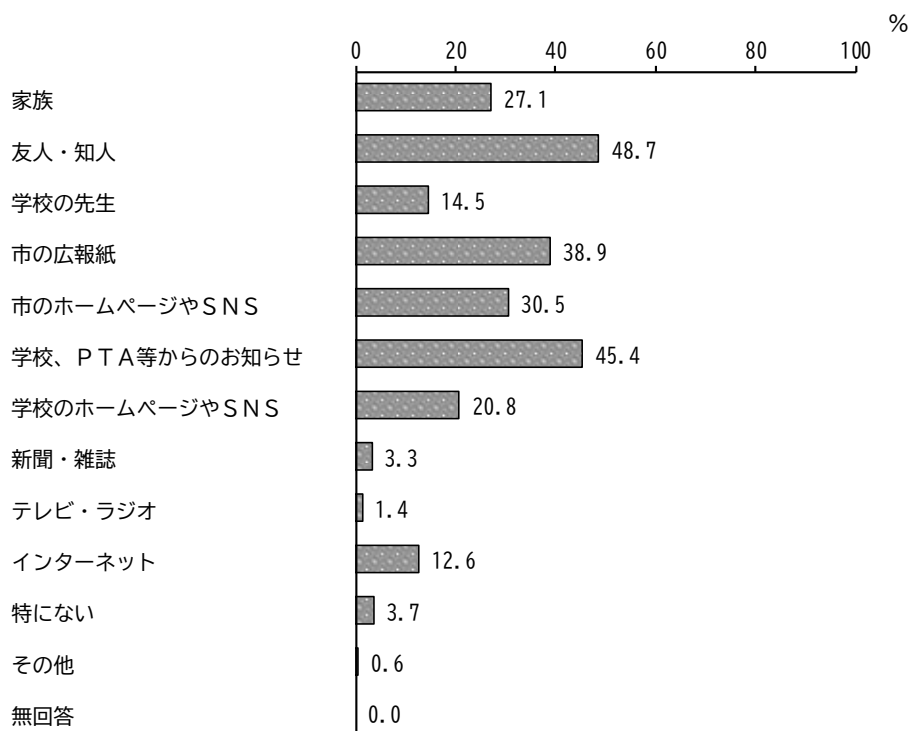
単位：％

区分	回答者数(件)	こどもの学力を伸ばす指導ができること	こどもの気持ちを理解しようとする事	こどもを信頼し、こどもの自主性を尊重すること	こどもに対して公正・適正な評価・評定をすること	非行、いじめなどの問題行動への適切な対応をすること	保護者や地域の方と適切にコミュニケーションがとれること(信頼関係)	こどもの相談相手になれること	こどもに対して毅然とした態度で指導ができること	幅広い経験をもっていること	特に期待することはない	その他	無回答
全 体	509	47.9	58.3	28.7	50.3	38.3	6.7	19.3	17.3	11.2	0.2	2.4	0.0
男性	309	46.6	57.3	30.1	49.2	39.5	6.5	19.1	17.8	11.7	0.0	2.3	0.0
女性	268	47.8	56.7	26.5	52.2	40.3	7.1	18.7	17.9	11.2	0.0	2.6	0.0

問 10 あなたは、小牧市の教育や子育てに関する情報を何から得ていますか。
以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

「友人・知人」の割合が 48.7%と最も高く、次いで「学校、PTA等からのお知らせ」の割合が 45.4%、「市の広報紙」の割合が 38.9%となっています。

回答者数 = 509



【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「市の広報紙」の割合が高く、中学校2年生で「家族」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	家族	友人・知人	学校の先生	市の広報紙	市のホームページ やSNS	学校、PTA等から のお知らせ	学校のホームペー ジやSNS	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	インターネット	特にない	その他	無回答
全 体	509	27.1	48.7	14.5	38.9	30.5	45.4	20.8	3.3	1.4	12.6	3.7	0.6	0.0
小学校5年生	278	24.8	51.1	12.9	43.2	31.7	44.6	21.9	2.2	1.4	13.7	2.9	0.4	0.0
中学校2年生	281	30.6	46.3	16.7	34.5	29.2	44.1	20.3	4.6	1.4	10.7	4.6	0.7	0.0

【小学校区別】

小学校区別にみると、一色小学校区で「家族」、小牧南小学校区で「市の広報紙」、陶小学校区で「市のホームページやSNS」「学校、PTA等からのお知らせ」、村中小学校区で「学校のホームページやSNS」、一色小学校区、小木小学校区で「インターネット」の割合が高くなっています。

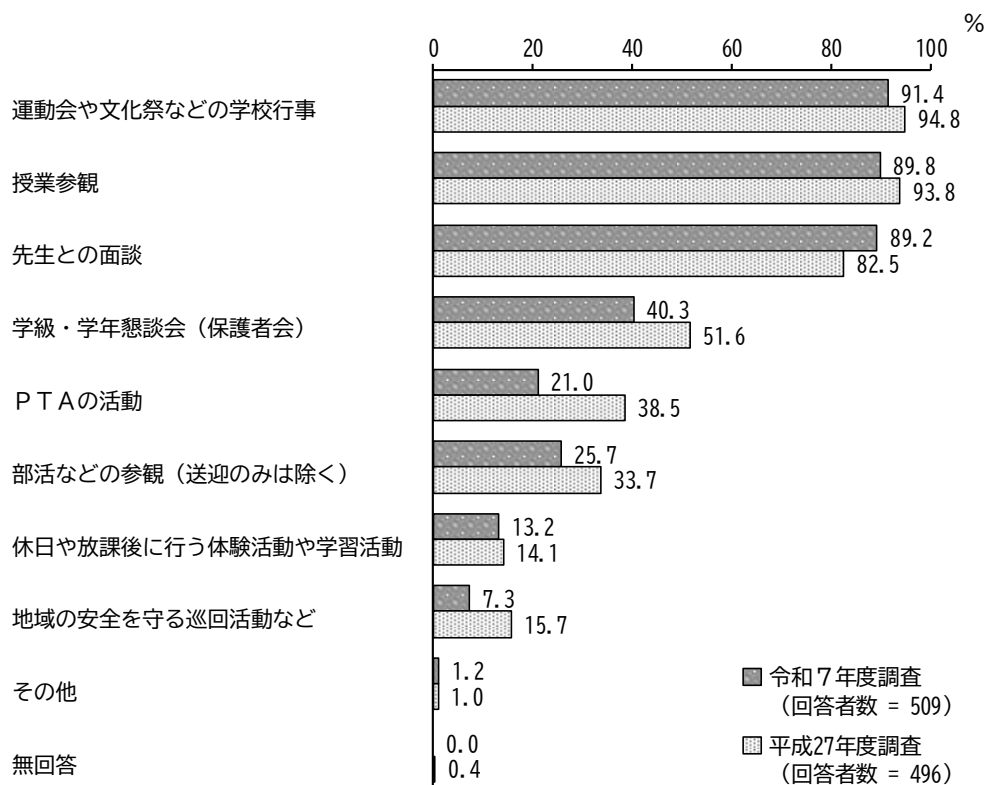
単位：％

区分	回答者数 (件)	家族	友人・知人	学校の先生	市の広報紙	市のホームページ やSNS	学校、PTA等から のお知らせ	学校のホームペー ジやSNS	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	インターネット	特にない	その他	無回答
全 体	509	27.1	48.7	14.5	38.9	30.5	45.4	20.8	3.3	1.4	12.6	3.7	0.6	0.0
小牧小学校区	61	31.1	54.1	13.1	36.1	27.9	47.5	14.8	4.9	0.0	6.6	6.6	0.0	0.0
村中小学校区	29	20.7	44.8	6.9	37.9	31.0	48.3	37.9	3.4	0.0	6.9	6.9	0.0	0.0
小牧南小学校区	48	27.1	47.9	8.3	50.0	31.3	43.8	22.9	2.1	2.1	8.3	2.1	2.1	0.0
三ツ淵小学校区	14	35.7	50.0	14.3	35.7	21.4	42.9	21.4	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0
味噌小学校区	88	27.3	50.0	21.6	38.6	29.5	46.6	15.9	5.7	2.3	18.2	0.0	0.0	0.0
篠岡小学校区	8	37.5	25.0	12.5	25.0	37.5	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
北里小学校区	38	21.1	47.4	18.4	26.3	34.2	36.8	34.2	2.6	0.0	13.2	7.9	0.0	0.0
米野小学校区	48	27.1	54.2	8.3	43.8	41.7	39.6	20.8	2.1	6.3	14.6	2.1	2.1	0.0
一色小学校区	24	37.5	41.7	16.7	41.7	29.2	25.0	29.2	0.0	0.0	29.2	0.0	0.0	0.0
小木小学校区	21	14.3	42.9	9.5	28.6	42.9	47.6	9.5	4.8	0.0	28.6	9.5	4.8	0.0
小牧原小学校区	37	27.0	51.4	8.1	45.9	21.6	51.4	13.5	2.7	0.0	5.4	5.4	0.0	0.0
本庄小学校区	31	32.3	58.1	16.1	48.4	19.4	48.4	25.8	0.0	0.0	6.5	3.2	0.0	0.0
桃ヶ丘小学校区	21	28.6	47.6	23.8	33.3	14.3	42.9	33.3	4.8	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0
陶小学校区	13	30.8	23.1	23.1	30.8	46.2	84.6	7.7	0.0	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0
光ヶ丘小学校区	18	16.7	50.0	16.7	27.8	33.3	44.4	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0
大城小学校区	9	11.1	33.3	22.2	44.4	44.4	55.6	11.1	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0
小学校区がわからない	1	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 11 ここ1年間のうち、出席したり参加したりした学校の行事や活動には何がありますか。以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「運動会や文化祭などの学校行事」の割合が91.4%と最も高く、次いで「授業参観」の割合が89.8%、「先生との面談」の割合が89.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「運動会や文化祭などの学校行事」「授業参観」「先生との面談」「学級・学年懇談会（保護者会）」「PTAの活動」「部活などの参観（送迎のみは除く）」「休日や放課後に行う体験活動や学習活動」「地域の安全を守る巡回活動など」の割合が増加しています。



【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「運動会や文化祭などの学校行事」「授業参観」「先生との面談」「休日や放課後に行う体験活動や学習活動」の割合が高く、中学校2年生で「部活などの参観（送迎のみは除く）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	運動会や文化祭などの学校行事	授業参観	先生との面談	学級・学年懇談会 (保護者会)	PTAの活動	部活などの参観 (送迎のみは除く)	休日や放課後に行う体験活動や学習活動	地域の安全を守る巡回活動など	その他	無回答
全 体	509	91.4	89.8	89.2	40.3	21.0	25.7	13.2	7.3	1.2	0.0
小学校5年生	278	96.4	97.5	93.2	38.8	22.3	15.5	16.9	9.4	1.1	0.0
中学校2年生	281	87.2	83.3	86.1	43.1	20.3	39.5	10.3	6.4	1.1	0.0

【小学校区別】

小学校区別にみると、三ツ渚小学校区で「学級・学年懇談会（保護者会）」「地域の安全を守る巡回活動など」、光ヶ丘小学校区で「PTAの活動」、小木小学校区で「部活などの参観（送迎のみは除く）」「休日や放課後に行う体験活動や学習活動」の割合が高くなっています。

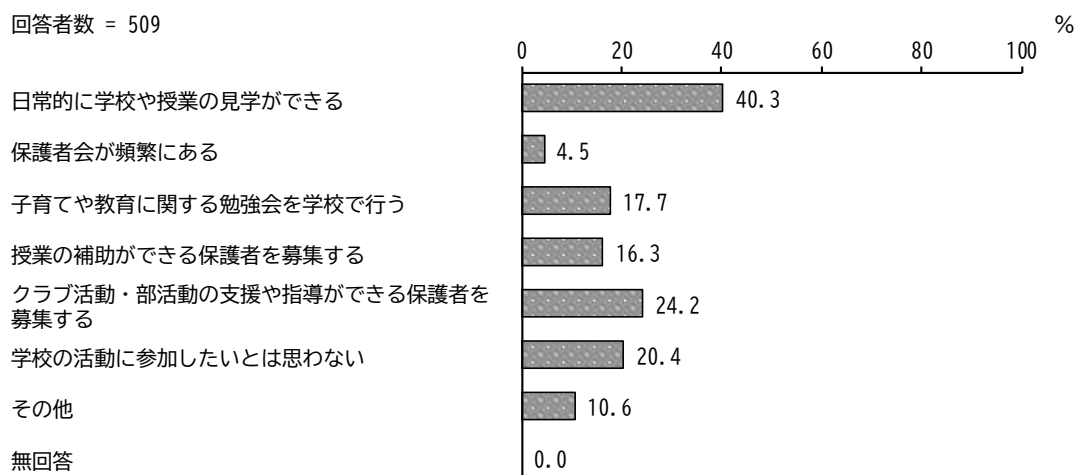
単位：％

区分	回答者数 (件)	運動会や文化祭などの 学校行事	授業参観	先生との面談	学級・学年懇談会（保 護者会）	PTAの活動	部活などの参観（送 迎のみは除く）	休日や放課後に行う 体験活動や学習活動	地域の安全を守る巡 回活動など	その他	無回答
全 体	509	91.4	89.8	89.2	40.3	21.0	25.7	13.2	7.3	1.2	0.0
小牧小学校区	61	98.4	91.8	93.4	50.8	13.1	27.9	13.1	3.3	0.0	0.0
村中小学校区	29	82.8	89.7	86.2	51.7	27.6	34.5	17.2	13.8	0.0	0.0
小牧南小学校区	48	91.7	91.7	93.8	35.4	14.6	12.5	12.5	12.5	4.2	0.0
三ツ渚小学校区	14	92.9	71.4	85.7	64.3	35.7	35.7	7.1	21.4	0.0	0.0
味噌小学校区	88	88.6	92.0	88.6	30.7	21.6	28.4	10.2	3.4	0.0	0.0
篠岡小学校区	8	87.5	87.5	87.5	75.0	25.0	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0
北里小学校区	38	81.6	81.6	86.8	26.3	26.3	39.5	5.3	13.2	0.0	0.0
米野小学校区	48	100.0	91.7	91.7	33.3	14.6	14.6	22.9	8.3	2.1	0.0
一色小学校区	24	95.8	95.8	87.5	37.5	4.2	33.3	12.5	0.0	0.0	0.0
小木小学校区	21	90.5	90.5	100.0	47.6	23.8	57.1	23.8	0.0	0.0	0.0
小牧原小学校区	37	91.9	94.6	94.6	43.2	8.1	10.8	18.9	5.4	2.7	0.0
本庄小学校区	31	87.1	90.3	87.1	48.4	35.5	12.9	12.9	6.5	3.2	0.0
桃ヶ丘小学校区	21	90.5	81.0	66.7	38.1	23.8	38.1	0.0	9.5	0.0	0.0
陶小学校区	13	92.3	84.6	92.3	38.5	30.8	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0
光ヶ丘小学校区	18	88.9	88.9	88.9	27.8	38.9	33.3	11.1	5.6	5.6	0.0
大城小学校区	9	100.0	88.9	77.8	55.6	55.6	33.3	11.1	11.1	0.0	0.0
小学校区がわからない	1	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 12 どのような方法であれば、あなたはより一層学校の活動に参加できますか。
以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「日常的に学校や授業の見学ができる」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「クラブ活動・部活動の支援や指導ができる保護者を募集する」の割合が 24.2%、「学校の活動に参加したいとは思わない」の割合が 20.4%となっています。

回答者数 = 509



【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「日常的に学校や授業の見学ができる」「子育てや教育に関する勉強会を学校で行う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	日常的に学校や授業の見学ができる	保護者会が頻繁にある	子育てや教育に関する勉強会を学校で行う	授業の補助ができる保護者を募集する	クラブ活動・部活動の支援や指導ができる保護者を募集する	学校の活動に参加したいとは思わない	その他	無回答
全 体	509	40.3	4.5	17.7	16.3	24.2	20.4	10.6	0.0
小学校5年生	278	43.2	6.1	21.6	17.3	24.1	18.7	10.1	0.0
中学校2年生	281	36.3	3.6	14.6	14.6	25.3	20.6	12.5	0.0

【小学校区別】

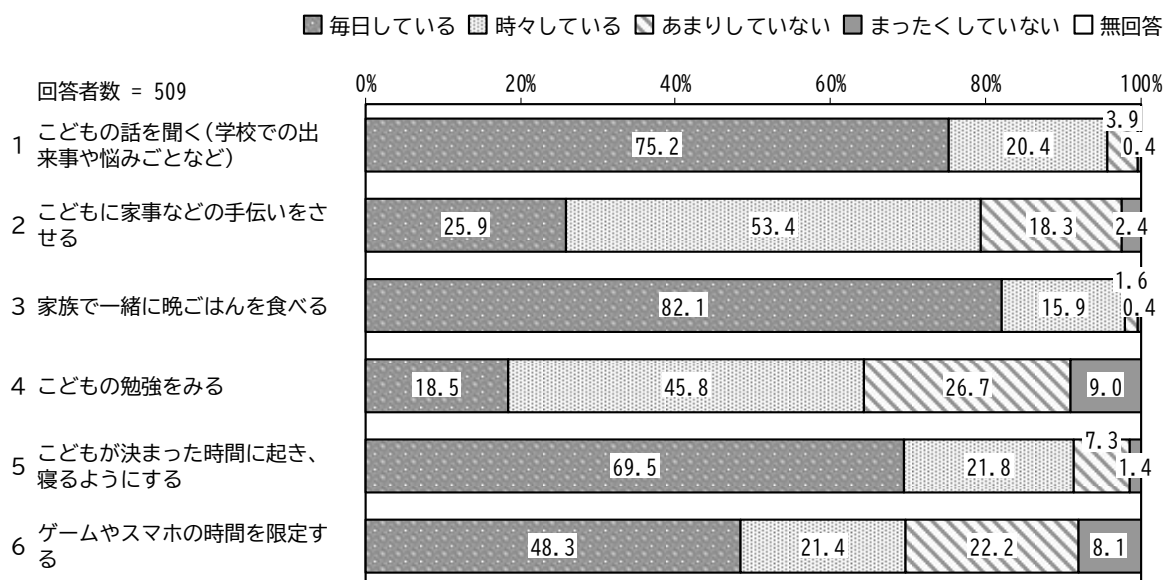
小学校区別にみると、三ツ淵小学校区で「日常的に学校や授業の見学ができる」、光ヶ丘小学校区で「保護者会が頻繁にある」「子育てや教育に関する勉強会を学校で行う」、陶小学校区で「授業の補助ができる保護者を募集する」、桃ヶ丘小学校区で「クラブ活動・部活動の支援や指導ができる保護者を募集する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	日常的に学校や授業の見学ができる	保護者会が頻繁にある	子育てや教育に関する勉強会を学校で行う	授業の補助ができる保護者を募集する	クラブ活動・部活動の支援や指導ができる保護者を募集する	学校の活動に参加したいとは思わない	その他	無回答
全 体	509	40.3	4.5	17.7	16.3	24.2	20.4	10.6	0.0
小牧小学校区	61	41.0	3.3	6.6	18.0	21.3	23.0	16.4	0.0
村中小学校区	29	37.9	0.0	17.2	17.2	17.2	27.6	10.3	0.0
小牧南小学校区	48	50.0	6.3	18.8	22.9	18.8	18.8	8.3	0.0
三ツ淵小学校区	14	64.3	0.0	14.3	14.3	14.3	21.4	7.1	0.0
味岡小学校区	88	43.2	8.0	19.3	15.9	27.3	17.0	5.7	0.0
篠岡小学校区	8	37.5	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	37.5	0.0
北里小学校区	38	39.5	5.3	15.8	10.5	28.9	23.7	2.6	0.0
米野小学校区	48	33.3	4.2	25.0	18.8	27.1	29.2	4.2	0.0
一色小学校区	24	37.5	0.0	16.7	8.3	12.5	16.7	20.8	0.0
小木小学校区	21	23.8	0.0	19.0	9.5	33.3	23.8	9.5	0.0
小牧原小学校区	37	29.7	0.0	13.5	16.2	21.6	21.6	18.9	0.0
本庄小学校区	31	41.9	0.0	25.8	12.9	25.8	22.6	12.9	0.0
桃ヶ丘小学校区	21	57.1	4.8	9.5	9.5	42.9	9.5	14.3	0.0
陶小学校区	13	38.5	7.7	7.7	38.5	7.7	7.7	23.1	0.0
光ヶ丘小学校区	18	27.8	16.7	38.9	22.2	33.3	5.6	5.6	0.0
大城小学校区	9	33.3	0.0	33.3	11.1	22.2	33.3	0.0	0.0
小学校区がわからない	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 13 日常生活で、お子さんとお家族はどのように関わっていますか。

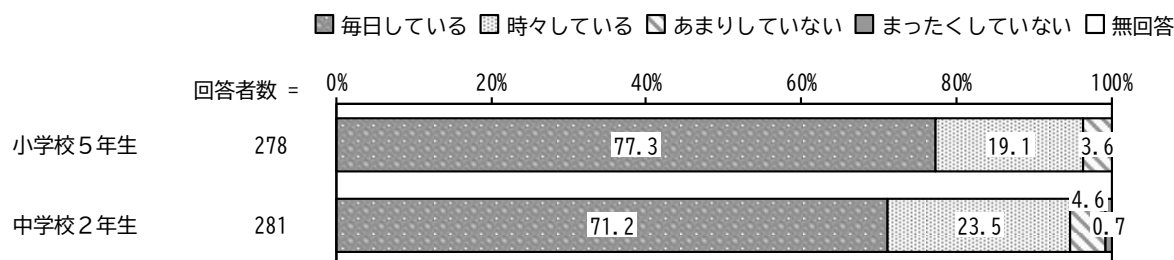
『3 家族で一緒に晩ごはんを食べる』で「毎日している」が、『2 こどもに家事などの手伝いをさせる』で「時々している」が、『4 こどもの勉強をみる』で「あまりしていない」「まったくしていない」が高くなっています。



1 こどもの話を聞く(学校での出来事や悩みごとなど)

【学年別】

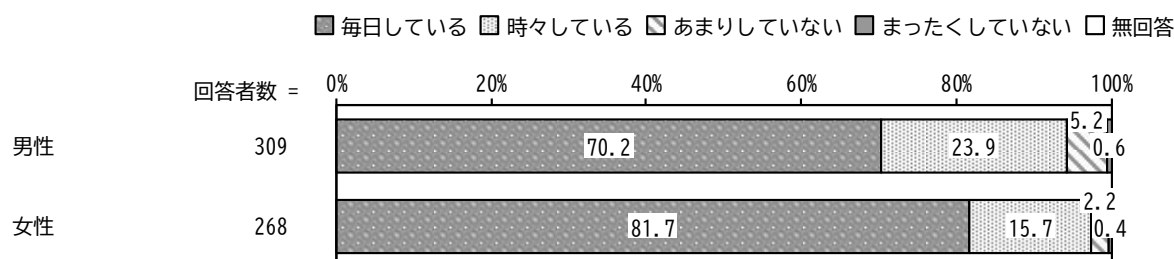
学年別にみると、小学校5年生で「毎日している」の割合が高くなっています。



【性別】

「毎日している」「時々している」を合わせた“している”の割合が 95.6%、「あまりしていない」「まったくしていない」を合わせた“していない”の割合が 4.3%となっています。

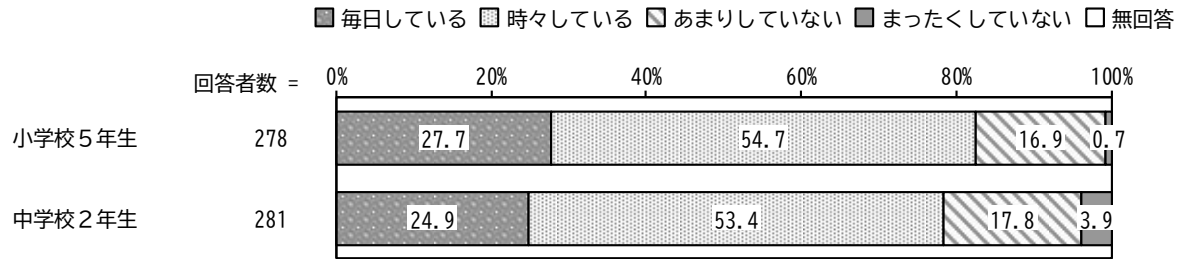
男性で「時々している」の割合が高く、女性で「毎日している」の割合が高くなっています。



2 こどもに家事などの手伝いをさせる

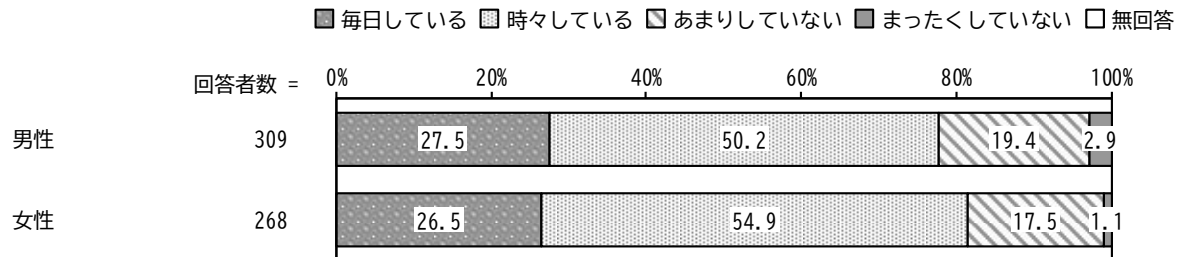
【学年別】

学年別にみると、大きな差はみられません。



【性別】

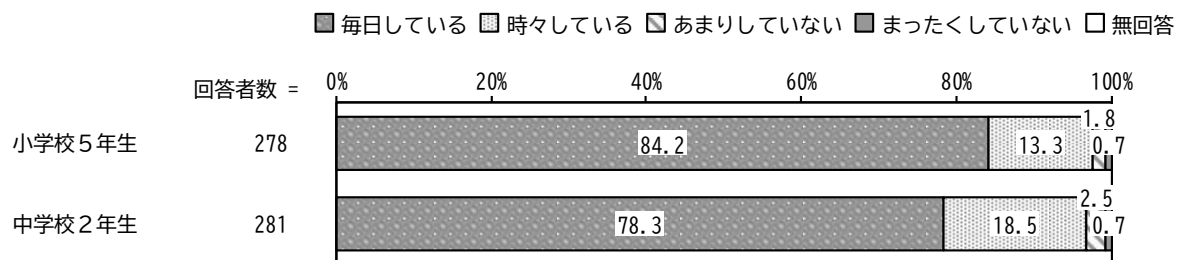
「毎日している」「時々している」を合わせた“している”の割合が79.3%、「あまりしていない」「まったくしていない」を合わせた“していない”の割合が20.7%となっています。
大きな差はみられません。



3 家族と一緒に晩ごはんを食べる

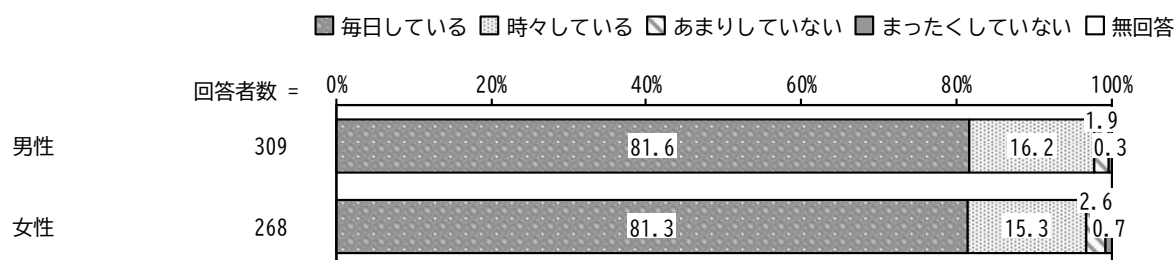
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「毎日している」の割合が高く、中学校2年生で「時々している」の割合が高くなっています。



【性別】

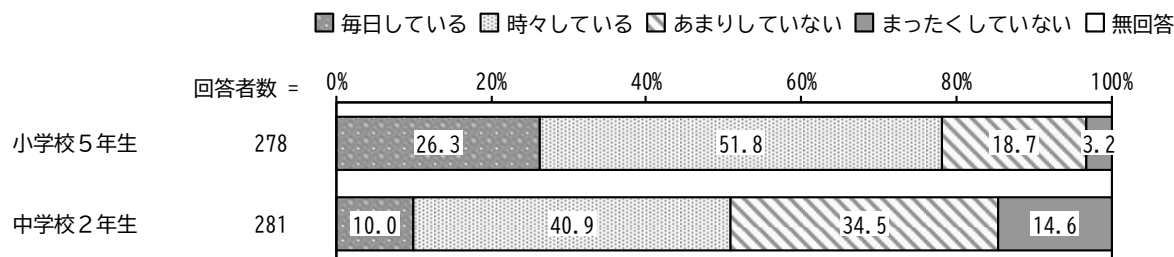
「毎日している」「時々している」を合わせた“している”の割合が98.0%、「あまりしていない」「まったくしていない」を合わせた“していない”の割合が2.0%となっています。
大きな差はみられません。



4 こどもの勉強をみる

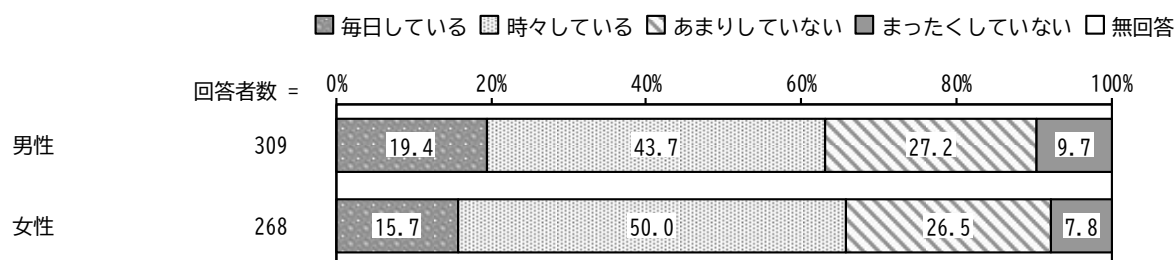
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で“している”の割合が高くなっています。



【性別】

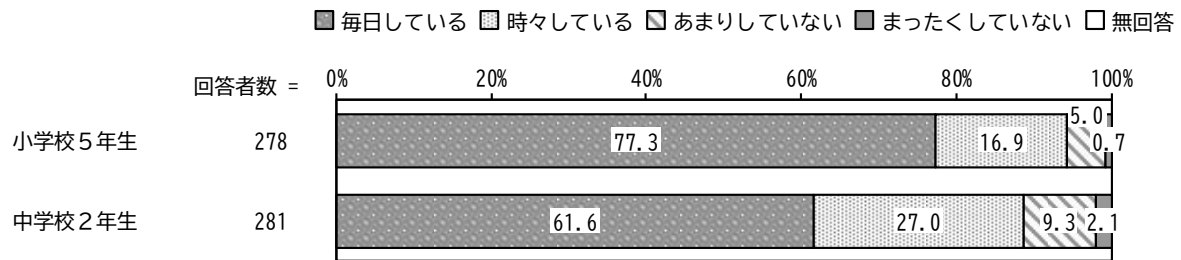
「毎日している」「時々している」を合わせた“している”の割合が64.3%、「あまりしていない」「まったくしていない」を合わせた“していない”の割合が35.7%となっています。
女性で「時々している」の割合が高くなっています。



5 こどもが決まった時間に起き、寝るようにする

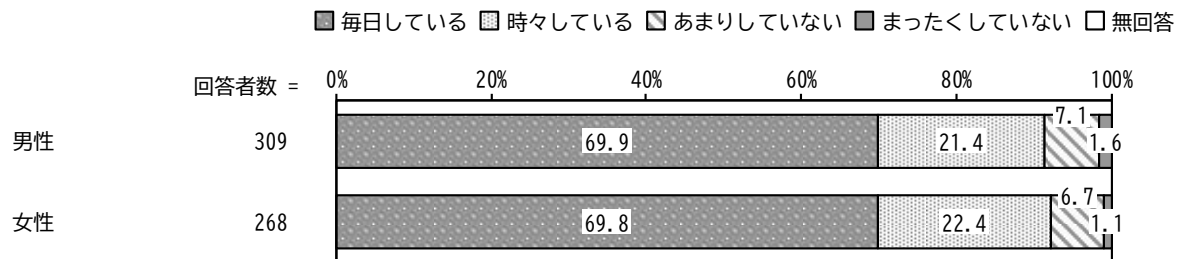
【学年別】

学年別にみると、中学校2年生で“していない”の割合が高くなっています。



【性別】

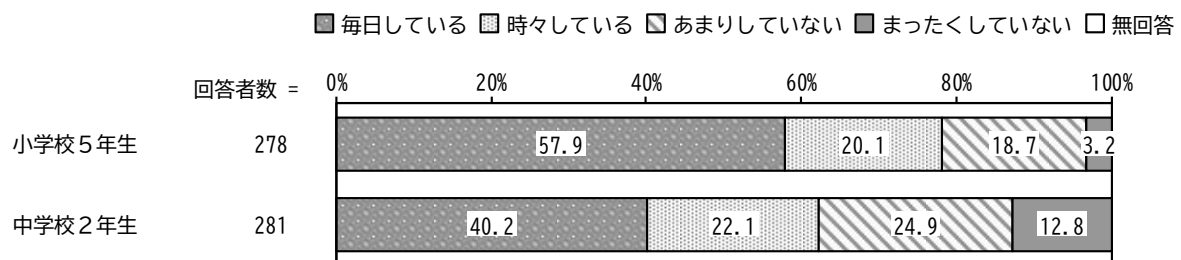
「毎日している」「時々している」を合わせた“している”の割合が91.3%、「あまりしていない」「まったくしていない」を合わせた“していない”の割合が8.7%となっています。
大きな差はみられません。



6 ゲームやスマホの時間を限定する

【学年別】

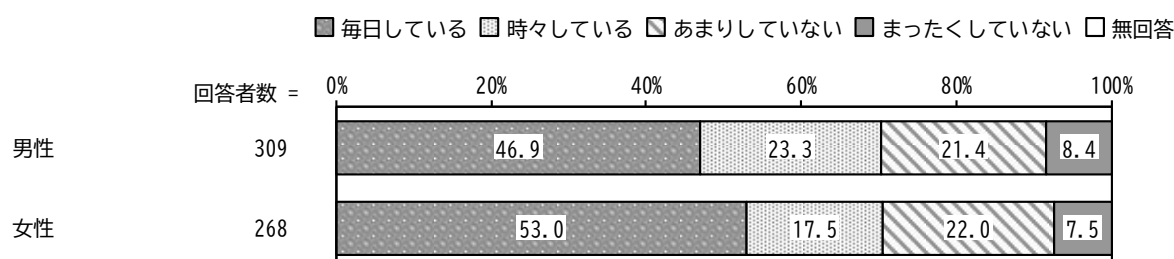
学年別にみると、中学校2年生で“していない”の割合が高くなっています。



【性別】

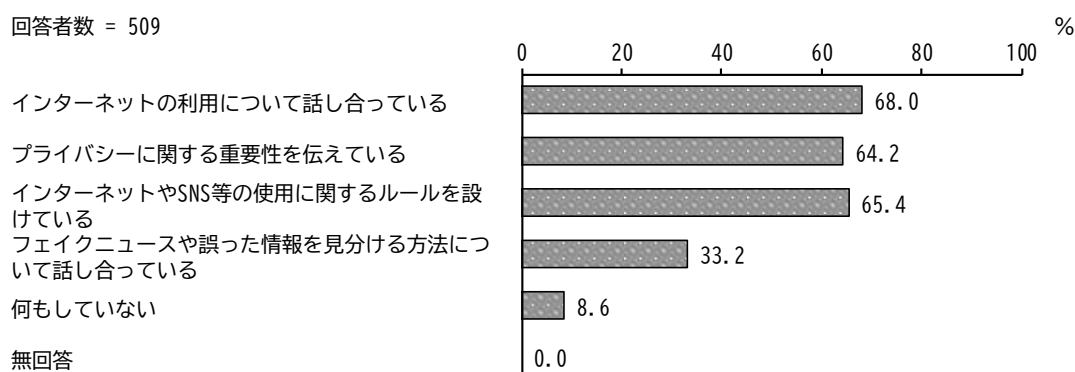
「毎日している」「時々している」を合わせた“している”の割合が 69.7%、「あまりしていない」「まったくしていない」を合わせた“していない”の割合が 30.3%となっています。

男性で「時々している」の割合が高く、女性で「毎日している」の割合が高くなっています。



問 14 あなたは、お子さんがインターネットを利用する上で、家庭で情報モラルに関する以下の内容について実践していますか。 以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「インターネットの利用について話し合っている」の割合が 68.0%と最も高く、次いで「インターネットや SNS 等の使用に関するルールを設けている」の割合が 65.4%、「プライバシーに関する重要性を伝えている」の割合が 64.2%となっています。



【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「フェイクニュースや誤った情報を見分ける方法について話し合っている」の割合が高くなっています。

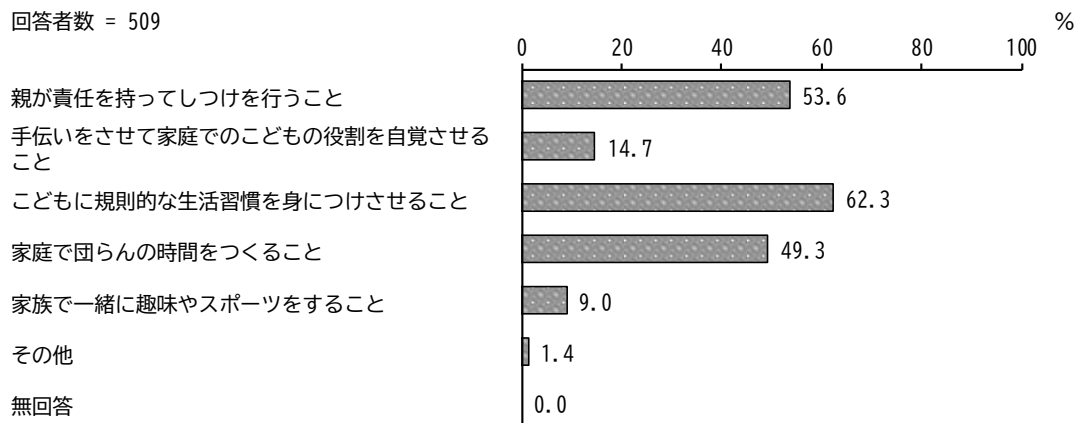
単位：%

区分	回答者数 (件)	インターネットの利用について話し合っている	プライバシーに関する重要性を伝えている	インターネットやSNS等の使用に関するルールを設けている	フェイクニュースや誤った情報を見分ける方法について話し合っている	何もしていない	無回答
全 体	509	68.0	64.2	65.4	33.2	8.6	0.0
小学校5年生	278	70.1	62.9	64.4	36.7	9.7	0.0
中学校2年生	281	65.5	64.8	67.6	31.3	7.5	0.0

問 15 あなたは、子どもたちを教育していく中で、家庭の役割としてどのようなことが重要だと思いますか。 以下の設問からあてはまるものを2つまで選んでください。

「子どもに規則的な生活習慣を身につけさせること」の割合が 62.3%と最も高く、次いで「親が責任を持ってしつけを行うこと」の割合が 53.6%、「家庭で団らんの時間をつくること」の割合が 49.3%となっています。

回答者数 = 509



【学年別】

学年別にみると、大きな差はみられません。

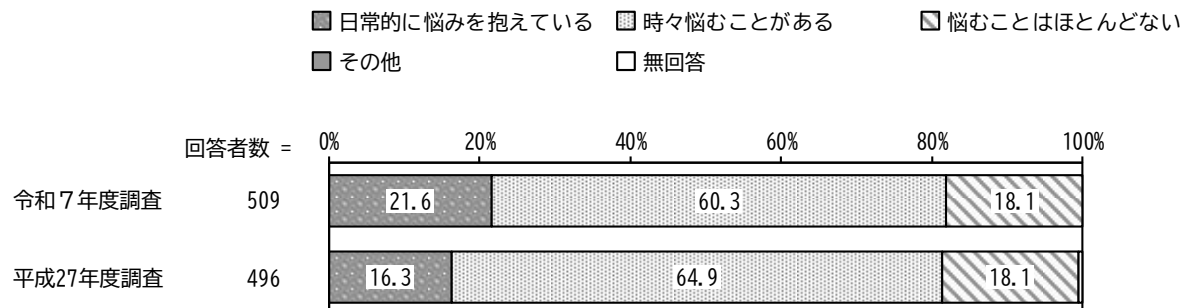
単位：%

区分	回答者数 (件)	親が責任を持ってしつけを行うこと	手伝いをさせて家庭でのこどもの役割を自覚させること	子どもに規則的な生活習慣を身につけさせること	家庭で団らんの時間をつくること	家族で一緒に趣味やスポーツをすること	その他	無回答
全 体	509	53.6	14.7	62.3	49.3	9.0	1.4	0.0
小学校5年生	278	54.0	12.9	64.4	50.0	9.4	1.8	0.0
中学校2年生	281	53.0	16.7	60.9	49.8	7.8	0.7	0.0

問 16 あなたは、お子さんの教育に関して、悩みや不安ことはありますか。 以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

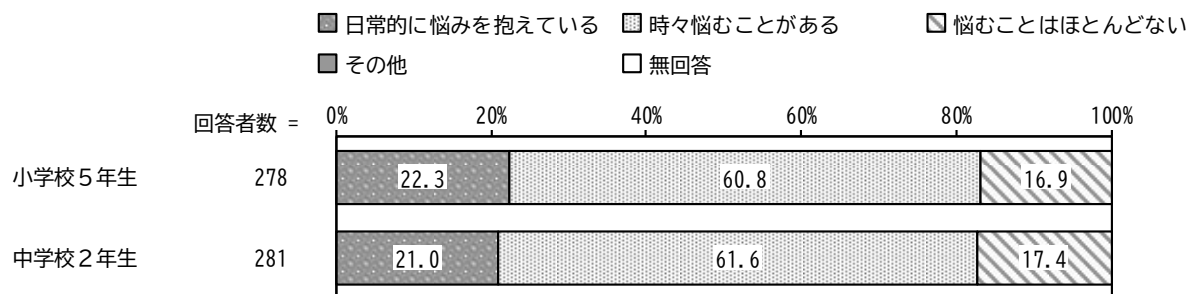
「日常的に悩みを抱えている」の割合が21.6%、「時々悩むことがある」の割合が60.3%、「悩むことはほとんどない」の割合が18.1%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「日常的に悩みを抱えている」の割合が増加しています。



【学年別】

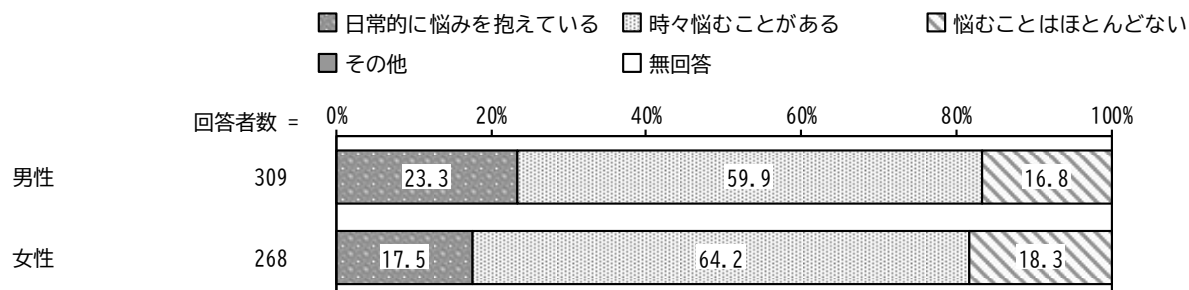
学年別にみると、大きな差はみられません。



【性別】

「日常的に悩みを抱えている」の割合が21.6%、「時々悩むことがある」の割合が60.3%、「悩むことはほとんどない」の割合が18.1%となっています。

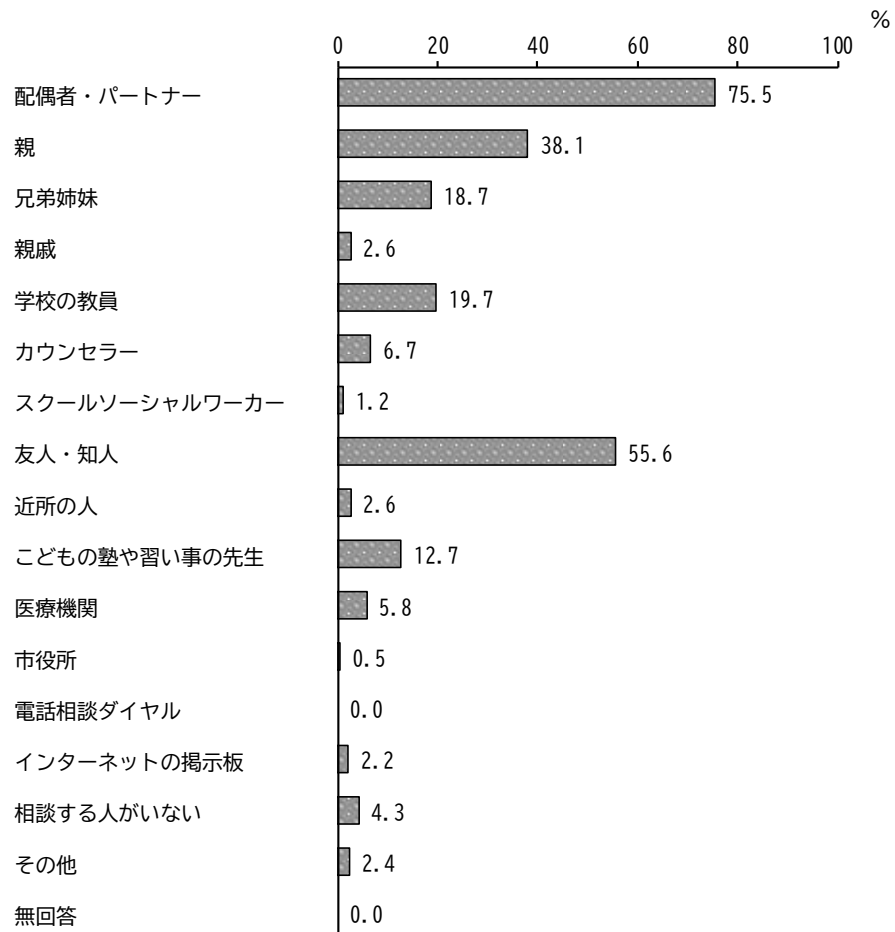
男性で「日常的に悩みを抱えている」の割合が高くなっています。



問 17 【質問 16 で「日常的に悩みを抱えている」「時々悩むことがある」と答えた方】 悩みや不安なことがあるとき、誰に相談しますか。以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「配偶者・パートナー」の割合が 75.5%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 55.6%、「親」の割合が 38.1%となっています。

回答者数 = 417



【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「親」「学校の教員」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者・パートナ ー	親	兄弟姉妹	親戚	学校の教員	カウンセラ ー	スクールソーシ ャ ルワーカー	友人・知人
全 体	417	75.5	38.1	18.7	2.6	19.7	6.7	1.2	55.6
小学校5年生	231	77.5	41.6	19.0	3.0	24.2	6.5	1.7	55.0
中学校2年生	232	75.4	36.2	19.4	1.7	15.9	7.3	1.3	57.8

区分	近所の人	こどもの塾や習い 事の先生	医療機関	市役所	電話相談ダイヤル	インターネットの 掲示板	相談する人がいな い	その他	無回答
全 体	2.6	12.7	5.8	0.5	0.0	2.2	4.3	2.4	0.0
小学校5年生	1.7	11.3	5.2	0.4	0.0	3.0	4.8	2.2	0.0
中学校2年生	3.4	13.4	5.6	0.4	0.0	1.3	3.0	2.2	0.0

【小学校区別】

小学校区別にみると、小牧原小学校区で「配偶者・パートナー」、三ツ淵小学校区で「親」「兄弟姉妹」「友人・知人」「こどもの塾や習い事の先生」、小木小学校区で「カウンセラー」「医療機関」、陶小学校区で「近所の人」「相談する人がいない」の割合が高くなっています。

単位：％

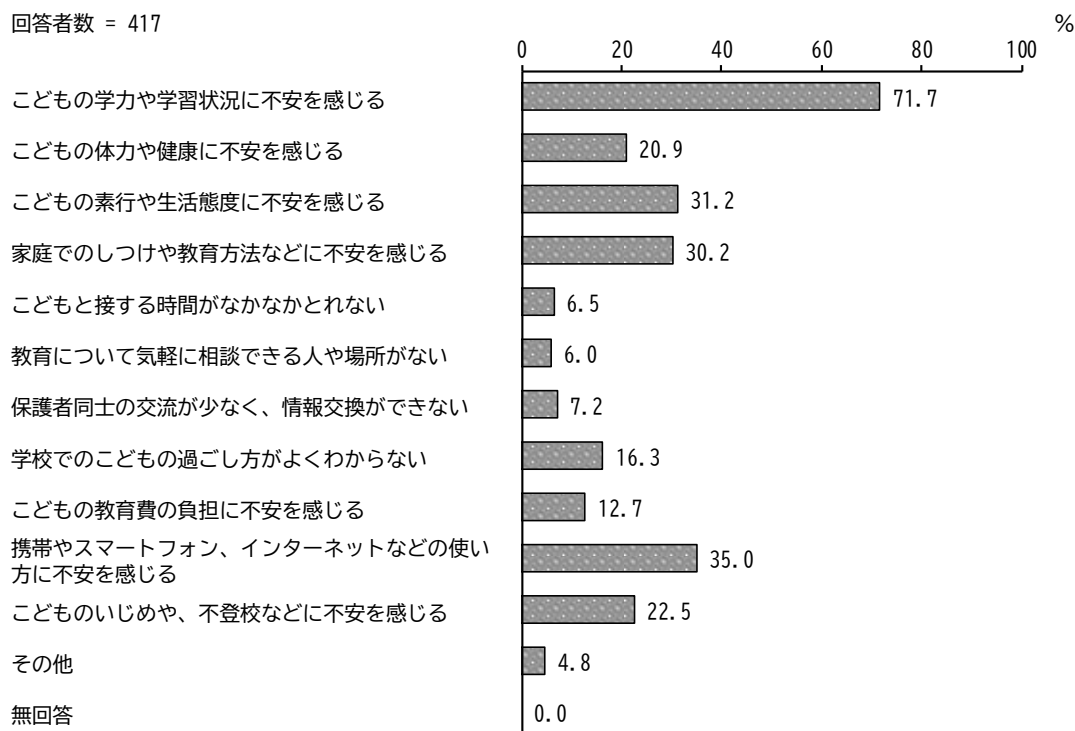
区分	回答者数 (件)	配偶者・ パートナー	親	兄弟 姉妹	親 戚	学校 の教員	カウ ンセー ラー	ス ク ー ル ソ ー シ ャ ル ワ ー カ ー	友 人 ・ 知 人
全 体	417	75.5	38.1	18.7	2.6	19.7	6.7	1.2	55.6
小牧小学校区	43	60.5	37.2	18.6	0.0	14.0	0.0	0.0	37.2
村中小学校区	26	80.8	46.2	7.7	3.8	15.4	11.5	0.0	57.7
小牧南小学校区	39	71.8	35.9	12.8	0.0	17.9	7.7	2.6	64.1
三ツ淵小学校区	12	83.3	66.7	50.0	8.3	16.7	0.0	0.0	66.7
味噌小学校区	73	82.2	37.0	19.2	1.4	21.9	9.6	1.4	54.8
篠岡小学校区	6	100.0	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3
北里小学校区	30	80.0	33.3	16.7	0.0	16.7	13.3	3.3	56.7
米野小学校区	40	72.5	32.5	22.5	7.5	27.5	12.5	5.0	65.0
一色小学校区	21	71.4	28.6	19.0	4.8	19.0	0.0	0.0	57.1
小木小学校区	17	70.6	47.1	17.6	0.0	11.8	17.6	0.0	58.8
小牧原小学校区	33	90.9	36.4	21.2	3.0	18.2	3.0	0.0	54.5
本庄小学校区	26	69.2	34.6	26.9	3.8	19.2	0.0	0.0	53.8
桃ヶ丘小学校区	18	83.3	33.3	16.7	0.0	27.8	5.6	0.0	61.1
陶小学校区	13	61.5	53.8	7.7	7.7	23.1	0.0	0.0	46.2
光ヶ丘小学校区	14	64.3	50.0	14.3	0.0	14.3	7.1	0.0	57.1
大城小学校区	5	60.0	40.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	60.0
小学校区がわからない	1	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0

区分	近 所 の 人	こ ど も の 塾 や 習 い 事 の 先 生	医 療 機 関	市 役 所	電 話 相 談 ダ イ ヤ ル	掲 示 板 イ ン タ ー ネ ッ ト の	相 談 す る 人 が い な い	そ の 他	無 回 答
全 体	2.6	12.7	5.8	0.5	0.0	2.2	4.3	2.4	0.0
小牧小学校区	0.0	9.3	2.3	0.0	0.0	2.3	14.0	2.3	0.0
村中小学校区	3.8	11.5	3.8	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8	0.0
小牧南小学校区	5.1	10.3	7.7	0.0	0.0	2.6	5.1	0.0	0.0
三ツ淵小学校区	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0
味噌小学校区	1.4	17.8	6.8	1.4	0.0	4.1	1.4	0.0	0.0
篠岡小学校区	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北里小学校区	3.3	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0
米野小学校区	5.0	10.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0
一色小学校区	0.0	14.3	9.5	4.8	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0
小木小学校区	0.0	5.9	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0
小牧原小学校区	0.0	9.1	3.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0
本庄小学校区	3.8	7.7	3.8	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0
桃ヶ丘小学校区	5.6	22.2	5.6	0.0	0.0	5.6	5.6	5.6	0.0
陶小学校区	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	15.4	23.1	0.0
光ヶ丘小学校区	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
大城小学校区	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0
小学校区がわからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 18 【質問 16 で「日常的に悩みを抱えている」「時々悩むことがある」と答えた方】 その悩みや不安なことはどのようなものですか。 以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「こどもの学力や学習状況に不安を感じる」の割合が 71.7%と最も高く、次いで「携帯やスマートフォン、インターネットなどの使い方に不安を感じる」の割合が 35.0%、「こどもの素行や生活態度に不安を感じる」の割合が 31.2%となっています。

回答者数 = 417



【学年別】

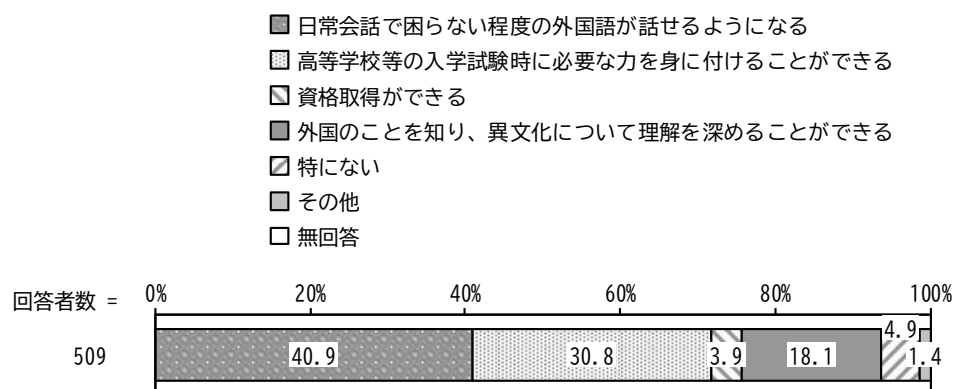
学年別にみると、小学校5年生で「家庭でのしつけや教育方法などに不安を感じる」「学校でのこどもの過ごし方がよくわからない」「こどものいじめや、不登校などに不安を感じる」の割合が高く、中学校2年生で「こどもの学力や学習状況に不安を感じる」「こどもの教育費の負担に不安を感じる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	こどもの学力や学習状況に不安を感じる	こどもの体力や健康に不安を感じる	こどもの素行や生活態度に不安を感じる	家庭でのしつけや教育方法などに不安を感じる	こどもと接する時間がなかなかとれない	教育について気軽に相談できる人や場所がない	保護者同士の交流が少なく、情報交換ができない	学校でのこどもの過ごし方がよくわからない	こどもの教育費の負担に不安を感じる	携帯やスマートフォン、インターネットなどの使い方に不安を感じる	こどものいじめや、不登校などに不安を感じる	その他	無回答
全 体	417	71.7	20.9	31.2	30.2	6.5	6.0	7.2	16.3	12.7	35.0	22.5	4.8	0.0
小学校5年生	231	66.7	22.1	34.2	33.8	8.2	6.1	8.2	19.5	11.3	36.8	26.4	6.5	0.0
中学校2年生	232	77.2	19.4	29.7	26.3	3.9	5.6	6.0	12.5	16.8	34.9	20.7	2.6	0.0

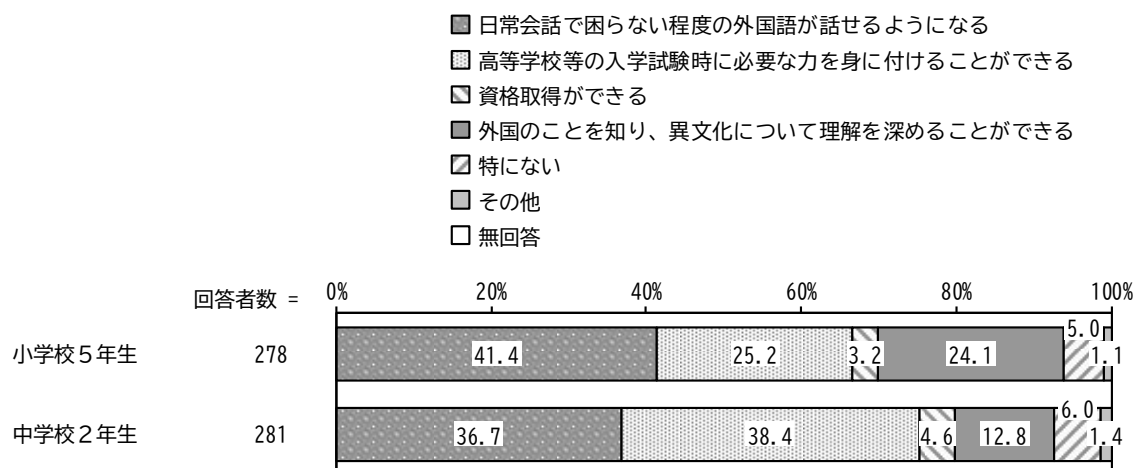
問 19 小牧市の学校で行われている外国語教育について、あなたが学習の効果として期待されることはどのようなことですか。以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「日常会話で困らない程度の外国語が話せるようになる」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「高等学校等の入学試験時に必要な力を身に付けることができる」の割合が 30.8%、「外国のことを知り、異文化について理解を深めることができる」の割合が 18.1%となっています。



【学年別】

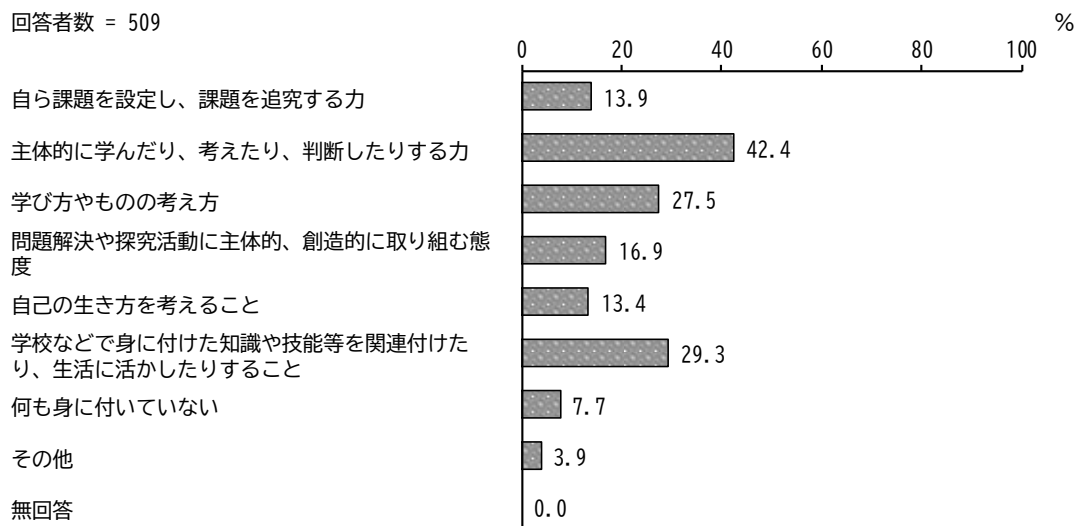
学年別にみると、小学校5年生で「外国のことを知り、異文化について理解を深めることができる」の割合が高く、中学校2年生で「高等学校等の入学試験時に必要な力を身に付けることができる」の割合が高くなっています。



問 20 学校生活の中で、こどもたちに身に付いたと感じるものは何ですか。

以下の設問からあてはまるものを2つまで選んでください。

「主体的に学んだり、考えたり、判断したりする力」の割合が 42.4%と最も高く、次いで「学校などで身に付けた知識や技能等を関連付けたり、生活に活かしたりすること」の割合が 29.3%、「学び方やものの考え方」の割合が 27.5%となっています。



【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「主体的に学んだり、考えたり、判断したりする力」「学校などで身に付けた知識や技能等を関連付けたり、生活に活かしたりすること」の割合が高く、中学校2年生で「自己の生き方を考えること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自ら課題を設定し、課題を追究する力	主体的に学んだり、考えたり、判断したりする力	学び方やものの考え方	問題解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度	自己の生き方を考えること	学校などで身に付けた知識や技能等を関連付けたり、生活に活かしたりすること	何も身に付いていない	その他	無回答
全 体	509	13.9	42.4	27.5	16.9	13.4	29.3	7.7	3.9	0.0
小学校5年生	278	13.3	45.7	29.1	15.1	9.7	35.3	6.1	2.5	0.0
中学校2年生	281	13.9	39.5	25.3	18.5	18.1	24.2	8.5	4.6	0.0

【性別】

「主体的に学んだり、考えたり、判断したりする力」の割合が 42.4%と最も高く、次いで「学校などで身に付けた知識や技能等を関連付けたり、生活に活かしたりすること」の割合が 29.3%、「学び方やものの考え方」の割合が 27.5%となっています。

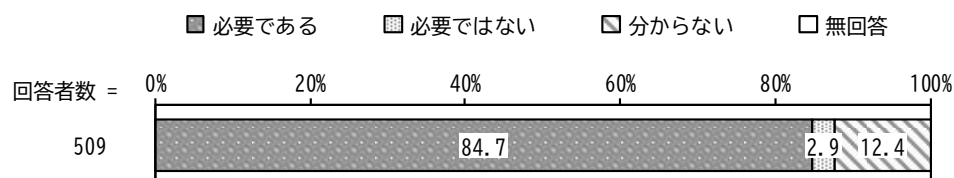
大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	自ら課題を設定し、課題を追究する力	主体的に学んだり、考えたり、判断したりする力	学び方やものの考え方	問題解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度	自己の生き方を考えること	学校などで身に付けた知識や技能等を関連付けたり、生活に活かしたりすること	何も身に付いていない	その他	無回答
全 体	509	13.9	42.4	27.5	16.9	13.4	29.3	7.7	3.9	0.0
男性	309	13.3	41.7	27.5	16.5	11.7	29.8	8.1	4.5	0.0
女性	268	13.1	44.0	27.2	18.7	15.7	28.0	5.6	4.1	0.0

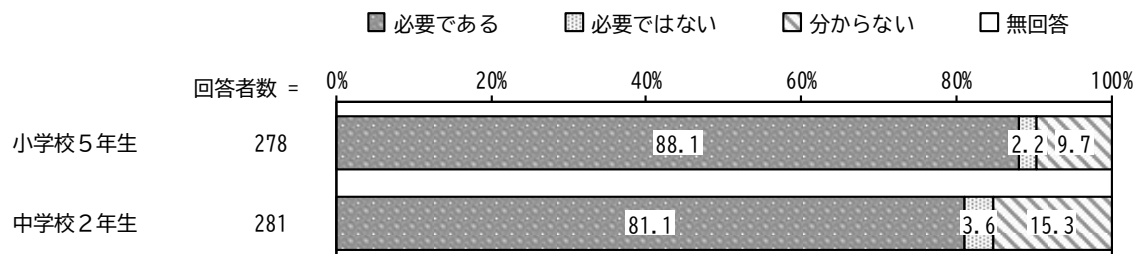
問 21 こどもたちが学校の教室に通えなくなったとき、こどもたちの学び方・過ごし方を考える上で、どこでどのような支援が行われているかといった情報があらかじめ普段から提供されることは必要だと思いますか。
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「必要である」の割合が 84.7%、「必要ではない」の割合が 2.9%となっています。



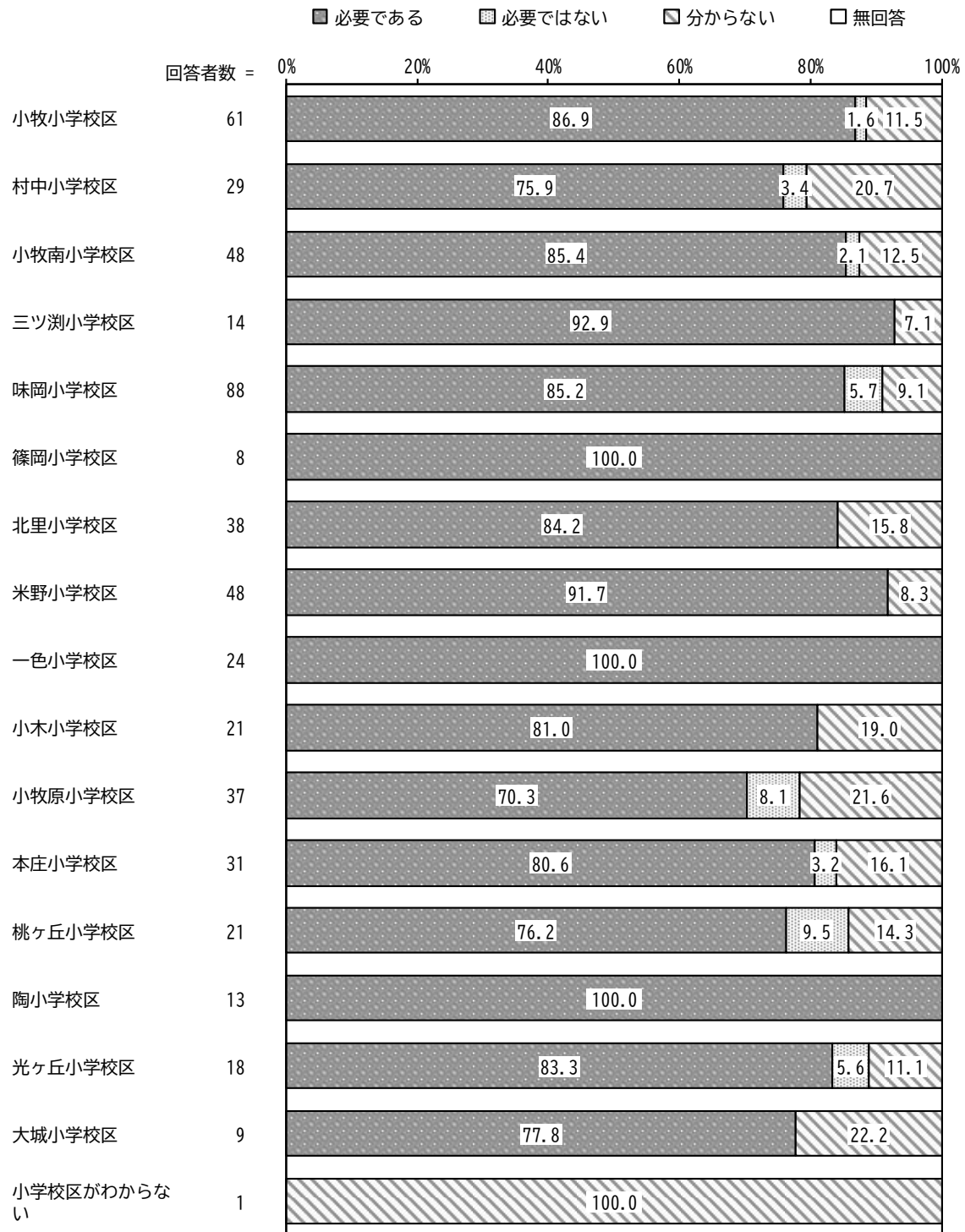
【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「必要である」の割合が高くなっています。



【小学校区別】

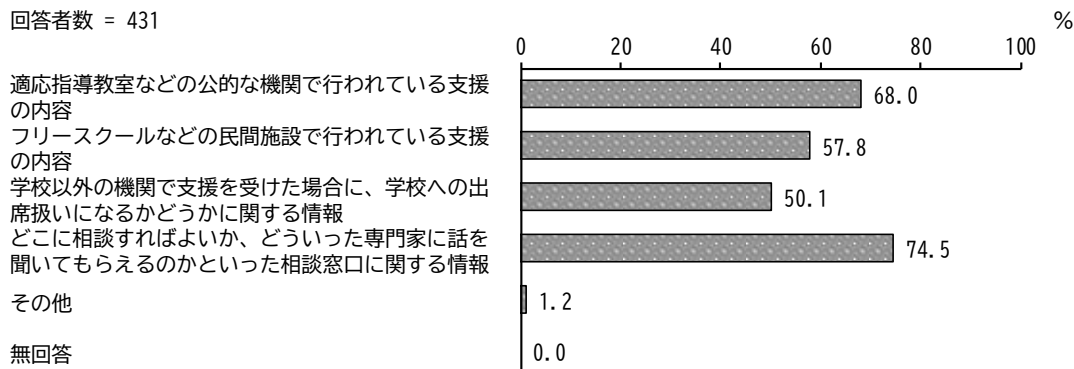
小学校区別にみると、小牧原小学校区、桃ヶ丘小学校区で「必要ではない」の割合が高くなっています。



問 22 【質問 21 で「必要である」と答えた方】 こどもたちの学び方・過ごし方を考える上で、必要だと思う情報は何か。
以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「どこに相談すればよいか、こういった専門家に話を聞いてもらえるのかといった相談窓口に関する情報」の割合が 74.5%と最も高く、次いで「適応指導教室などの公的な機関で行われている支援の内容」の割合が 68.0%、「フリースクールなどの民間施設で行われている支援の内容」の割合が 57.8%となっています。

回答者数 = 431



【学年別】

学年別にみると、小学校5年生で「適応指導教室などの公的な機関で行われている支援の内容」「フリースクールなどの民間施設で行われている支援の内容」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	適応指導教室などの公的な 機関で行われている支援の 内容	フリースクールなどの民間 施設で行われている支援の 内容	学校以外の機関で支援を受 けた場合に、学校への出席 扱いになるかどうかに関す る情報	どこに相談すればよいか、 こういった専門家に話を聞 いてもらえるのかといった 相談窓口に関する情報	その他	無回答
全 体	431	68.0	57.8	50.1	74.5	1.2	0.0
小学校5年生	245	73.5	61.6	51.0	75.5	0.8	0.0
中学校2年生	228	62.7	53.5	49.6	75.0	1.3	0.0

【小学校区別】

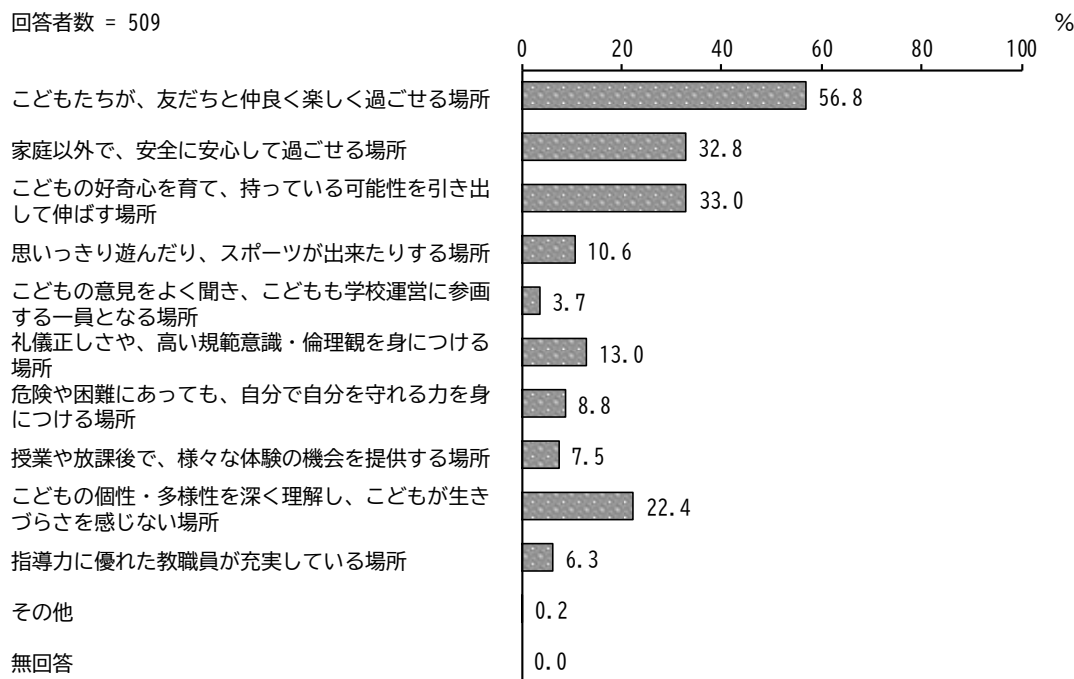
小学校区別にみると、一色小学校区で「フリースクールなどの民間施設で行われている支援の内容」、小木小学校区で「学校以外の機関で支援を受けた場合に、学校への出席扱いになるかどうかに関する情報」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	適応指導教室などの公的な 機関で行われている支援の 内容	フリースクールなどの民間 施設で行われている支援の 内容	学校以外の機関で支援を受 けた場合に、学校への出席 扱いになるかどうかに関す る情報	どこに相談すればよいか、 どういった専門家に話を聞 いてもらえるのかといった 相談窓口に関する情報	その他	無回答
全 体	431	68.0	57.8	50.1	74.5	1.2	0.0
小牧小学校区	53	77.4	54.7	47.2	79.2	0.0	0.0
村中小学校区	22	63.6	40.9	31.8	81.8	0.0	0.0
小牧南小学校区	41	63.4	58.5	46.3	75.6	4.9	0.0
三ツ淵小学校区	13	76.9	30.8	38.5	69.2	0.0	0.0
味噌小学校区	75	72.0	52.0	44.0	73.3	1.3	0.0
篠岡小学校区	8	50.0	62.5	50.0	87.5	0.0	0.0
北里小学校区	32	59.4	59.4	46.9	75.0	3.1	0.0
米野小学校区	44	68.2	68.2	52.3	75.0	0.0	0.0
一色小学校区	24	75.0	75.0	66.7	75.0	0.0	0.0
小木小学校区	17	52.9	64.7	70.6	82.4	5.9	0.0
小牧原小学校区	26	69.2	57.7	53.8	69.2	0.0	0.0
本庄小学校区	25	56.0	64.0	56.0	64.0	0.0	0.0
桃ヶ丘小学校区	16	68.8	62.5	56.3	62.5	0.0	0.0
陶小学校区	13	76.9	61.5	53.8	76.9	0.0	0.0
光ヶ丘小学校区	15	66.7	53.3	66.7	73.3	0.0	0.0
大城小学校区	7	71.4	57.1	42.9	71.4	0.0	0.0
小学校区がわからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 23 こどもたちにとって、これからの学校はどのような場所であることが望ましいと思いますか。以下の設問からあてはまるものを2つまで選んでください。

「こどもたちが、友だちと仲良く楽しく過ごせる場所」の割合が 56.8%と最も高く、次いで「こどもの好奇心を育て、持っている可能性を引き出して伸ばす場所」の割合が 33.0%、「家庭以外で、安全に安心して過ごせる場所」の割合が 32.8%となっています。



【学年別】

学年別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数（件）	こどもたちが、友だちと仲良く楽しく過ごせる場所	家庭以外で、安全に安心して過ごせる場所	こどもの好奇心を育て、持っている可能性を引き出して伸ばす場所	思いっきり遊んだり、スポーツが出来たりする場所	こどもの意見をよく聞き、こどもも学校運営に参画する一員となる場所	礼儀正しさや、高い規範意識・倫理観を身につける場所	危険や困難にあっても、自分で自分を守る力を身につける場所	授業や放課後で、様々な体験の機会を提供する場所	こどもの個性・多様性を深く理解し、こどもが生きづらさを感じない場所	指導力に優れた教職員が充実している場所	その他	無回答
全 体	509	56.8	32.8	33.0	10.6	3.7	13.0	8.8	7.5	22.4	6.3	0.2	0.0
小学校5年生	278	56.5	31.7	34.2	10.1	2.5	14.7	10.1	7.9	23.4	4.3	0.0	0.0
中学校2年生	281	56.6	33.5	31.7	12.1	4.6	11.0	8.5	6.4	22.8	7.1	0.4	0.0

【性別】

「子どもたちが、友だちと仲良く楽しく過ごせる場所」の割合が 56.8%と最も高く、次いで「子どもの好奇心を育て、持っている可能性を引き出して伸ばす場所」の割合が 33.0%、「家庭以外で、安全に安心して過ごせる場所」の割合が 32.8%となっています。

男性で「思いっきり遊んだり、スポーツが出来たりする場所」の割合が高く、女性で「礼儀正しさや、高い規範意識・倫理観を身につける場所」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子どもたちが、友だちと仲良く楽しく過ごせる場所	家庭以外で、安全に安心して過ごせる場所	子どもの好奇心を育て、持っている可能性を引き出して伸ばす場所	思いっきり遊んだり、スポーツが出来たりする場所	子どもの意見をよく聞き、子どもも学校運営に参画する一員となる場所	礼儀正しさや、高い規範意識・倫理観を身につける場所	危険や困難にあっても、自分で自分を守れる力を身につける場所	授業や放課後で、様々な体験の機会を提供する場所	子どもの個性・多様性を深く理解し、子どもが生きづらさを感じない場所	指導力に優れた教職員が充実している場所	その他	無回答
全 体	509	56.8	32.8	33.0	10.6	3.7	13.0	8.8	7.5	22.4	6.3	0.2	0.0
男性	309	55.7	30.7	35.0	13.9	4.5	10.0	10.0	6.8	22.3	5.2	0.3	0.0
女性	268	59.7	35.1	30.6	6.3	3.7	16.0	8.2	7.8	21.3	7.1	0.0	0.0

【小学校区別】

小学校区別にみると、桃ヶ丘小学校区で「こどもたちが、友だちと仲良く楽しく過ごせる場所」「家庭以外で、安全に安心して過ごせる場所」、米野小学校区、光ヶ丘小学校区で「こどもの好奇心を育て、持っている可能性を引き出して伸ばす場所」、光ヶ丘小学校区で「思いっきり遊んだり、スポーツが出来る場所」「こどもの意見をよく聞き、こどもも学校運営に参画する一員となる場所」、小牧小学校区で「礼儀正しさや、高い規範意識・倫理観を身につける場所」、小牧原小学校区で「危険や困難にあっても、自分で自分を守る力を身につける場所」、一色小学校区で「授業や放課後で、様々な体験の機会を提供する場所」、陶小学校区で「こどもの個性・多様性を深く理解し、こどもが生きづらさを感じない場所」の割合が高くなっています。

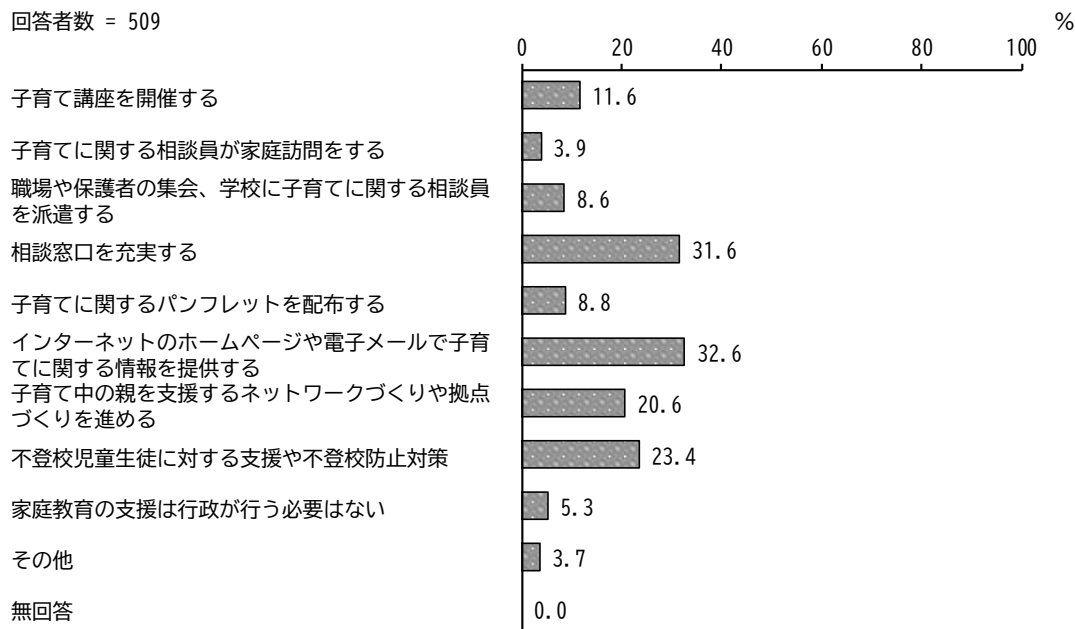
単位：％

区分	回答者数（件）	こどもたちが、友だちと仲良く楽しく過ごせる場所	家庭以外で、安全に安心して過ごせる場所	こどもの好奇心を育て、持っている可能性を引き出して伸ばす場所	思いっきり遊んだり、スポーツが出来たりする場所	こどもの意見をよく聞き、こどもも学校運営に参画する一員となる場所	礼儀正しさや、高い規範意識・倫理観を身につける場所	危険や困難にあっても、自分で自分を守る力を身につける場所	授業や放課後で、様々な体験の機会を提供する場所	こどもの個性・多様性を深く理解し、こどもが生きづらさを感じない場所	指導力に優れた教職員が充実している場所	その他	無回答
全 体	509	56.8	32.8	33.0	10.6	3.7	13.0	8.8	7.5	22.4	6.3	0.2	0.0
小牧小学校区	61	55.7	34.4	31.1	8.2	4.9	27.9	4.9	4.9	16.4	8.2	0.0	0.0
村中小学校区	29	55.2	20.7	41.4	10.3	6.9	13.8	13.8	3.4	17.2	6.9	0.0	0.0
小牧南小学校区	48	60.4	41.7	22.9	10.4	0.0	12.5	14.6	2.1	20.8	8.3	0.0	0.0
三ツ淵小学校区	14	64.3	14.3	28.6	14.3	7.1	14.3	7.1	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0
味岡小学校区	88	54.5	35.2	34.1	10.2	3.4	9.1	5.7	9.1	25.0	8.0	1.1	0.0
篠岡小学校区	8	50.0	37.5	25.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	37.5	0.0	0.0	0.0
北里小学校区	38	60.5	31.6	28.9	7.9	5.3	7.9	15.8	5.3	23.7	5.3	0.0	0.0
米野小学校区	48	50.0	29.2	43.8	12.5	2.1	4.2	4.2	8.3	33.3	10.4	0.0	0.0
一色小学校区	24	54.2	41.7	20.8	4.2	4.2	12.5	8.3	29.2	25.0	0.0	0.0	0.0
小木小学校区	21	57.1	33.3	38.1	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	23.8	4.8	0.0	0.0
小牧原小学校区	37	62.2	21.6	32.4	16.2	0.0	13.5	18.9	2.7	18.9	8.1	0.0	0.0
本庄小学校区	31	54.8	32.3	38.7	6.5	6.5	16.1	0.0	6.5	25.8	6.5	0.0	0.0
桃ヶ丘小学校区	21	76.2	42.9	28.6	9.5	0.0	4.8	4.8	23.8	9.5	0.0	0.0	0.0
陶小学校区	13	38.5	38.5	30.8	0.0	0.0	23.1	15.4	7.7	38.5	0.0	0.0	0.0
光ヶ丘小学校区	18	50.0	22.2	44.4	22.2	16.7	11.1	0.0	5.6	11.1	5.6	0.0	0.0
大城小学校区	9	77.8	44.4	22.2	22.2	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小学校区がわからない	1	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 24 家庭の教育力を高めるために行政に支援を期待することは何ですか。

以下の設問からあてはまるものを2つまで選んでください。

「インターネットのホームページや電子メールで子育てに関する情報を提供する」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「相談窓口を充実する」の割合が 31.6%、「不登校児童生徒に対する支援や不登校防止対策」の割合が 23.4%となっています。



【学年別】

学年別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	子育て講座を開催する	子育てに関する相談員が家庭訪問をする	職場や保護者の集会、学校に子育てに関する相談員を派遣する	相談窓口を充実する	子育てに関するパンフレットを配布する	インターネットのホームページや電子メールで子育てに関する情報を提供する	子育て中の親を支援するネットワークづくりや拠点づくりを進める	不登校児童生徒に対する支援や不登校防止対策	家庭教育の支援は行政が行う必要はない	その他	無回答
全 体	509	11.6	3.9	8.6	31.6	8.8	32.6	20.6	23.4	5.3	3.7	0.0
小学校5年生	278	12.6	4.7	9.0	30.6	10.4	32.7	20.1	25.5	3.6	5.4	0.0
中学校2年生	281	9.6	2.5	9.3	31.7	7.1	33.1	19.9	22.4	7.1	2.5	0.0

【小学校区別】

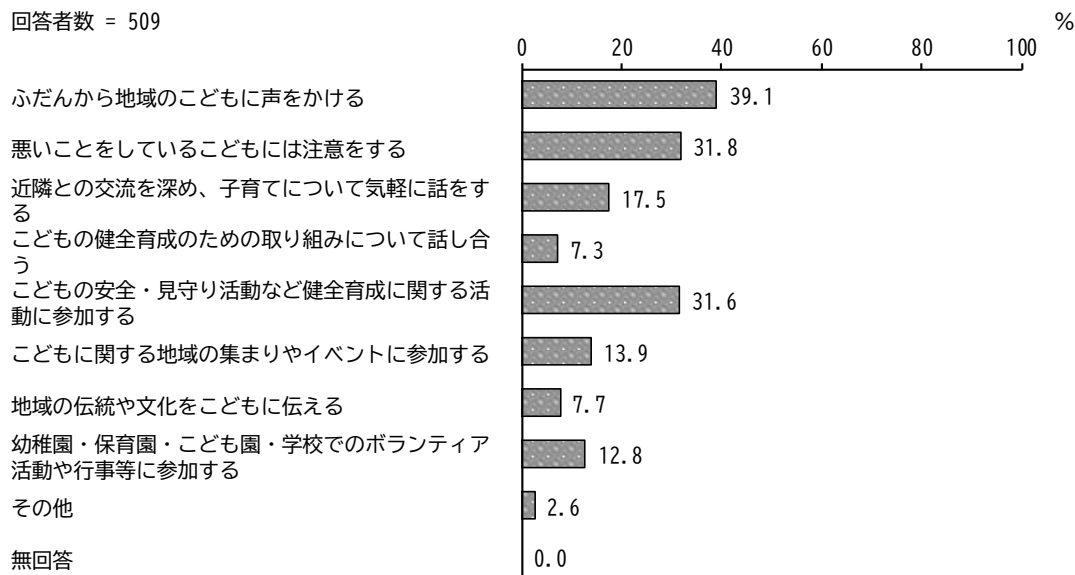
小学校区別にみると、三ツ渚小学校区で「子育てに関する相談員が家庭訪問をする」、北里小学校区で「相談窓口を充実する」「家庭教育の支援は行政が行う必要はない」、小木小学校区、桃ヶ丘小学校区で「子育てに関するパンフレットを配布する」、光ヶ丘小学校区で「子育て中の親を支援するネットワークづくりや拠点づくりを進める」、一色小学校区、小木小学校区で「不登校児童生徒に対する支援や不登校防止対策」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	子育て講座を開催する	子育てに関する相談員が家庭訪問をする	職場や保護者の集会、学校に子育てに関する相談員を派遣する	相談窓口を充実する	子育てに関するパンフレットを配布する	インターネットのホームページや電子メールで子育てに関する情報を提供する	子育て中の親を支援するネットワークづくりや拠点づくりを進める	不登校児童生徒に対する支援や不登校防止対策	家庭教育の支援は行政が行う必要はない	その他	無回答
全 体	509	11.6	3.9	8.6	31.6	8.8	32.6	20.6	23.4	5.3	3.7	0.0
小牧小学校区	61	9.8	3.3	8.2	41.0	8.2	31.1	21.3	21.3	3.3	0.0	0.0
村中小学校区	29	10.3	6.9	10.3	27.6	3.4	20.7	24.1	20.7	6.9	13.8	0.0
小牧南小学校区	48	14.6	2.1	10.4	29.2	2.1	37.5	18.8	25.0	12.5	2.1	0.0
三ツ渚小学校区	14	7.1	14.3	14.3	42.9	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
味噌小学校区	88	17.0	3.4	12.5	30.7	5.7	38.6	19.3	21.6	2.3	0.0	0.0
篠岡小学校区	8	12.5	0.0	12.5	25.0	25.0	25.0	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0
北里小学校区	38	5.3	0.0	7.9	50.0	5.3	21.1	13.2	18.4	15.8	5.3	0.0
米野小学校区	48	6.3	4.2	10.4	29.2	10.4	37.5	22.9	27.1	0.0	4.2	0.0
一色小学校区	24	12.5	0.0	4.2	33.3	16.7	20.8	20.8	45.8	0.0	4.2	0.0
小木小学校区	21	14.3	4.8	0.0	14.3	19.0	23.8	9.5	42.9	14.3	14.3	0.0
小牧原小学校区	37	10.8	5.4	8.1	29.7	10.8	32.4	24.3	13.5	2.7	8.1	0.0
本庄小学校区	31	9.7	6.5	3.2	25.8	9.7	41.9	22.6	25.8	0.0	3.2	0.0
桃ヶ丘小学校区	21	14.3	4.8	9.5	23.8	19.0	38.1	14.3	9.5	14.3	4.8	0.0
陶小学校区	13	7.7	7.7	15.4	30.8	7.7	38.5	15.4	30.8	0.0	7.7	0.0
光ヶ丘小学校区	18	16.7	5.6	0.0	33.3	5.6	27.8	33.3	27.8	0.0	0.0	0.0
大城小学校区	9	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	44.4	55.6	33.3	11.1	0.0	0.0
小学校区がわからない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問 25 こどもの健全育成のために、地域住民に期待されることはどのようなことですか。
以下の設問からあてはまるものを2つまで選んでください。

「ふだんから地域のこどもに声をかける」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「悪いことをしているこどもには注意をする」の割合が 31.8%、「こどもの安全・見守り活動など健全育成に関する活動に参加する」の割合が 31.6%となっています。



【学年別】

学年別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	ふだんから地域のこどもに声をかける	悪いことをしているこどもには注意をする	近隣との交流を深め、子育てについて気軽に話をする	こどもの健全育成のための取り組みについて話し合う	こどもの安全・見守り活動など健全育成に関する活動に参加する	こどもに関する地域の集まりやイベントに参加する	地域の伝統や文化をこどもに伝える	幼稚園・保育園・こども園・学校でのボランティア活動や行事等に参加する	その他	無回答
全 体	509	39.1	31.8	17.5	7.3	31.6	13.9	7.7	12.8	2.6	0.0
小学校5年生	278	38.8	31.7	18.0	7.6	33.1	15.5	7.9	14.4	2.2	0.0
中学校2年生	281	40.2	32.4	17.4	6.4	29.2	12.5	7.5	11.7	3.2	0.0

【小学校区別】

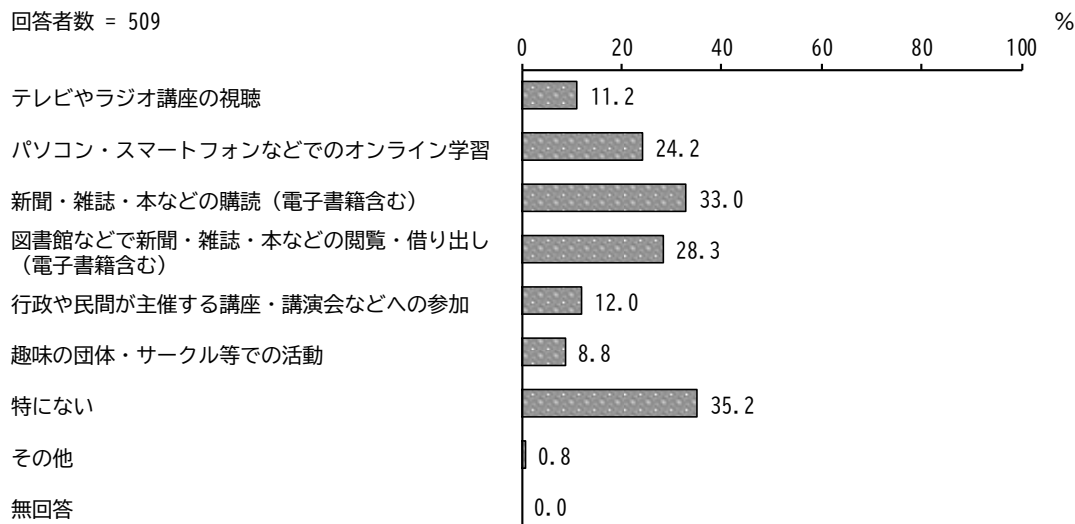
小学校区別にみると、三ツ淵小学校区で「ふだんから地域のこどもに声をかける」「こどもの健全育成のための取り組みについて話し合う」、陶小学校区で「悪いことをしているこどもには注意をする」「こどもの安全・見守り活動など健全育成に関する活動に参加する」、一色小学校区で「幼稚園・保育園・こども園・学校でのボランティア活動や行事等に参加する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ふだんから地域のこどもに声をかける	悪いことをしているこどもには注意をする	近隣との交流を深め、子育てについて気軽に話をする	こどもの健全育成のための取り組みについて話し合う	こどもの安全・見守り活動など健全育成に関する活動に参加する	こどもに関する地域の集まりやイベントに参加する	地域の伝統や文化をこどもに伝える	幼稚園・保育園・こども園・学校でのボランティア活動や行事等に参加する	その他	無回答
全 体	509	39.1	31.8	17.5	7.3	31.6	13.9	7.7	12.8	2.6	0.0
小牧小学校区	61	36.1	34.4	16.4	8.2	29.5	16.4	8.2	11.5	4.9	0.0
村中小学校区	29	34.5	20.7	10.3	6.9	31.0	20.7	3.4	20.7	3.4	0.0
小牧南小学校区	48	27.1	31.3	25.0	8.3	27.1	14.6	10.4	14.6	0.0	0.0
三ツ淵小学校区	14	50.0	28.6	14.3	21.4	28.6	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0
味噌小学校区	88	42.0	28.4	17.0	9.1	34.1	9.1	3.4	11.4	3.4	0.0
篠岡小学校区	8	50.0	37.5	12.5	0.0	37.5	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
北里小学校区	38	47.4	36.8	15.8	7.9	36.8	5.3	10.5	5.3	0.0	0.0
米野小学校区	48	33.3	37.5	22.9	8.3	31.3	16.7	8.3	12.5	0.0	0.0
一色小学校区	24	41.7	33.3	8.3	0.0	20.8	20.8	12.5	33.3	0.0	0.0
小木小学校区	21	28.6	42.9	14.3	14.3	33.3	19.0	0.0	19.0	9.5	0.0
小牧原小学校区	37	35.1	32.4	18.9	2.7	21.6	5.4	16.2	13.5	2.7	0.0
本庄小学校区	31	45.2	35.5	16.1	0.0	38.7	9.7	6.5	9.7	0.0	0.0
桃ヶ丘小学校区	21	42.9	14.3	14.3	9.5	28.6	23.8	4.8	0.0	14.3	0.0
陶小学校区	13	46.2	46.2	7.7	0.0	61.5	15.4	0.0	15.4	0.0	0.0
光ヶ丘小学校区	18	38.9	22.2	22.2	11.1	38.9	22.2	5.6	16.7	0.0	0.0
大城小学校区	9	66.7	33.3	33.3	0.0	22.2	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0
小学校区がわからない	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 26 あなたが、この1年間に行った生涯学習は何ですか。
以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「新聞・雑誌・本などの購読（電子書籍含む）」の割合が 33.0%と最も高く、次いで「図書館などで新聞・雑誌・本などの閲覧・借り出し（電子書籍含む）」の割合が 28.3%、「パソコン・スマートフォンなどでのオンライン学習」の割合が 24.2%となっています。



【保護者の年齢別】

保護者の年齢別にみると、29歳以下から60歳代まで保護者の年齢が上がるほど「新聞・雑誌・本などの購読（電子書籍含む）」の割合が高く、60歳代から40歳代まで保護者の年齢が下がるほど「テレビやラジオ講座の視聴」の割合が高くなっています。

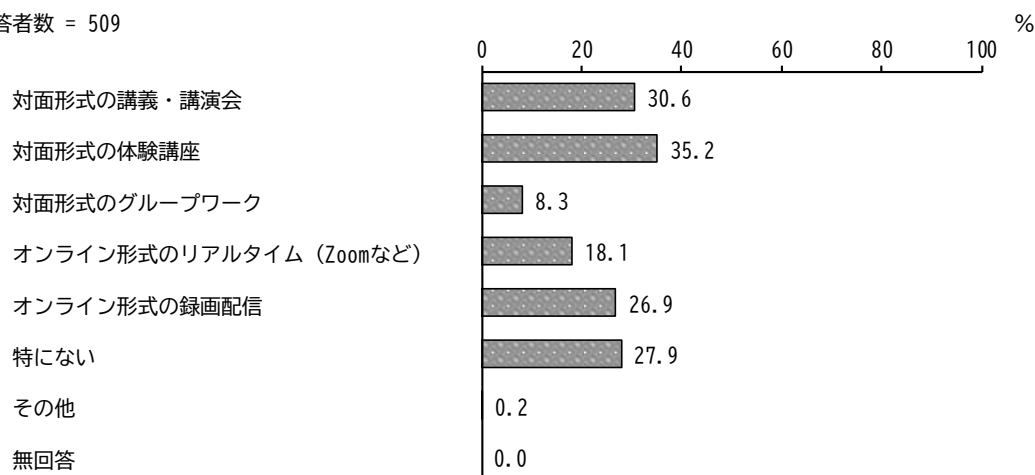
単位：％

区分	回答者数 (件)	テレビやラジオ講座の 視聴	パソコン・スマー トフォンなどでの オンライン学習	新聞・雑誌・本な どの購読（電子書 籍含む）	図書館などで新聞・ 雑誌・本などの閲覧・ 借り出し（電子書 籍含む）	行政や民間が主催する 講座・講演会などへの 参加	趣味の団体・サー クル等での活動	特にな い	その他	無回 答
全 体	509	11.2	24.2	33.0	28.3	12.0	8.8	35.2	0.8	0.0
29歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	73	11.0	19.2	17.8	30.1	5.5	4.1	47.9	0.0	0.0
40歳代	337	12.2	27.3	33.5	27.9	11.9	9.2	34.1	0.6	0.0
50歳代	97	8.2	16.5	42.3	27.8	17.5	11.3	29.9	2.1	0.0
60歳代	2	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 27 あなたは、講義や講演会、体験講座などに参加する場合、どのような形で学びたいと思いますか。以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「対面形式の体験講座」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「対面形式の講義・講演会」の割合が 30.6%、「オンライン形式の録画配信」の割合が 26.9%となっています。

回答者数 = 509



【保護者の年齢別】

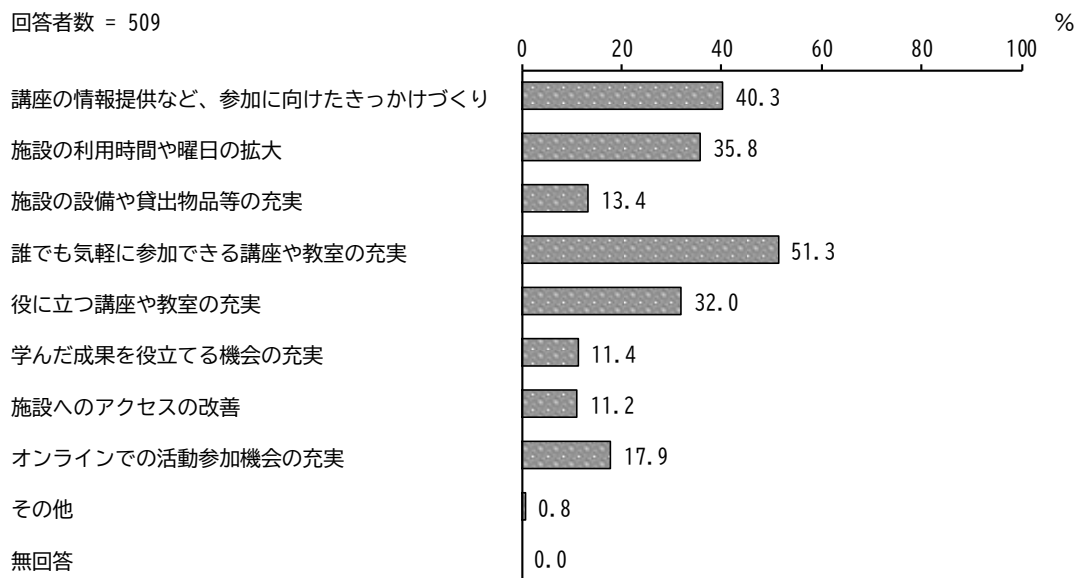
保護者の年齢別にみると、29歳以下から60歳代まで保護者の年齢が上がるほど「対面形式の体験講座」の割合が高く、60歳代から30歳代まで保護者の年齢が下がるほど「オンライン形式のリアルタイム (Zoom など)」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	対面形式の講義・講演会	対面形式の体験講座	対面形式のグループワーク	オンライン形式のリアルタイム (Zoom など)	オンライン形式の録画配信	特になし	その他	無回答
全 体	509	30.6	35.2	8.3	18.1	26.9	27.9	0.2	0.0
29歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	73	21.9	23.3	8.2	21.9	16.4	35.6	0.0	0.0
40歳代	337	33.2	36.5	8.0	17.8	28.5	25.8	0.0	0.0
50歳代	97	28.9	39.2	9.3	16.5	29.9	28.9	1.0	0.0
60歳代	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
70歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 28 今後、市民の生涯学習活動を活性化するために大切だと思うことは次のどれですか。
以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「誰でも気軽に参加できる講座や教室の充実」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「講座の情報提供など、参加に向けたきっかけづくり」の割合が 40.3%、「施設の利用時間や曜日の拡大」の割合が 35.8%となっています。



【保護者の年齢別】

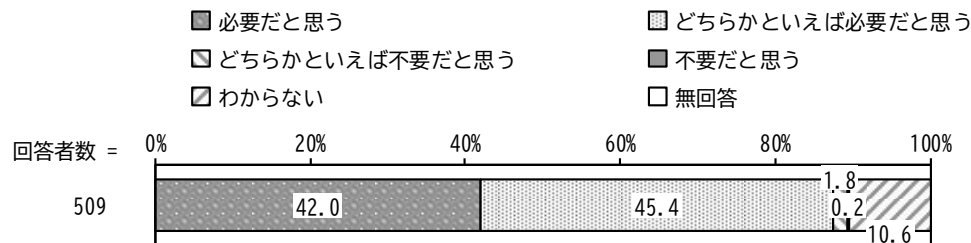
保護者の年齢別にみると、29 歳以下から 60 歳代まで保護者の年齢が上がるほど「役に立つ講座や教室の充実」の割合が高い傾向にあり、60 歳代から 30 歳代まで保護者の年齢が下がるほど「施設へのアクセスの改善」「オンラインでの活動参加機会の充実」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	講座の情報提供など、参加に向けたきっかけづくり	施設の利用時間や曜日の拡大	施設の設備や貸出物品等の充実	誰でも気軽に参加できる講座や教室の充実	役に立つ講座や教室の充実	学んだ成果を役立てる機会の充実	施設へのアクセスの改善	オンラインでの活動参加機会の充実	その他	無回答
全 体	509	40.3	35.8	13.4	51.3	32.0	11.4	11.2	17.9	0.8	0.0
29歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	73	41.1	35.6	9.6	39.7	28.8	8.2	12.3	21.9	0.0	0.0
40歳代	337	41.2	37.4	15.4	54.0	32.6	11.6	11.6	17.8	0.9	0.0
50歳代	97	36.1	30.9	8.2	50.5	32.0	13.4	9.3	15.5	1.0	0.0
60歳代	2	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

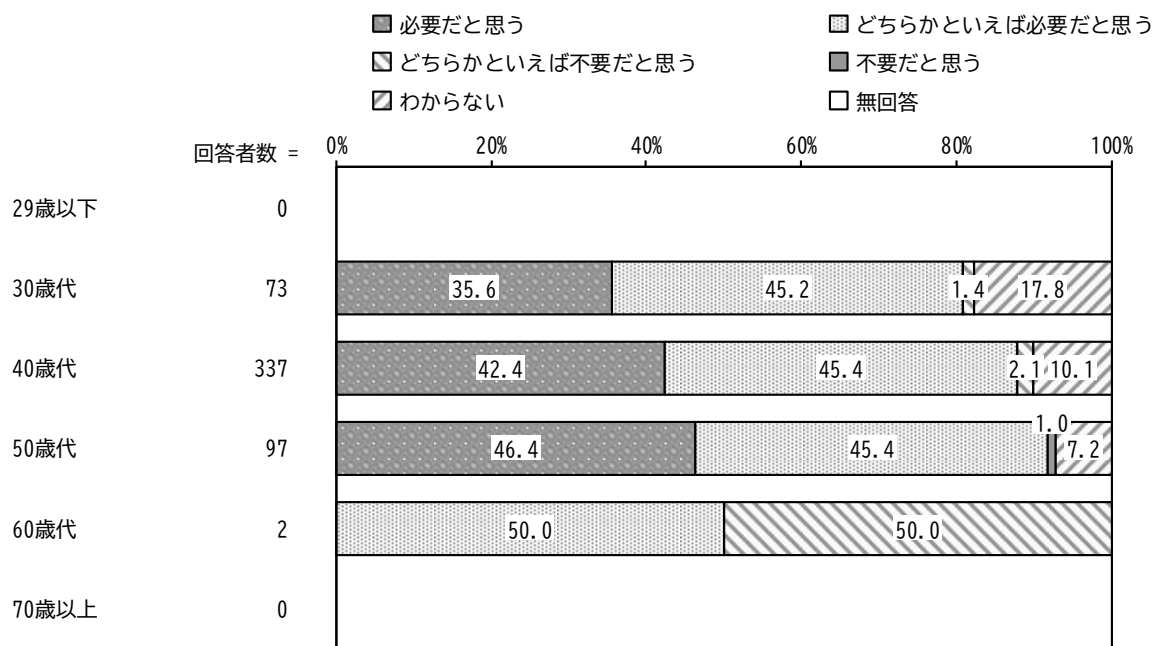
問 29 「リカレント教育」は必要だと思いますか。
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」を合わせた“必要だと思う”の割合が 87.4%、「どちらかといえば不要だと思う」「不要だと思う」を合わせた“不要だと思う”の割合が 2.0%となっています。



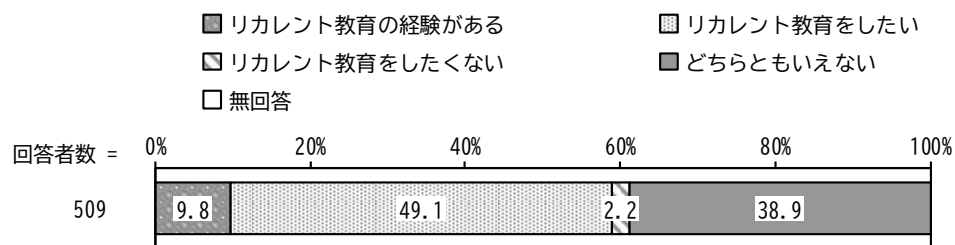
【保護者の年齢別】

保護者の年齢別にみると、70 歳以上から 50 歳代まで保護者の年齢が下がるほど“必要だと思う”の割合が高くなっています。



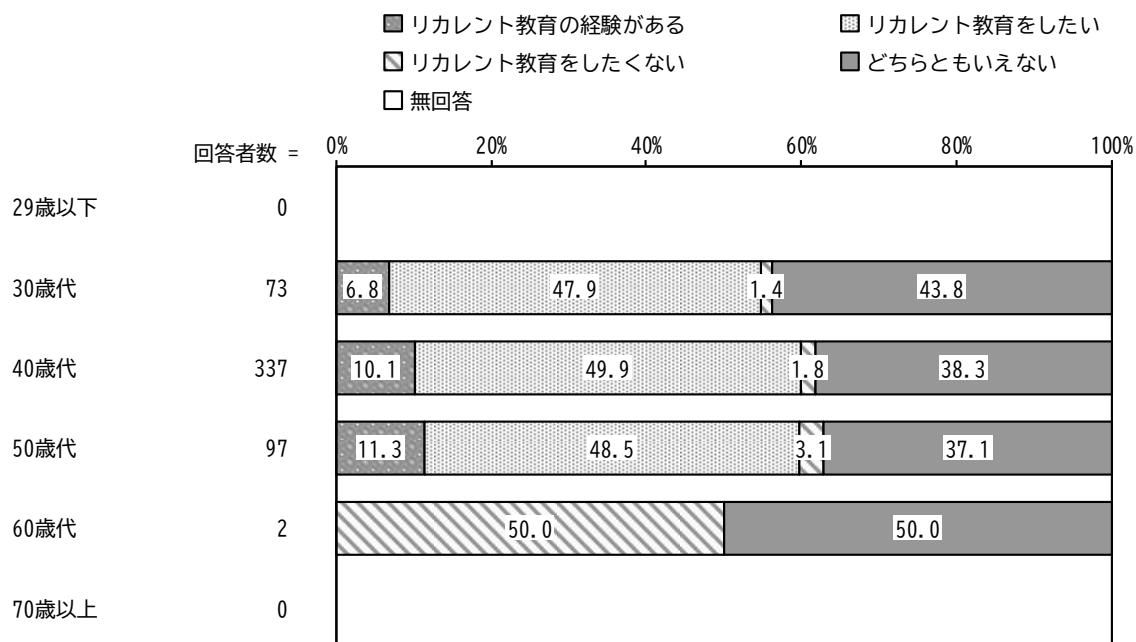
問 30 今後、「リカレント教育」をしたいと思いますか。
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「リカレント教育の経験がある」の割合が 9.8%、「リカレント教育をしたい」の割合が 49.1%、「リカレント教育をしたくない」の割合が 2.2%となっています。



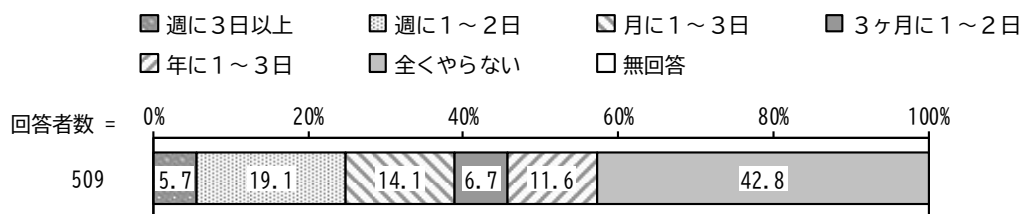
【保護者の年齢別】

保護者の年齢別にみると、29歳以下から50歳代まで保護者の年齢が上がるほど「リカレント教育の経験がある」の割合が高くなっています。



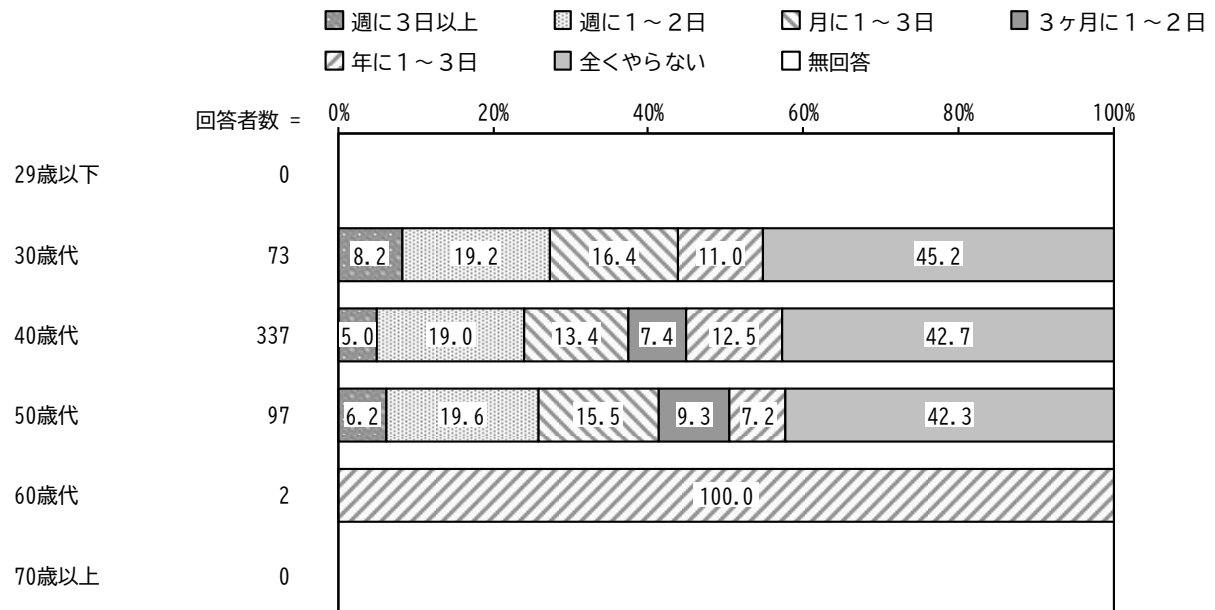
問 31 あなたはこの1年間、運動やスポーツをどのくらいの頻度で行いましたか。
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「全くやらない」の割合が42.8%と最も高く、次いで「週に1～2日」の割合が19.1%、「月に1～3日」の割合が14.1%となっています。



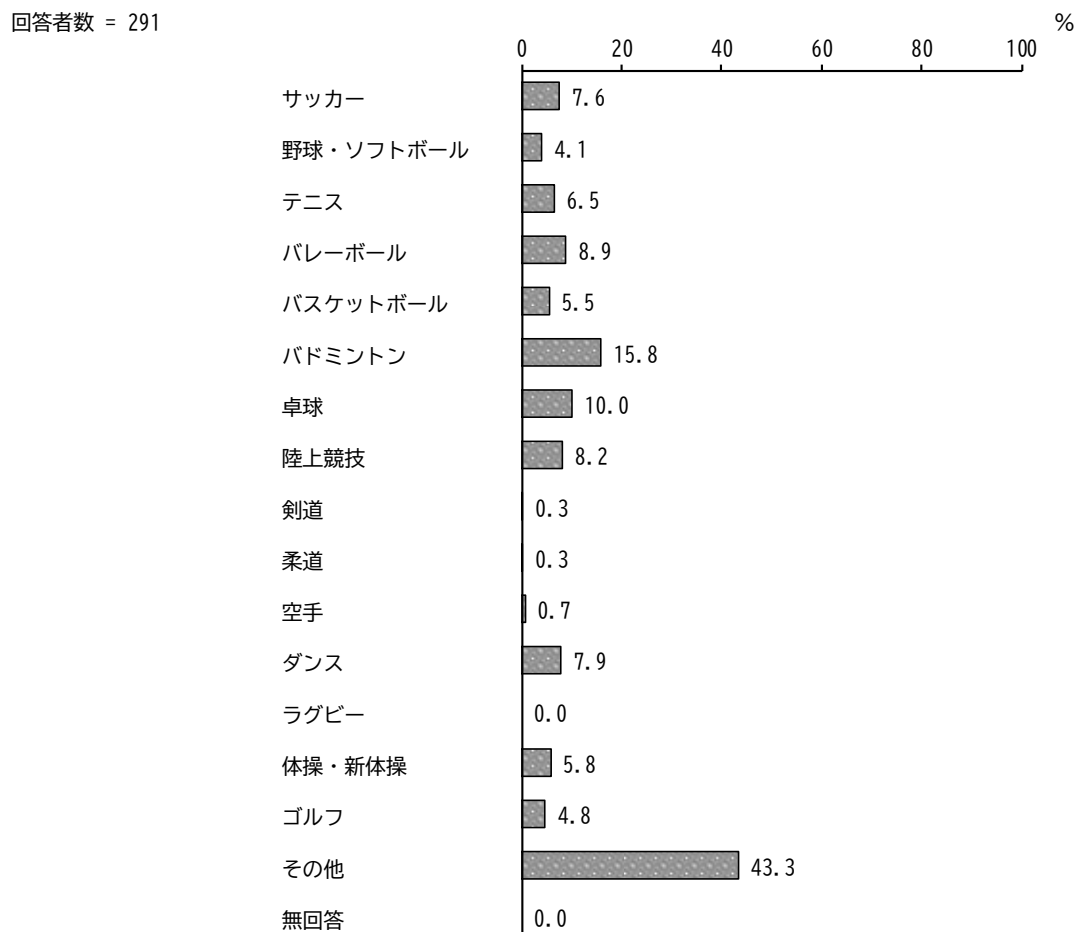
【保護者の年齢別】

保護者の年齢別にみると、60歳代から40歳代まで保護者の年齢が下がるほど「全くやらない」の割合が高くなっています。



問 32 【質問 31 で「全くやらない」と答えた方以外】どんな運動やスポーツを実施しましたか。以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「バドミントン」の割合が 15.8%と最も高く、次いで「卓球」の割合が 10.0%となっています。



【保護者の年齢別】

保護者の年齢別にみると、70歳以上から30歳代まで保護者の年齢が下がるほど「体操・新体操」の割合が高い傾向にあり、29歳以下から50歳代まで保護者の年齢が上がるほど「バドミントン」の割合が高くなっています。

単位：％

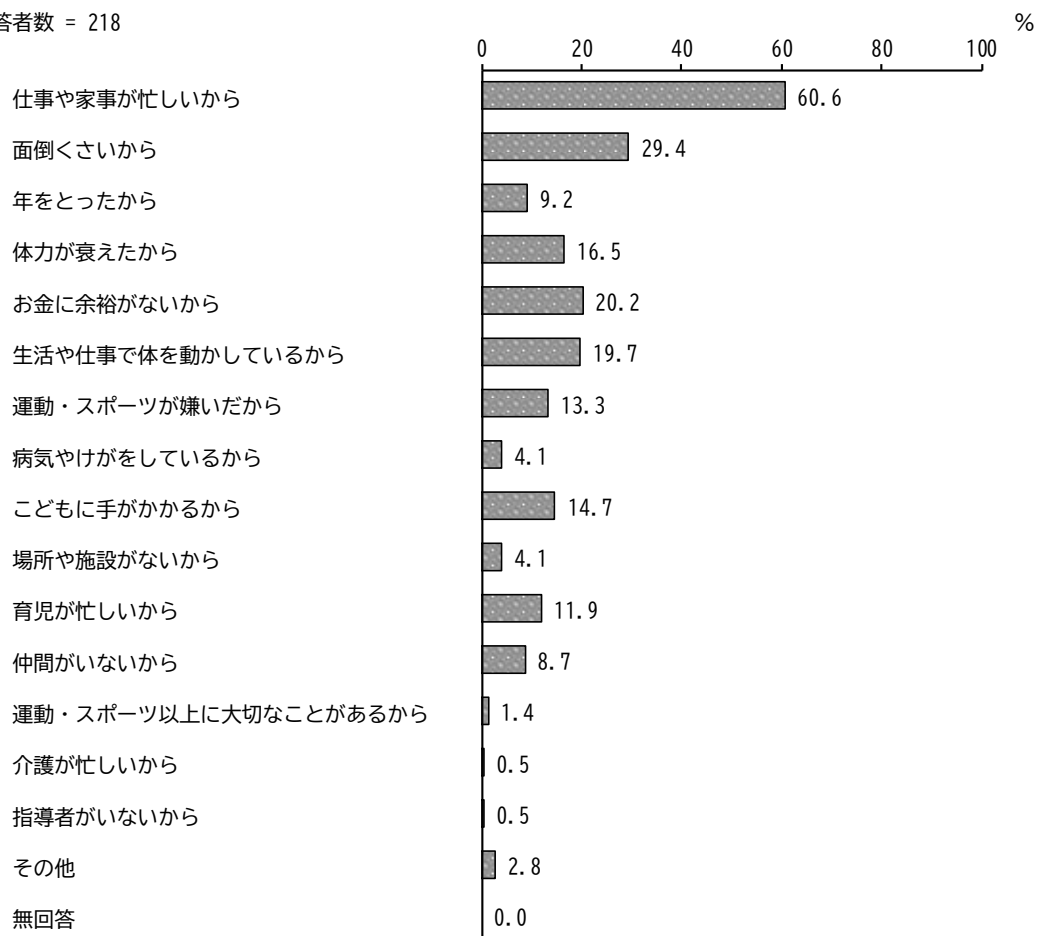
区分	回答者数 (件)	サッカー	野球・ソフトボール	テニス	バレーボール	バスケットボール	バドミントン	卓球	陸上競技
全 体	291	7.6	4.1	6.5	8.9	5.5	15.8	10.0	8.2
29歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	40	10.0	5.0	7.5	7.5	7.5	10.0	10.0	5.0
40歳代	193	8.3	3.6	6.7	9.8	6.2	16.6	10.9	7.8
50歳代	56	1.8	5.4	5.4	5.4	1.8	17.9	7.1	12.5
60歳代	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	剣道	柔道	空手	ダンス	ラグビー	体操・新体操	ゴルフ	その他	無回答
全 体	0.3	0.3	0.7	7.9	0.0	5.8	4.8	43.3	0.0
29歳以下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	0.0	2.5	0.0	2.5	0.0	12.5	2.5	40.0	0.0
40歳代	0.5	0.0	1.0	8.3	0.0	5.2	2.6	43.0	0.0
50歳代	0.0	0.0	0.0	10.7	0.0	3.6	14.3	46.4	0.0
60歳代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
70歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 33 【質問 31 で「全くやらない」と答えた方】それはなぜですか。
以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「仕事や家事が忙しいから」の割合が 60.6%と最も高く、次いで「面倒くさいから」の割合が 29.4%、「お金に余裕がないから」の割合が 20.2%となっています。

回答者数 = 218



【保護者の年齢別】

保護者の年齢別にみると、70 歳以上から 30 歳代まで保護者の年齢が下がるほど「面倒くさいから」「こどもに手がかかるから」の割合が高い傾向にあり、60 歳代から 30 歳代まで保護者の年齢が下がるほど「育児が忙しいから」の割合が高くなっています。

単位：％

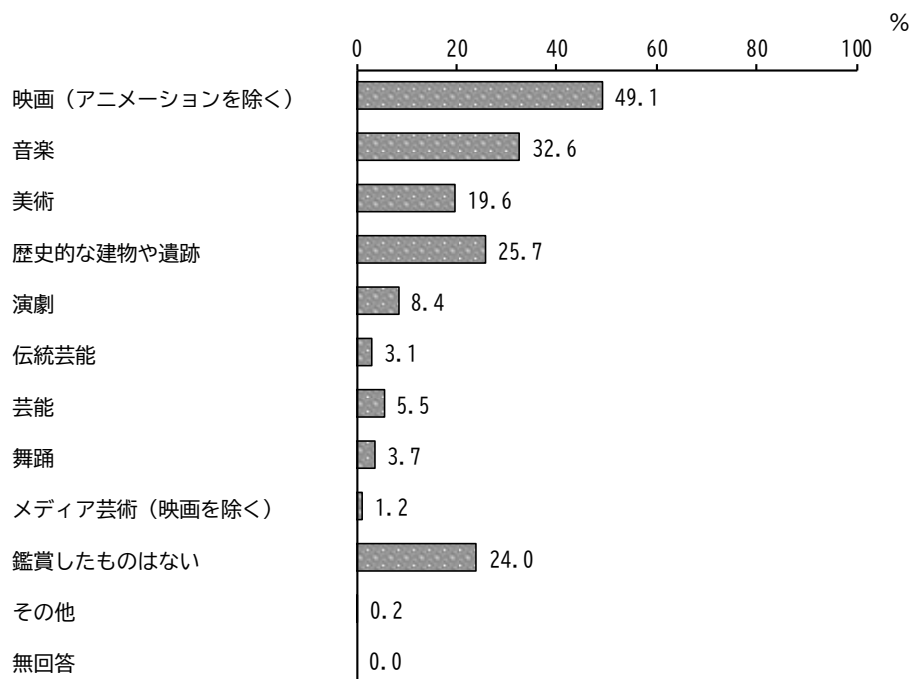
区分	回答者数 (件)	仕事や家事が忙し いから	面倒くさいから	年をとったから	体力が衰えたから	お金に余裕がない から	生活や仕事で体を 動かしているから	運動・スポーツが嫌 いだから	病气やけがをして いるから
全 体	218	60.6	29.4	9.2	16.5	20.2	19.7	13.3	4.1
29歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	33	66.7	39.4	3.0	15.2	18.2	12.1	9.1	0.0
40歳代	144	57.6	29.9	10.4	14.6	20.8	18.8	15.3	4.9
50歳代	41	65.9	19.5	9.8	24.4	19.5	29.3	9.8	4.9
60歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	こどもに手がかか るから	場所や施設がない から	育児が忙しいから	仲間がいないから	運動・スポーツ以上 に大切なことがあ るから	介護が忙しいから	指導者がいないか ら	その他	無回答
全 体	14.7	4.1	11.9	8.7	1.4	0.5	0.5	2.8	0.0
29歳以下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	33.3	9.1	33.3	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40歳代	13.2	3.5	9.0	10.4	2.1	0.7	0.7	3.5	0.0
50歳代	4.9	2.4	4.9	4.9	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0
60歳代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 34 あなたはこの1年間に文化・芸術イベントを直接鑑賞したことがありますか。
以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「映画（アニメーションを除く）」の割合が49.1%と最も高く、次いで「音楽」の割合が32.6%、「歴史的な建物や遺跡」の割合が25.7%となっています。

回答者数 = 509



【保護者の年齢別】

保護者の年齢別にみると、29歳以下から60歳代まで保護者の年齢が上がるほど「映画（アニメーションを除く）」の割合が高い傾向にあり、29歳以下から50歳代まで保護者の年齢が上がるほど「美術」の割合が高くなっています。

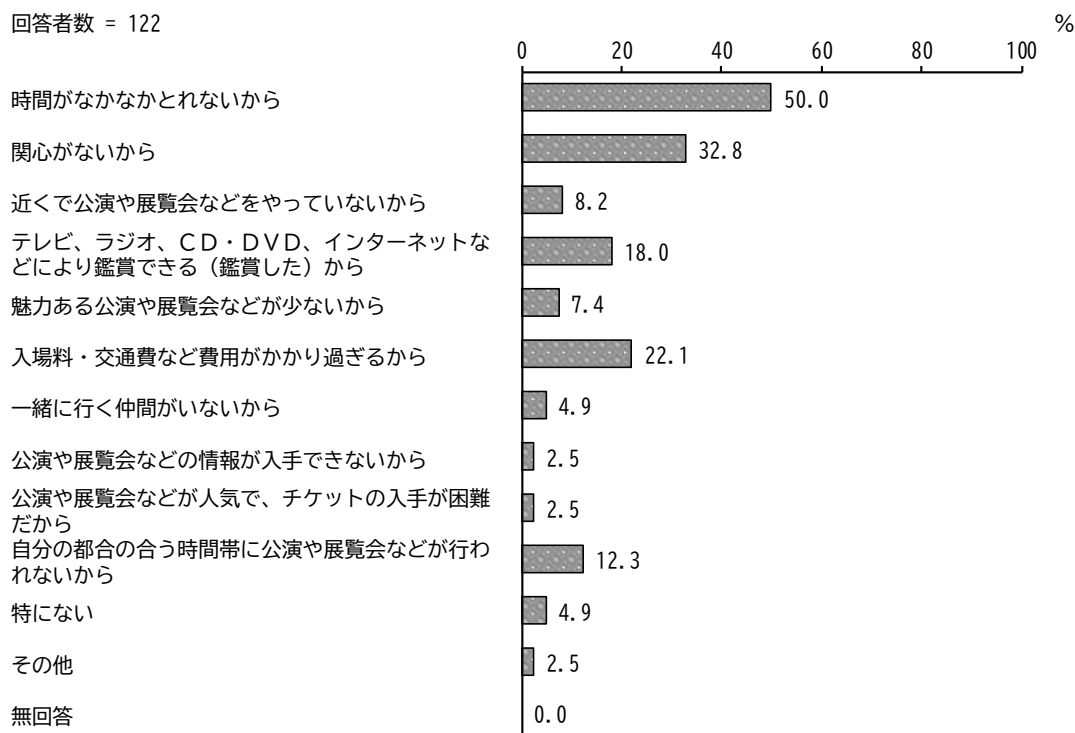
単位：%

区分	回答者数 (件)	映画 (アニメーションを除く)	音楽	美術	歴史的な 建物や遺跡	演劇	伝統 芸能	芸能	舞踊	メディア 芸術 (映画を除く)	鑑賞した ものはなし	その他	無 回答
全 体	509	49.1	32.6	19.6	25.7	8.4	3.1	5.5	3.7	1.2	24.0	0.2	0.0
29歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	73	49.3	35.6	15.1	30.1	9.6	1.4	5.5	4.1	0.0	20.5	0.0	0.0
40歳代	337	48.7	32.6	18.7	24.9	7.1	3.3	6.8	3.0	1.2	25.5	0.0	0.0
50歳代	97	49.5	30.9	26.8	25.8	12.4	4.1	1.0	6.2	2.1	21.6	1.0	0.0
60歳代	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 35 【質問 34 で「鑑賞したものはない」と答えた方】それはなぜですか。
以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「時間がなかなかとれないから」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「関心がないから」の割合が 32.8%、「入場料・交通費など費用がかかり過ぎるから」の割合が 22.1%となっています。

回答者数 = 122



【保護者の年齢別】

保護者の年齢別にみると、70歳以上から30歳代まで保護者の年齢が下がるほど「近くで公演や展覧会などをやっていないから」の割合が高い傾向にあり、60歳代から30歳代まで保護者の年齢が下がるほど「時間がなかなかとれないから」の割合が高くなっています。

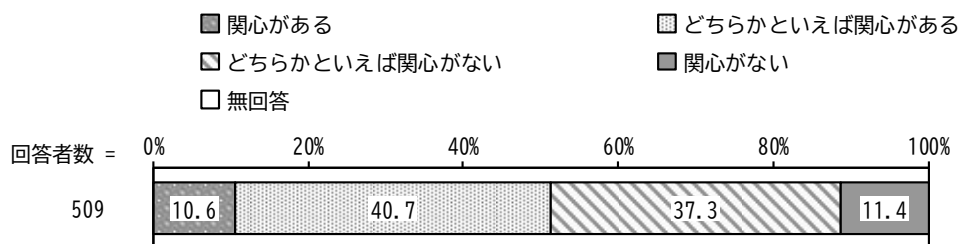
単位：％

区分	回答者数 (件)	時間がなかなかとれないから	関心がないから	近くで公演や展覧会などをやっていないから	テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネットなどにより鑑賞できる(鑑賞した)から	魅力ある公演や展覧会などが少ないから	入場料・交通費など費用がかかり過ぎるから
全 体	122	50.0	32.8	8.2	18.0	7.4	22.1
29歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	15	66.7	53.3	13.3	6.7	0.0	20.0
40歳代	86	47.7	29.1	8.1	18.6	10.5	24.4
50歳代	21	47.6	33.3	4.8	23.8	0.0	14.3
60歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	一緒にに行く仲間がないから	公演や展覧会などの情報が入手できないから	公演や展覧会などが人気で、チケットの入手が困難だから	自分の都合の合う時間帯に公演や展覧会などが行われないから	特にない	その他	無回答
全 体	4.9	2.5	2.5	12.3	4.9	2.5	0.0
29歳以下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	13.3	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0
40歳代	4.7	2.3	3.5	10.5	5.8	3.5	0.0
50歳代	0.0	4.8	0.0	19.0	4.8	0.0	0.0
60歳代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

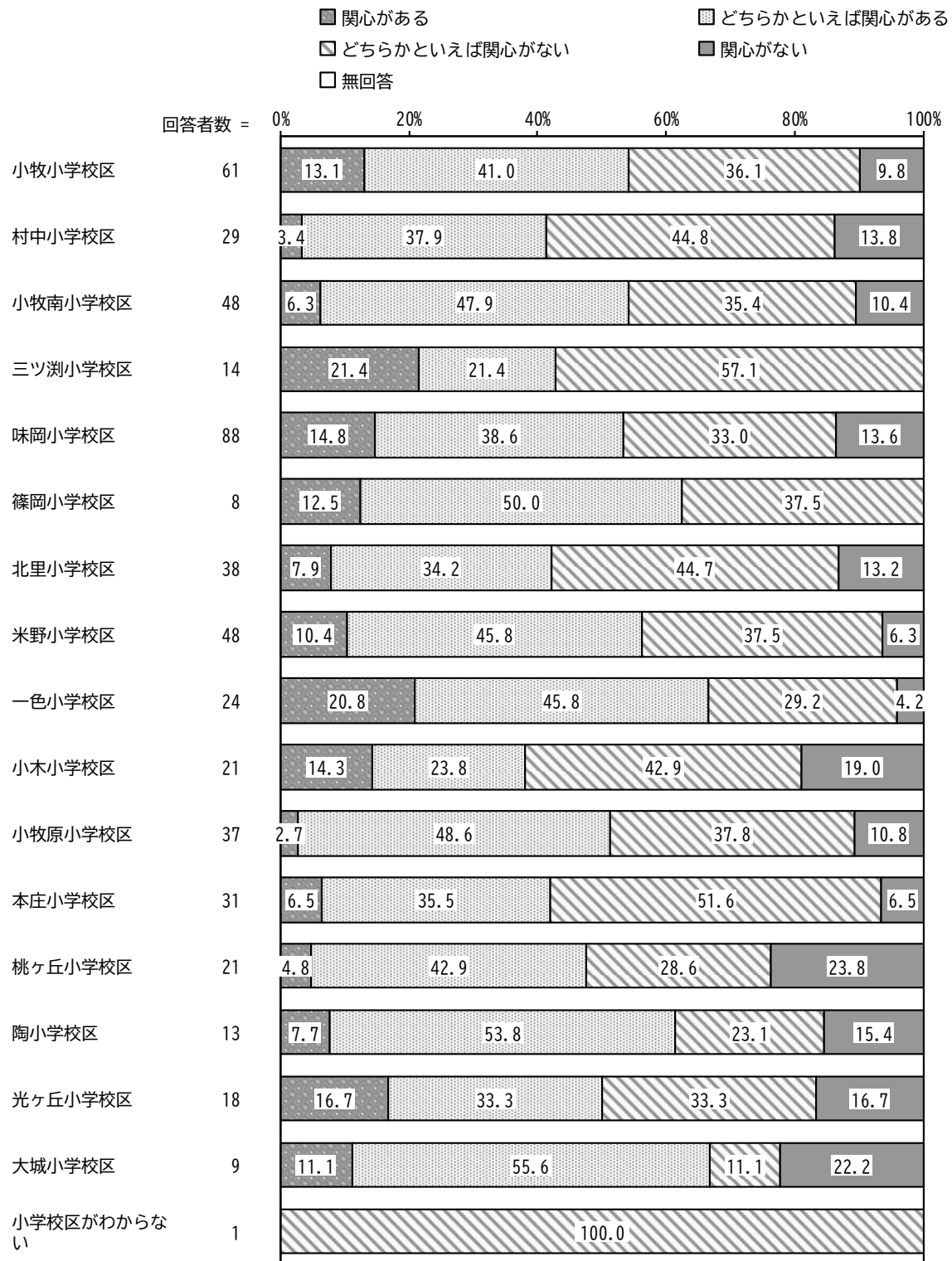
問 36 あなたは小牧市の文化財（建造物・史跡など）について、どの程度関心がありますか。以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた「関心がある」の割合が 51.3%、「どちらかといえば関心がない」「関心がない」を合わせた「関心がない」の割合が 48.7%となっています。



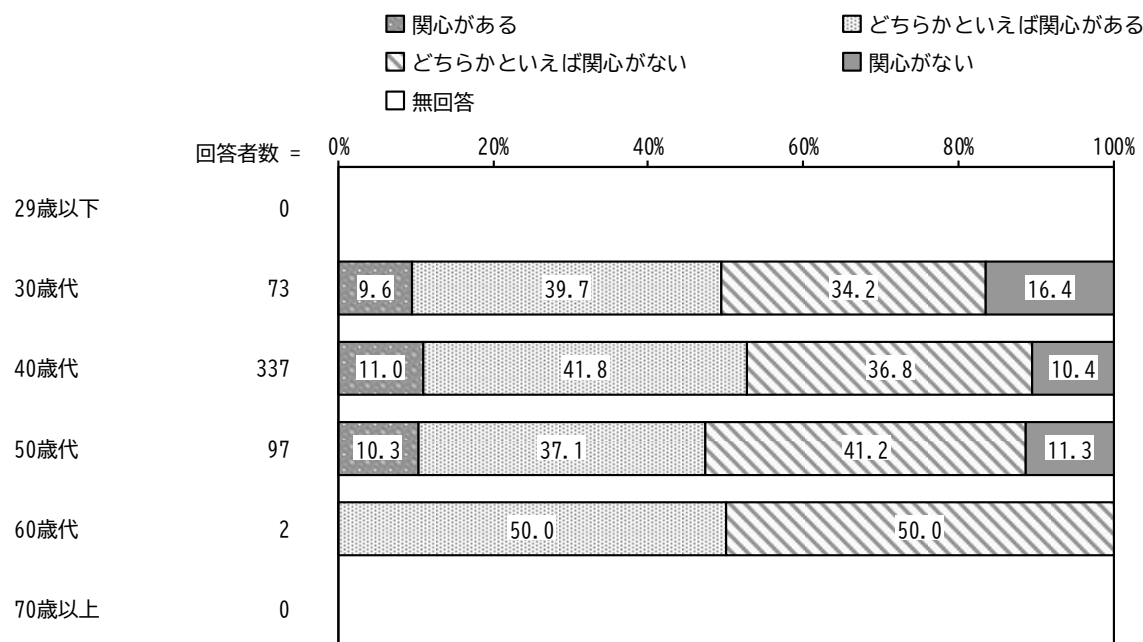
【小学校区別】

小学校区別にみると、一色小学校区で“関心がある”、小木小学校区で“関心がない”の割合が高くなっています。



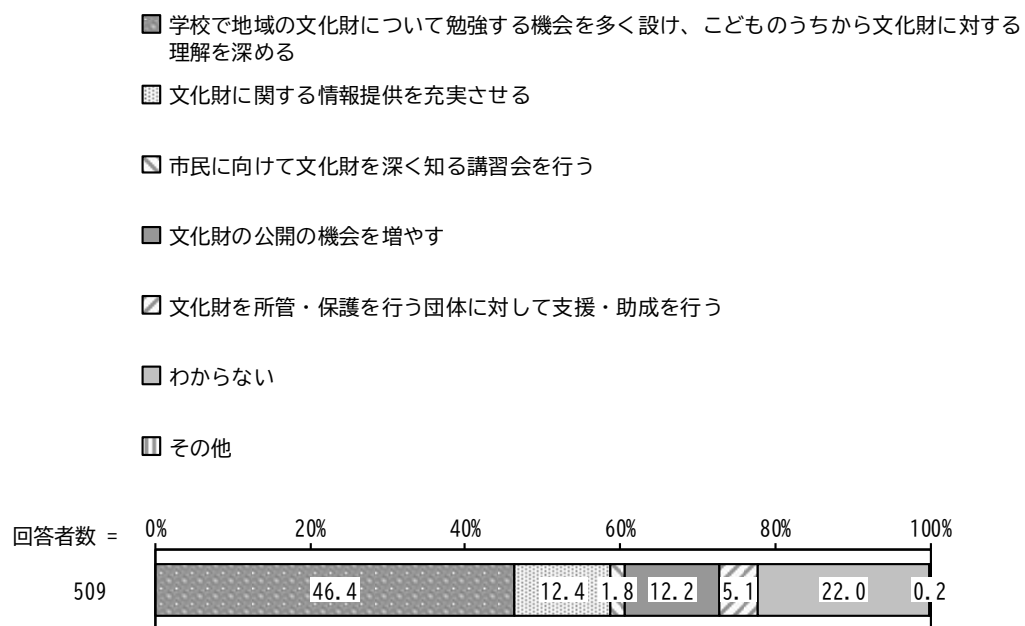
【保護者の年齢別】

保護者の年齢別にみると、70歳以上から50歳代まで保護者の年齢が下がるほど“関心がない”の割合が高くなっています。



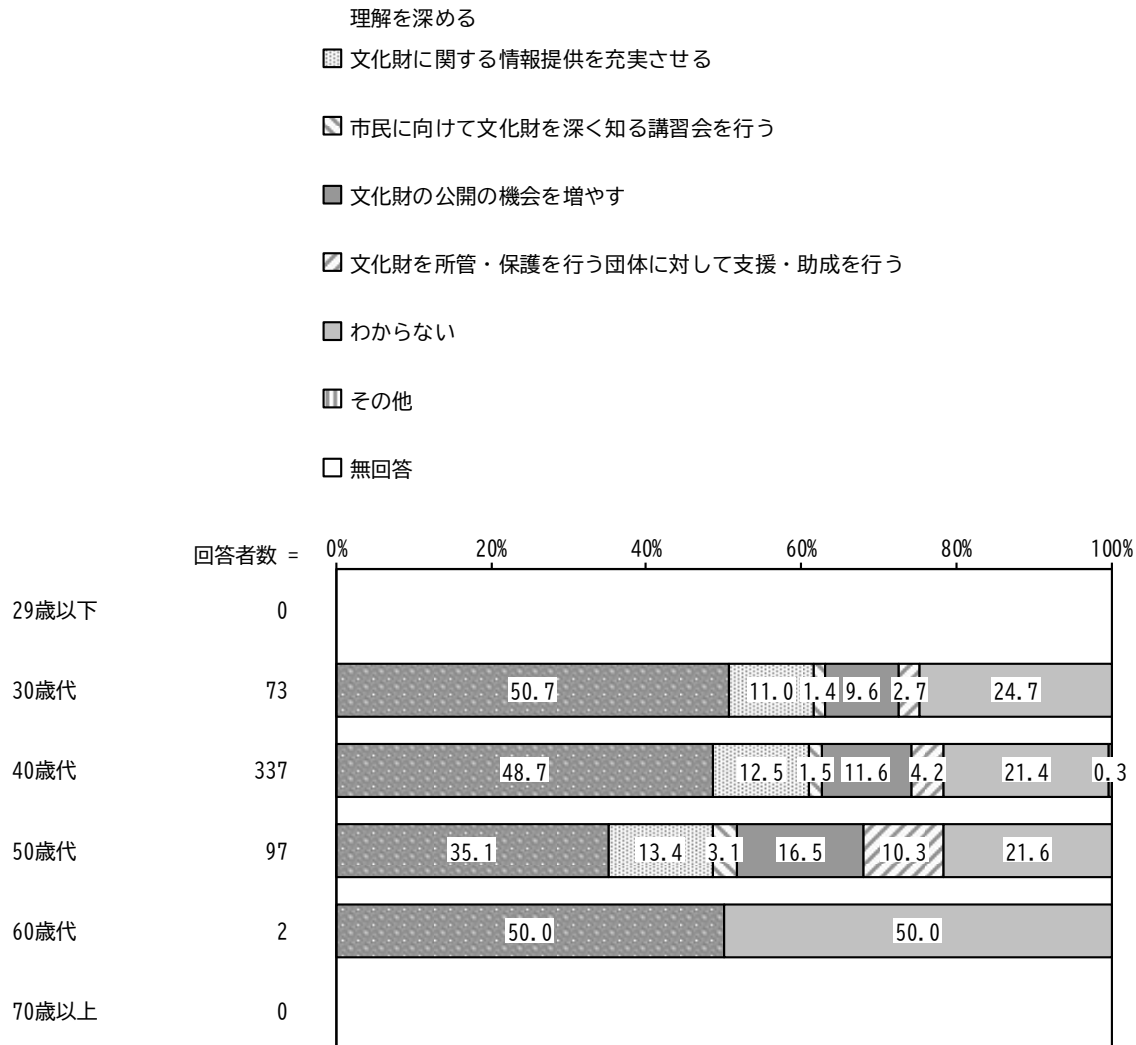
問 37 今後、文化財を守り、継承していくために小牧市はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「学校で地域の文化財について勉強する機会を多く設け、こどものうちから文化財に対する理解を深める」の割合が46.4%と最も高く、次いで「文化財に関する情報提供を充実させる」の割合が12.4%、「文化財の公開の機会を増やす」の割合が12.2%となっています。



【保護者の年齢別】

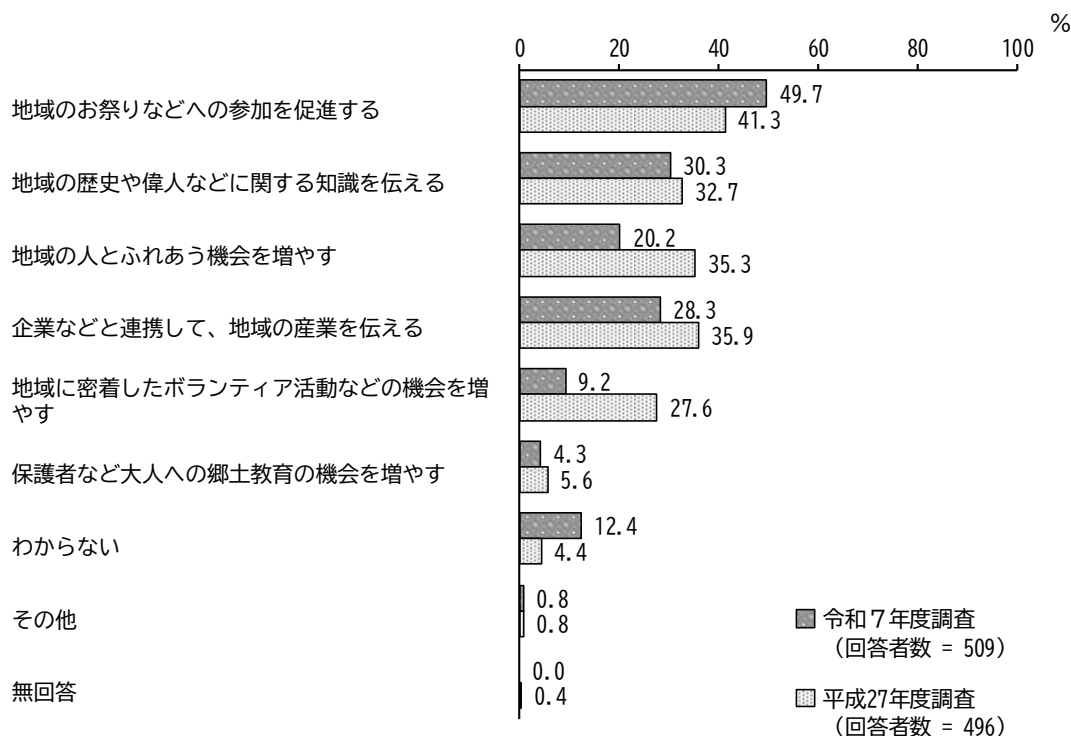
保護者の年齢別にみると、29歳以下から50歳代まで保護者の年齢が上がるほど「文化財の公開の機会を増やす」「文化財を所管・保護を行う団体に対して支援・助成を行う」の割合が高く、50歳代から30歳代まで保護者の年齢が下がるほど「学校で地域の文化財について勉強する機会を多く設け、こどものうちから文化財に対する理解を深める」の割合が高くなっています。



問 38 こどもたちの郷土愛を育むために、特に取り組んだ方がいいと思う取り組みは何ですか。以下の設問からあてはまるものを2つまで選んでください。

「地域のお祭りなどへの参加を促進する」の割合が 49.7%と最も高く、次いで「地域の歴史や偉人などに関する知識を伝える」の割合が 30.3%、「企業などと連携して、地域の産業を伝える」の割合が 28.3%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「地域のお祭りなどへの参加を促進する」の割合が増加しています。



【小学校区別】

小学校区別にみると、一色小学校区で「地域のお祭りなどへの参加を促進する」、三ツ淵小学校区で「地域の歴史や偉人などに関する知識を伝える」、陶小学校区で「地域の人とふれあう機会を増やす」「企業などと連携して、地域の産業を伝える」「保護者など大人への郷土教育の機会を増やす」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	地域のお祭りなどへの参加を促進する	地域の歴史や偉人などに関する知識を伝える	地域の人とふれあう機会を増やす	企業などと連携して、地域の産業を伝える	地域に密着したボランティア活動などの機会を増やす	保護者など大人への郷土教育の機会を増やす	わからない	その他	無回答
全 体	509	49.7	30.3	20.2	28.3	9.2	4.3	12.4	0.8	0.0
小牧小学校区	61	49.2	34.4	11.5	29.5	18.0	3.3	8.2	0.0	0.0
村中小学校区	29	37.9	24.1	17.2	34.5	10.3	10.3	17.2	0.0	0.0
小牧南小学校区	48	50.0	25.0	20.8	20.8	12.5	4.2	12.5	2.1	0.0
三ツ淵小学校区	14	35.7	42.9	35.7	28.6	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0
味岡小学校区	88	37.5	27.3	22.7	36.4	4.5	4.5	15.9	1.1	0.0
篠岡小学校区	8	50.0	62.5	50.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
北里小学校区	38	36.8	31.6	21.1	18.4	15.8	2.6	21.1	0.0	0.0
米野小学校区	48	60.4	37.5	12.5	31.3	8.3	4.2	10.4	0.0	0.0
一色小学校区	24	79.2	29.2	16.7	29.2	4.2	0.0	4.2	0.0	0.0
小木小学校区	21	57.1	28.6	23.8	42.9	4.8	0.0	4.8	4.8	0.0
小牧原小学校区	37	56.8	27.0	16.2	18.9	13.5	2.7	18.9	0.0	0.0
本庄小学校区	31	48.4	35.5	25.8	25.8	3.2	3.2	9.7	0.0	0.0
桃ヶ丘小学校区	21	61.9	28.6	23.8	9.5	4.8	4.8	19.0	0.0	0.0
陶小学校区	13	53.8	15.4	46.2	46.2	0.0	15.4	0.0	7.7	0.0
光ヶ丘小学校区	18	61.1	27.8	11.1	27.8	5.6	11.1	5.6	0.0	0.0
大城小学校区	9	55.6	22.2	22.2	44.4	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0
小学校区がわからない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

【保護者の年齢別】

保護者の年齢別にみると、29歳以下から60歳代まで保護者の年齢が上がるほど「地域の人とふれあう機会を増やす」の割合が高い傾向にあり、29歳以下から50歳代まで保護者の年齢が上がるほど「地域に密着したボランティア活動などの機会を増やす」の割合が高くなっています。

単位：％

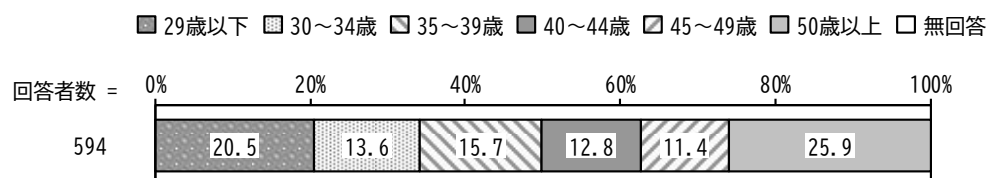
区分	回答者数 (件)	地域のお祭りなどへの参加を促進する	地域の歴史や偉人などに関する知識を伝える	地域の人とふれあう機会を増やす	企業などと連携して、地域の産業を伝える	地域に密着したボランティア活動などの機会を増やす	保護者など大人への郷土教育の機会を増やす	わからない	その他	無回答
全 体	509	49.7	30.3	20.2	28.3	9.2	4.3	12.4	0.8	0.0
29歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	73	50.7	32.9	19.2	28.8	5.5	2.7	15.1	0.0	0.0
40歳代	337	50.4	29.1	20.5	26.7	9.5	4.5	13.1	0.6	0.0
50歳代	97	46.4	32.0	19.6	34.0	11.3	5.2	8.2	2.1	0.0
60歳代	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

IV 教員調査結果

問1 あなたの年齢は次のうちどれですか。

以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

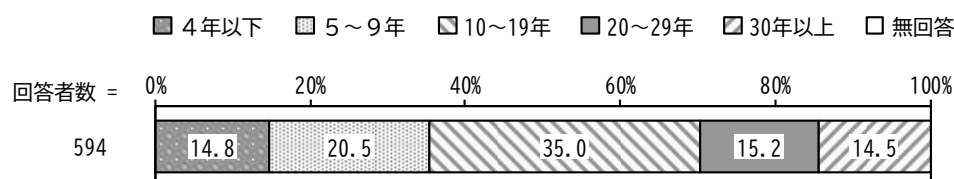
「50歳以上」の割合が25.9%と最も高く、次いで「29歳以下」の割合が20.5%、「35～39歳」の割合が15.7%となっています。



問2 あなたの教職経験年数（講師経験年数を含む）は次のうちどれですか。

以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

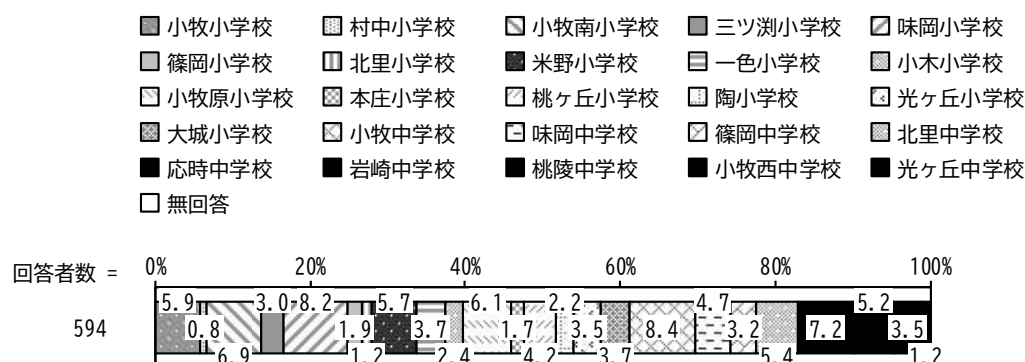
「10～19年」の割合が35.0%と最も高く、次いで「5～9年」の割合が20.5%、「20～29年」の割合が15.2%となっています。



問3 あなたの勤務する学校はどちらですか。

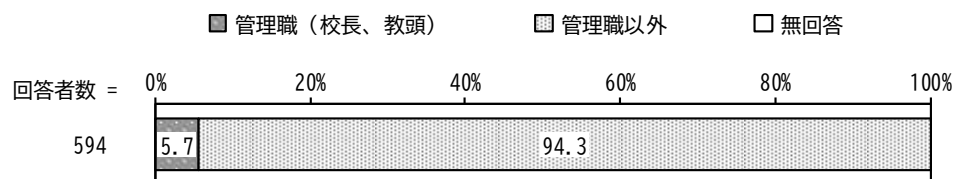
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「小牧中学校」の割合が8.4%と最も高くなっています。



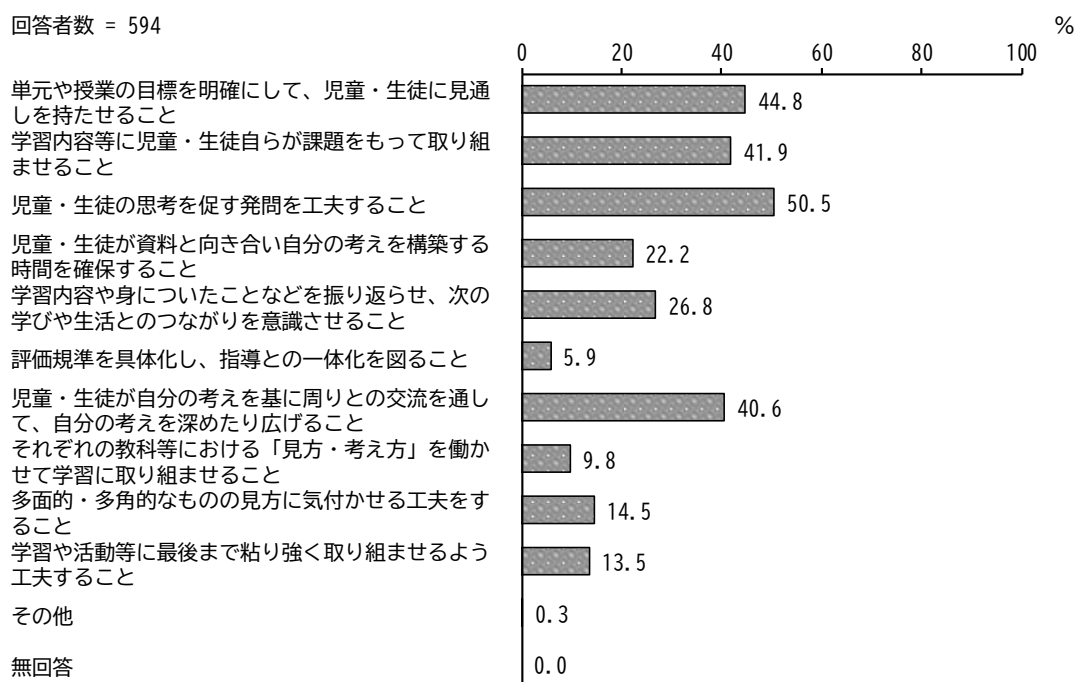
問4 あなたの役職・勤務形態は次のうちどれですか。
以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「管理職（校長、教頭）」の割合が 5.7%、「管理職以外」の割合が 94.3%となっています。



問5 あなたは、授業で「主体的・対話的で深い学び」を実践する際に特に重視していることはどれですか。以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

「児童・生徒の思考を促す発問を工夫すること」の割合が 50.5%と最も高く、次いで「単元や授業の目標を明確にして、児童・生徒に見通しを持たせること」の割合が 44.8%、「学習内容等に児童・生徒自らが課題をもって取り組ませること」の割合が 41.9%となっています。



【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、5～9年から30年以上まで教員経験年数が増えるほど「学習内容や身についたことなどを振り返らせ、次の学びや生活とのつながりを意識させること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	単元や授業の目標を明確にして、児童・生徒に見通しを持たせること	学習内容等に児童・生徒自らが課題をもって取り組ませること	児童・生徒の思考を促す発問を工夫すること	児童・生徒が資料と向き合い自分の考えを構築する時間を確保すること	学習内容や身についたことなどを振り返らせ、次の学びや生活とのつながりを意識させること	評価規準を具体化し、指導との一体化を図ること
全 体	594	44.8	41.9	50.5	22.2	26.8	5.9
4年以下	88	38.6	38.6	50.0	17.0	27.3	4.5
5～9年	122	46.7	43.4	52.5	23.8	20.5	4.1
10～19年	208	45.2	44.7	50.5	24.5	23.1	6.3
20～29年	90	46.7	40.0	45.6	21.1	30.0	7.8
30年以上	86	45.3	38.4	53.5	20.9	40.7	7.0

区分	児童・生徒が自分の考えを基に周りとの交流を通して、自分の考えを深めたり広げること	それぞれの教科等における「見方・考え方」を働かせて学習に取り組ませること	多面的・多角的なものの見方に気付かせる工夫をすること	学習や活動等に最後まで粘り強く取り組ませるよう工夫すること	その他	無回答
全 体	40.6	9.8	14.5	13.5	0.3	0.0
4年以下	45.5	10.2	11.4	11.4	1.1	0.0
5～9年	38.5	10.7	14.8	10.7	0.0	0.0
10～19年	42.3	7.7	14.4	14.4	0.0	0.0
20～29年	38.9	14.4	16.7	16.7	0.0	0.0
30年以上	36.0	8.1	15.1	14.0	1.2	0.0

【役職別】

役職別にみると、管理職（校長、教頭）で「学習内容等に児童・生徒自らが課題をもって取り組ませること」「学習内容や身についたことなどを振り返らせ、次の学びや生活とのつながりを意識させること」「それぞれの教科等における「見方・考え方」を働かせて学習に取り組ませること」の割合が高く、管理職以外で「学習や活動等に最後まで粘り強く取り組ませよう工夫すること」の割合が高くなっています。

単位：％

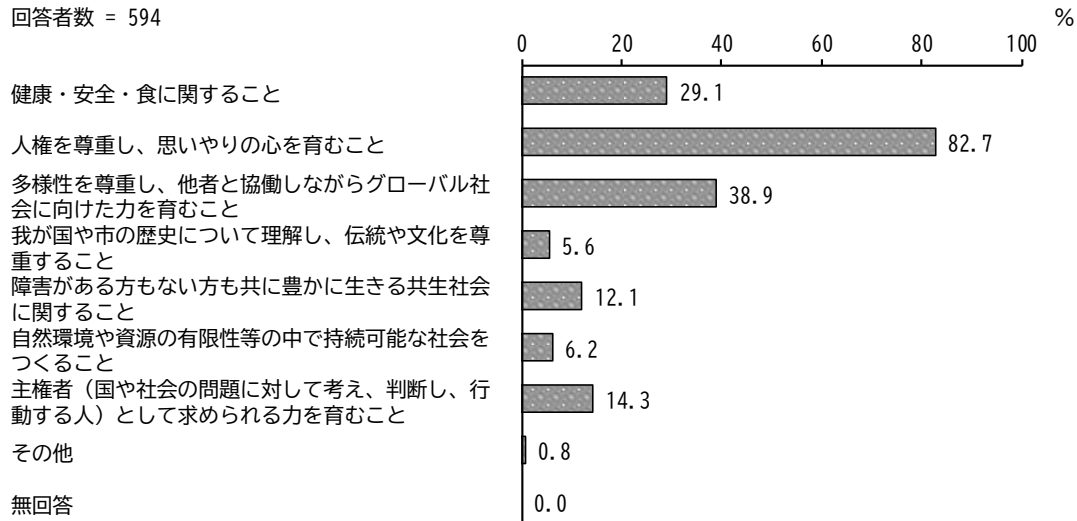
区分	回答者数（件）	単元や授業の目標を明確にして、児童・生徒に見通しを持たせること	学習内容等に児童・生徒自らが課題をもって取り組ませること	児童・生徒の思考を促す発問を工夫すること	児童・生徒が資料と向き合い自分の考えを構築する時間を確保すること	学習内容や身についたことなどを振り返らせ、次の学びや生活とのつながりを意識させること	評価規準を具体化し、指導との一体化を図ること
全 体	594	44.8	41.9	50.5	22.2	26.8	5.9
管理職（校長、教頭）	34	44.1	47.1	52.9	20.6	47.1	2.9
管理職以外	560	44.8	41.6	50.4	22.3	25.5	6.1

区分	児童・生徒が自分の考えを基に周りとの交流を通して、自分の考えを深めたり広げること	それぞれの教科等における「見方・考え方」を働かせて学習に取り組ませること	多面的・多角的なものの見方に気付かせる工夫をすること	学習や活動等に最後まで粘り強く取り組ませよう工夫すること	その他	無回答
全 体	40.6	9.8	14.5	13.5	0.3	0.0
管理職（校長、教頭）	44.1	14.7	11.8	5.9	0.0	0.0
管理職以外	40.4	9.5	14.6	13.9	0.4	0.0

問6 小牧市の学校教育で児童・生徒に教えることとして、特に重要だと思うことは何ですか。以下の設問からあてはまるものを2つまで選んでください。

「人権を尊重し、思いやりの心を育むこと」の割合が82.7%と最も高く、次いで「多様性を尊重し、他者と協働しながらグローバル社会に向けた力を育むこと」の割合が38.9%、「健康・安全・食に関すること」の割合が29.1%となっています。

回答者数 = 594



【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、4年以下から20～29年まで教員経験年数が上がるほど「自然環境や資源の有限性等の中で持続可能な社会をつくること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	健康・安全・食に関する こと	人権を尊重し、思いやり の心を育むこと	多様性を尊重し、他者と 協働しながらグローバル 社会に向けた力を育 むこと	我が国や市の歴史につ いて理解し、伝統や文化 を尊重すること
全 体	594	29.1	82.7	38.9	5.6
4年以下	88	26.1	83.0	44.3	10.2
5～9年	122	27.9	84.4	41.8	3.3
10～19年	208	35.1	80.8	29.8	6.3
20～29年	90	22.2	85.6	47.8	3.3
30年以上	86	26.7	81.4	41.9	4.7

区分	障害がある方もない方 も共に豊かに生きる共 生社会に関すること	自然環境や資源の有限 性等の中で持続可能な 社会をつくること	主権者（国や社会の問題 に対して考え、判断し、 行動する人）として求め られる力を育むこと	その他	無回答
全 体	12.1	6.2	14.3	0.8	0.0
4年以下	13.6	2.3	8.0	1.1	0.0
5～9年	13.1	3.3	14.8	0.8	0.0
10～19年	9.6	6.7	19.2	1.0	0.0
20～29年	11.1	10.0	13.3	0.0	0.0
30年以上	16.3	9.3	9.3	1.2	0.0

【小・中学勤務別】

小・中学勤務別にみると、小学校で「健康・安全・食に関すること」の割合が高くなっています。

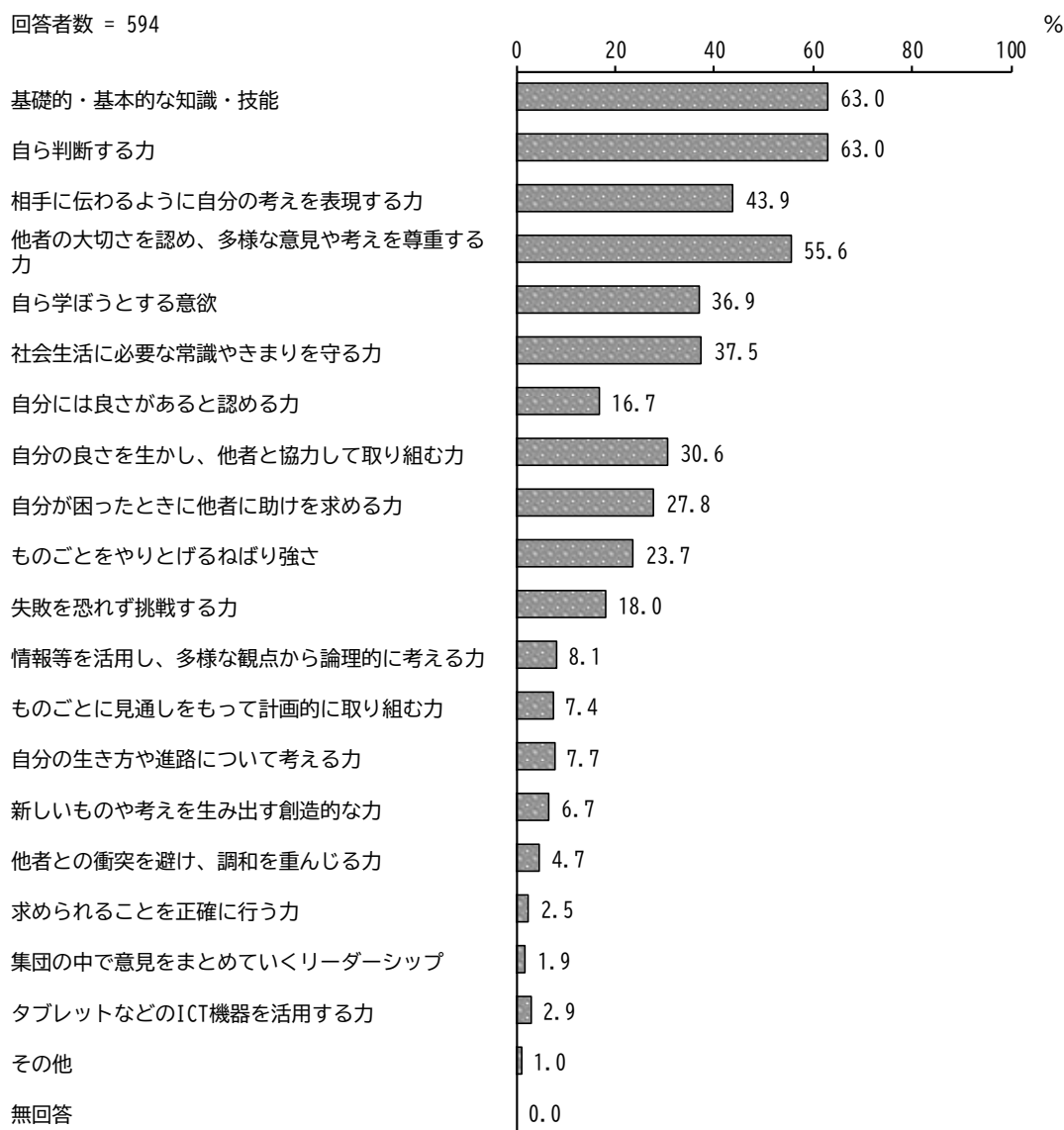
単位：％

区分	回答者数 (件)	健康・安全・食に関する こと	人権を尊重し、思いやり の心を育むこと	多様性を尊重し、他者と 協働しながらグローバル 社会に向けた力を育 むこと	我が国や市の歴史につ いて理解し、伝統や文化 を尊重すること
全 体	594	29.1	82.7	38.9	5.6
小学校	363	32.0	83.5	37.2	6.3
中学校	231	24.7	81.4	41.6	4.3

区分	障害がある方もない方 も共に豊かに生きる共 生社会に関すること	自然環境や資源の有限 性等の中で持続可能な 社会をつくること	主権者（国や社会の問題 に対して考え、判断し、 行動する人）として求め られる力を育むこと	その他	無回答
全 体	12.1	6.2	14.3	0.8	0.0
小学校	13.2	4.4	13.2	0.6	0.0
中学校	10.4	9.1	16.0	1.3	0.0

問7 こどもたちが義務教育修了時に身に付けておくべき能力や態度として特に重要だと思うものはどれですか。以下の設問からあてはまるものを5つまで選んでください。

「基礎的・基本的な知識・技能」、「自ら判断する力」の割合が 63.0%と最も高く、次いで「他者の大切さを認め、多様な意見や考えを尊重する力」の割合が 55.6%となっています。



【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、教員経験年数が上がるほど「ものごとをやりとげるねばり強さ」の割合が高い傾向にあり、30 年以上から5～9 年まで教員経験年数が下がるほど「失敗を恐れず挑戦する力」の割合が高い傾向にあります。また、20～29 年で「自分の良さを生かし、他者と協力して取り組む力」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	基礎的・基本的な知識・技能	自ら判断する力	相手に伝わるように自分の考えを表 現する力	他者の大切さを認め、多様な意見や考 えを尊重する力	自ら学ぼうとする 意欲	社会生活に必要な 常識やきまりを守 る力	自分には良さがあ ると認める力	自分の良さを生か し、他者と協力して 取り組む力	自分が困ったとき に他者に助けを求 める力	ものごとをやりと げるねばり強さ
全 体	594	63.0	63.0	43.9	55.6	36.9	37.5	16.7	30.6	27.8	23.7
4 年以下	88	55.7	56.8	42.0	59.1	30.7	33.0	17.0	33.0	28.4	20.5
5～9 年	122	58.2	63.1	40.2	56.6	39.3	33.6	13.9	27.9	29.5	23.0
10～19 年	208	64.9	67.3	49.0	54.3	39.4	40.9	17.8	24.5	27.4	20.7
20～29 年	90	67.8	66.7	42.2	56.7	33.3	38.9	13.3	44.4	26.7	26.7
30 年以上	86	67.4	54.7	40.7	52.3	37.2	38.4	20.9	32.6	26.7	32.6

区分	失敗を恐れず挑戦 する力	情報等を活用し、多 様な観点から論理 的に考える力	ものごとに見通し をもって計画的に 取り組む力	自分の生き方や進 路について考える 力	新しいものや考え を生み出す創造的 な力	他者との衝突を避 け、調和を重んじる 力	求められることを 正確に行う力	集団の中で意見を まとめていくリ ーダーシップ	タブレットなどの ICT 機器を活用する 力	その他	無回答
全 体	18.0	8.1	7.4	7.7	6.7	4.7	2.5	1.9	2.9	1.0	0.0
4 年以下	19.3	8.0	8.0	4.5	10.2	5.7	2.3	1.1	5.7	1.1	0.0
5～9 年	23.8	6.6	3.3	5.7	5.7	4.1	2.5	2.5	1.6	1.6	0.0
10～19 年	17.3	5.3	8.2	7.2	6.3	4.3	2.9	3.4	2.9	0.5	0.0
20～29 年	17.8	11.1	8.9	11.1	5.6	6.7	3.3	0.0	0.0	2.2	0.0
30 年以上	10.5	14.0	9.3	11.6	7.0	3.5	1.2	0.0	4.7	0.0	0.0

【小・中学勤務別】

小・中学勤務別にみると、小学校で「相手に伝わるように自分の考えを表現する力」「社会生活に必要な常識やきまりを守る力」「自分が困ったときに他者に助けを求める力」の割合が高く、中学校で「自ら判断する力」「自分の良さを生かし、他者と協力して取り組む力」「自分の生き方や進路について考える力」の割合が高くなっています。

単位：％

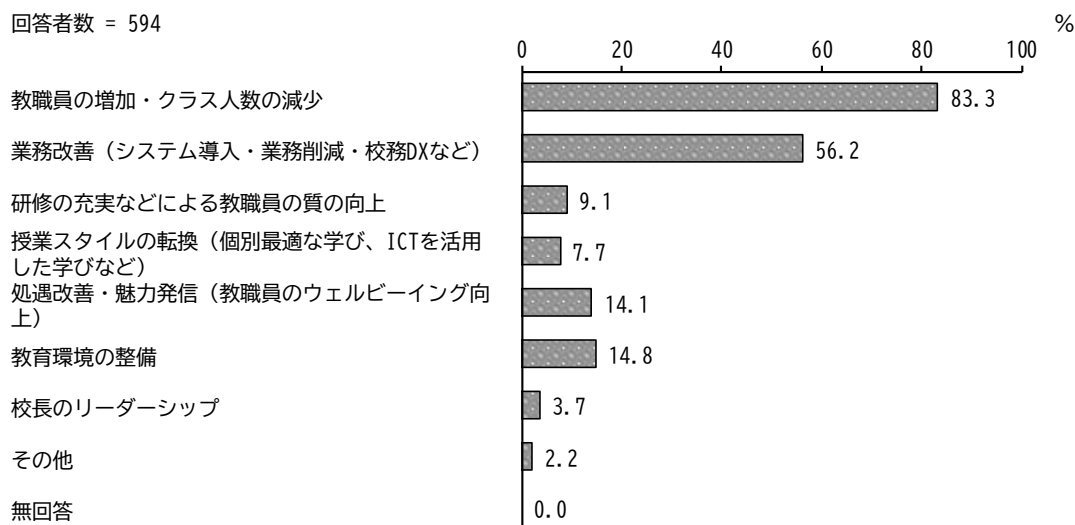
区分	回答者数 (件)	基礎的・基本的な知識・技能	自ら判断する力	相手に伝わるように自分の考えを表現する力	他者の大切さを認め、多様な意見や考えを尊重する力	自ら学ぶ意欲	社会生活に必要な常識やきまりを守る力	自分には良さがあると認める力	自分の良さを生かし、他者と協力して取り組む力	自分が困ったときに他者に助けを求める力	ものごとをやりとげるねばり強さ
全 体	594	63.0	63.0	43.9	55.6	36.9	37.5	16.7	30.6	27.8	23.7
小学校	363	64.2	60.1	47.1	56.7	37.7	40.2	16.8	27.8	30.6	24.5
中学校	231	61.0	67.5	39.0	53.7	35.5	33.3	16.5	35.1	23.4	22.5

区分	失敗を恐れず挑戦する力	様々な観点から論理的に考える力	情報等を活用し、多様な観点から論理的に考える力	ものごとに見通しをもって計画的に取り組む力	自分の生き方や進路について考える力	新しいものや考えを生み出す創造的な力	他者との衝突を避け、調和を重んじる力	求められることを正確に行う力	集団の中で意見をまとめていくリーダーシップ	タブレットなどのICT機器を活用する力	その他	無回答
全 体	18.0	8.1	7.4	7.7	6.7	4.7	2.5	1.9	2.9	1.0	0.0	0.0
小学校	17.9	7.2	6.9	4.7	6.3	3.6	2.8	1.4	3.0	0.8	0.0	0.0
中学校	18.2	9.5	8.2	12.6	7.4	6.5	2.2	2.6	2.6	1.3	0.0	0.0

問8 市や学校が、こどもの教育に関し、今後5年間で（※さらにその先を見据えた視点でも構いません。）どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか。【教職員・教育環境関連】以下の設問からあてはまるものを2つまで選んでください。

「教職員の増加・クラス人数の減少」の割合が 83.3%と最も高く、次いで「業務改善（システム導入・業務削減・校務DXなど）」の割合が 56.2%、「教育環境の整備」の割合が 14.8%となっています。

回答者数 = 594



【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、教員経験年数が下がるほど「業務改善（システム導入・業務削減・校務 DX など）」の割合が高く、4 年以下から 20～29 年まで教員経験年数が上がるほど「研修の充実などによる教職員の質の向上」「処遇改善・魅力発信（教職員のウェルビーイング向上）」の割合が高い傾向にあります。また、30 年以上で「教育環境の整備」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	教職員の増加・クラス 人数の減少	業務改善（システム導 入・業務削減・校務 など）	研修の充実などによる 教職員の質の向上	授業スタイルの転換 （個別最適な学び、ICT を活用した学びなど）	処遇改善・魅力発信（教 職員のウェルビーイン グ向上）	教育環境の整備	校長のリーダーシップ	その他	無回答
全 体	594	83.3	56.2	9.1	7.7	14.1	14.8	3.7	2.2	0.0
4 年以下	88	83.0	65.9	4.5	9.1	11.4	9.1	1.1	1.1	0.0
5～9 年	122	84.4	59.0	6.6	7.4	11.5	12.3	4.9	4.1	0.0
10～19 年	208	85.1	56.7	6.7	10.1	14.4	15.9	3.4	2.4	0.0
20～29 年	90	78.9	52.2	16.7	6.7	21.1	10.0	3.3	1.1	0.0
30 年以上	86	82.6	45.3	15.1	2.3	12.8	26.7	5.8	1.2	0.0

【小・中学勤務別】

小・中学勤務別にみると、大きな差はみられません。

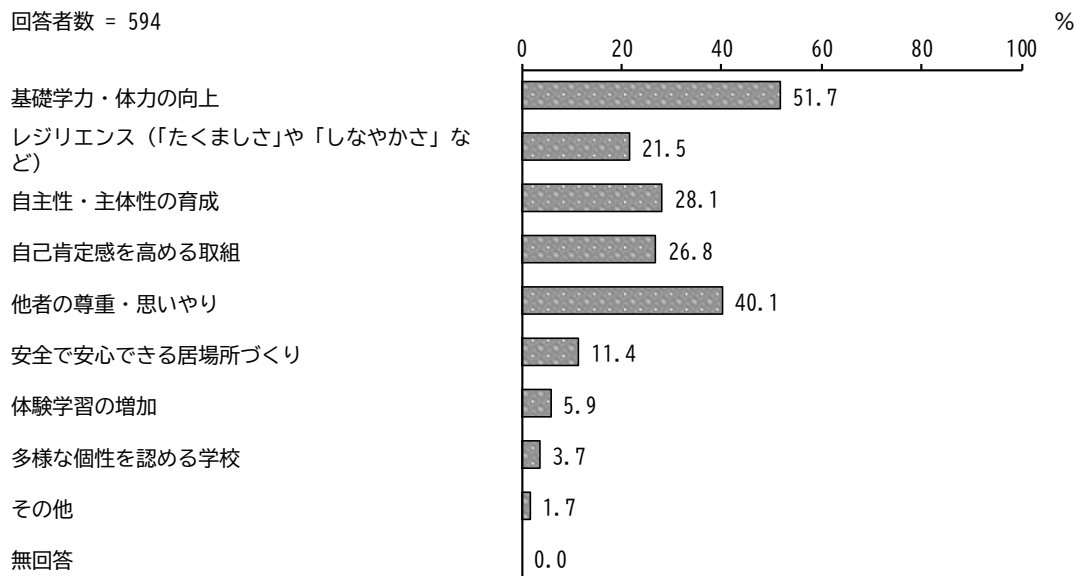
単位：％

区分	回答者数（件）	教職員の増加・クラス 人数の減少	業務改善（システム導 入・業務削減・校務 など）	研修の充実などによる 教職員の質の向上	授業スタイルの転換 （個別最適な学び、ICT を活用した学びなど）	処遇改善・魅力発信（教 職員のウェルビーイン グ向上）	教育環境の整備	校長のリーダーシップ	その他	無回答
全 体	594	83.3	56.2	9.1	7.7	14.1	14.8	3.7	2.2	0.0
小学校	363	82.9	57.9	9.4	9.4	12.9	13.5	2.5	1.7	0.0
中学校	231	84.0	53.7	8.7	5.2	16.0	16.9	5.6	3.0	0.0

問9 市や学校が、こどもの教育に関し、今後5年間で（※さらにその先を見据えた視点でも構いません。）どのようなことに取り組んでいくべきだと思いますか。【児童生徒関連】以下の設問からあてはまるものを2つまで選んでください。

「基礎学力・体力の向上」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「他者の尊重・思いやり」の割合が 40.1%、「自主性・主体性の育成」の割合が 28.1%となっています。

回答者数 = 594



【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、20～29年で「基礎学力・体力の向上」「多様な個性を認める学校」、30年以上で「他者の尊重・思いやり」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	基礎学力・体力の向上	レジリエンス（「たくましさ」や「しなやかさ」など）	自主性・主体性の育成	自己肯定感を高める取組	他者の尊重・思いやり	安全で安心できる居場所づくり	体験学習の増加	多様な個性を認める学校	その他	無回答
全 体	594	51.7	21.5	28.1	26.8	40.1	11.4	5.9	3.7	1.7	0.0
4年以下	88	50.0	14.8	28.4	28.4	42.0	11.4	10.2	2.3	1.1	0.0
5～9年	122	48.4	14.8	28.7	27.9	43.4	13.9	9.8	1.6	0.8	0.0
10～19年	208	50.5	25.5	30.8	28.4	39.4	11.1	2.9	1.4	3.4	0.0
20～29年	90	61.1	25.6	27.8	20.0	30.0	8.9	3.3	12.2	1.1	0.0
30年以上	86	51.2	24.4	20.9	26.7	45.3	11.6	5.8	4.7	0.0	0.0

【小・中学勤務別】

小・中学勤務別にみると、小学校で「他者の尊重・思いやり」の割合が高く、中学校で「レジリエンス（「たくましさ」や「しなやかさ」など）」の割合が高くなっています。

単位：％

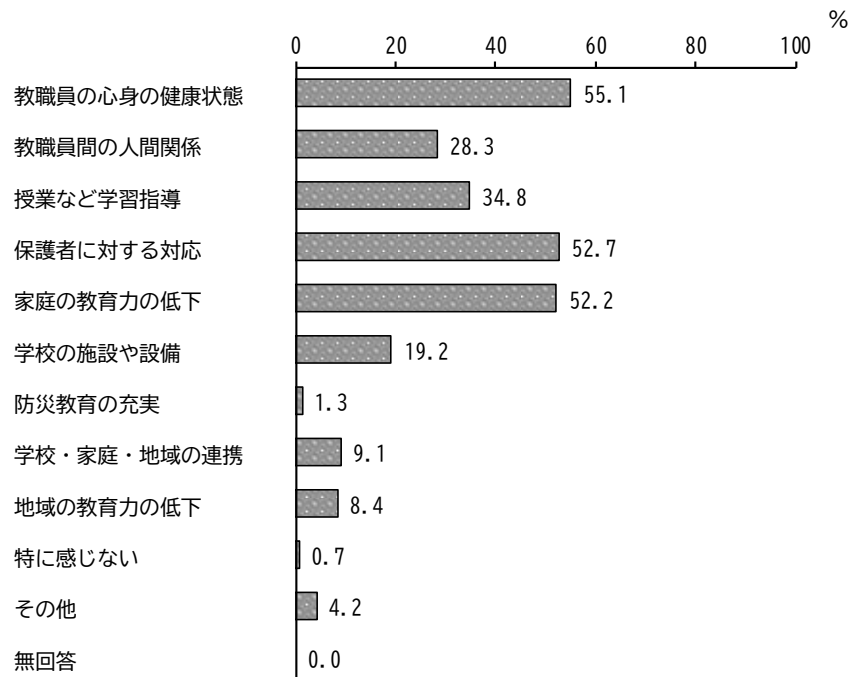
区分	回答者数 (件)	上基礎学力・体力の向	レジリエンス（「たくましさ」や「しなやかさ」など）	自主性・主体性の育成	自己肯定感を高める取組	他者の尊重・思いやり	安全で安心できる居場所づくり	体験学習の増加	多様な個性を認める学校	その他	無回答
全 体	594	51.7	21.5	28.1	26.8	40.1	11.4	5.9	3.7	1.7	0.0
小学校	363	53.2	18.5	26.7	28.1	43.3	10.2	5.8	3.0	1.7	0.0
中学校	231	49.4	26.4	30.3	24.7	35.1	13.4	6.1	4.8	1.7	0.0

問 10 日々の職務の中で課題と感ずることは何ですか。【教職員・教育環境関連】

以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

「教職員の心身の健康状態」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「保護者に対する対応」の割合が 52.7%、「家庭の教育力の低下」の割合が 52.2%となっています。

回答者数 = 594



【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、教員経験年数が上がるほど「教職員の心身の健康状態」「保護者に対する対応」の割合が高い傾向にあり、4年以下から20～29年まで教員経験年数が上がるほど「教職員間の人間関係」の割合が高く、「学校の施設や設備」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	教職員の心身の健康状態	教職員間の人間関係	授業など学習指導	保護者に対する対応	家庭の教育力の低下	学校の施設や設備	防災教育の充実	学校・家庭・地域の連携	地域の教育力の低下	特に感じない	その他	無回答
全 体	594	55.1	28.3	34.8	52.7	52.2	19.2	1.3	9.1	8.4	0.7	4.2	0.0
4年以下	88	46.6	21.6	43.2	47.7	46.6	21.6	1.1	13.6	3.4	2.3	2.3	0.0
5～9年	122	50.8	28.7	36.1	49.2	54.1	18.9	0.8	9.8	6.6	0.8	3.3	0.0
10～19年	208	56.7	31.7	33.2	53.4	53.4	18.3	1.4	6.7	12.0	0.5	5.3	0.0
20～29年	90	58.9	32.2	40.0	53.3	51.1	15.6	2.2	10.0	7.8	0.0	5.6	0.0
30年以上	86	61.6	22.1	23.3	60.5	53.5	23.3	1.2	8.1	8.1	0.0	3.5	0.0

【小・中学勤務別】

小・中学勤務別にみると、小学校で「教職員の心身の健康状態」「授業など学習指導」「保護者に対する対応」の割合が高く、中学校で「学校の施設や設備」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	教職員の心身の健康状態	教職員間の人間関係	授業など学習指導	保護者に対する対応	家庭の教育力の低下	学校の施設や設備	防災教育の充実	学校・家庭・地域の連携	地域の教育力の低下	特に感じない	その他	無回答
全 体	594	55.1	28.3	34.8	52.7	52.2	19.2	1.3	9.1	8.4	0.7	4.2	0.0
小学校	363	57.0	28.7	38.6	55.6	50.4	16.3	0.6	9.6	6.6	0.8	2.8	0.0
中学校	231	51.9	27.7	29.0	48.1	55.0	23.8	2.6	8.2	11.3	0.4	6.5	0.0

【役職別】

役職別にみると、管理職（校長、教頭）で「教職員の心身の健康状態」「保護者に対する対応」「学校・家庭・地域の連携」の割合が高く、管理職以外で「教職員間の人間関係」の割合が高くなっています。

単位：％

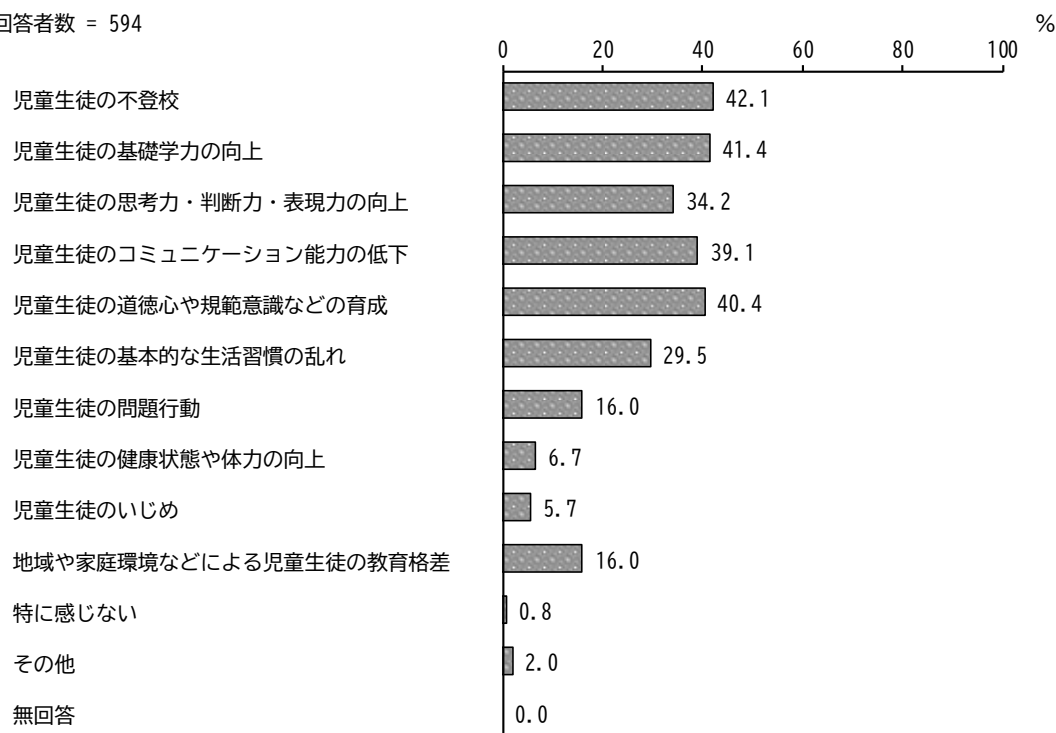
区分	回答者数 (件)	教職員の心身の健康状態	教職員間の人間関係	授業など学習指導	保護者に対する対応	家庭の教育力の低下	学校の施設や設備	防災教育の充実	学校・家庭・地域の連携	地域の教育力の低下	特に感じない	その他	無回答
全 体	594	55.1	28.3	34.8	52.7	52.2	19.2	1.3	9.1	8.4	0.7	4.2	0.0
管理職（校長、教頭）	34	61.8	20.6	35.3	64.7	50.0	23.5	0.0	17.6	8.8	0.0	2.9	0.0
管理職以外	560	54.6	28.8	34.8	52.0	52.3	18.9	1.4	8.6	8.4	0.7	4.3	0.0

問 11 日々の職務の中で課題と感ずることは何ですか。【児童生徒関連】

以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

「児童生徒の不登校」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「児童生徒の基礎学力の向上」の割合が 41.4%、「児童生徒の道徳心や規範意識などの育成」の割合が 40.4%となっています。

回答者数 = 594



【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、教員経験年数が下がるほど「児童生徒の問題行動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	児童生徒の不登校	児童生徒の基礎学力の向上	児童生徒の思考力・判断力・表現力の向上	児童生徒のコミュニケーション能力の低下	児童生徒の道徳心や規範意識などの育成	児童生徒の基本的な生活習慣の乱れ	児童生徒の問題行動	児童生徒の健康状態や体力の向上	児童生徒のいじめ	地域や家庭環境などによる児童生徒の教育格差	特に感じない	その他	無回答
全 体	594	42.1	41.4	34.2	39.1	40.4	29.5	16.0	6.7	5.7	16.0	0.8	2.0	0.0
4年以下	88	34.1	42.0	35.2	23.9	44.3	25.0	23.9	10.2	5.7	12.5	3.4	2.3	0.0
5～9年	122	40.2	41.0	34.4	41.8	32.0	32.0	20.5	4.9	2.5	20.5	0.0	1.6	0.0
10～19年	208	45.2	39.4	34.6	38.5	44.7	28.8	15.9	5.8	8.7	14.9	1.0	1.0	0.0
20～29年	90	41.1	44.4	26.7	47.8	42.2	28.9	11.1	10.0	5.6	14.4	0.0	5.6	0.0
30年以上	86	46.5	43.0	39.5	43.0	36.0	32.6	7.0	4.7	3.5	17.4	0.0	1.2	0.0

【小・中学勤務別】

小・中学勤務別にみると、小学校で「児童生徒の思考力・判断力・表現力の向上」「児童生徒の問題行動」の割合が高く、中学校で「児童生徒の不登校」の割合が高くなっています。

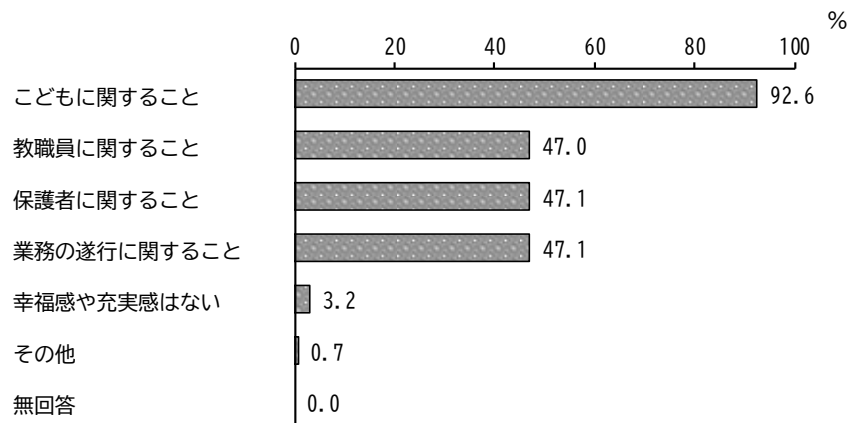
単位：％

区分	回答者数（件）	児童生徒の不登校	児童生徒の基礎学力の向上	児童生徒の思考力・判断力・表現力の向上	児童生徒のコミュニケーション能力の低下	児童生徒の道徳心や規範意識などの育成	児童生徒の基本的な生活習慣の乱れ	児童生徒の問題行動	児童生徒の健康状態や体力の向上	児童生徒のいじめ	地域や家庭環境などによる児童生徒の教育格差	特に感じない	その他	無回答
全 体	594	42.1	41.4	34.2	39.1	40.4	29.5	16.0	6.7	5.7	16.0	0.8	2.0	0.0
小学校	363	37.5	40.5	36.6	40.5	38.8	30.9	18.5	7.2	6.3	15.2	0.8	1.7	0.0
中学校	231	49.4	42.9	30.3	36.8	42.9	27.3	12.1	6.1	4.8	17.3	0.9	2.6	0.0

問 12 教員の仕事をしている中で、どのようなときに幸福感・充実感を覚えますか。
以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「こどもに関すること」の割合が 92.6％と最も高く、次いで「保護者に関すること」、「業務の遂行に関すること」の割合が 47.1％となっています。

回答者数 = 594



【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、教員経験年数が増えるほど「教職員に関すること」「保護者に関すること」の割合が高い傾向にあり、5～9年から30年以上まで教員経験年数が増えるほど「業務の遂行に関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	と こどもに 関するこ	と 教職員に 関するこ	と 保護者に 関するこ	業務の 遂行に 関する こと	幸福 感や充 実感 は ない	そ の 他	無 回 答
全 体	594	92.6	47.0	47.1	47.1	3.2	0.7	0.0
4年以下	88	92.0	33.0	37.5	43.2	3.4	2.3	0.0
5～9年	122	92.6	37.7	44.3	40.2	2.5	0.8	0.0
10～19年	208	91.8	50.5	50.0	44.7	4.3	0.5	0.0
20～29年	90	94.4	52.2	48.9	55.6	1.1	0.0	0.0
30年以上	86	93.0	60.5	52.3	58.1	3.5	0.0	0.0

【小・中学勤務別】

小・中学勤務別にみると、小学校で「保護者に関すること」の割合が高くなっています。

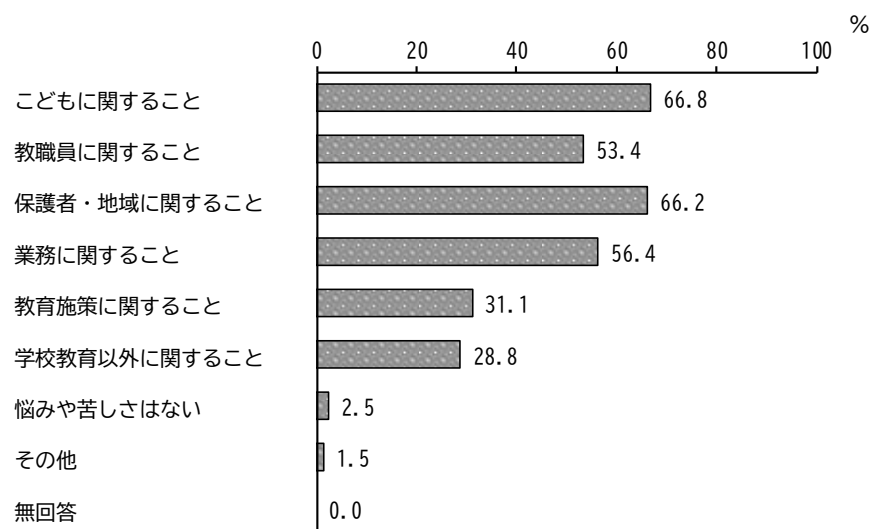
単位：％

区分	回答者数 (件)	と こどもに 関するこ	と 教職員に 関するこ	と 保護者に 関するこ	業務の 遂行に 関する こと	幸福 感や充 実感 は ない	そ の 他	無 回 答
全 体	594	92.6	47.0	47.1	47.1	3.2	0.7	0.0
小学校	363	94.2	48.5	50.1	48.8	3.0	1.1	0.0
中学校	231	90.0	44.6	42.4	44.6	3.5	0.0	0.0

問 13 教員の仕事をしている中で、どのようなときに悩みや苦しさを覚えますか。
以下の項目からあてはまるものをすべて選んでください。

「こどもに関すること」の割合が 66.8%と最も高く、次いで「保護者・地域に関すること」の割合が 66.2%、「業務に関すること」の割合が 56.4%となっています。

回答者数 = 594



【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、4年以下から20～29年まで教員経験年数が増えるほど「教職員に関すること」「業務に関すること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	とこどもに関するこ	と教職員に関するこ	保護者・地域に関するこ	業務に関するこ	教育施策に関するこ	学校教育以外に関するこ	悩みや苦しさはない	その他	無回答
全 体	594	66.8	53.4	66.2	56.4	31.1	28.8	2.5	1.5	0.0
4年以下	88	71.6	43.2	54.5	46.6	17.0	11.4	1.1	2.3	0.0
5～9年	122	72.1	47.5	68.9	52.5	27.0	26.2	2.5	1.6	0.0
10～19年	208	64.4	57.2	69.7	63.5	38.5	36.5	2.4	1.4	0.0
20～29年	90	57.8	62.2	64.4	64.4	28.9	32.2	2.2	2.2	0.0
30年以上	86	69.8	53.5	67.4	46.5	36.0	27.9	4.7	0.0	0.0

【小・中学勤務別】

小・中学勤務別にみると、小学校で「こどもに関すること」「保護者・地域に関すること」の割合が高く、中学校で「業務に関すること」「教育施策に関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	こどもに関するこ と	教職員に関するこ と	保護者・地域に関す ること	業務に関するこ と	教育施策に関する こと	学校教育以外に関 すること	い 悩みや苦しさはな い	その他	無回 答
全 体	594	66.8	53.4	66.2	56.4	31.1	28.8	2.5	1.5	0.0
小学校	363	70.8	52.1	70.8	54.0	28.4	27.8	2.2	1.4	0.0
中学校	231	60.6	55.4	58.9	60.2	35.5	30.3	3.0	1.7	0.0

【役職別】

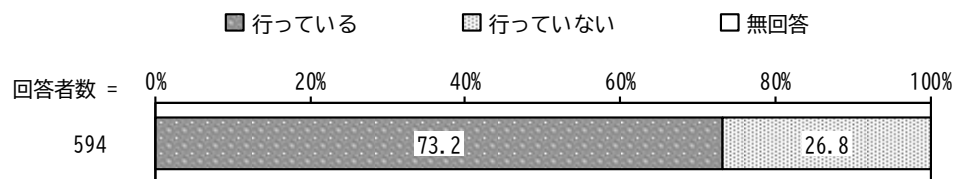
役職別にみると、管理職（校長、教頭）で「教職員に関すること」「保護者・地域に関すること」「業務に関すること」「教育施策に関すること」「学校教育以外に関すること」の割合が高く、管理職以外で「こどもに関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	こどもに関するこ と	教職員に関するこ と	保護者・地域に関す ること	業務に関するこ と	教育施策に関する こと	学校教育以外に関 すること	い 悩みや苦しさはな い	その他	無回 答
全 体	594	66.8	53.4	66.2	56.4	31.1	28.8	2.5	1.5	0.0
管理職（校長、教頭）	34	61.8	67.6	79.4	64.7	41.2	38.2	2.9	0.0	0.0
管理職以外	560	67.1	52.5	65.4	55.9	30.5	28.2	2.5	1.6	0.0

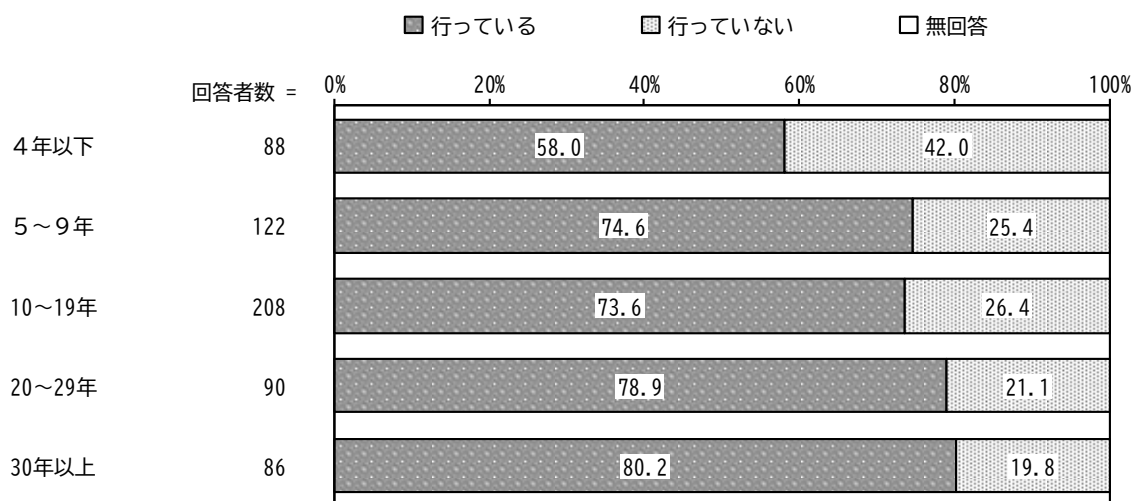
問 14 教育指導に必要な知識・技術の習得など、専門性を高めるための自主的な自己啓発を行っていますか。以下の設問からあてはまるものを1つ選んでください。

「行っている」の割合が73.2%、「行っていない」の割合が26.8%となっています。



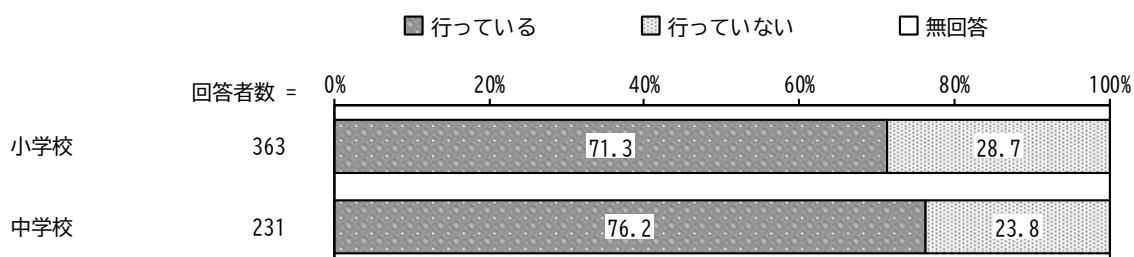
【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、4年以下から20～29年まで教員経験年数が増えるほど「行っている」の割合が高い傾向にあります。



【小・中学勤務別】

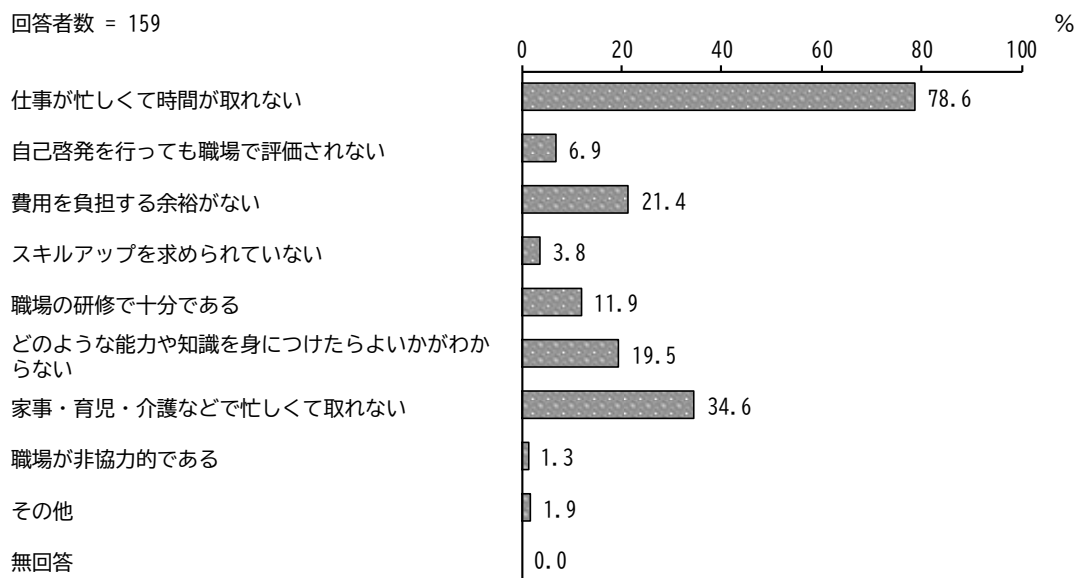
小・中学勤務別にみると、大きな差はみられません。



問 15 【質問 14 で「行っていない」と答えた方】自己啓発を行っていない理由は何ですか。
以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「仕事が忙しくて時間が取れない」の割合が 78.6%と最も高く、次いで「家事・育児・介護などで忙しくて取れない」の割合が 34.6%、「費用を負担する余裕がない」の割合が 21.4%となっています。

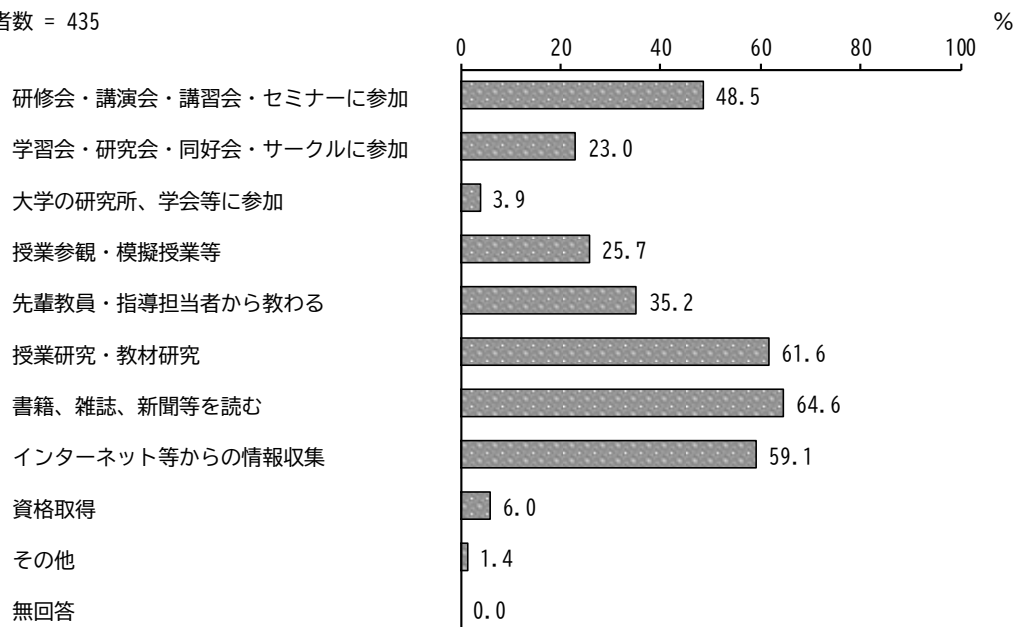
回答者数 = 159



問 16 【質問 14 で「行っている」と答えた方】あなたが、行っていることはどのような内容か教えてください。以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

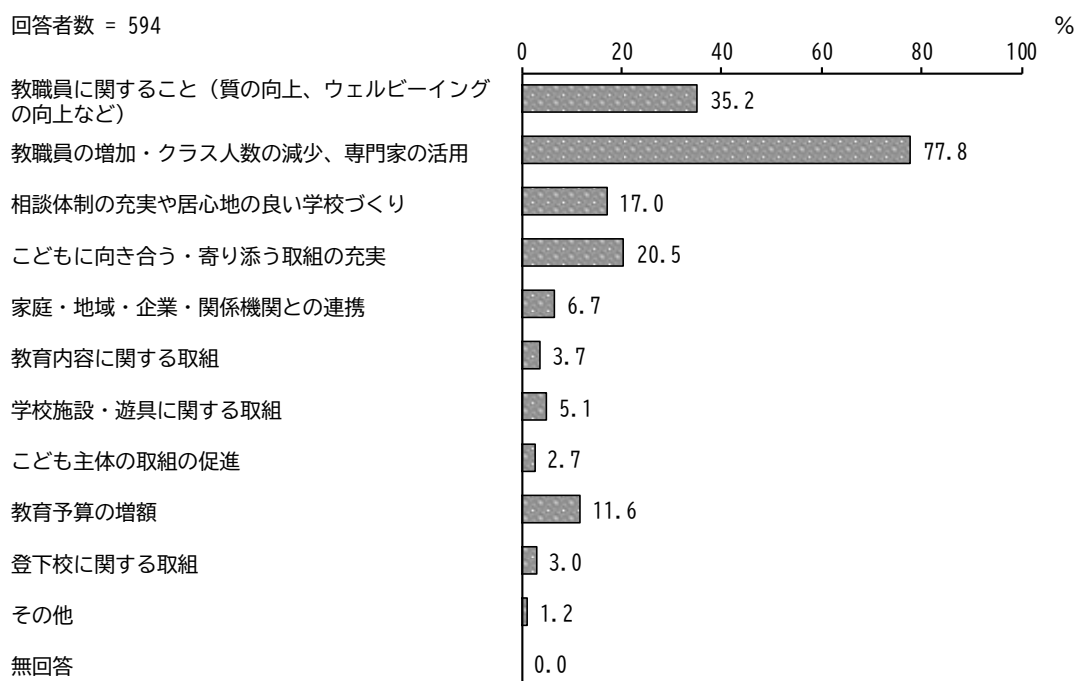
「書籍、雑誌、新聞等を読む」の割合が 64.6%と最も高く、次いで「授業研究・教材研究」の割合が 61.6%、「インターネット等からの情報収集」の割合が 59.1%となっています。

回答者数 = 435



問 17 勤務する学校が、子どもにとって「安全・安心な居場所」として機能するためには、今後どのような取組を進めていくべきだと思いますか。
以下の設問からあてはまるものを2つまで選んでください。

「教職員の増加・クラス人数の減少、専門家の活用」の割合が 77.8%と最も高く、次いで「教職員に関すること（質の向上、ウェルビーイングの向上など）」の割合が 35.2%、「子どもに向き合う・寄り添う取組の充実」の割合が 20.5%となっています。



【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、4年以下から20～29年まで教員経験年数が増えるほど「教職員に関すること（質の向上、ウェルビーイングの向上など）」の割合が高い傾向にあり、「相談体制の充実や居心地の良い学校づくり」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	教職員に関すること（質の向上、ウェルビーイングの向上など）	教職員の増加・クラス人数の減少、専門家の活用	相談体制の充実や居心地の良い学校づくり	子どもに向き合う・寄り添う取組の充実	家庭・地域・企業・関係機関との連携	教育内容に関する取組	学校施設・遊具に関する取組	子ども主体の取組の促進	教育予算の増額	登下校に関する取組	その他	無回答
全 体	594	35.2	77.8	17.0	20.5	6.7	3.7	5.1	2.7	11.6	3.0	1.2	0.0
4年以下	88	23.9	72.7	21.6	23.9	8.0	1.1	4.5	5.7	9.1	2.3	3.4	0.0
5～9年	122	35.2	76.2	18.0	26.2	7.4	3.3	3.3	2.5	9.8	2.5	0.0	0.0
10～19年	208	35.1	82.7	15.9	15.9	6.7	5.3	5.3	1.9	13.9	3.4	1.0	0.0
20～29年	90	46.7	76.7	12.2	21.1	2.2	2.2	4.4	4.4	10.0	4.4	1.1	0.0
30年以上	86	34.9	74.4	18.6	19.8	9.3	4.7	8.1	0.0	12.8	2.3	1.2	0.0

【小・中学勤務別】

小・中学勤務別にみると、中学校で「教育予算の増額」の割合が高くなっています。

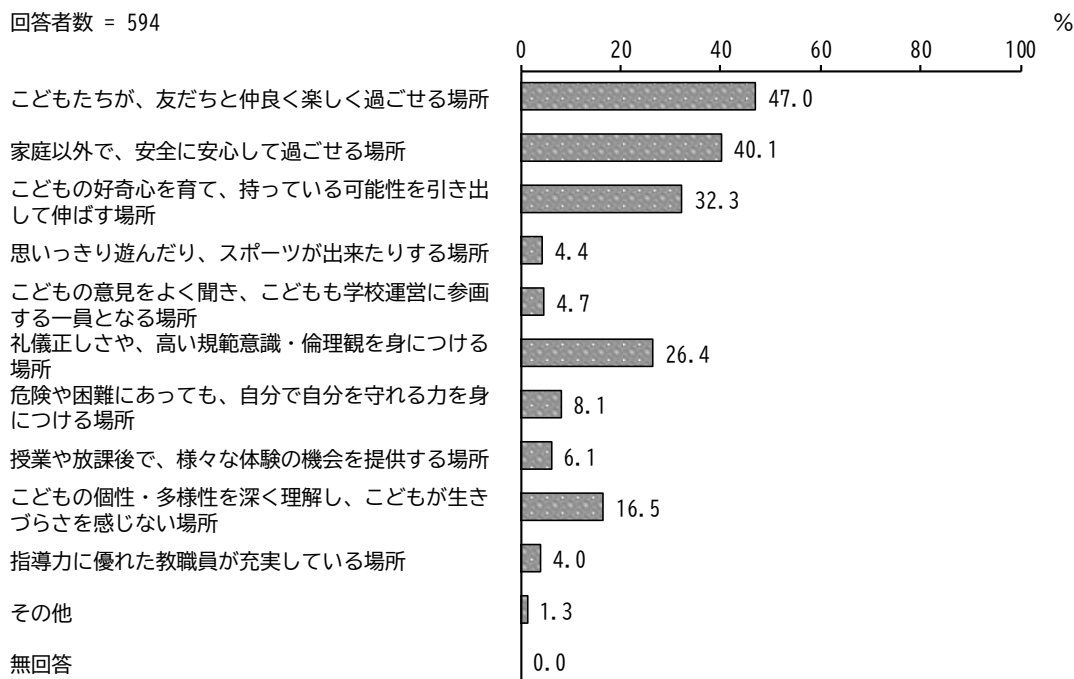
単位：％

区分	回答者数（件）	教職員に関すること（質の向上、ウェルビーイングの向上など）	教職員の増加・クラス人数の減少、専門家の活用	相談体制の充実や居心地の良い学校づくり	こどもに向き合う・寄り添う取組の充実	家庭・地域・企業・関係機関との連携	教育内容に関する取組	学校施設・遊具に関する取組	こども主体の取組の促進	教育予算の増額	登下校に関する取組	その他	無回答
全 体	594	35.2	77.8	17.0	20.5	6.7	3.7	5.1	2.7	11.6	3.0	1.2	0.0
小学校	363	35.8	79.3	18.2	22.0	5.8	3.0	4.4	1.9	9.1	4.7	0.8	0.0
中学校	231	34.2	75.3	15.2	18.2	8.2	4.8	6.1	3.9	15.6	0.4	1.7	0.0

問 18 こどもたちにとって、これからの学校はどのような場所であることが望ましいと思いますか。以下の設問からあてはまるものを2つまで選んでください。

「こどもたちが、友だちと仲良く楽しく過ごせる場所」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「家庭以外で、安全に安心して過ごせる場所」の割合が 40.1%、「こどもの好奇心を育て、持っている可能性を引き出して伸ばす場所」の割合が 32.3%となっています。

回答者数 = 594



【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、教員経験年数が上がるほど「危険や困難にあっても、自分で自分を守る力を身につける場所」の割合が高い傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数（件）	こどもたちが、友だちと仲良く楽しく過ごせる場所	家庭以外で、安全に安心して過ごせる場所	こどもの好奇心を育て、持っている可能性を引き出して伸ばす場所	思いっきり遊んだり、スポーツが出来る場所	こどもの意見をよく聞き、こどもも学校運営に参画する一員となる場所	礼儀正しさを、高い規範意識・倫理観を身につける場所	危険や困難にあっても、自分で自分を守る力を身につける場所	授業や放課後で、様々な体験の機会を提供する場所	こどもの個性・多様性を深く理解し、こどもが生きづらさを感じない場所	指導力に優れた教職員が充実している場所	その他	無回答
全 体	594	47.0	40.1	32.3	4.4	4.7	26.4	8.1	6.1	16.5	4.0	1.3	0.0
4年以下	88	42.0	38.6	27.3	5.7	4.5	30.7	4.5	4.5	23.9	2.3	2.3	0.0
5～9年	122	56.6	39.3	33.6	2.5	5.7	23.0	8.2	3.3	13.9	0.8	1.6	0.0
10～19年	208	44.2	43.8	33.2	3.8	4.8	29.8	7.2	7.2	13.0	6.3	0.5	0.0
20～29年	90	43.3	42.2	28.9	4.4	3.3	24.4	8.9	5.6	25.6	4.4	2.2	0.0
30年以上	86	48.8	31.4	37.2	7.0	4.7	20.9	12.8	9.3	11.6	4.7	1.2	0.0

【小・中学勤務別】

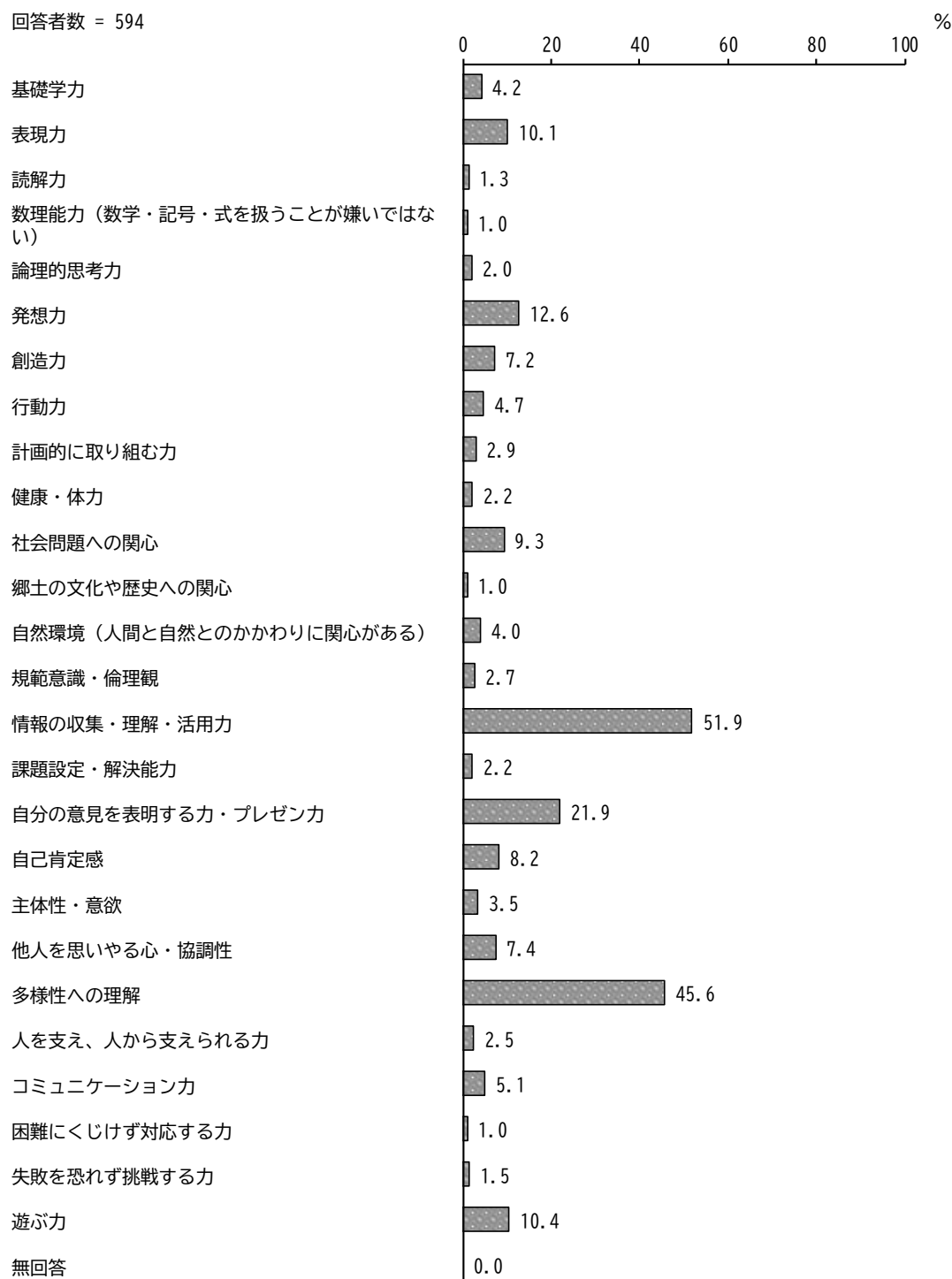
小・中学勤務別にみると、小学校で「こどもたちが、友だちと仲良く楽しく過ごせる場所」「こどもの好奇心を育て、持っている可能性を引き出して伸ばす場所」の割合が高く、中学校で「礼儀正しさを、高い規範意識・倫理観を身につける場所」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	こどもたちが、友だちと仲良く楽しく過ごせる場所	家庭以外で、安全に安心して過ごせる場所	こどもの好奇心を育て、持っている可能性を引き出して伸ばす場所	思いっきり遊んだり、スポーツが出来る場所	こどもの意見をよく聞き、こどもも学校運営に参画する一員となる場所	礼儀正しさを、高い規範意識・倫理観を身につける場所	危険や困難にあっても、自分で自分を守る力を身につける場所	授業や放課後で、様々な体験の機会を提供する場所	こどもの個性・多様性を深く理解し、こどもが生きづらさを感じない場所	指導力に優れた教職員が充実している場所	その他	無回答
全 体	594	47.0	40.1	32.3	4.4	4.7	26.4	8.1	6.1	16.5	4.0	1.3	0.0
小学校	363	52.1	38.8	35.3	2.8	3.9	23.7	8.0	5.2	16.8	3.0	1.7	0.0
中学校	231	39.0	42.0	27.7	6.9	6.1	30.7	8.2	7.4	16.0	5.6	0.9	0.0

問 19 今回の子どもたちが身につけている資質・能力が、5年前の子どもたちと比較して「優れている」と感じるのは、どのような点ですか。
以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「情報の収集・理解・活用力」の割合が51.9%と最も高く、次いで「多様性への理解」の割合が45.6%、「自分の意見を表明する力・プレゼン力」の割合が21.9%となっています。



【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、教員経験年数が上がるほど「自分の意見を表明する力・プレゼン力」の割合が高く、20～29 年から4年以下まで教員経験年数が下がるほど「遊ぶ力」の割合が高い傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数 (件)	基礎学力	表現力	読解力	数理能力(数学・記号・式を扱うことが嫌いではない)	論理的思考力	発想力	創造力	行動力	計画的に取り組む力	健康・体力	社会問題への関心	郷土の文化や歴史への関心	自然環境(人間と自然とのかわりに関心がある)
全 体	594	4.2	10.1	1.3	1.0	2.0	12.6	7.2	4.7	2.9	2.2	9.3	1.0	4.0
4年以下	88	6.8	4.5	1.1	2.3	4.5	15.9	3.4	6.8	3.4	3.4	10.2	0.0	3.4
5～9年	122	6.6	14.8	2.5	0.8	1.6	13.1	10.7	6.6	2.5	2.5	9.8	1.6	4.1
10～19年	208	2.4	8.7	1.9	1.4	1.9	12.0	5.8	3.8	1.9	1.4	10.6	1.4	1.9
20～29年	90	2.2	11.1	0.0	0.0	1.1	14.4	13.3	3.3	4.4	2.2	10.0	0.0	10.0
30年以上	86	4.7	11.6	0.0	0.0	1.2	8.1	3.5	3.5	3.5	2.3	3.5	1.2	3.5

区分	規範意識・倫理観	情報の収集・理解・活用力	課題設定・解決能力	自分の意見を表明する力・プレゼン力	自己肯定感	主体性・意欲	他人を思いやる心・協調性	多様性への理解	人を支え、人から支えられる力	コミュニケーション力	困難にくじけず対応する力	失敗を恐れず挑戦する力	遊ぶ力	無回答
全 体	2.7	51.9	2.2	21.9	8.2	3.5	7.4	45.6	2.5	5.1	1.0	1.5	10.4	0.0
4年以下	4.5	50.0	1.1	14.8	10.2	5.7	6.8	39.8	1.1	10.2	0.0	0.0	17.0	0.0
5～9年	2.5	50.8	3.3	18.9	4.9	4.1	9.0	38.5	4.9	4.1	0.8	0.8	9.0	0.0
10～19年	1.9	47.6	1.9	21.2	6.7	2.4	6.7	55.3	1.4	4.3	1.0	2.4	10.1	0.0
20～29年	3.3	57.8	2.2	25.6	14.4	4.4	7.8	45.6	4.4	4.4	2.2	3.3	4.4	0.0
30年以上	2.3	59.3	2.3	31.4	8.1	2.3	7.0	38.4	1.2	3.5	1.2	0.0	12.8	0.0

【小・中学勤務別】

小・中学勤務別にみると、中学校で「創造力」「多様性への理解」「遊ぶ力」の割合が高くなっています。

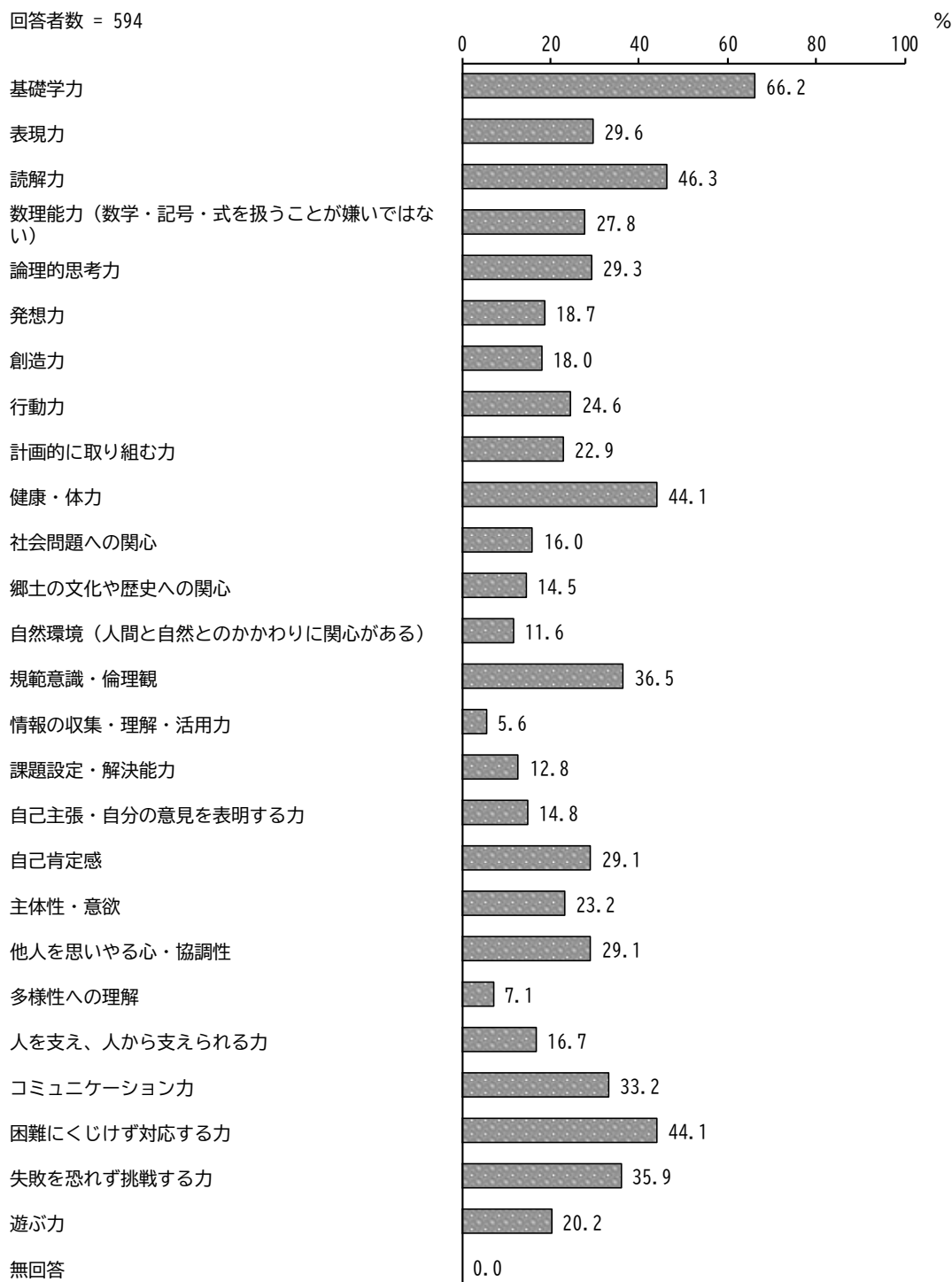
単位：％

区分	回答者数（件）	基礎学力	表現力	読解力	数理能力（数字・記号・式を扱うことが嫌いではない）	論理的思考力	発想力	創造力	行動力	計画的に取り組む力	健康・体力	社会問題への関心	郷土の文化や歴史への関心	自然環境（人間と自然とのかわりに関心がある）
全 体	594	4.2	10.1	1.3	1.0	2.0	12.6	7.2	4.7	2.9	2.2	9.3	1.0	4.0
小学校	363	3.9	9.6	1.1	1.1	2.2	11.8	5.0	5.0	3.3	2.8	10.2	0.8	5.8
中学校	231	4.8	10.8	1.7	0.9	1.7	13.9	10.8	4.3	2.2	1.3	7.8	1.3	1.3

区分	規範意識・倫理観	情報の収集・理解・活用力	課題設定・解決能力	自分の意見を表明する力・プレゼン力	自己肯定感	主体性・意欲	他人を思いやる心・協調性	多様性への理解	人を支え、人から支えられる力	コミュニケーション力	困難にくじけず対応する力	失敗を恐れず挑戦する力	遊ぶ力	無回答
全 体	2.7	51.9	2.2	21.9	8.2	3.5	7.4	45.6	2.5	5.1	1.0	1.5	10.4	0.0
小学校	2.8	53.7	1.7	21.8	6.9	3.6	7.2	43.3	2.2	4.4	1.1	1.7	7.4	0.0
中学校	2.6	48.9	3.0	22.1	10.4	3.5	7.8	49.4	3.0	6.1	0.9	1.3	15.2	0.0

問 20 今の子どもたちが身につけている資質・能力が、5年前の子どもたちと比較して「劣っている」と感じるのは、どのような点ですか。
以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「基礎学力」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「読解力」の割合が 46.3%、「健康・体力」、「困難にくじけず対応する力」の割合が 44.1%となっています。



【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、30 年以上から 5～9 年まで教員経験年数が下がるほど「自己主張・自分の意見を表明する力」の割合が高く、4 年以下から 20～29 年まで教員経験年数が上がるほど「困難にくじけず対応する力」「失敗を恐れず挑戦する力」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	基礎学力	表現力	読解力	数理能力(数学・記号・式を扱うことが嫌いではない)	論理的思考力	発想力	創造力	行動力	計画的に取り組む力	健康・体力	社会問題への関心	郷土の文化や歴史への関心	自然環境(人間と自然とのかわりに関心がある)
全 体	594	66.2	29.6	46.3	27.8	29.3	18.7	18.0	24.6	22.9	44.1	16.0	14.5	11.6
4 年以下	88	60.2	29.5	45.5	26.1	23.9	17.0	17.0	20.5	18.2	37.5	15.9	13.6	9.1
5～9 年	122	65.6	27.9	42.6	27.9	28.7	17.2	11.5	26.2	22.1	43.4	9.8	16.4	13.9
10～19 年	208	70.2	35.1	50.5	31.3	33.7	24.0	23.1	30.3	25.5	49.5	15.9	13.9	14.9
20～29 年	90	67.8	25.6	48.9	27.8	30.0	17.8	20.0	24.4	24.4	47.8	24.4	17.8	8.9
30 年以上	86	61.6	23.3	39.5	20.9	24.4	10.5	14.0	12.8	20.9	34.9	16.3	10.5	5.8

区分	規範意識・倫理観	情報の収集・理解・活用力	課題設定・解決能力	自己主張・自分の意見を表明する力	自己肯定感	主体性・意欲	他人を思いやる心・協調性	多様性への理解	人を支え、人から支えられる力	コミュニケーション力	困難にくじけず対応する力	失敗を恐れず挑戦する力	遊ぶ力	無回答
全 体	36.5	5.6	12.8	14.8	29.1	23.2	29.1	7.1	16.7	33.2	44.1	35.9	20.2	0.0
4 年以下	29.5	6.8	13.6	13.6	34.1	22.7	21.6	10.2	14.8	29.5	34.1	31.8	15.9	0.0
5～9 年	25.4	5.7	13.1	18.9	34.4	18.0	30.3	6.6	14.8	31.1	37.7	35.2	20.5	0.0
10～19 年	44.2	6.7	15.9	15.9	29.3	29.3	35.6	7.2	20.7	37.5	46.2	39.9	22.6	0.0
20～29 年	34.4	6.7	10.0	15.6	22.2	26.7	27.8	8.9	20.0	34.4	56.7	42.2	22.2	0.0
30 年以上	43.0	0.0	7.0	7.0	23.3	12.8	20.9	2.3	8.1	27.9	45.3	24.4	16.3	0.0

【小・中学勤務別】

小・中学勤務別にみると、小学校で「健康・体力」の割合が高く、中学校で「基礎学力」「表現力」「読解力」「数理能力（数学・記号・式を扱うことが嫌いではない）」「論理的思考力」「創造力」「計画的に取り組む力」「社会問題への関心」「課題設定・解決能力」の割合が高くなっています。

単位：％

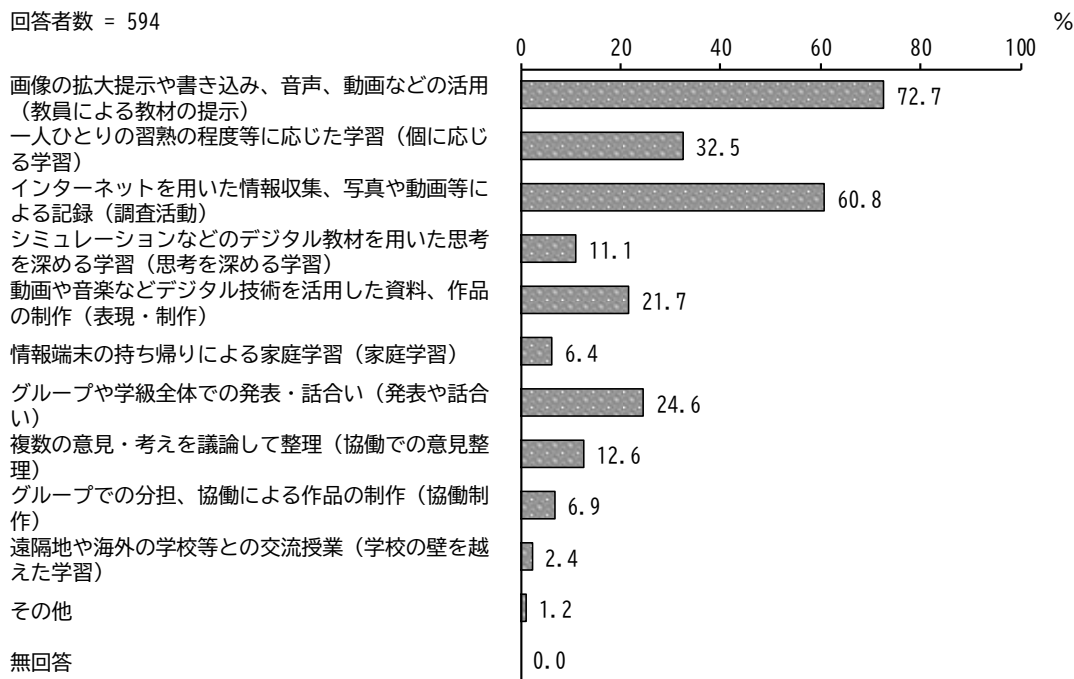
区分	回答者数（件）	基礎学力	表現力	読解力	数理能力（数学・記号・式を扱うことが嫌いではない）	論理的思考力	発想力	創造力	行動力	計画的に取り組む力	健康・体力	社会問題への関心	郷土の文化や歴史への関心	自然環境（人間と自然とのかわりに関心がある）
全 体	594	66.2	29.6	46.3	27.8	29.3	18.7	18.0	24.6	22.9	44.1	16.0	14.5	11.6
小学校	363	63.6	25.9	44.4	24.8	25.3	17.9	16.0	23.1	18.2	47.4	11.6	12.9	10.2
中学校	231	70.1	35.5	49.4	32.5	35.5	19.9	21.2	26.8	30.3	39.0	22.9	16.9	13.9

区分	規範意識・倫理観	情報の収集・理解・活用力	課題設定・解決能力	自己主張・自分の意見を表明する力	自己肯定感	主体性・意欲	他人を思いやる心・協調性	多様性への理解	人を支え、人から支えられる力	コミュニケーション力	困難にくじけず対応する力	失敗を恐れず挑戦する力	遊ぶ力	無回答
全 体	36.5	5.6	12.8	14.8	29.1	23.2	29.1	7.1	16.7	33.2	44.1	35.9	20.2	0.0
小学校	35.3	3.9	10.5	14.0	28.9	23.4	29.2	6.3	14.9	32.8	42.7	34.2	22.0	0.0
中学校	38.5	8.2	16.5	16.0	29.4	22.9	29.0	8.2	19.5	33.8	46.3	38.5	17.3	0.0

問 21 あなたは、ICT を活用した学習の実践で特に活用し、効果的だと思う利用場面はなんですか。以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

「画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用（教員による教材の提示）」の割合が 72.7%と最も高く、次いで「インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録（調査活動）」の割合が 60.8%、「一人ひとりの習熟の程度等に応じた学習（個に応じる学習）」の割合が 32.5%となっています。

回答者数 = 594



【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、5～9年から30年以上まで教員経験年数が増えるほど「インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録（調査活動）」の割合が高い傾向にあり、20～29年から4年以下まで教員経験年数が下がるほど「グループや学級全体での発表・話し合い（発表や話し合い）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用（教員による教材の提示）	一人ひとりの習熟の程度等に応じた学習（個に応じた学習）	インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録（調査活動）	シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習（思考を深める学習）	動画や音楽などデジタル技術を活用した資料、作品の制作（表現・制作）	情報端末の持ち帰りによる家庭学習（家庭学習）
全 体	594	72.7	32.5	60.8	11.1	21.7	6.4
4年以下	88	69.3	35.2	64.8	9.1	17.0	5.7
5～9年	122	69.7	35.2	54.9	16.4	20.5	4.1
10～19年	208	74.0	29.8	60.1	9.1	25.0	6.3
20～29年	90	74.4	35.6	60.0	13.3	21.1	7.8
30年以上	86	75.6	29.1	67.4	8.1	20.9	9.3

区分	グループや学級全体での発表・話し合い（発表や話し合い）	複数の意見・考えを議論して整理（協働での意見整理）	グループでの分担、協働による作品の制作（協働制作）	遠隔地や海外の学校等との交流授業（学校の壁を越えた学習）	その他	無回答
全 体	24.6	12.6	6.9	2.4	1.2	0.0
4年以下	28.4	18.2	3.4	1.1	1.1	0.0
5～9年	27.0	9.8	8.2	0.0	0.8	0.0
10～19年	23.6	12.5	10.6	2.9	1.0	0.0
20～29年	21.1	13.3	3.3	3.3	1.1	0.0
30年以上	23.3	10.5	3.5	4.7	2.3	0.0

【小・中学勤務別】

小・中学勤務別にみると、小学校で「一人ひとりの習熟の程度等に応じた学習（個に応じる学習）」「インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録（調査活動）」の割合が高く、中学校で「シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習（思考を深める学習）」「グループや学級全体での発表・話し合い（発表や話し合い）」の割合が高くなっています。

単位：％

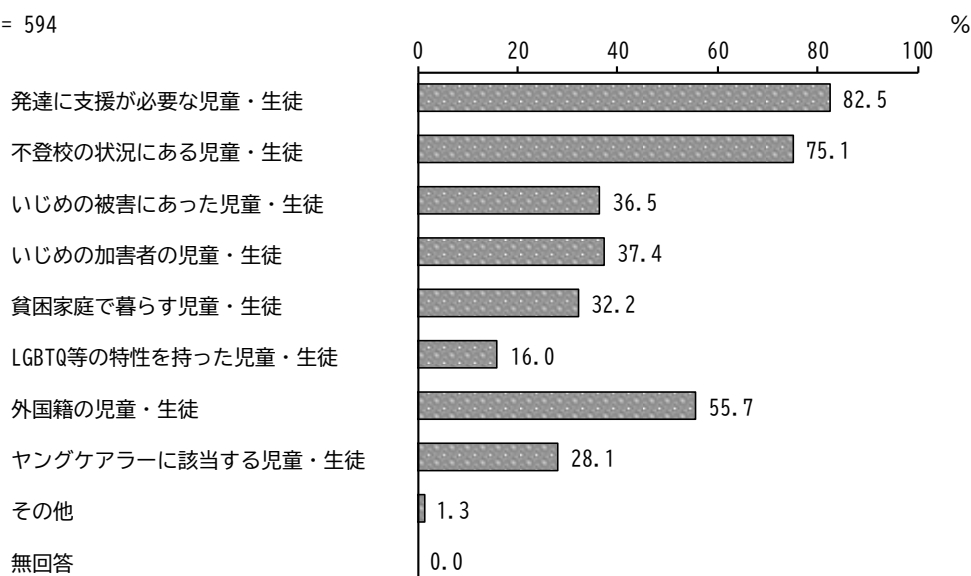
区分	回答者数 (件)	画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用（教員による教材の提示）	一人ひとりの習熟の程度等に応じた学習（個に応じる学習）	インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録（調査活動）	シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習（思考を深める学習）	動画や音楽などデジタル技術を活用した資料、作品の制作（表現・制作）	情報端末の持ち帰りによる家庭学習（家庭学習）
全 体	594	72.7	32.5	60.8	11.1	21.7	6.4
小学校	363	72.7	39.1	67.5	8.5	20.9	6.3
中学校	231	72.7	22.1	50.2	15.2	22.9	6.5

区分	グループや学級全体での発表・話し合い（発表や話し合い）	複数の意見・考えを議論して整理（協働での意見整理）	グループでの分担、協働による作品の制作（協働制作）	遠隔地や海外の学校等との交流授業（学校の壁を越えた学習）	その他	無回答
全 体	24.6	12.6	6.9	2.4	1.2	0.0
小学校	22.3	12.1	6.1	3.3	1.1	0.0
中学校	28.1	13.4	8.2	0.9	1.3	0.0

問 22 あなたは、以下の支援が必要な児童・生徒で、支援や指導が難しいと感じたことはありますか。以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「発達に支援が必要な児童・生徒」の割合が 82.5%と最も高く、次いで「不登校の状況にある児童・生徒」の割合が 75.1%、「外国籍の児童・生徒」の割合が 55.7%となっています。

回答者数 = 594



【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、教員経験年数が増えるほど「ヤングケアラーに該当する児童・生徒」の割合が高い傾向にあり、4年以下から20～29年まで教員経験年数が増えるほど「不登校の状況にある児童・生徒」の割合が高くなっています。また、30年以上で「いじめの被害にあった児童・生徒」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	発達に 支援が 必要 な 児童・ 生徒	不登校の 状況に あ る 児童・ 生徒	いじめの 被害に あ った 児童・ 生徒	いじめの 加害者 の 児童・ 生徒	貧困家 庭で暮 らす 児童・ 生徒	LGBTQ 等の特 性を持 った 児童・ 生徒	外国籍 の児童 ・生徒	ヤング ケアラ ーに 該当す る児童 ・生徒	その他	無回 答
全 体	594	82.5	75.1	36.5	37.4	32.2	16.0	55.7	28.1	1.3	0.0
4年以下	88	79.5	56.8	27.3	33.0	25.0	8.0	44.3	20.5	1.1	0.0
5～9年	122	86.1	69.7	25.4	25.4	22.1	9.0	54.9	20.5	1.6	0.0
10～19年	208	81.7	78.4	43.3	42.3	39.4	20.2	59.6	30.3	1.0	0.0
20～29年	90	83.3	84.4	35.6	40.0	30.0	20.0	58.9	31.1	2.2	0.0
30年以上	86	81.4	83.7	46.5	44.2	38.4	19.8	55.8	38.4	1.2	0.0

【小・中学勤務別】

小・中学勤務別にみると、中学校で「貧困家庭で暮らす児童・生徒」「LGBTQ等の特性を持った児童・生徒」「外国籍の児童・生徒」「ヤングケアラーに該当する児童・生徒」の割合が高くなっています。

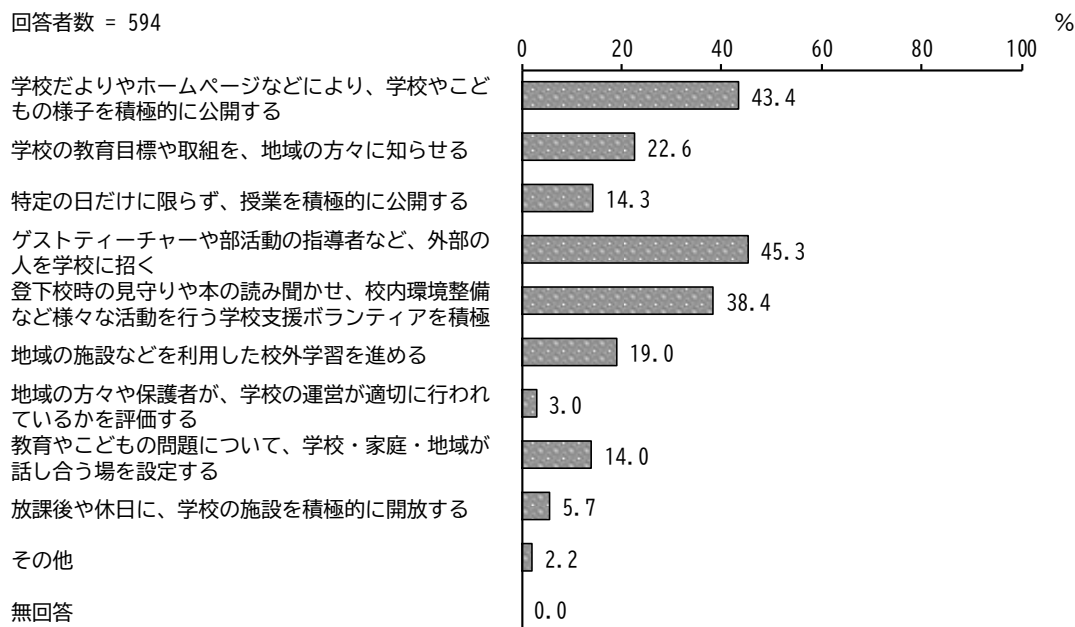
単位：％

区分	回答者数 (件)	発達に 支援が 必要 な 児童・ 生徒	不登校の 状況に あ る 児童・ 生徒	いじめの 被害に あ った 児童・ 生徒	いじめの 加害者 の 児童・ 生徒	貧困家 庭で暮 らす 児童・ 生徒	LGBTQ 等の特 性を持 った 児童・ 生徒	外国籍 の児童 ・生徒	ヤング ケアラ ーに 該当す る児童 ・生徒	その他	無回 答
全 体	594	82.5	75.1	36.5	37.4	32.2	16.0	55.7	28.1	1.3	0.0
小学校	363	83.5	76.9	35.8	37.7	29.5	11.6	53.2	22.9	1.7	0.0
中学校	231	81.0	72.3	37.7	36.8	36.4	22.9	59.7	36.4	0.9	0.0

問 23 地域とともにある学校（パートナーとしての連携・協働関係）づくりを行うために、何が大切だと思いますか。以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」の割合が 45.3%と最も高く、次いで「学校だよりやホームページなどにより、学校やこどもの様子を積極的に公開する」の割合が 43.4%、「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる」の割合が 38.4%となっています。

回答者数 = 594



【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、教員経験年数が上がるほど「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる」の割合が高く、4年以下から20～29年まで教員経験年数が上がるほど「特定の日だけに限らず、授業を積極的に公開する」の割合が高く、「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	学校だよりやホームページなどにより、学校やこどもの様子を積極的に公開する	学校の教育目標や取組を、地域の方々に知らせる	特定の日だけに限らず、授業を積極的に公開する	ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く	登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる
全 体	594	43.4	22.6	14.3	45.3	38.4
4年以下	88	50.0	18.2	5.7	51.1	29.5
5～9年	122	38.5	24.6	13.1	45.1	33.6
10～19年	208	38.0	20.2	15.9	43.8	37.0
20～29年	90	51.1	25.6	22.2	38.9	43.3
30年以上	86	48.8	26.7	12.8	50.0	52.3

区分	地域の施設などを利用した校外学習を進める	地域の方々や保護者が、学校の運営が適切に行われているかを評価する	教育やこどもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する	放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する	その他	無回答
全 体	19.0	3.0	14.0	5.7	2.2	0.0
4年以下	15.9	5.7	11.4	4.5	2.3	0.0
5～9年	24.6	1.6	13.1	4.1	2.5	0.0
10～19年	18.8	2.9	14.4	6.3	2.4	0.0
20～29年	22.2	4.4	16.7	7.8	3.3	0.0
30年以上	11.6	1.2	14.0	5.8	0.0	0.0

【小・中学勤務別】

小・中学勤務別にみると、小学校で「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる」の割合が高く、中学校で「学校だよりやホームページなどにより、学校やこどもの様子を積極的に公開する」の割合が高くなっています。

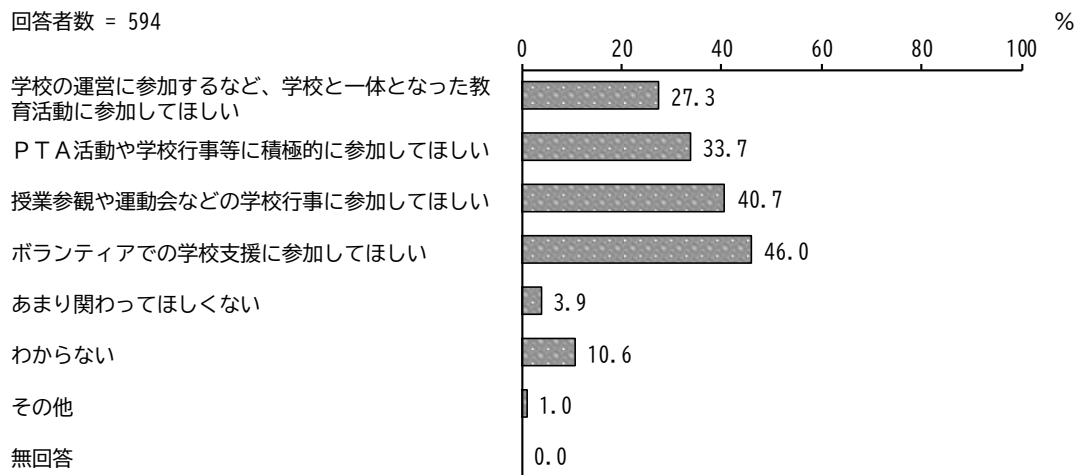
単位：％

区分	回答者数（件）	学校だよりやホームページなどにより、学校やこどもの様子を積極的に公開する	学校の教育目標や取組を、地域の方々に知らせる	特定の日に限らず、授業を積極的に公開する	ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く	登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる
全 体	594	43.4	22.6	14.3	45.3	38.4
小学校	363	40.5	22.0	12.9	46.6	47.1
中学校	231	48.1	23.4	16.5	43.3	24.7

区分	地域の施設などを利用した校外学習を進める	地域の方々や保護者が、学校の運営が適切に行われているかを評価する	教育やこどもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する	放課後や休日、学校の施設を積極的に開放する	その他	無回答
全 体	19.0	3.0	14.0	5.7	2.2	0.0
小学校	20.9	2.2	14.3	5.0	1.9	0.0
中学校	16.0	4.3	13.4	6.9	2.6	0.0

問 24 保護者や地域の方には、学校の活動に対して、どの程度、関わってほしいと思いますか。以下の設問からあてはまるものをすべて選んでください。

「ボランティアでの学校支援に参加してほしい」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「授業参観や運動会などの学校行事に参加してほしい」の割合が 40.7%、「PTA活動や学校行事等に積極的に参加してほしい」の割合が 33.7%となっています。



【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、教員経験年数が増えるほど「PTA活動や学校行事等に積極的に参加してほしい」「ボランティアでの学校支援に参加してほしい」の割合が高い傾向にあります。また、20～29年で「授業参観や運動会などの学校行事に参加してほしい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	学校の運営に参加するなど、学校と一体となった教育活動に参加してほしい	PTA活動や学校行事等に積極的に参加してほしい	授業参観や運動会などの学校行事に参加してほしい	ボランティアでの学校支援に参加してほしい	あまり関わってほしくない	わからない	その他	無回答
全 体	594	27.3	33.7	40.7	46.0	3.9	10.6	1.0	0.0
4年以下	88	27.3	26.1	45.5	29.5	3.4	11.4	0.0	0.0
5～9年	122	34.4	31.1	36.9	32.8	2.5	12.3	1.6	0.0
10～19年	208	25.0	30.3	34.1	42.8	6.3	13.9	1.9	0.0
20～29年	90	30.0	40.0	53.3	65.6	3.3	2.2	0.0	0.0
30年以上	86	19.8	46.5	44.2	68.6	1.2	8.1	0.0	0.0

【小・中学勤務別】

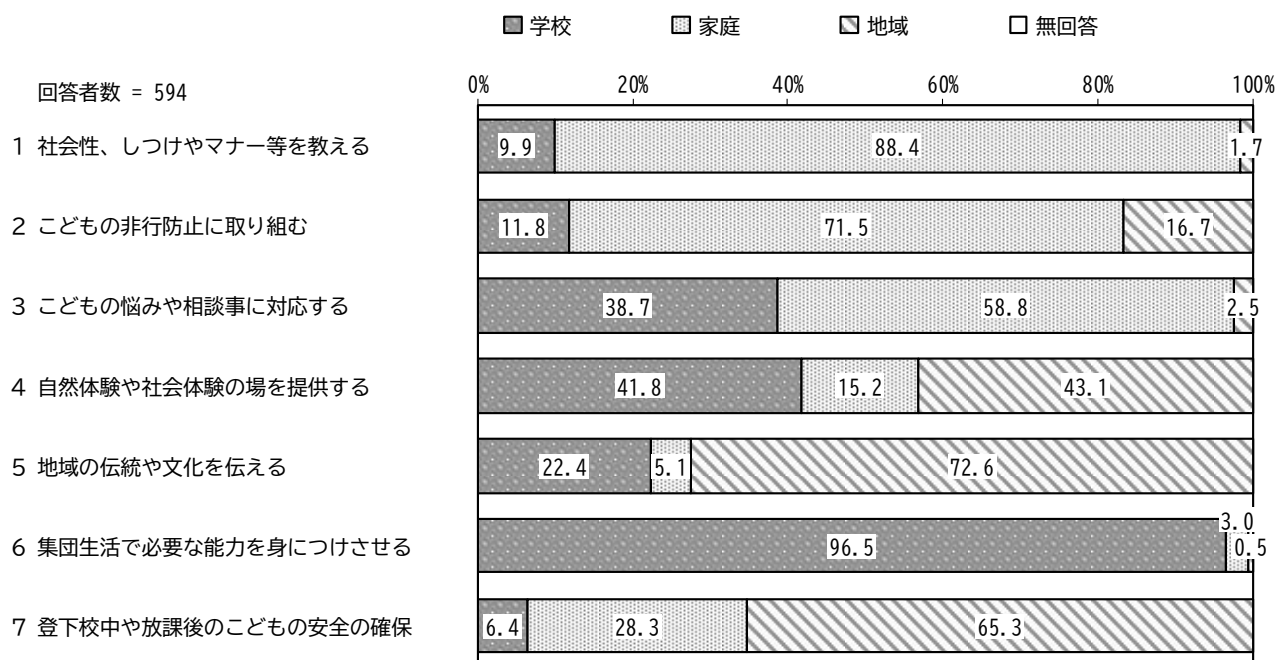
小・中学勤務別にみると、小学校で「PTA活動や学校行事等に積極的に参加してほしい」「授業参観や運動会などの学校行事に参加してほしい」「ボランティアでの学校支援に参加してほしい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	学校の運営に参加するなど、学校と一体となった教育活動に参加してほしい	PTA活動や学校行事等に積極的に参加してほしい	授業参観や運動会などの学校行事に参加してほしい	ボランティアでの学校支援に参加してほしい	あまり関わってほしくない	わからない	その他	無回答
全 体	594	27.3	33.7	40.7	46.0	3.9	10.6	1.0	0.0
小学校	363	26.7	36.6	46.6	52.3	3.6	7.7	1.1	0.0
中学校	231	28.1	29.0	31.6	35.9	4.3	15.2	0.9	0.0

問 25 あなたは、次のことについて、学校、家庭、地域のどこが中心となるべきだと考えていますか。以下の項目からあてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。

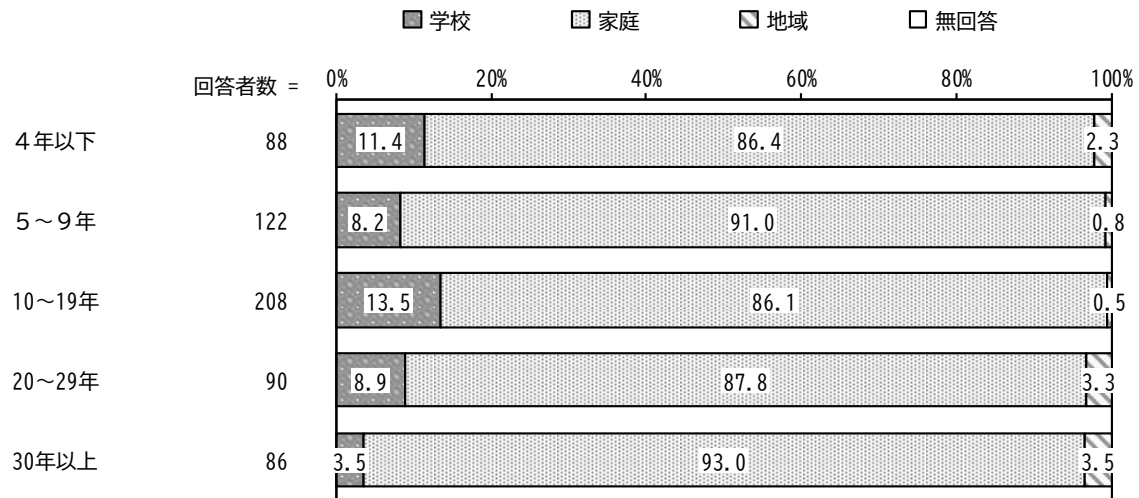
『6 集団生活に必要な能力を身につけさせる』で「学校」が、『1 社会性、しつけやマナー等を教える』で「家庭」が、『5 地域の伝統や文化を伝える』で「地域」が高くなっています。



1 社会性、しつけやマナー等を教える

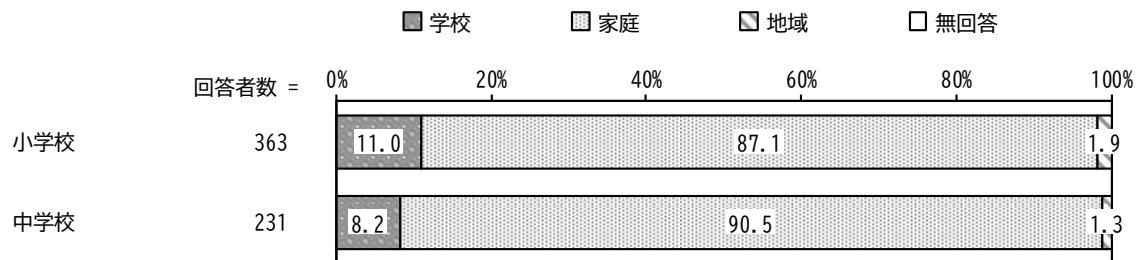
【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、30年以上で「学校」の割合が低くなっています。



【小・中学勤務別】

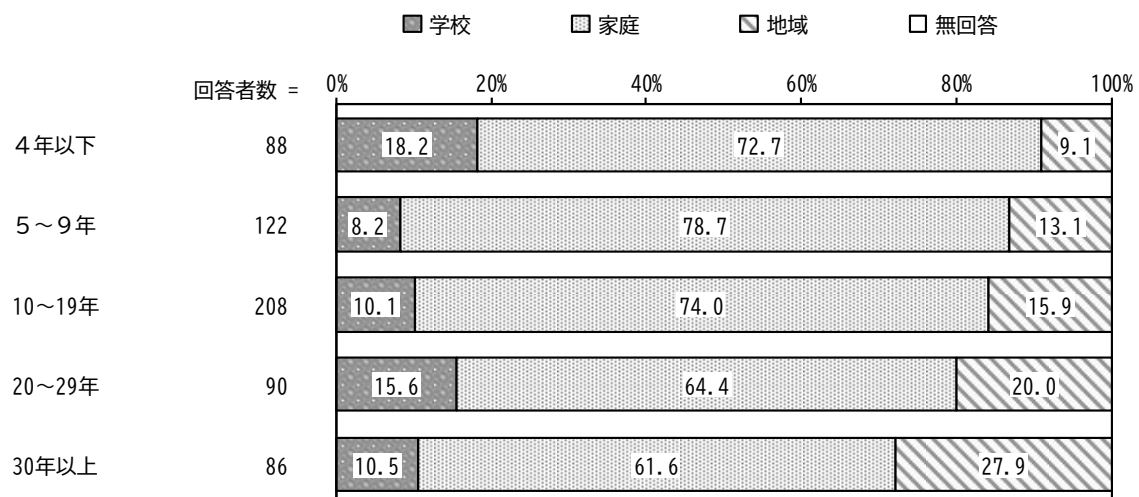
小・中学勤務別にみると、大きな差はみられません。



2 こどもの非行防止に取り組む

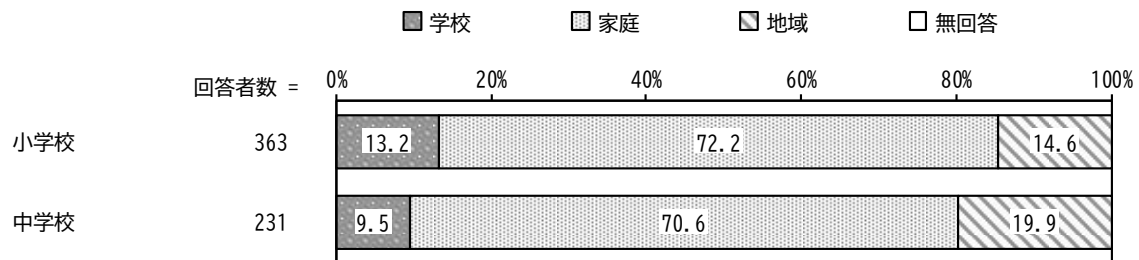
【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、教員経験年数上がるほど「地域」の割合が高くなっています。



【小・中学勤務別】

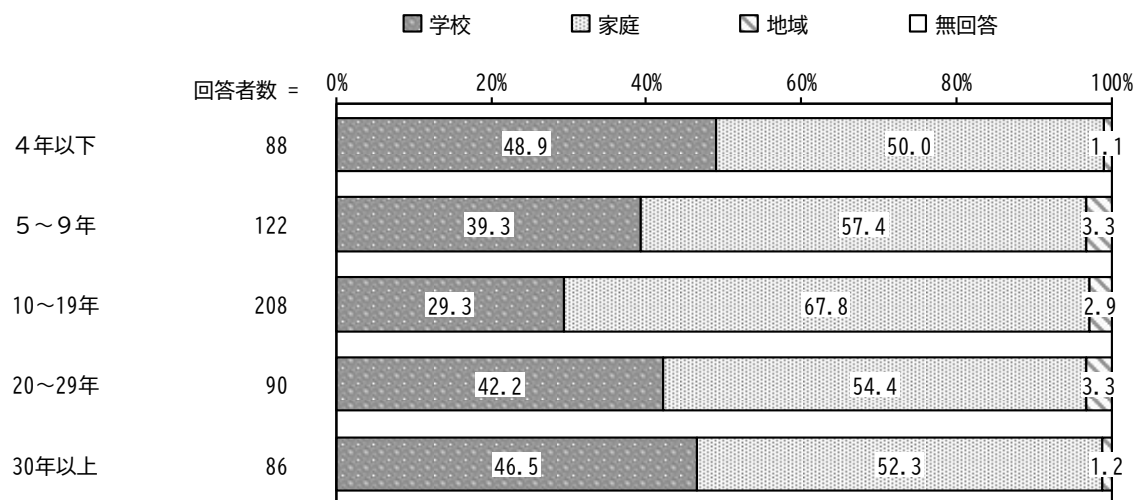
小・中学勤務別にみると、中学校で「地域」の割合が高くなっています。



3 こどもの悩みや相談事に対応する

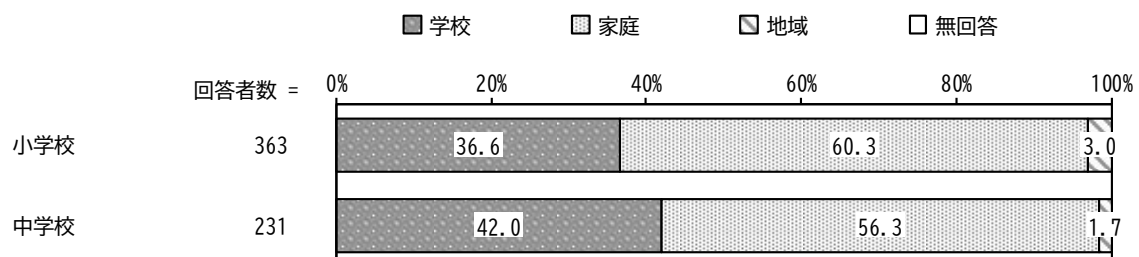
【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、4年以下、30年以上で「学校」、10～19年で「家庭」の割合が高くなっています。



【小・中学勤務別】

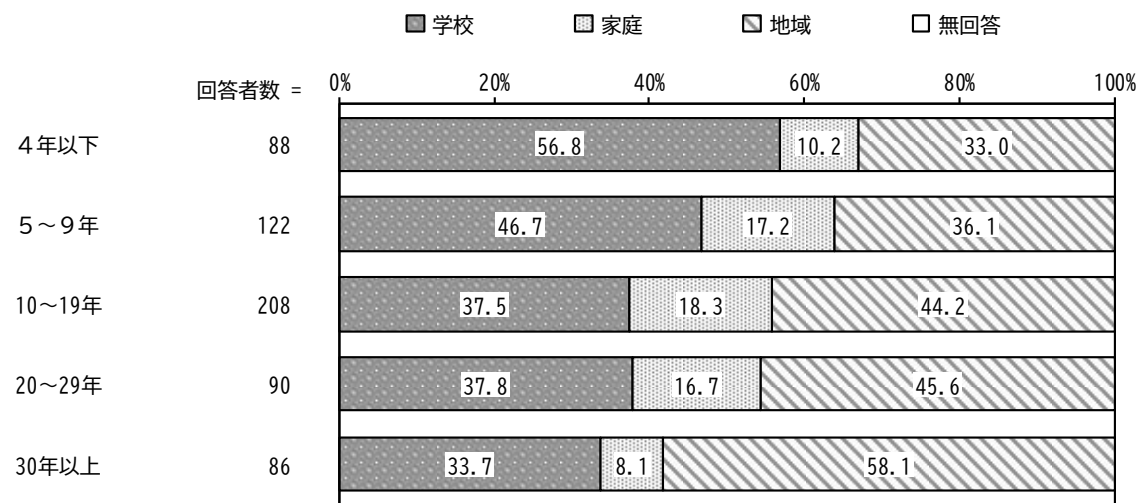
小・中学勤務別にみると、中学校で「学校」の割合が高くなっています。



4 自然体験や社会体験の場を提供する

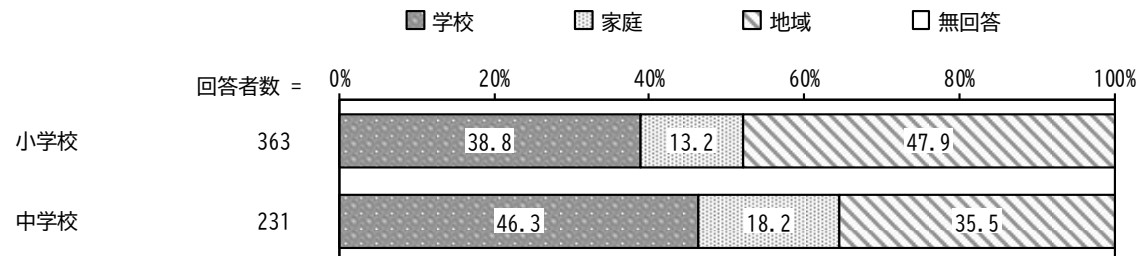
【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、教員経験年数が増えるほど「地域」の割合が高く、「学校」の割合が低い傾向にあります。



【小・中学勤務別】

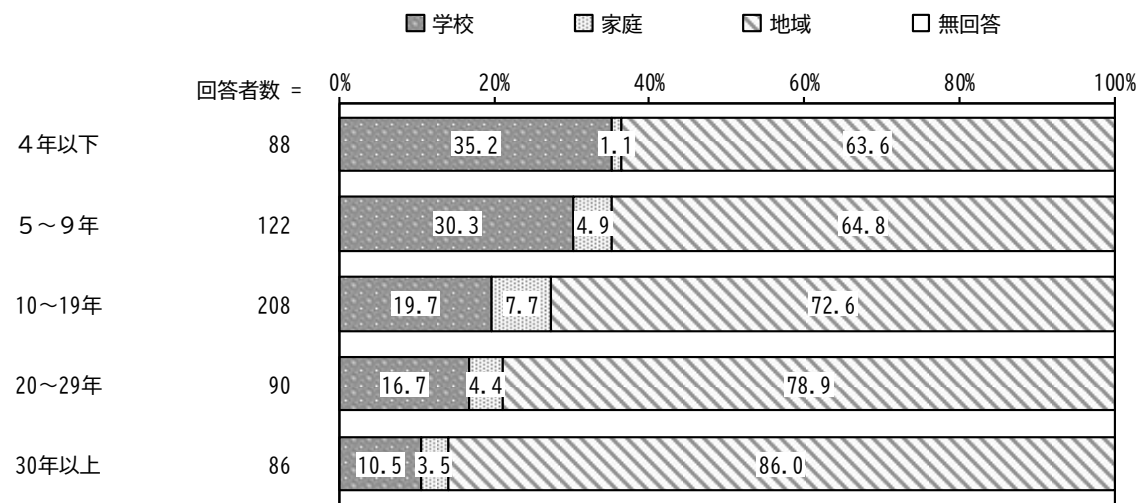
小・中学勤務別にみると、小学校で「地域」の割合が高く、中学校で「学校」「家庭」の割合が高くなっています。



5 地域の伝統や文化を伝える

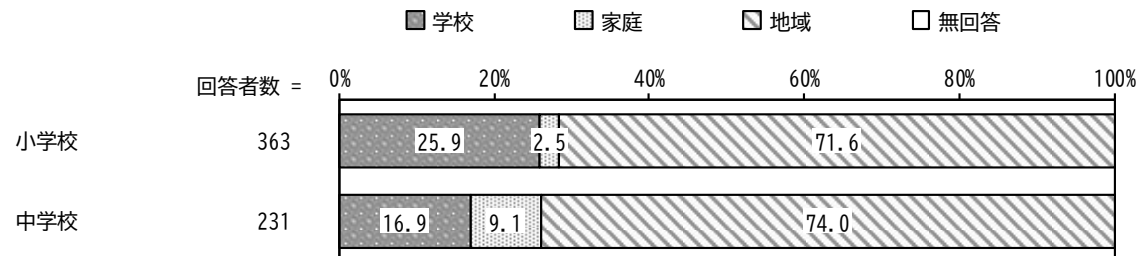
【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、教員経験年数が増えるほど「地域」の割合が高く、「学校」の割合が低くなっています。



【小・中学勤務別】

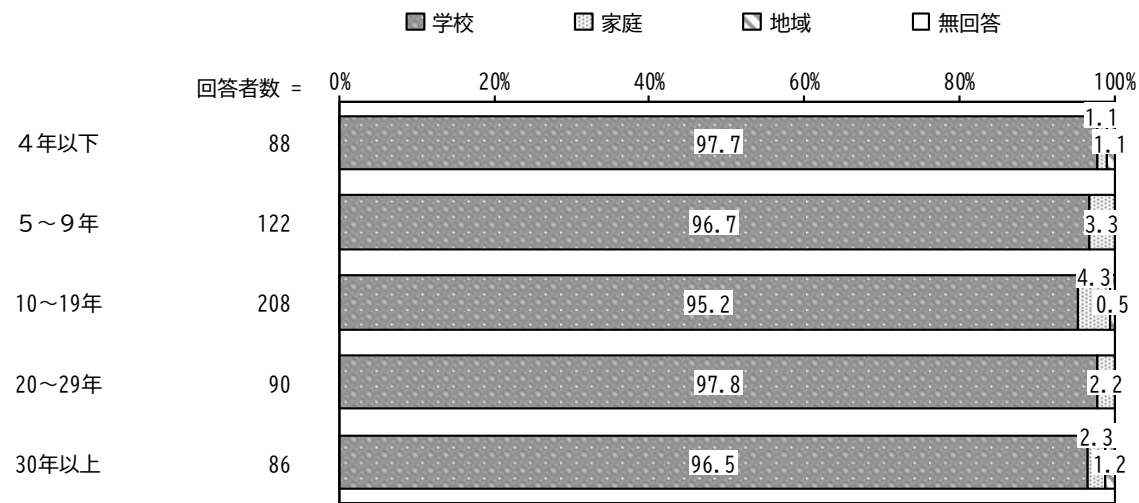
小・中学勤務別にみると、小学校で「学校」の割合が高く、中学校で「家庭」の割合が高くなっています。



6 集団生活に必要な能力を身につけさせる

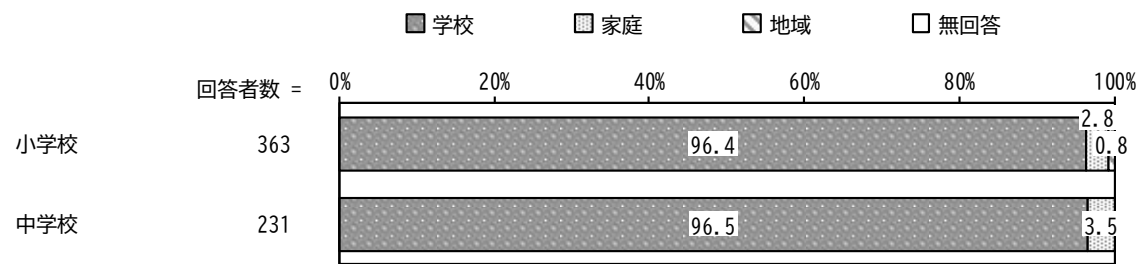
【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、大きな差はみられません。



【小・中学勤務別】

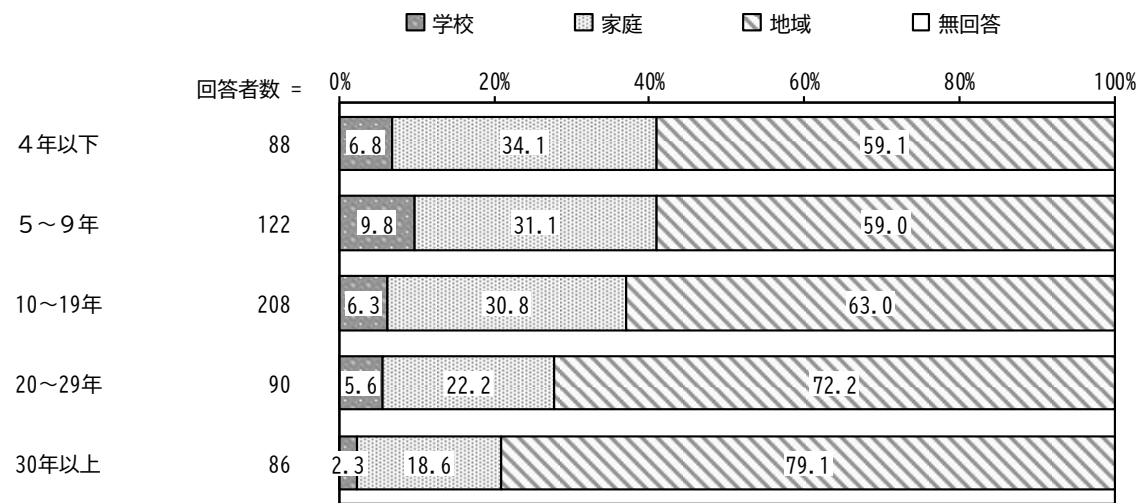
小・中学勤務別にみると、大きな差はみられません。



7 登下校中や放課後のこどもの安全の確保

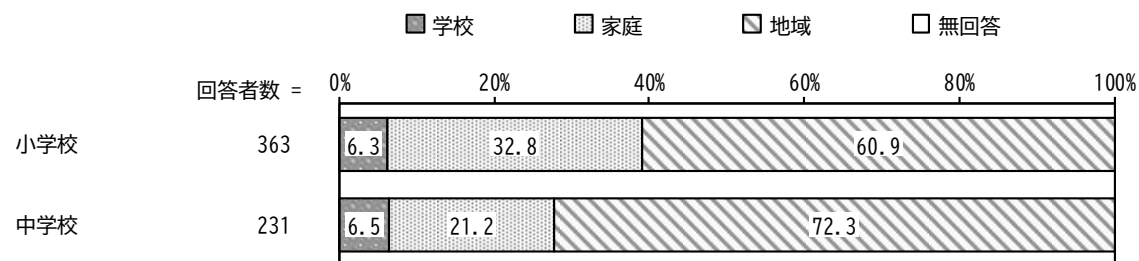
【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、教員経験年数が下がるほど「家庭」の割合が高くなっています。また、30年以上で「地域」の割合が高くなっています。



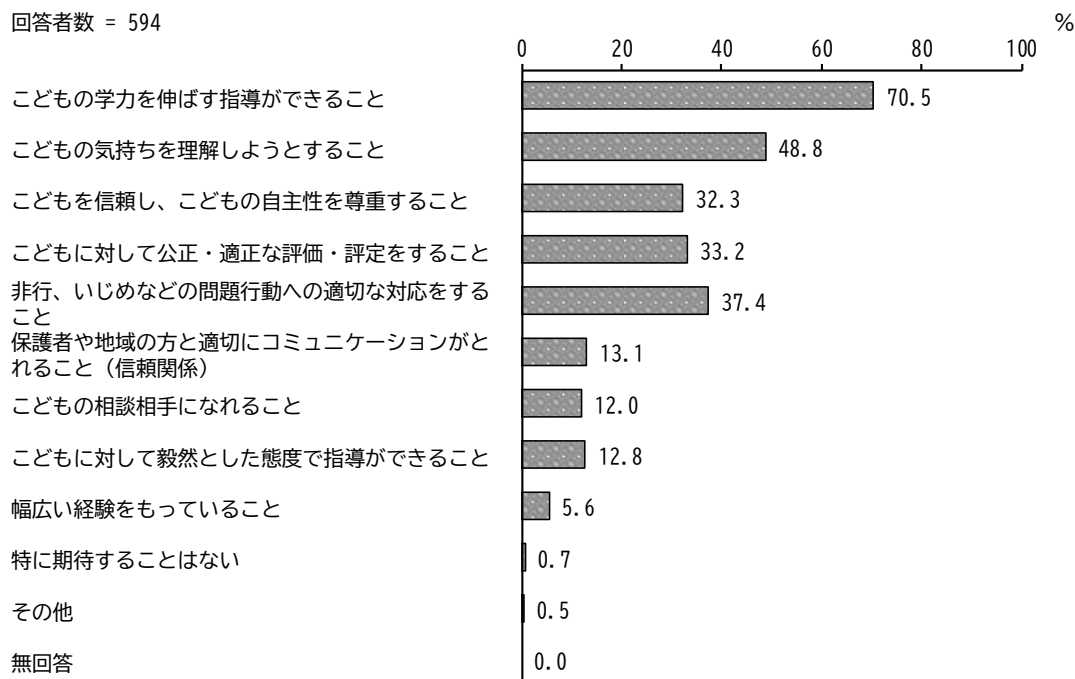
【小・中学勤務別】

小・中学勤務別にみると、小学校で「家庭」の割合が高く、中学校で「地域」の割合が高くなっています。



問 26 小中学校の教師は、保護者や地域の方にどのようなことを期待されていると思いますか。以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

「こどもの学力を伸ばす指導ができること」の割合が 70.5%と最も高く、次いで「こどもの気持ちを理解しようとする事」の割合が 48.8%、「非行、いじめなどの問題行動への適切な対応をすること」の割合が 37.4%となっています。



【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、教員経験年数が上がるほど「こどもの学力を伸ばす指導ができること」の割合が高く、4年以下から 20～29 年まで教員経験年数が上がるほど「こどもに対して公正・適正な評価・評定をすること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	こどもの学力を伸ばす指導ができること	こどもの気持ちを理解しようとする事	こどもを信頼し、こどもの自主性を尊重すること	こどもに対して公正・適正な評価・評定をすること	非行、いじめなどの問題行動への適切な対応をすること	保護者や地域の方と適切にコミュニケーションがとれること (信頼関係)	こどもの相談相手になれること	こどもに対して毅然とした態度で指導ができること	幅広い経験をもっていること	特に期待することはない	その他	無回答
全 体	594	70.5	48.8	32.3	33.2	37.4	13.1	12.0	12.8	5.6	0.7	0.5	0.0
4年以下	88	64.8	37.5	31.8	25.0	36.4	17.0	13.6	18.2	3.4	1.1	1.1	0.0
5～9年	122	67.2	44.3	39.3	30.3	32.8	15.6	13.1	10.7	7.4	0.0	0.0	0.0
10～19年	208	71.2	53.8	29.8	31.7	41.3	11.1	10.1	13.0	4.3	1.0	1.0	0.0
20～29年	90	72.2	52.2	33.3	42.2	40.0	13.3	8.9	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0
30年以上	86	77.9	51.2	27.9	39.5	32.6	10.5	16.3	11.6	8.1	1.2	0.0	0.0

【小・中学勤務別】

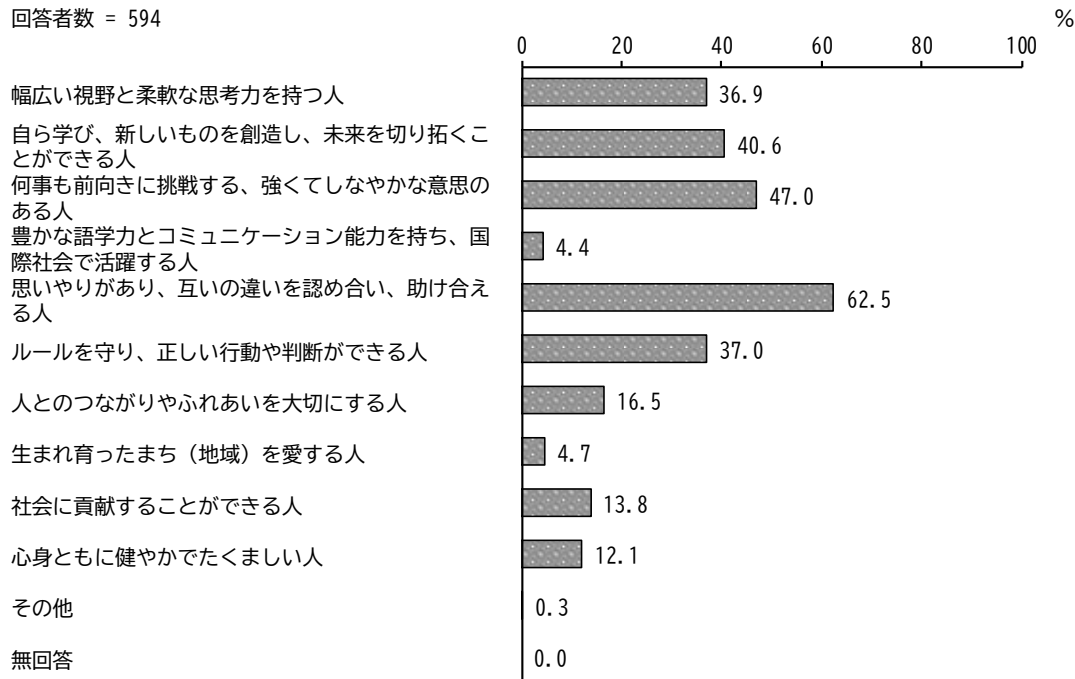
小・中学勤務別にみると、小学校で「こどもの気持ちを理解しようとする」「こどもを信頼し、こどもの自主性を尊重すること」の割合が高く、中学校で「こどもに対して公正・適正な評価・評定をすること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	こどもの学力を伸ばす指導ができること	こどもの気持ちを理解しようとすること	こどもを信頼し、こどもの自主性を尊重すること	こどもに対して公正・適正な評価・評定をすること	非行、いじめなどの問題行動への適切な対応をすること	保護者や地域の方と適切にコミュニケーションがとれること(信頼関係)	こどもの相談相手になれること	こどもに対して毅然とした態度で指導ができること	幅広い経験をもっていること	特に期待することはない	その他	無回答
全 体	594	70.5	48.8	32.3	33.2	37.4	13.1	12.0	12.8	5.6	0.7	0.5	0.0
小学校	363	71.6	52.9	34.4	30.9	38.8	11.8	12.4	12.1	5.5	1.1	0.0	0.0
中学校	231	68.8	42.4	29.0	36.8	35.1	15.2	11.3	13.9	5.6	0.0	1.3	0.0

問 27 あなたは、小牧市のこどもたちに将来どのような大人に育ってほしいと思いますか。
以下の設問からあてはまるものを3つまで選んでください。

「思いやりがあり、互いの違いを認め合い、助け合える人」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「何事も前向きに挑戦する、強くてしなやかな意思のある人」の割合が 47.0%、「自ら学び、新しいものを創造し、未来を切り拓くことができる人」の割合が 40.6%となっています。



【教員経験年数別】

教員経験年数別にみると、5～9年から30年以上まで教員経験年数が増えるほど「心身ともに健やかでたくましい人」の割合が高くなっています。また、30年以上で「人とのつながりやふれあいを大切にする人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	幅広い視野と柔軟な思考力を持つ人	自ら学び、新しいものを創造し、未来を切り拓くことができる人	何事も前向きに挑戦する、強くてしなやかな意思のある人	豊かな語学力とコミュニケーション能力を持ち、国際社会で活躍する人	思いやりがあり、互いの違いを認め合い、助け合える人	ルールを守り、正しい行動や判断ができる人	人とのつながりやふれあいを大切にする人	生まれ育ったまち（地域）を愛する人	社会に貢献することができる人	心身ともに健やかでたくましい人	その他	無回答
全 体	594	36.9	40.6	47.0	4.4	62.5	37.0	16.5	4.7	13.8	12.1	0.3	0.0
4年以下	88	29.5	36.4	40.9	8.0	65.9	33.0	15.9	8.0	9.1	13.6	1.1	0.0
5～9年	122	39.3	43.4	45.1	4.1	65.6	40.2	13.9	3.3	9.0	7.4	0.0	0.0
10～19年	208	38.5	49.0	52.4	2.4	56.3	34.1	12.5	4.8	16.8	12.0	0.5	0.0
20～29年	90	40.0	31.1	45.6	4.4	72.2	40.0	20.0	3.3	12.2	13.3	0.0	0.0
30年以上	86	33.7	30.2	44.2	5.8	59.3	40.7	26.7	4.7	19.8	16.3	0.0	0.0

【小・中学勤務別】

小・中学勤務別にみると、小学校で「思いやりがあり、互いの違いを認め合い、助け合える人」「ルールを守り、正しい行動や判断ができる人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	幅広い視野と柔軟な思考力を持つ人	自ら学び、新しいものを創造し、未来を切り拓くことができる人	何事も前向きに挑戦する、強くてしなやかな意思のある人	豊かな語学力とコミュニケーション能力を持ち、国際社会で活躍する人	思いやりがあり、互いの違いを認め合い、助け合える人	ルールを守り、正しい行動や判断ができる人	人とのつながりやふれあいを大切に する人	生まれ育ったまち（地域）を愛する人	社会に貢献することができる人	心身ともに健やかでたくましい人	その他	無回答
全 体	594	36.9	40.6	47.0	4.4	62.5	37.0	16.5	4.7	13.8	12.1	0.3	0.0
小学校	363	35.0	39.9	45.5	3.3	65.6	41.3	16.5	6.1	14.0	11.8	0.6	0.0
中学校	231	39.8	41.6	49.4	6.1	57.6	30.3	16.5	2.6	13.4	12.6	0.0	0.0

小牧市
第2次小牧市教育振興基本計画に関する
アンケート調査結果報告書
発行年月：令和8年5月
発行：小牧市 教育委員会 教育総務課
〒485-8650
愛知県小牧市堀の内3丁目1番地
電話：0568-72-2101